Keiju Healthcare System

2019
業 績 集

The collection of achievements

社会医療法人財団　董仙会
社 会 福 祉 法 人　徳充会

Vol.22 june,2020

2019年 [令和元年]

業 績 集

The collection of achievements

けいじゅヘルスケアシステム
Keiju Healthcare System





単年度方針

生産性を向上せよ！











2019 年度けいじゅヘルスケアシステム業績集発刊にあたって



2019 年は平成から令和への変換の年であった。特に、4 月から労働基準法改正が施行され、働き方改革元年となったと言えよう。

われわれの働き方改革の狼煙は 1994 年に全国で初めて三菱商事と立ち上げた診療材料管理システムであった。これは、看護師業務から物品管理業務を物流業者と IT にタスクシフトするものであった。 さらに、全国に先駆けて進めてきた IT システムは、これまでの業務の効率化をその導入思想としてきた。この流れは、7 月より恵寿総合病院外来に AI 問診システムを導入したことや年度末より取り組む RPA(Robotic Process Automation)にもつながっていくものである。

また、働き方改革としては、この効率化（生産性向上）とともに健康経営も重要な要素と認識する。7 月からは董仙会、徳充会の全職員を対象として臨床心理士等が 24 時間 365 日フリーダイヤルで対応する「けいじゅこころの相談室」を開設した。2 月には 2018 年、2019 年に引き続き健康経営優良法人（ホワイト 500）2020 も取得し、その延長線上に位置する「けいじゅ健康保険組合」の 2020 年 4 月 1 日設立への大詰めの準備の年度ともなった。さらに定年制廃止等の 2020 年度への実行へ準備・検討を行うことができた。

今後の高齢社会、人生 100 年時代を見据えた地域における生活支援の取り組みも法人経営の大きな柱とした。10 月には溶けないアイスクリーム「脳活アイス」の開発販売、11 月には歩様の解析とサンダル、体操による「Foot 活プロジェクト」、そして 12 月には「ジェノプラン・遺伝子解析サービス」などを立ち上げた。

また、職員のキャリデザインを中心とする教育研修も充実した。特に、看護部では、看護師特定行為研修修了看護師は全国有数の 16 名となった。また、介護部門では介護グランプリへの挑戦を機会に技術の見直しが進み、さらに国立研究開発法人・産業総合研究所との共同研究でベテラン職の暗黙知を IT の利用で見える化するプロジェクトも進んだ。

一方、11 月に中国・武漢で新型コロナウィルス感染症が報告されて以来、パンデミックとして全世界を席捲した。特に年度の終わりから年度の初めに、董仙会、徳充会の一部の事業の停止、削減せざるを得なかった。加えて、私たちの生活様式は一変した。

BSC（ Balanced Score Card ）による目標管理制度も定着しつつあった。2019 年度は両法人ともに黒字決算となった。2020 年度の新型コロナウィルス感染症の席捲の影響は計り知れないものの、両法人でオンライン会議やオンライン面会、オンライン診療、オンラインリクルートなどに関して創意工夫が進みつつある。2019 年度は With コロナの時代に向かってのイノベーションを引き起こす準備の年だったかもしれない。

令和 2 年 6 月吉日

けいじゅヘルスケアシステム理事長

神野 正博

創業精神

いつでも
誰でも
たやすく

安心して診療を受けられる病院にする。

基本理念

人命尊重、心身の健康第一の立場に立ち、職員が一体となって地域住民の健康維持(予防、診療、リハビリテーション、介護)に努めると共に、地域の中核医療施設として、社会、経済、文化の発展向上に貢献します。

信頼の心

私達は、患者・利用者の皆様の権利を尊重し、信頼される質の高い医療により、地域に貢献します。

思いやりの心

私達は、思いやりのある病院・施設づくりに努めます。

健全な経営

私達は、収支構造の安定した病院・施設を維持します。

職員の健康と幸せ

私達は、董仙会の発展を通じ、職員の健康と幸せを築きます。

目次

発行にあたって
創業精神・基本理念
目次

第1章 法人概要・組織図

8 董仙会　概要・施設・沿革
9 董仙会　組織図
10 董仙会　本部会議・委員会・人員の構成
11 董仙会　人員の推移
12 恵寿総合病院　概要・組織図
13 恵寿総合病院　会議・委員会
14 恵寿総合病院　施設基準等・学会認定施設
15 恵寿金沢病院　概要・組織図・会議・委員会
16 恵寿金沢病院　施設基準等・学会認定施設
17 徳充会　概要・施設・沿革
18 徳充会　組織図・会議・委員会
19 徳充会　人員の推移

第2章 法人方針・事業報告

22 2019 年度　けいじゅヘルスケアシステム方針
23 TQM 発表大会
24 事例研究大会
25 新聞掲載
27 来訪者一覧
29 董仙会中期計画 2018-2020
35 事業報告

第3章 医療部門 診療統計・医療の質

恵寿総合病院
90 外来患者数
91 年代別(男女別)外来患者数・救急外来患者数
92 紹介患者数
93 入院患者数
94 年代別(男女別)新入院患者数
平均在院日数・病床稼働率
96 手術件数
97 MDC 別
98 疾病分類別患者数・年代別死亡退院患者数
99 疾病分類(中分類)別上位疾病
100 悪性新生物の国際疾病別　退院数及び内死亡数
101 48 時間以内死亡患者数
2019 年度死亡要因上位件数(中分類)
102 Quality Indicator

恵寿金沢病院
103 外来患者数・年代別(男女別)外来患者数
104 救急外来患者数・紹介患者数
105 入院患者数・平均在院日数・病床稼働率
106 年代別(男女別)新入院患者数・手術件数
107 疾病分類別患者数・年代別死亡退院患者数
108 疾病分類(中分類)別上位疾病
109 48 時間以内死亡患者数
2019 年度死亡要因上位件数(中分類)
110 Quality Indicator
クリニック
111 田鶴浜診療所・鳥屋診療所
112 恵寿ローレルクリニック・恵寿鳩ヶ丘クリニック

第4章 介護・福祉部門 利用統計・介護の質

114 利用統計
115 各施設　Quality Indicator

第5章 研究・業績

134 論文・著書・インタビュー等
139 学会発表
147 講師・座長・パネリスト等
158 資格取得
164 公職
170 メディア出演

第6章 KEIJU MONTHLY LETTER

176 2019 年度　KEIJU MONTHLY LETTER

第7章 トピックス(社会貢献)

190 董仙会トピックス(社会貢献)
192 徳充会トピックス(社会貢献)



第1章

概要
組織図

社会医療法人財団
董仙会 概要

所在地	石川県七尾市富岡町94番地
Tel	0767-52-3211（代表）
Fax	0767-52-3218（代表）
理事長	神野 正博
職員数	1,349名
入院ベッド数	515床
入所ベッド数	365床
総ベッド数	880床

董仙会 各施設概要

七尾地域

- 恵寿総合病院
  〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
- 田鶴浜診療所
  〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町リ部11番地1
- 恵寿ローレルクリニック
  〒926-8607 石川県七尾市富岡町95番地
- 恵寿総合病院訪問看護ステーション
  〒926-0867 石川県七尾市桜町12番地
- 介護老人保健施設 和光苑
  〒926-0853 石川県七尾市津向町ト部107番地
- 介護老人保健施設 鶴友苑
  〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町リ部11番地1
- ケアマネステーション恵寿
  〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
- 小規模多機能型居宅介護事業所 けいじゅ一本杉
  〒926-0806 石川県七尾市一本杉町37番地
- けいじゅデリカサプライセンター
  〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町ち部33
- 医療福祉ショップめぐみ・福祉用具レンタルステーション恵寿
  〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
- 七尾看護専門学校
  〒926-0854 石川県七尾市なぎの浦156
- ベンリー 七尾店
  〒926-0867 石川県七尾市桜町10番地

中能登地域

- 鳥屋診療所 いきいき
  〒929-1704 石川県鹿島郡中能登町末坂2部60番地1
- 在宅複合施設 ほのぼの
  〒929-1704 石川県鹿島郡中能登町末坂2部33番地
- デイサービスセンター いこい
  〒929-1725 石川県鹿島郡中能登町東馬場ほ部18番地1
- 小規模多機能型居宅介護事業所 恵寿みおや
  〒929-1717 石川県鹿島郡中能登町良川か部44番地1

穴水地域

- 恵寿鳩ヶ丘クリニック
- 介護医療院 恵寿鳩ヶ丘
  〒927-0023 石川県鳳珠郡穴水町字麦ヶ浦15-39-8

金沢地域

- 恵寿金沢病院
- けいじゅ金沢訪問看護ステーション
  〒920-0910 石川県金沢市下新町6番26号

董仙会 沿革

1934年	神野病院創立 初代病院長 神野 正隣（まさちか）
1964年	第2代病院長に神野 正一就任
1967年	第1病棟新築 恵寿病院と改称。医療法人財団 董仙会を設立（初代理事長 神野 正一）
1980年	第3病棟新築（454床）
1982年	恵寿総合病院と改称
1984年	田鶴浜町の依頼で田鶴浜診療所開設 社会福祉法人 徳充会を開設（初代理事長 神野 正一）
1988年	鳥屋町（現中能登町）の依頼で鳥屋診療所開設
1989年	老人保健施設「和光苑」開設（新築として県初）
1993年	第3代病院長に神野 正博就任 老人保健施設「鶴友苑」開設
1995年	第2代董仙会理事長に神野 正博就任
1997年	医療情報システム（オーダリングシステム）運用開始
1998年	(財)日本医療機能評価機構より認定 （200床以上の一般病院B・北陸初）Ver.3.1
1999年	鳥屋町（現中能登町）在宅複合施設「ほのぼの」運営受託 特別医療法人認可
2000年	穴水町に恵寿鳩ヶ丘病院開設（143床） 第５病棟新築 全国初の医療・介護コールセンターとして、けいじゅサービスセンター開設 董仙会・徳充会を総称し「けいじゅヘルスケアシステム」と呼称 全国初となる院内24時間コンビニエンスストアオープン 鹿島町（現中能登町）デイサービスセンター「いこい」運営受託
2001年	けいじゅ在宅総合サービスセンター開設
2002年	電子カルテシステム運用開始
2003年	セントラルキッチン「けいじゅデリカサプライセンター」開設 厚生労働省臨床研修指定病院（基幹型）認定 病院内に病児保育室「あんず」設置
2005年	(財)日本医療機能評価機構のリハビリテーション付加機能認定
2007年	けいじゅPET-CTセンター開設
2008年	職員宿舎「ビオラ」「コニファー」新築 第4代病院長に山本 達就任 社会医療法人認可 11/1より改称(全国9番目)
2009年	けいじゅファミリークリニック開設 けいじゅPET-CTセンターにリニアックセンターを併設 恵寿鳩ヶ丘病院を介護療養型老人保健施設に転換 （名称：恵寿鳩ヶ丘）
2010年	七尾市内一本杉通り商店街に小規模多機能型居宅介護事業所 「けいじゅ一本杉」開設
2011年	社会福祉法人徳充会・第二代理事長に神野 正博就任 石川県地域がん診療連携協力病院に指定
2013年	恵寿総合病院本館（223床）新築 恵寿総合病院80周年記念式典開催
2014年	電子カルテシステム更新 （MicrosoftVDIによる、同時接続ユーザー世界最大） 第5代病院長に山本 健就任 中能登町に小規模多機能型居宅介護事業所「恵寿みおや」開設 金沢市に「恵寿金沢病院」開設（89床）
2015年	高齢者複合施設「ローレルハイツ恵寿」開設 恵寿健康管理センター「人間ドック健診施設機能評価」認定 病院外から電子カルテの閲覧、操作可能なリモートアクセスシステムを開始 オンデマンド送迎サービス「楽のり君」開始 本院3病棟6階に「Keiju Innovation Hub」開設 「けいじゅ一本杉」内に「一本杉Café」を開設
2016年	恵寿総合病院「外国人患者受入れ医療機関認証制度」(JMIP)取得 サービス産業生産性協議会（SPRING）より「第1回日本サービス大賞 総務大臣賞」受賞
2017年	パーソナルヘルスレコード（PHR）カルテコを開始 「第59回全日本病院学会 in 石川」開催（学会長 神野正博） （公社）日本デザイン振興会より「2017年度グッドデザインベスト100・ 特別賞[未来づくり]」受賞 厚生労働省より「グッドキャリア企業アワード2017 イノベーション賞」受賞
2018年	介護療養型老人保健施設 恵寿鳩ヶ丘を「介護医療院」に転換 恵寿総合病院訪問看護ステーションを開設 国際病院連盟賞最高位賞特別賞を受賞 ベンリー七尾店オープン
2019年	第6代病院長に鎌田 徹就任 AI問診を導入 人生100年時代活躍プロジェクト（Foot活、脳活）を始動
2020年	QRコード決済を導入 3年連続健康経営優良法人ホワイト500に認定 （本年は500社中上位100位以内）

董仙会 組織図

評議員会

理事会

理事長

本部

事務管理統括部門

- 総務部
  - 総務課
    - 健康経営対策室
    - 車両係
- 財務部
  - 経理課
  - 資財課
- 企画部
  - 企画課
- 情報部
  - 情報管理課
- 生活支援部

医療事業統括部門

- 恵寿総合病院
  ▶組織詳細は12ページへ
- 恵寿金沢病院
  ▶組織詳細は15ページへ
- 田鶴浜診療所
- 鳥屋診療所 いきいき
- 恵寿ローレルクリニック
- 恵寿鳩ヶ丘クリニック

介護事業統括部門

- 介護老人保健施設 和光苑
- 介護老人保健施設 鶴友苑
- 介護医療院 恵寿鳩ヶ丘
- 在宅複合施設 ほのぼの
- デイサービスセンター いこい
- 小規模多機能型居宅介護事業所 けいじゅ一本杉
- 小規模多機能型居宅介護事業所 恵寿みおや
- ケアマネステーション恵寿
- 福祉用具レンタルステーション恵寿
- 喀痰吸引等研修センター

社会事業統括部門

- 医療福祉ショップめぐみ
- 七尾看護専門学校
- デリカサプライセンター
- ベンリー 七尾店

董仙会 会議・委員会・プロジェクト

会議

・経営会議
・董仙会管理会議
・けいじゅヘルスケアシステム運営会議
・けいじゅヘルスケアシステム給食戦略会議

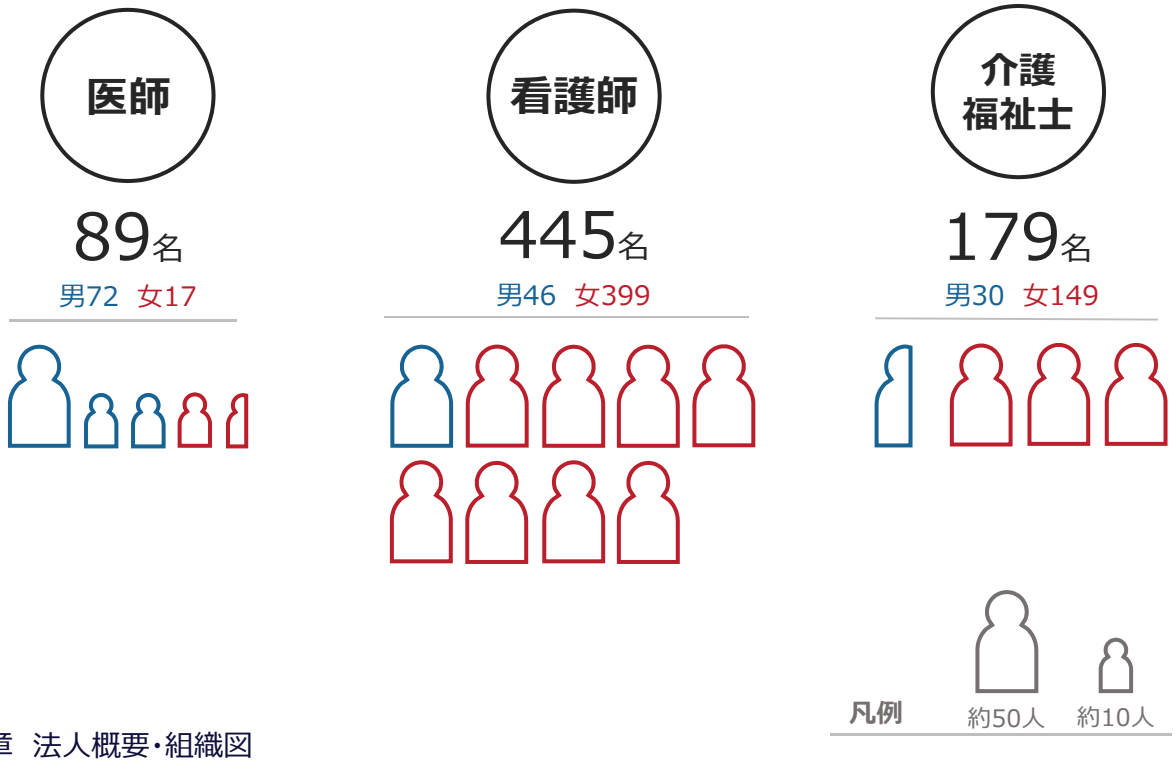
委員会

・人事委員会
・倫理委員会
・広報委員会
・個人情報管理委員会
・けいじゅFM委員会
・けいじゅ清掃委員会
・恵寿金沢FM・清掃委員会
・地球温暖化対策推進委員会
・福利厚生委員会
・TQM委員会
・働き方改革委員会
・BCM委員会
・健康委員会
・病院（恵寿総合病院）・施設委員会

プロジェクト

・診療報酬データ管理プロジェクト
・キャリアデザインプロジェクト
・リクルートプロジェクト
・外国人職員受入れプロジェクト
・顧客：職員移乗・腰痛対策プロジェクト（ノーリフティング）
・顧客：利用者活動プロジェクト

董仙会 主な人員の構成



董仙会人員の推移

凡例… 男性の人数 / 女性の人数

職種	2017.4.1 恵寿総合	他施設	合計	2018.4.1 恵寿総合	他施設	合計	2019.4.1 恵寿総合	他施設	合計
医師	52 / 9	15 / 1	67 / 10	54 / 11	15 / 1	69 / 12	56 / 15	16 / 2	72 / 17
薬剤師	7 / 4	1 / 4	8 / 8	7 / 5	1 / 4	8 / 9	7 / 6	2 / 4	9 / 10
臨床検査技師	8 / 16	1 / 6	9 / 22	8 / 17	1 / 7	9 / 24	10 / 17	1 / 6	11 / 23
診療放射線技師	11 / 8	0 / 4	11 / 12	12 / 6	0 / 3	12 / 9	13 / 8	2 / 3	15 / 11
理学療法士	37 / 15	13 / 4	50 / 19	32 / 18	12 / 5	44 / 23	34 / 16	11 / 9	45 / 25
作業療法士	9 / 16	1 / 9	10 / 25	8 / 17	2 / 8	10 / 25	9 / 18	2 / 9	11 / 27
言語聴覚士	16 / 0	9 / 0	0 / 9	0 / 6	0 / 1	0 / 7	0 / 7	0 / 0	0 / 7
臨床工学技士	12 / 6	9 / 5	9 / 5	7 / 3	0 / 0	7 / 3	6 / 5	0 / 0	6 / 5
視能訓練士	1 / 3	0 / 0	1 / 3	0 / 2	0 / 0	0 / 2	0 / 1	0 / 0	0 / 1
臨床心理士	1 / 0	0 / 0	1 / 0	1 / 0	0 / 0	1 / 0	1 / 0	0 / 0	1 / 0
栄養管理士	1 / 10	0 / 7	1 / 17	1 / 10	0 / 7	1 / 17	1 / 9	0 / 7	1 / 16
救急救命士	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0
義肢装具士	0 / 0	1 / 0	1 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0
社会福祉士	0 / 11	2 / 6	2 / 17	0 / 11	3 / 3	3 / 14	1 / 8	1 / 5	2 / 13
健康運動指導士	0 / 1	0 / 0	0 / 1	0 / 1	0 / 0	0 / 1	0 / 1	0 / 0	0 / 1
保健師	0 / 5	0 / 0	0 / 5	0 / 5	0 / 0	0 / 5	0 / 5	0 / 0	0 / 5
助産師	0 / 9	0 / 0	0 / 9	0 / 11	0 / 0	0 / 11	0 / 13	0 / 0	0 / 0
看護師	39 / 262	8 / 134	47 / 396	37 / 261	9 / 139	46 / 400	42 / 257	4 / 142	46 / 399
准看護師	4 / 34	2 / 38	6 / 72	3 / 33	2 / 35	5 / 68	5 / 28	0 / 31	5 / 59
介護福祉士	0 / 7	31 / 133	31 / 140	0 / 8	31 /129	31 / 137	0 / 8	30 / 141	30 / 149
介護職員	0 / 0	7 / 45	7 / 45	0 / 0	9 / 42	9 / 42	0 / 0	10 / 39	10 / 39
介護支援専門員	0 / 0	2 / 16	2 / 16	0 / 0	2 / 180	2 / 180	1 / 12	1 / 6	2 / 18
看護補助者	1 / 51	0 / 6	1 / 57	0 / 48	0 / 6	0 / 54	0 / 45	0 / 9	0 / 54
事務員	33 / 93	8 / 27	41 / 120	31 / 101	10 / 26	41 / 127	27 / 98	9 / 24	36 / 122
運転手	6 / 0	6 / 0	12 / 0	6 / 0	9 / 0	15 / 0	6 / 0	7 / 0	13 / 0
警備員	2 / 0	7 / 0	9 / 0	1 / 0	7 / 0	8 / 0	1 / 0	5 / 0	6 / 0
その他	0 / 1	0 / 4	5 / 15	2 / 8	4 / 6	6 / 14	2 / 6	8 / 0	10 / 6
小計	222 / 578	109 / 445	331 / 1,023	210 / 582	117 / 440	327 / 1,022	222 / 583	109 / 437	331 / 1,020
合計	800	554	1,354	792	557	1,349	805	546	1,351

恵寿総合病院 概要

所在地	石川県七尾市富岡町94番地
開設者	社会医療法人 董仙会
理事長	神野 正博
病院長	鎌田 徹
病床数	426床

病院長補佐	渕﨑 宇一郎
副病院長	川北 慎一郎　岡田 由恵
診療部長	山﨑 雅英
診療副部長	西澤 永晃　佐藤 就厚
事務部長	森下 毅
看護部長	本橋 敏美
名誉病院長	山本 健
顧問	宮本 正治　斎藤 靖人
	東 壮太郎　宮森 弘年
	平井 文彦　上野 恭一

組織図

恵寿総合病院 …… 病院長

診療部

- 外科消化器乳腺外科
- 内科
- 消化器内科
- 心臓血管外科
- 循環器内科
- 脳神経外科
- 脳神経内科
- 整形外科
- 呼吸器外科
- 形成外科美容外科
- 産婦人科
- 家庭医療科
- 緩和ケア科
- 小児科
- 眼科
  - 視能訓練室
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 麻酔科
- 皮膚科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 救急救命科
- 病棟管理センター

健康管理部

- 健康管理センター

看護部

- 看護管理センター
- 看護秘書管理センター

事務部

- けいじゅサービスセンター
  - 医療福祉相談課
  - 地域連携課
  - サービス課
- 医療情報事務センター
  - 管理課
  - 医事課
  - 医療秘書課

各種センター

- 救急センター
- 手術センター
- 血液浄化センター
- PET CTリニアックセンター
- 内視鏡センター
- 放射線センター
- リハビリテーションセンター
  - 理学療法課
  - 作業療法課
  - 言語療法課
  - 訪問リハビリステーション恵寿
- リハ教育研修センター
- 薬剤管理センター
- 栄養管理センター
- 検査管理センター
- 臨床工学センター
- 医療安全管理センター
  - 医療安全管理課
  - 感染制御課
- 臨床研修センター
- 看護師特定行為研修センター

恵寿総合病院 会議・委員会

統括部門

・恵寿総合病院管理会議
・恵寿総合病院運営会議
・倫理委員会
・医療事故緊急会議
・病院改善会議
・院内医療事故調査委員会
・救急部運営委員会
・看護師特定行為研修管理委員会 / 運営委員会

医療安全管理部門

・医療安全管理委員会
・リスクマネジメント部会
・感染防止対策委員会
・インフェクションコントロールチーム
・治験審査委員会
・呼吸療法委員会
・診療材料委員会

診療技術部門

・臨床栄養委員会
・NST
・脳卒中地域連携パス管理委員会
・リハビリテーション運営委員会
・図書委員会
・医療技術部門連携連絡委員会
・認知症対策プロジェクト委員会

診療部門

・薬事審議委員会
・救命救急実行委員会
・集中治療運営委員会
・輸血療法委員会
・臨床検査適正化委員会
・透析機器安全管理委員会
・糖尿病委員会
・外来運営委員会

診療情報管理部門

・診療情報提供委員会
・診療情報管理委員会
・電子パス委員会
・DPC評価委員会
・化学療法委員会
・緩和ケア委員会
・がん診療連携推進委員会
・中央手術部運営委員会
・医療ガス安全管理委員会

事務部門

・放射線安全委員会
・安全衛生委員会
・防災委員会

教育研修部門

・医療の質向上委員会
・臨床研修管理委員会
・臨床研修プログラム委員会
・臨床研修運営委員会
・救命救急実行委員会
・恵寿総合病院医学雑誌編集委員会
・臓器提供委員会
・移植対策室
・法的脳死判定委員会

看護部門

・病床運営委員会
・褥瘡予防対策委員会

恵寿総合病院　施設基準等

健康保険医療機関
国民健康保険療養取扱機関
労災保険指定取扱機関
母体保護法指定医
身体障害者福祉法指定医
更生医療指定取扱機関
生活保護法指定取扱機関
療育医療指定取扱機関
結核予防法指定取扱機関
短期人間ドック指定病院
原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱機関
健康審査機関指定病院
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診医療機関
自動車事故後遺障害認定病院
労災保険二次健診等給付医療機関
二次救急指定病院
臨床研修指定病院
日本医療機能評価機構認定証（3rdG:Ver1.1）
石川県地域がん診療連携協力病院
短期入院協力病院
産科医療補償制度加入機関
難病法の指定医療機関
児童福祉法に基づく指定小児慢性特定疾病指定医療機関
特定行為研修指定研修機関
地域における外国人患者受入れ拠点病院

〔健康保険法関係〕

一般病棟入院基本料　急性期一般入院料１
障害者施設等入院基本料　10 対 1
総合入院体制加算３
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算１
医師事務作業補助体制加算１　15 対 1
急性期看護補助体制加算３　50 対 1
特殊疾患入院施設管理加算
療養環境加算
無菌治療室管理加算１
無菌治療室管理加算２
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算１（医療安全対策地域連携加算１）
感染防止対策加算１（感染防止対策地域連携加算，抗菌薬適正使用支援加算）
患者サポート体制充実加算
ハイリスク妊娠管理加算
ハイリスク分娩管理加算
総合評価加算
呼吸ケアチーム加算
後発医薬品使用体制加算１
病棟薬剤業務実施加算１
データ提出加算２
入退院支援加算１（地域連携診療計画加算，入院時支援加算）
認知症ケア加算１
精神疾患診療体制加算
ハイケアユニット入院医療管理料２
回復期リハビリテーション病棟入院料１（体制強化加算２，充実加算）
地域包括ケア病棟入院料 2(看護職員配置加算)
入院食事療法（Ⅰ）
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理加算　イ
がん患者指導管理加算　ロ
糖尿病透析予防指導管理料
乳腺炎重症化予防・ケア指導料
院内トリアージ実施料
夜間休日救急搬送医学管理料の注３に掲げる救急搬送看護体制加算
ニコチン依存症管理料
開放型病院共同指導料
ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）
がん治療連携計画策定料
がん治療連携指導料
肝炎インターフェロン治療計画料
排尿自立指導料
ハイリスク妊産婦連携指導料１
薬剤管理指導料
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
医療機器安全管理料１
在宅療養後方支援病院
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注２に掲げる遠隔モニタリング加算
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
HPV 拡散検出
HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
検体検査管理加算（Ⅱ）
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
時間内歩行試験
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
コンタクトレンズ検査料Ⅰ
小児食物アレルギー負荷検査
ポジトロン断層撮影
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
CT 撮影及び MRI 撮影
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算１
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
導入期加算１
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む）及び脳刺激装置交換術
乳がんセンチネルリンパ節加算２及びセンチネルリンパ節生検（単独）
経皮的中隔心筋焼灼術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
胃瘻造設術
腹腔鏡下肝切除術（部分切除及び外側区域切除）
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
輸血管理料（Ⅱ）
輸血適正使用加算（輸血管理料Ⅱ）
貯血式自己血輸血管理体制加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
麻酔管理料（Ⅰ）

恵寿総合病院　学会認定施設

日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設
日本救急医学会認定救急科専門医指定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本リハビリテーション医学会認定研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本消化器内視鏡学会認定指導施設
日本乳癌学会認定関連施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本神経学会専門医制度教育関連施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本血液学会認定研修施設
日本静脈経腸栄養学会 NST 稼動施設認定証（JSPEN）
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度（I&A 制度）認定証
日本腎臓学会研修施設認定
日本呼吸器学会関連施設認定
日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設
日本産婦人科学会専門研修連携施設指定
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本プライマリ・ケア連合学会恵寿家庭医療プログラム認定
日本作業療法士協会作業療法士臨床実習指導施設
日本内科学会認定内科専門医教育関連施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設

社会福祉法人
徳充会 概要

所在地	石川県七尾市青山ろ部22番
Tel	0767-57-3309
Fax	0767-57-1531
理事長	神野　正博
職員数	456人
総ベッド数	603床

徳充会　各施設概要

障がい者事業

- 青山彩光苑リハビリテーションセンター
- 青山彩光苑ライフサポートセンター、セェレーナ青山
  〒926-0831　石川県七尾市青山町ろ部22番
- 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター
  〒927-0023　石川県鳳珠郡穴水町字麦ヶ浦15-39番地12
- 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜
  〒929-2116　石川県七尾市吉田町昭部6-1
- さいこうえんの障害者生活支援センター
  〒926-0045　石川県七尾市袖ヶ江町14-1
- さいこうえん障害者就業・生活支援センター
  〒926-0045　石川県七尾市袖ヶ江町14-1
- 石川県精育園＜指定管理＞
  〒927-0021　石川県鳳珠郡穴水町七海6-50
- 自立ホームけいじゅ、ヘルパーステーション銀河、
- 相談支援キララ
  〒927-0053　石川県鳳珠郡穴水町此木11-24

高齢者事業

- 特別養護老人ホーム エレガンテなぎの浦
- ケアハウス アンジェリィなぎの浦
  〒926-0853　石川県七尾市津向町ト部107番地4
- 地域密着型介護老人福祉施設 エレガンテたつるはま
  〒929-2121　石川県七尾市田鶴浜町リ部11番地1
- 高齢者複合施設 ローレルハイツ恵寿
- ヘルパーステーション ローレル
  〒926-8607　石川県七尾市富岡町95番地
- デイサービスセンター もみの木苑
  〒929-2121　石川県七尾市田鶴浜町リ部27番地
- デイサービスセンター ふれあいの里
  〒926-0841　石川県七尾市松百町2-57-1

その他

- 健康増進センター アスロン＜指定管理＞
  〒929-2111　石川県七尾市高田町ち部10番地

徳充会　沿革

1984年	社会福祉法人「徳充会」設立
1985年	重度身体障害者更生援護施設「青山彩光苑」開設
1989年	身体障害者療護施設「青山彩光苑」開設
	ショートステイ事業開始
1993年	療護施設50床増床
1994年	在宅障害者デイサービス事業開始
1997年	青山彩光苑ワークセンター田鶴浜開設
	バリアフリーホームセェレーナ青山開設
1999年	特別養護老人ホーム「エレガンテなぎの浦」開設
	ケアハウス「アンジェリィなぎの浦」開設
2003年	「さいこうえんの障害者生活支援センター」開設
2004年	青山彩光苑穴水ライフサポートセンター開設
2006年	デイサービスセンターもみの木苑開設
	ヘルパーステーションもみの木苑開設
2007年	特別養護老人ホーム「エレガンテたつるはま」開設
	デイサービスセンターふれあいの里開設
2011年	健康増進センターアスロンを指定管理者として運営開始
2012年	障害者生活支援センターを七尾市袖ヶ江町に移転
2013年	石川県精育園を指定管理者として運営開始
2015年	エレガンテなぎの浦　増床
	ローレルハイツ恵寿ケアハウス(一般、特定)開設
	ローレルハイツ恵寿サービス付高齢者住宅　開設
	ヘルパーステーションローレルに名称変更
2016年	相談支援キララ　石川県精育園内へ移転し、スマイルSと統合
2018年	自立ホーム穴水を自立ホームけいじゅに名称変更し、穴水町此木へ移転
	ヘルパーステーション銀河開設
	相談支援キララを自立ホームけいじゅ内に移転
2019年	人生100年時代活躍プロジェクト（Foot活、脳活）を始動

恵寿金沢病院　施設基準等

【基本診療料】

急性期一般入院料１

診療録管理体制加算２

無菌治療室管理加算１・２

感染防止対策加算２

病棟薬剤業務実施加算１

地域包括ケア入院医療管理料２

データ提出加算２

患者サポート体制充実加算

後発医薬品使用体制加算１

医師事務作業補助体制加算１

認知症ケア加算２

入退院支援加算２

【特掲診療料】

がん性疼痛緩和指導管理料

薬剤管理指導料

検体検査管理加算（Ⅱ）

時間内歩行試験

コンタクトレンズ検査料１

CT 撮影及び MRI 撮影

外来化学療法加算１

無菌製剤処理料

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）

運動器リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）

がん患者リハビリテーション料

輸血管理料（Ⅱ）

輸血適正使用加算

恵寿金沢病院　学会認定施設

臨床研修病院指定

日本血液学会認定血液研修施設

日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本眼科学会専門医制度研修施設

社会福祉法人
徳充会 概要

所在地	石川県七尾市青山ろ部22番
Tel	0767-57-3309
Fax	0767-57-1531
理事長	神野　正博
職員数	456名
総ベッド数	603床

徳充会　各施設概要

障がい者事業
- 青山彩光苑リハビリテーションセンター
- 青山彩光苑ライフサポートセンター、セェレーナ青山
  〒926-0831　石川県七尾市青山町ろ部22番
- 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター
  〒927-0023　石川県鳳珠郡穴水町字麦ヶ浦15-39番地12
- 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜
  〒929-2116　石川県七尾市吉田町昭部6-1
- さいこうえんの障害者生活支援センター
  〒926-0045　石川県七尾市袖ヶ江町14-1
- さいこうえん障害者就業・生活支援センター
  〒926-0045　石川県七尾市袖ヶ江町14-1
- 石川県精育園＜指定管理＞
  〒927-0021　石川県鳳珠郡穴水町七海6-50
- 自立ホームけいじゅ、ヘルパーステーション銀河
- 相談支援キララ
  〒927-0053　石川県鳳珠郡穴水町此木11-24

高齢者事業
- 特別養護老人ホーム エレガンテなぎの浦
- ケアハウス アンジェリィなぎの浦
  〒926-0853　石川県七尾市津向町ト部107番地4
- 地域密着型介護老人福祉施設 エレガンテたつるはま
  〒929-2121　石川県七尾市田鶴浜町リ部11番地1
- 高齢者複合施設 ローレルハイツ恵寿
- ヘルパーステーション ローレル
  〒926-8607　石川県七尾市富岡町95番地
- デイサービスセンター もみの木苑
  〒929-2121　石川県七尾市田鶴浜町リ部27番地
- デイサービスセンター ふれあいの里
  〒926-0841　石川県七尾市松百町2-57-1

その他
- 健康増進センター アスロン＜指定管理＞
  〒929-2111　石川県七尾市高田町ち部10番地

徳充会　沿革

1984年	社会福祉法人「徳充会」設立
1985年	重度身体障害者更生援護施設「青山彩光苑」開設
1989年	身体障害者療護施設「青山彩光苑」開設
	ショートステイ事業開始
1993年	療護施設50床増床
1994年	在宅障害者デイサービス事業開始
1997年	青山彩光苑ワークセンター田鶴浜開設
	バリアフリーホームセェレーナ青山開設
1999年	特別養護老人ホーム「エレガンテなぎの浦」開設
	ケアハウス「アンジェリィなぎの浦」開設
2003年	「さいこうえんの障害者生活支援センター」開設
2004年	青山彩光苑穴水ライフサポートセンター開設
2006年	デイサービスセンターもみの木苑開設
	ヘルパーステーションもみの木苑開設
2007年	特別養護老人ホーム「エレガンテたつるはま」開設
	デイサービスセンターふれあいの里開設
2011年	健康増進センターアスロンを指定管理者として運営開始
2012年	障害者生活支援センターを七尾市袖ヶ江町に移転
2013年	石川県精育園を指定管理者として運営開始
2015年	エレガンテなぎの浦　増床
	ローレルハイツ恵寿ケアハウス(一般、特定)開設
	ローレルハイツ恵寿サービス付高齢者住宅　開設
	ヘルパーステーションローレルに名称変更
2016年	相談支援キララ　石川県精育園内へ移転し、スマイルSと統合
2018年	自立ホーム穴水を自立ホームけいじゅに名称変更し、穴水町此木へ移転
	ヘルパーステーション銀河開設
	相談支援キララを自立ホームけいじゅ内に移転
2019年	人生100年時代活躍プロジェクト（Foot活、脳活）を始動

徳充会 組織図

理事会
評議員会

理事長

常務理事・苑長

障がい者事業局

・青山彩光苑
さいこうえんの障害者生活支援センター
青山彩光苑リハビリテーションセンター
セェレーナ青山
青山彩光苑ワークセンター田鶴浜

・青山彩光苑穴水
ライフサポートセンター

・石川県精育園
自立ホームけいじゅ

・青山彩光苑
ライフサポートセンター

高齢者事業局

・エレガンテなぎの浦
・アンジェリィなぎの浦
・エレガンテたつるはま
・ローレルハイツ恵寿
・もみの木苑
・ふれあいの里

事務局

・総務部
・経営企画部
・アドボカシー室
・健康増進センターアスロン

徳充会 会議・委員会

・部長会議
・障がい者部門会議
・高齢者部門会議
・教育研修委員会
・福利厚生委員会
・事例研究大会委員会

徳充会 人員の推移

凡例… 男性の人数 / 女性の人数

職種	2017.4.1	2018.4.1	2019.4.1 現在
医師	0 / 0	0 / 0	0 / 0
理学療法士	3 / 3	1 / 4	2 / 4
作業療法士	2 / 2	2 / 3	1 / 2
あん摩マッサージ指圧師	2 / 0	2 / 0	2 / 0
栄養管理士	0 / 6	0 / 7	0 / 7
健康運動士	1 / 5	1 / 5	0 / 4
社会福祉士	9 / 13	9 / 14	12 / 14
精神保健福祉士	1 / 0	1 / 0	1 / 0
看護師	0 / 21	0 / 26	0 / 27
准看護師	0 / 18	0 / 16	0 / 15
介護福祉士	54 / 142	61 / 138	62 / 141
介護職員	37 / 82	35 / 73	30 / 73
介護支援専門員	1 / 4	1 / 4	1 / 4
社会福祉主事	1 / 1	1 / 1	1 / 1
事務員	5 / 14	5 / 13	6 / 13
運転手	9 / 0	11 / 0	13 / 0
その他	7 / 9	10 / 9	10 / 10
小計	132 / 321	140 / 313	141 / 315
合計	453	453	456



2019 年 4 月 1 日　新任式　新病院長挨拶



第2章
法人報告
事業報告

2019 年度けいじゅヘルスケアシステム方針

平成から新しい時代に変わる。有史以来、最高の人口を記録した日本も平成の半ばからは、人口減時代を迎えてきた。今後、ますます労働人口の減少の波がやってくるに違いない。
加えて、国は「一億総活躍社会」の掛け声の下、働き方改革を推し進める。そこでは、仕事の質を上げ、労働時間を短縮し、ワークライフバランスを推進することがあげられている。これまでと同じ仕事のやり方で時短を実施すれば、病院の業績は、下がることになるのは自明だ。

継続的基本方針

1. 患者・利用者に信頼される医療機関・介護施設となる
2. 地域社会から必要とされる医療機関・介護施設となる
3. 経営の健全性を維持する
4. 恵寿フィロソフィの周知・浸透

単年度方針

『生産性を向上せよ！』

職員間、部署間で**業務の無駄、重複はないか？**自らの**本来業務は何か？**その上で、仕事の**タスク・シフティング、タスク・シェアリングはできないのか？**定常的な仕事は**効率化・ICT 化できないのか？**・・・すべての改善や変革を自らだけでやるのではない。部署内の仲間、他部署と話し合い、知恵を出し合い、協働する場を作った者が成功するに違いない。

TQM 発表大会（董仙会）

■前期 第 18 回　2019 年 9 月 21 日（土）ラピア鹿島 アイリスホール

セッション 1　財務の視点 顧客の視点『顧客・職員満足度 100%』 座長：恵寿総合病院 診療部長 山﨑 雅英

部署		テーマ
	本部・本院 婦人科・健康管理センター・サービス課・医療秘書課	新 女性健診プロジェクト
1 位	恵寿金沢病院管理課・ドックセンター	ドック食改善による顧客満足度向上 ～新規顧客を常連顧客へ～
	ローレルクリニック・本院 6 東・HCU・5-5F 訪問看護ステーション MSW	腹膜透析患者を安全・安心して受け入れるための業務フローを作る
	本院 6 西・6 東・5 西・5-3F・5-5F・MSW・PT・OT・ST・臨床栄養課・薬剤課	退院支援の業務フローの見直し ～タスクシェアの実践～
	恵寿鳩ヶ丘	さらなるノーリフティング介護の定着に向けて
	本院 放射線課	検診乳腺エコー運用に向けての取り組み

セッション 2　業務の視点『生産性の向上 事業競争力の強化』 座長：恵寿金沢病院人間ドックセンター 副センター長 森 清男

部署		テーマ
1 位	恵寿金沢病院 褥瘡対策委員会	スキン-テアへの取り組みについて ～ケアの向上に向けて～
	本院 6 西・6 東・5-5F・MSW・介護事業統括部門	病院－施設間での情報共有シートの活用
	本院 リハビリテーション部	医療から介護への効率的な情報共有のため、申し送り表を見直す ～リハビリテーション退院時報告書の改定～
	鶴友苑	手書きしている書類の整理と IT 化の検証 ～「生産性を向上せよ」にチャレンジしてます～
	ほのぼの	業務内容の見直しと効率化 ～ICT の活用～
	恵寿みおや・けいじゅ一本杉	業務を見直し、手書きしている書類の整理と IT 化の検証

セッション 3　業務と学習と成長の視点『データ経営の確立』 座長：恵寿総合病院 診療副部長 西澤 永晃

部署		テーマ
	恵寿金沢病院 薬剤課	服薬支援の仕組みづくり
	本院 手術室	手術室の時間内稼働率 UP にむけてデータを活用する
1 位	本院 医事課・管理課・医療秘書課・看護部	データ集約、共有できるデータベースの作成
	本院 医療安全管理課	医療安全リスクマネージャーの役割遂行 ～リスクマネジメント部会活動の見直し～
	本部 財務部 財務部資財課	物品点数の削減 ～共同購入活用～

■後期 第 19 回　2020 年 3 月 31 日（火）　（※新型コロナウイルス感染拡大により発表大会は中止にて書類審査）

『財務の視点』

部署		テーマ
	本院 臨床検査課	生理機能検査の生産性向上への取り組み ～ホルター心電図編～
	けいじゅ一本杉	地域にアピール

『顧客の視点』

部署		テーマ
1 位	本院 地域連携課	紹介件数増加を目指して ～紹介患者満足度調査の実施と新たな取り組み～
	本院 看護部 外来	また来たくなる外来を目指して
	本院 サービス課	受付の生産性を上げる ～業務の効率化～
	恵寿金沢病院 臨床検査課	生理機能検査説明による新たな取り組み ～患者の理解度・満足度の向上～
	恵寿金沢病院 医事課	利用者目線での受付・会計をめざして
	恵寿金沢病院 地域連携課・理学療法課・作業療法課・臨床栄養課	入院前から退院後までの支援の統一化を目指す ～退院支援シートの作製、運用について～
	恵寿金沢病院 放射線課	造営 CT 検査を安全に行うために
	本院 薬剤課	薬剤管理指導件数を増やそう －服薬指導支援ソフト「SATCHi」使用による評価-
	本部 総務部・情報部・企画部	職員向けポータルサイトの利用促進するために

『業務プロセスの視点』

部署		テーマ
	本院 臨床工学課	医療機関管理体制のリフォーム・輸血ポンプ管理の最適化
2 位	本院 看護部 4 東・4 西・リハビリセンター	リハビリスタッフへの吸痰技術習得への取り組み
3 位	本院 内視鏡課	全大腸内視鏡検査の取り組み ～予約枠の見直し～

『学習と成長の視点』

部署		テーマ
	和光苑	外国人スタッフがいきいきと働ける魅力ある職場作り
	本院 看護部クリニカルラダー	クリニカルラダーで看護実践能力教育の仕組みを再構築
	ほのぼの・いこい・みおや	介護技術スペシャリストの育成 ～介護技能グランプリ出場を目指して～
	本院 医事課・本部 財務部経理課	データの有用性を高める

事例研究大会（徳充会）

■大会テーマ『生産性を向上せよ　～一人ひとりの知識と資質向上～』　　◎：最優秀賞　○：優秀賞　☆：苑長賞　★：局長賞

（※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発表大会は中止）

第１部

所属　発表者	タイトル
石川県精育園 小林 禎弥、谷 良観、栃木 和美、馬場 留美	深化する
石川県精育園　森本 郁、田口 茂美、大町 みずき	本人のものさしで考える支援を目指して
石川県精育園 大屋 寛、田中 晴美、岡田 甲一、黒詰 好美	作業環境の改善と青空市場改修による生産性の向上
石川県精育園　村田 和由、他７名	ひとりで出来るよ　～集中して作業に取組める環境づくり～
石川県精育園　加藤 大輔、増山 聡、大谷 英隆	グループ名も「ゆったり」　～ゆったり班の活動報告～
ローレルハイツ恵寿　中西 直美、宮田 竜誠、石井 久美子	外出支援　～全利用者の参加を目指して～
ローレルハイツ恵寿 越岡 広美、西住 純子、浜崎 久代、林 ひとみ	愛猫とのんびり自宅で生活したい　～ケアマネとの連携の先に～
ローレルハイツ恵寿　石黒 美咲、山中 麻緒	ipad を導入して
◎ふれあいの里 青木 崇、曽我 百華、西川 繁子、高森 充子、石野 精一	ふれ愛ルームの始まり　～「楽しい！」「またしたい！」を増やすために～
青山ライフサポートセンター　折坂 香	ＳＴ評価を食事支援に活かす
穴水ライフサポートセンター　浅田 恵果	うつからの脱却
本部事務局　山下 靖一郎、龍澤 徳樹	業務効率化・省力化について　～総務課４つの改善事例～

第２部

所属　発表者	タイトル
青山ライフサポートセンター　青木 奈美	本格エステ体験　～心も体もピッカピカ！～
青山ライフサポートセンター　井上 清美	家っていうもんは何といいとこや　～自宅への外出支援～
青山ライフサポートセンター　山口 雅大	自力摂取向上に向けて　～職員の関りの工夫で変わること～
○青山ライフサポートセンター　小石 薫	ノーリフトに向けての支援　～移乗プロジェクトの取り組み～
エレガンテなぎの浦 西尾 翔、横山 陽子、坂口 詩織、向山 亜友美、寺西 恵美	ショートステイ荷物チェック　～タブレット化へ～
エレガンテなぎの浦 岡野 裕美、鈴木 彩、堀 雅季、田中 恵利子、高橋 寿季	個々に合わせたトロミ茶作り　～ONE TEAM で統一しよう～
エレガンテなぎの浦　畑 幸恵、柿島 栄美子、順毛 沙弥香	創作レクリエーションについて
エレガンテなぎの浦　鶴田 民子	口腔ケアの取り組みについて
エレガンテなぎの浦　矢部 祥平、他６名	まんで痒い GEN　～洗浄液使用による掻痒感の軽減を目指して～
穴水ライフサポートセンター　前川 芳紀	ノーリフトの定着
☆エレガンテたつるはま　橋本 奈緒子、入山 外美恵、塚 真理子	身体拘束廃止の実現に向けて
もみの木苑 亀井 真巳、津崎 智美、柿島 善浩、吉田 摩紀	制作支援　～利用者の意欲向上を実現するために～

第３部

所属　発表者	タイトル
青山リハビリテーションセンター　庵 光世	福祉サービス提供の在り方を考える　～生産性を学ぶ～
青山リハビリテーションセンター　宿谷 麟太郎	FIM 評価を実践　～利用者さんの変化を捉える～
穴水ライフサポートセンター　熊野 里美、坂口 奈保美	健康支援課の業務改善　～効率化を目指して～
穴水ライフサポートセンター　浦上 智和、藤井 律子	ケアガイドライン委員会の取り組み　～プライバシーは守られているのか～
穴水ライフサポートセンター　馬場 夏実	孫とスキップ、妻と一緒に歩くことができたら…　～応用歩行練習を通じて～
障害者就業・生活支援センター　山本 愛	就労支援に携わって　～必要な支援を行うための業務改善を図る～
ワークセンター田鶴浜　守友 宏輔	洗濯事業におけるリース品の導入とその経過～安心・安定供給を目指して～
◎自立ホームけいじゅ 前田 加余子、岡峰 悦子、田中 こず恵	強度行動障害の方が地域で生活していくために ～卒業後１年目 相談支援専門員としての関わり～
★エレガンテなぎの浦　受川 いづみ、大坂 直美、八島 舞子	日々業務改善
エレガンテたつるはま　新 浩明、北原 はるみ	夢実現プロジェクトの取り組み
ふれあいの里　中森 きみえ、出村 陽子、谷口 美帆、辻 美香	デイサービスでより楽しい時間を求め　～嬉し恥ずかし初めての販売活動～
○健康増進センターアスロン　谷口 舞、西田 さおり、浜森 希	ストレッチ教室を担当する

新聞掲載（董仙会）

日付	内容	掲載媒体
2019.4.2	希望胸に出発　新任式	北國新聞・北陸中日新聞
2019.5.9	プチナース・ふれあい看護体験	北國新聞・北陸中日新聞
2019.5.29	恵寿総合病院　鎌田新病院長に聞く	北陸中日新聞
2019.6.7	医師ら、診察後にバンド	北陸中日新聞
2019.6.29	AI 問診を北陸初導入	北國新聞
2019.6.30	初診患者に AI が問診	読売新聞
2019.7.3	恵寿総合病院、AI 問診導入	日本経済新聞
2019.7.3	恵寿こころの相談室	北國新聞・北陸中日新聞
2019.7.19	AI 問診　恵寿総合病院が導入	北陸中日新聞
2019.7.19	アイスで脳を活性化「溶けないアイス」	北國新聞・北陸中日新聞
2019.8.8	喀痰吸引研修センター開講式	北國新聞・北陸中日新聞
2019.9.22	生産性 向上させるには　TQM 発表大会	北陸中日新聞
2019.9.30	恵寿総合病院野球部　七尾市長杯優勝	北國新聞
2019.10.3	脳活アイス通信販売開始	北國新聞
2019.10.4	特定行為研修修了式	北國新聞
2019.10.7	特定行為研修修了式	北陸中日新聞
2019.10.15	溶けない「脳活アイス」をネット販売	日本経済新聞
2019.11.13	歩行改善で健康「復活」	北國新聞・北陸中日新聞
2019.11.16	歩行改善、健康「Foot 活」	読売新聞
2019.11.17	羽咋高校医志未来塾セミナー	北國新聞
2019.11.19	運動で歩きかた改善し介護予防に	NHK NEWS WEB
2019.11.28	車いすの目線で駅撮影	朝日新聞
2019.12.26	病のリスク　遺伝子解析	北國新聞・北陸中日新聞
2020.1.7	けいじゅヘルスケアシステム　新年互礼会	北國新聞・北陸中日新聞
2020.1.11	病気のリスク　遺伝子解析で	朝日新聞
2020.1.11	第 48 回医療功労賞　進藤浩美　董仙会本部長が受賞	読売新聞
2020.1.11	病院で QR コード決済	北國新聞
2020.1.15	透析情報　スマホで閲覧	北國新聞
2020.1.19	新サービス　透析患者へネットで情報	北陸中日新聞
2020.3.1	新型コロナに注意　院内感染を防ぐ	北國新聞
2020.3.8	健康経営優良法人　3 年連続で認定	北國新聞
2020.3.11	董仙会　健康優良法人（ホワイト 500）に 3 年連続認定	北陸中日新聞
2020.3.12	職員の子ども受け入れ	北國新聞
2020.3.13	馬氏返礼　マスク届く	北國新聞・北陸中日新聞
2020.3.14	丈夫がいいね　広がる認定制度㊥	北國新聞
2020.3.15	丈夫がいいね　広がる認定制度㊦	北國新聞

新聞掲載（徳充会）

日付	内容	掲載媒体
2019.5.16	公益的な取り組み（地域貢献事業）買い物支援バス	北国新聞
2019.5.17	公益的な取り組み（地域貢献事業）買い物支援バス	北陸中日新聞
2019.5.18	穴水身障福祉協　ボッチャ体験（穴水ライフ）職員講師	北陸中日新聞、北國新聞
2019. 6	穴水身障福祉協　ボッチャ体験（穴水ライフ）職員講師	穴水広報
2019.7.17	お出かけランチ	北陸中日新聞、北國新聞
2019.7.24	福祉介護の就職フェア　（徳充会）	北陸中日新聞
2019.8.12	夏祭り	北陸中日新聞、北國新聞
2019.9.15	健康麻雀大会　（穴水ライフ）	北陸中日新聞
2019.9.23	第 2 回北信越ボッチャオープン大会（穴水ライフ）	北國新聞・北陸中日新聞
2019.9.17	能登島小学校交流～車椅子体験～（青山彩光苑）	七尾市 Facebook、北陸中日新聞
2019.9.29	石川県リハビリテーション風船バレーボール大会　（青山彩光苑）	読売新聞
2019.10. 5	総合防火訓練	北陸中日新聞
2019.10.16	精育園利用者（山下祐樹氏）作品展示（のと共栄信用金庫）	北陸中日新聞
2019.10.22	高階地区ソフトボール交流大会　（青山彩光苑）	北陸中日新聞
2019.10.29	福祉交流授業　（青山彩光苑）	北陸中日新聞
2019.11. 7	精育園祭りバザー出品呼びかけ（精育園保護者会）	北陸中日新聞
2019.11.10	精育園祭	北陸中日新聞
2019.11.21	不審者対応訓練（青山彩光苑）	北陸中日新聞、北國新聞
2019.11.12	Foot 活の取組について（ローレルハイツ恵寿）	北國新聞、北陸中日新聞
2019.11.20	みそぎ防災フェス	北陸中日新聞、北國新聞
2019.11.26	青山彩光苑利用者桶屋善一氏の冊子展示会（恵寿総合病院）	北陸中日新聞、北國新聞、朝日新聞
2019.11.27	桜の木植樹式（青山彩光苑）	北陸中日新聞、北國新聞
2019.12.1	落語会 in ローレル（ローレルハイツ恵寿）	北陸中日新聞
2019.12.6	障害者週間啓発活動（穴水ライフ）	北陸中日新聞
2019.12.8	障害者週間イベント（青山彩光苑・穴水ライフ）	北陸中日新聞、北國新聞
2020.1.23	青山彩光苑利用者桶屋善一氏の冊子紹介（青山彩光苑）	毎日新聞
2020.3.11	入居者 100 歳の祝い（ローレルハイツ恵寿）	北陸中日新聞
2020.3.16	七尾鹿島防火優良従業員表彰　梶本雅浩（青山彩光苑）	七鹿防災広報

来訪者一覧（董仙会）

日付	来訪者	見学内容
2019.4.9	韓国全羅北道保健診療所職員訪問団（44 名）	けいじゅヘルスケアシステム
2019.4.16	奈良県長地域医療連携課	けいじゅヘルスケアシステム
2019.5.9	社会医療法人博愛会菅間記念病院（事務局長他、計 5 名）	けいじゅサービスセンター、SPD システム
2019.5.9	中井生活経済研究所	けいじゅサービスセンター、SPD システム
2019.5.10	厚生連 三条綜合病院（病院長 1 名）	けいじゅヘルスケアシステム
2019.5.30	社会医療法人財団 石心会（5 名）	けいじゅヘルスケアシステム
2019.6.6	医療法人弘英会琵琶湖大橋病院（理事長他、計 13 名）	けいじゅヘルスケアシステム、透析センター
2019.6.14	特定医療法人フェニックス（会長他、計 6 名）	電子カルテ、けいじゅサービスセンター
2019.6.29	金沢伝統芸能を考える会（5 名）	けいじゅヘルスケアシステム
2019.7.18	鈴鹿回生病院（2 名）	けいじゅヘルスケアシステム
2019.8.16	全国病院経営管理学会 経営企画委員会（8 名）	けいじゅヘルスケアシステム、地域連携
2019.8.19	京都第二赤十字病院（5 名）	ユニバーサル外来、建築
2019.8.22	内閣官房日本経済再生総合事務局（ 5 名）	ユニバーサル外来、電子カルテシステム
2019.8.22	東京海上日動火災保険株式会社（2 名）	ユニバーサル外来、電子カルテシステム
2019.9.3	一般社団法人 日本建築学会（11 名）	けいじゅヘルスケアシステム、建築
2019.9.10	医療法人和幸会 阪奈中央病院（理事長他、計 8 名）	けいじゅヘルスケアシステム
2019.9.13	加賀市医療センター（5 名）	AI 問診システム
2019.9.13	社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院（2 名）	電子カルテシステム、建築
2019.9.25	オレンジホームケアクリニック（4 名）	AI 問診システム
2019.9.26	白山市林中地区社会福祉協議会（17 名）	けいじゅヘルスケアシステム
2019.10.3	医療法人さわらび会 福祉村病院（理事長他、7 名）	セントラルキッチン、給食
2019.10.3	株式会社麻生 飯塚病院（3 名）	セントラルキッチン、給食
2019.10.3	社会医療法人 高清会 高井病院（5 名）	恵寿総合病院
2019.10.17	地域中核病院研究会事務局 コンタクス（9 名）	ユニバーサル外来
2019.10.23	武田薬品工業（16 名）	けいじゅヘルスケアシステム
2019.11.8	VHJ 整形部会 in 恵寿	働き方改革
2019.11.16	羽咋高校（28 名）	ユニバーサル外来
2019.11.28	社会医療法人頌徳会 日野病院 事務部（3 名）	電子カルテ
2019.11.28	加賀市医療センター 医療支援室（2 名）	ユニバーサル外来、医療事務作業補助者
2020.1.21	彦根市立病院・彦根保健所（病院長他、計 4 名）	外国人患者の受け入れ
2020.1.22	福井県済生会病院（2 名）	事務職員の人材育成

来訪者一覧（徳充会）

日付	来訪者	見学内容
2019.5.22	和倉温泉加賀屋（雪月花歌劇団・石黒サンペイ）	青山彩光苑　慰問交流
2019.6.14	国分町老人会	青山彩光苑　施設説明
2019.7.4	羽咋市社会福祉協議会	石川県精育園　見学
2019.7.11	ジャノメミシン工業(株)金沢支店	青山彩光苑　ミシン寄贈
2019.7.11	石川県田鶴浜高等学校衛生看護科専攻科（教員 2 名、2 年生 35 名）	青山彩光苑　見学
2019.7.25	輪島市町野地区社会福祉協議会　10 名	ローレル　施設の概要と運用　見学
2019.9.24	七尾市立朝日小学校 4 年生	青山彩光苑　福祉体験
2019.9.26	白山市林中地区社会福祉協議会　20 名	ローレル　施設の概要と運用　見学
2019.10.2	ドラゴンゲートプロレス	青山彩光苑　利用者交流
2019.11.19	社会福祉法人南陽園（サービス管理責任者・介護主任）8 名	施設見学 (青山ライフ・リハ・精育園・穴水ライフ)

董仙会中期計画　2018-2020（2018 年策定）

■継続的基本方針

法人が社会に選ばれ続けるために、「石川県と言えば恵寿である」と全国から評価される法人を創ってきた。しかし、そのことを恵寿の膝下である地域住民に理解されているだろうか？その前に職員は理解しているのだろうか？職員は、恵寿フィロソフィに則り素晴らしい恵寿、一流の恵寿となるために常に創造して欲しい。そして新たな恵寿ブランドを創って行かなければならない。

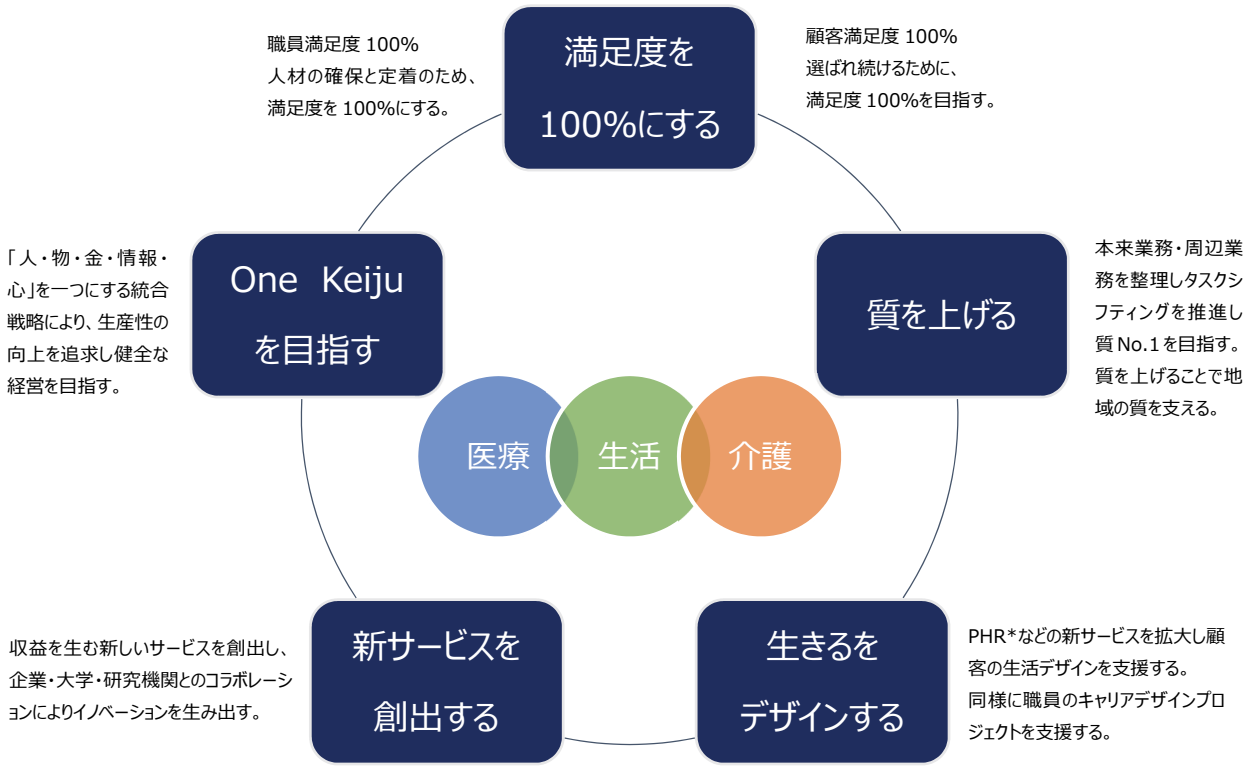
□継続的基本方針を達成するための基本戦略

【チャレンジ精神を持ち常に創造する】

今、顧客の価値観が変わってきている。これに対応して私たちは新しい価値を見出していかなければならない。かかりたい病院、家族を利用させたい施設を創り出すことに邁進しなければならない。今までのサービスを全く新しいものに作り直すくらいの気概が必要である。

【恵寿ブランドの創出】（ブランディング）

法人は、これから ①満足度を 100%にする ②One Keiju を目指す ③生きるをデザインする ④質を上げる ⑤新サービスを創出する 以上を実現し、新たな恵寿ブランドを創って行く。



PHR*とは、パーソナルヘルスレコード(Personal Health Record)を示す。個人が、自らの生活の質（QOL）維持や向上を目的として、自らの生涯健康情報を収集・保存・活用する仕組み。董仙会では MDV 社の「カルテコ」を導入。

■法人のあるべき姿・顧客のあるべき流れ

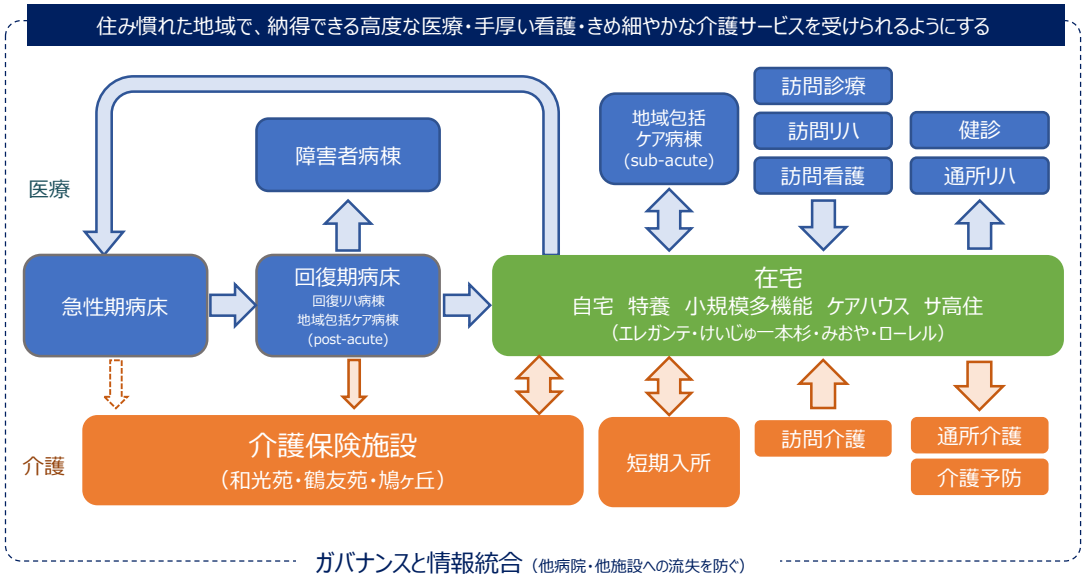
基本戦略、施策を達成する前提として、能登地域・金沢地域の方針・顧客のあるべき流れを図に示す。すべての職員が理解し、業務を遂行しなければならない。

□能登地区方針

住み慣れた地域で、納得できる高度な医療・手厚い看護・きめ細かな介護サービスを受けられるようにする。

職員は既存の施設・サービスを最大限に活用し顧客の流出を防ぎ、けいじゅヘルスケアシステム内で完結するようにガバナンスと情報統合を強化する。

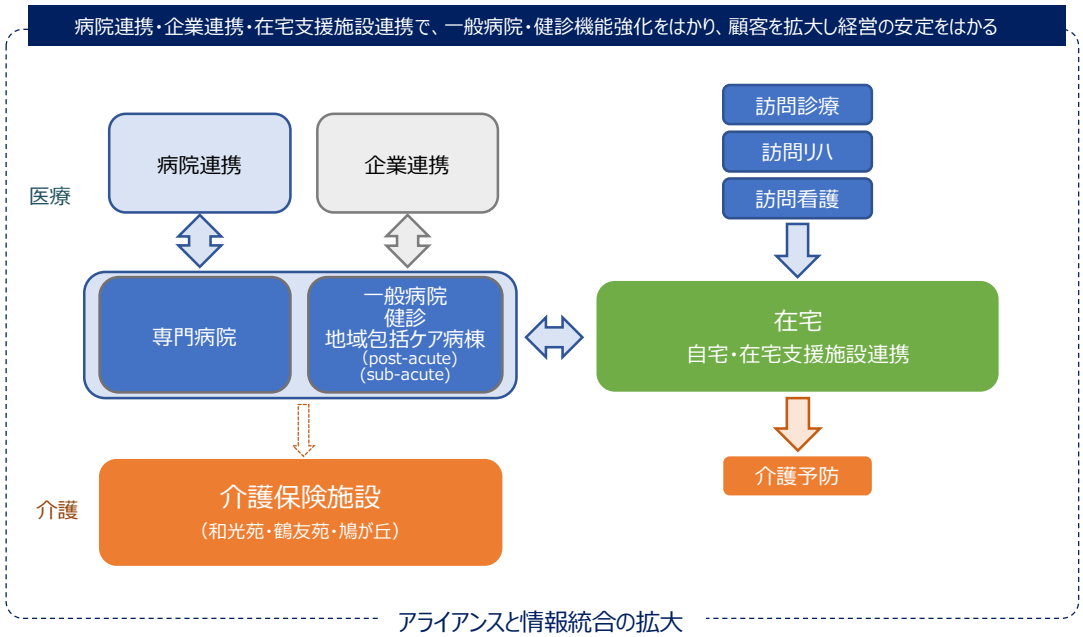
董仙会のあるべき姿（能登地区）



□金沢地区方針

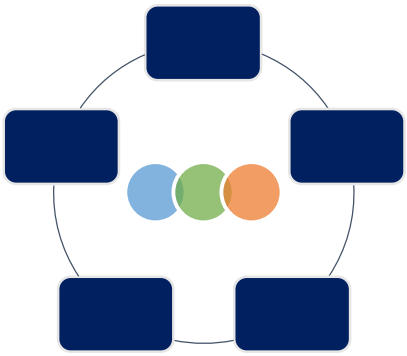
病院連携・企業連携・在宅支援施設連携で、一般病院・健診機能強化をはかり、顧客を拡大し経営の安定をはかる。

董仙会のあるべき姿（金沢地区）



■継続的基本方針を実現する方法

継続的基本方針と、現状の姿（SWOT 分析）のギャップを以下に示す。強みを活かし、弱みを補いながら 3 カ年で目指す将来像に到達することを目標とする。



【積極戦略】 **顧客満足度 100%** **“恵寿式”地域包括ヘルスケアサービスの完成** **【差別化戦略】** **Only1，No1，新規事業の推進** **恵寿ブランドの確立**	目指す将来像	**【改善戦略】** **職員満足度 100%** **データ経営の確立・PDCA 遂行** **【克服戦略】** **戦略的リクルート・人材育成** **地域事業者との戦略的な連携・協働**

現状の姿

強み　S	弱み　W
①地域包括ケアをグループ内で提供可能 （医療・介護福祉・健診、居宅支援、サ高住、給食） ②医療介護施設間で情報共有（統合電子カルテ） ③地域最大級のサービス規模、専門スタッフ数 （リハビリ、産科、家庭医医療、麻酔科医） ④Only1 のサービス（コールセンター、楽のり君、ユニバーサル外来、医療介護統合電子カルテ） ⑤地域 No1 の実績（無痛分娩、内視鏡、*血液・呼吸器内科、心臓血管外科、糖尿病内科、乳腺外科） ⑥能登中北部エリア＋金沢* で事業展開 ⑦地域との強いつながり（行政、医師会、商工会） ⑧全国区の知名度、リーダーシップ	①顧客の増加が乏しい ②職員への周知、職種間の連携が不十分 ③建物・設備が老朽化している施設がある ④けいじゅヘルスケアシステム内で完結させる意識が不十分 ⑤慢性的な人材不足 （医師、看護師、介護職、薬剤師等） ⑥経営意識、コスト意識が低い ⑦IT データの活用・分析力が弱い ⑧急性期指標が低下（機能評価係数Ⅱ、DPC 単価） ⑨情報セキュリティ対策 ⑩けいじゅヘルスケアシステムには訪問看護ステーションがない ⑪これからの高齢者に対する新しいサービスが不十分 ⑫恵寿ブランディングが不十分
機会　O	**脅威　T**
①ターゲット顧客（高齢者）が減らない地域 ②事業内容と政策・制度の方向性が合致 （地域包括ケア、QOL、タスクシフト） ③競合相手が増えない地域 ④事業エリアの拡大が可能な地域（金沢） ⑤石川県ドクターヘリ 2018 年運用開始	①労働人口の減少・少子高齢化 ②医療・介護報酬の抑制 ③地域・行政からの過大な要請・期待 ④既存競合の事業力が向上 ⑤原発 30km 圏内（能登地域）

■継続的基本方針の実施計画

2020 年度までの 3 カ年実施計画を以下に示す。

初年度は主に改善・克服戦略、次年度は積極・差別化戦略を遂行し、3 年後の目指す将来像を完成させる。

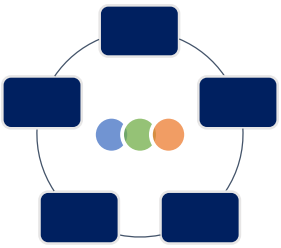
2018（改善・克服）
「創れ、恵寿バリュー！」
社会構造の変化への対応を見据え、職員と顧客が共有できる価値を創造する

- 恵寿式チーム医療の完成
- 職員満足度 100%達成
- データ経営の確立
- 高度医療・専門医療の強化
- PHR 事業の拡大
- 顧客に選ばれる仕組みづくり
- 他病院・施設への流出防止
- 競合事業者との戦略的な連携
- 二次医療圏外からの顧客獲得
- 戦略的リクルート
- 病院施設設備計画策定開始
- One Keiju 計画開始

2020
「経営品質の高さ」
×
「顧客による社会的評価」
恵寿ブランド力の向上

- ①満足度を 100%にする
- ②One Keiju をつくる
- ③生きるをデザインする
- ④質を上げる
- ⑤新サービスを創出する
- 上記 5 施策の完成
- →「石川＝恵寿」の完成

2018
2019
2020



2019（積極・差別化）

- 病院・施設の設備計画の完成
- 七尾＋金沢 One Keiju（統合戦略）による経営資源の最大活用
- 顧客満足度 100%達成
- サービスの質の進化によるシェア拡大
- 産学連携コラボレーションによるサービス開発

■継続的基本方針　戦略目標



2020 年度までに継続的基本方針を達成するための 5 施策

①満足度を 100%にする　②One Keiju を目指す　③生きるをデザインする　④質を上げる

⑤新サービスを創出する　に対する具体的な戦略目標例を示す

財務の視点

1.　顧客の生涯健康維持をサポート

リテンションマーケティングを行い既存利用者との結びつきを強めるとともに、新規利用者の獲得を行う

患者、利用者とのつながりを強化するために PHR を拡充する

2.　将来にわたる事業の発展、地域への貢献

経営の健全性を維持するため、生産性を向上させ、医業収入の黒字化、医業外収入の増加を目指す

サービスの質で競合を超越し、金沢での拡大、能登での充実を図る。人件費率（医療、介護）の適正化を行う

顧客の視点

1.　顧客満足度 100%

顧客の価値観の変化に則した魅力ある医療・介護施設群へとゼロからの転換を図り満足度 100%を目指す

2.　職員満足度 100%

職員の健康と幸せを築くために「健康経営×キャリアデザイン・プロジェクト」を推し進め満足度 100%を目指す

3.　恵寿ブランドの創出

選ばれ続けるために、「七尾＝恵寿」、「石川＝恵寿」となるようなコーポレートアイデンティティ＝ブランディングの完成を目指す

4.　“恵寿式”地域包括ヘルスケアサービスの完成

徹底した顧客満足度向上のためにサービスをいつでも　安心して受けられるようにする

「どうすれば利用してもらえるのか」「継続的な利用をどうやって実現するか」をデザイン思考で完成させる

5.　専門技術・知識、現場力の蓄積　成長・やりがいの実感

医師・看護師・その他医療技術職の専門性を発揮するためにタスクシフティングやキャリアチェンジを推進する

業務プロセスの視点

1.　顧客参画型恵寿式チーム医療の完成

既存サービス＋患者利用者の参画、職員のお互い様意識を醸成（多様性理解）し合う環境作りを行う

2.　事業競争力の強化・差別化

急性期機能・高度医療（救急・がん・脳卒中・心臓・呼吸器外科・整形外科・健診）を強化するために医師の招聘を（3 年後 100 名体制）行い患者・利用者の流出を防ぐ

3. 経営資源の効果的・効率的な運用

経営資源「人・物・金・情報・心」の効率的な運用を行い、生産性の向上を目指す

限られた人的資源を最大限に活かす統合戦略を行い遠隔診療・テレワークなどの働き方改革を行う

4. Only1、No1 領域の確立

恵寿の絶対的な強みである「医療介護統合電子カルテ」、「セントラルキッチン」、「コールセンター」、「楽のり君」、「ユニバーサル外来」、「産科」、「家庭医療」、「無痛分娩」、「内視鏡」、「血液内科」、「乳腺外科」、「呼吸器内科」、「心臓血管外科」、「糖尿病内科」、「回復期リハビリテーション」を確立し収益事業化する

5. データ経営の確立・PDCA 遂行

原価管理、DPC ベンチマーキング、Quality Indicator などデータに基づく経営を確立する

6. 将来への事業基盤の構築

老健施設、金沢病院の改修計画、病床・病棟の再編・医療機器、IT 投資計画等 BCM として病院・施設設備計画を完成させる

7. 収益を生むイノベーションの創出

企業・大学・研究機関との AI、IoT を利活用した「既存サービス×医療」コラボレーションによる収益を生む新たなサービス開発を行う

学習と成長の視点

1. 事業環境の精緻な分析と情報共有

競合環境やマーケットシェアを分析し、既存顧客の流出防止と新規獲得を行う

2. BSC 目標管理の徹底革新とチャレンジ精神の醸成

全ての職員が、法人のミッション・ビジョン・戦略テーマを納得・理解し BSC の定着と PDCA を推進する

職員自身が自発的に考え行動することを目指す

3. 戦略的リクルート・連携・協働

戦略的なブランディング、広報による優秀な医師・看護師・介護職獲得のためのリクルート活動を行う

競合事業者との（急性期リハビリ、介護事業者、小児科、婦人科、精神、歯科） Win-Win な連携を行う

4. 人材マネジメントの強化

キャリアビジョンの提示、全体最適を図る人材育成を組織を挙げて取り組み次世代リーダーを育成する

董仙会本部

董仙会本部

■常務理事　　■本部長

神野 厚美　　進藤 浩美

■2019 年度のトピックス、実績

下記が、新たな取り組みである。

生産性を上げる	給与・人事システムの入替、AI 問診開始 RPA 導入準備、介護事業所に申送りシステム導入
顧客満足度を上げる	健康優良法人ホワイト 500 認定、365 日 24 時間けいじゅ心の相談室・遠隔産業医面接開設、年次有給休暇 5 日間取得 100%、けいじゅ健康保険組合の設立、介護事業所のわかりやすい名称変更、ポータルサイトリニューアル、バーコード決済実施
only1 No1 の確立	脳活アイス、遺伝子解析サービスの販売開始、Foot 活プロジェクト開始、情報部・企画部・生活支援部も ISO 取得

■事業報告

① 本院と鳩ヶ丘の収益増が、法人の利益に貢献した。

② 投資としては、サーバー更新、パックス入替、給与・人事システムの入替をした。補助金を利用して、和光苑の給湯設備更新・LED 照明に変更、介護施設の非常用発電機を整備した。

③ 組織規程を変更し、層の整合性を整備した。「居宅介護支援事業所」を「ケアマネステーション」にするなど一般の方にわかりやすい名称に変更した。

④ 第三者評価として、健康経営優良法人ホワイト 500 に認定され、ISO9001 を情報部・企画部・生活支援部が新たに取得した。

⑤ 下記の新しいプロジェクトを始動した。

・本院に AI 問診を開始

・365 日 24 時間の職員向け「けいじゅ心の相談室」、遠隔産業医面接を開始

・けいじゅ健康保険組合を設立

・溶けない脳活アイス、遺伝子解析サービスの販売開始

・介護事業所での Foot 活プロジェクト開始、『介護まるわかりブック』、リーフレットを制作

総務部 総務課

■部長

松田 久良

■2019 年度のトピックス、実績

新たな取り組みは、下記のとおりである。

生産性を上げる	① 給与・人事システムの入替により、電子申請を実施・組織規程の改訂
顧客満足度を上げる	② 健康経営対策室を設置、健康経営に関する業務を強化（3 年連続健康経営優良法人ホワイト 500 として認定）、けいじゅ心の相談室を開設し、遠隔産業医システムを構築、全職員年次有給休暇 5 日以上取得 、けいじゅ健康保険組合設立準備 ③ 定年制を廃止するための就業規則、給与規程、退職金規程の改訂検討 ④ ポータルサイトの刷新
学習と成長	⑤ キャリアデザインプロジェクト E-learning 開始

■事業報告

① 給与人事システムの本格稼働により、時間外・有給休暇データの集計作業、電子申請、年末調整作業の大幅な業務効率化を実現した。人事システムの稼動のためにも、部署、役職名等組織を見直し、組織規程を改訂した。

② 健康経営対策室を設置し、ヘルスリテラシーを上げるべく、健康課題の明確化、対策と共に法人外公開した。結果、全国 100 位以内で認定された。ストレスチェックの受検率は 91.4%と昨年 90.2%より意識向上が見られた。また、メンタルヘルスへの対策として、365 日 24 時間対応可能な『けいじゅ心の相談室』を開設し、長時間労働の医師等が法人外の産業医と面談できる体制も構築した。また、今年度、全職員年次有給休暇を 5 日以上取得 100%できた。さらに、職員の健康維持向上を目指して、「けいじゅ健康保険組合」の設立を申請し、2020 年 4 月 1 日に設立した。

③ 60 歳を越えても安心して働くことができる体制を構築するために、定年制の廃止にともなう規程変更を検討した。

財務部

■部長

安井 智美

■2019 年度のトピックス、実績

データ経営を確立し分析力を強化する為に、恵寿総合病院事務部と協働し分析チームを立ち上げた。分析ツールの操作習得から開始し、経営層へのプレゼンテーションや活動内容を TQM 活動として纏めるなどのマネジメントを行った。

開催		内容
第 1 回	7 月 26 日	キックオフ
第 2 回	7 月 31 日	DPC 分析ソフト研修①
第 3 回	8 月 21 日	DPC 分析ソフト研修②
第 4 回	8 月 27 日	症例検討発表会①
第 5 回	9 月 17 日	DPC 分析ソフト研修③
第 6 回	9 月 24 日	症例検討発表会②
第 7 回	10 月 21 日	症例検討発表会③
第 8 回	2 月 25 日	症例検討発表会④

■事業報告

① データ分析チームの立ち上げ
恵寿総合病院事務部と協働したデータ分析チームは、メインメンバーを医事課係長として活動を開始した。実際のデータを用いて DPC 分析ソフトの操作習得を進めた事によって、既存業務の効率化に繋げる運用を検討したり、メンバー以外の医事課職員に対しても活動報告を通して周知を進めた。

② ISO9001：2015 更新審査+拡大審査 承認
昨年までの内部監査は本部と恵寿総合病院事務部が別々に行っていたが、今年度からは相互監査とし、監査員も合同でチーム分けを行い 50 回計画・実施した。お互いに助言し合う事は大変有意義であり、それにより他部署の業務内容の理解を深めると同時に自部署の業務内容の見直しを進める事が出来た。

③ 人材マネジメント強化の為、キャリアプラン作成
経理課に新規採用 1 名と資財課に部署異動 1 名の配属があったが、キャリアプランに沿って順調に育成を進める事が出来た。

財務部　経理課

■課長

河合　隆志

■2019 年度のトピックス、実績

医療費等口座振替依頼書を改訂した。

新たに介護サービス料の【ゆうちょ銀行】口座振替可能となった事業所　※11 の事業所で利用可能となった
◆恵寿みおや
◆けいじゅ一本杉
◆恵寿ローレルクリニック

■事業報告

① 医療費等口座振替依頼書を改訂し、利用者の利便性を図った。
② 作業効率を図る中で、支払調書をオンライン作成。
③ ISO 内部監査主管部門として年間計画を本部長と共同策定し、本部と本院病院事務部の相互監査を実施。

財務部　資財課

■課長

池岡　一彦

■2019 年度のトピックス、実績

① 業者と他部署との３者月間定例会議スタート（対２業者）。
② 内視鏡装置リース契約見直し。
③ 恵寿総合病院５病棟、恵寿金沢病院のナースコール入替。
④ 医療用自動血圧計を恵寿総合病院に導入。

■事業報告

① 業者との定例会議を開始し、他部署からのクレームや物品不足件数の削減を目指した。
② 内視鏡装置リース契約を見直し、契約金額を当初より約 18%削減できた。
③ 医療用自動血圧計の採用により、感染管理に対応できた。

企画部　企画課

■部長　進藤　浩美　　■常務理事　神野　厚美

■2019 年度のトピックス、実績

けいじゅヘルスケアシステムの全介護施設をだれもがわかりやすく理解できるように「介護まるわかりプロジェクト」を展開した。一般の方向け各施設のリーフレットを作成と、職員向け「恵寿まるわかりブック 2020（介護編）」を発行し、説明会を開催し、関係部署への配布を行った。

介護まるわかりプロジェクト スケジュール

７月	キックオフ
８月	全体・各施設ヒアリング、写真撮影
９月	リーフレット、まるわかりブック作成
10 月	校正、発注
11 月	納品、説明会、配布

■事業報告

① 2018 年の業績集を作成し、6 月の理事会で資料として活用した。
② 人生 100 年時代活躍プロジェクトの一環として、「Foot 活プロジェクト」を企画し、石川県立大学宮口和義教授と神野理事長の対談企画や「Foot 活体操」冊子の制作、Foot 活サンダルの販売を主導した。
③ けいじゅヘルスケアシステムのコーポレートサイトの立ち上げ準備をスタートさせた。2020 年春に公開予定。
④ 開業医が患者を紹介する際に活用してもらう目的で、医師それぞれの得意なことや専門分野を「Only1」として掲載した恵寿まるわかりブック（医療編）を作成した。開業医をはじめ、近隣のケアマネジャーや訪問看護ステーションに配布した。また、法人職員全員にも配布し、医師の情報を改めて理解してもらった。
⑤ マスコミ向けのプレスリリースを年間で 24 回行い、新聞掲載やニュース放映につなげ、地域にむけて法人の取り組みを PR した。また、HP、Facebook、ラジオななおで最新の情報をタイムリーに発信した。

情報部 情報管理課

■部長　　■課長

進藤 浩美　　小澤 竹夫

■2019 年度のトピックス、実績

今年度は董仙会全施設の PACS 切替と恵寿金沢病院の医事システムを新版に切り替えた。また、一部の部門システムのサーバー統合を行い、ハードウェアの TCO 削減を行う仕組みを整えた。また、メールのクラウド移行を行い、テレワークを行えるようにした。

導入・更新システム一覧

・Seavo（恵寿総合病院、恵寿金沢病院）
・新版医事システム（恵寿金沢病院）
・既読管理システム（恵寿総合病院）
・訪問看護ステーション（恵寿金沢病院）
・Office クラウド移行
・ポータルサイト再構築
・サーバー仮想化統合（給食システム）

■事業報告

① 董仙会全体の PACS を切替、ソフトウェアサービスの Seavo に統一した。電子カルテと同一メーカーになったことにより、電子カルテとのシームレスな連携が行えるようになった。また、所見システムもバージョンアップし使い勝手が良くなった。

② 以前から懸念事項であった所見確認漏れを防止するために既読管理システムを導入し、医療安全の向上に繋がった。

③ 恵寿金沢病院の医事システムを Newton' 2 にバージョンアップした。来年度は電子カルテシステムも Newtons'2 にバージョンアップ予定。

④ 恵寿金沢病院の訪問看護ステーション立上げに伴い、訪問看護ステーション用のシステム導入を行った。

⑤ メールシステムをオンプレミスからクラウドに移行した。これにより、コミュニケーション向上とテレワーク推進に繋がった。

⑥ 恵寿総合病院と恵寿金沢病院のパソコン（デスクトップ、ノート）100 台の更新を行い、業務の生産性が向上した。

⑦ ポータルサイトをリニューアルし、職員への情報共有やコミュニケーションの円滑化に繋がった。

生活支援部

■部長

梅田 信一

■2019 年度のトピックス、実績

今年度よりめぐみ販売、レンタルステーション恵寿を所管業務に追加した。月 1 回めぐみニュース（チラシ）を発行した他、脳活アイス、Foot 活サンダル、ジェノプラン、携帯空気清浄器の販売を開始した。

・脳活アイス販売実績（2019.7～2020.3）

	件数	個数
めぐみ	88	1,919
ネット	11	211
ローソン	13	196
試供・研修等	88	2,013
合計	200	4,339

・その他商品の販売実績

商品	販売数
Foot 活サンダル	60 足
ジェノプラン	13 個
空気清浄機	12 個

■事業報告

① ISO の審査にて生活支援部が今年度認証された。
修繕年間計画と履歴管理表を整備して進捗管理、予算執行状況を管理した。

② FM 業務について
a） 介護事業所不用品処分（倉庫整理）にて 5 S 実施
b） 和光苑・鶴友苑に止水板を設置して水害に備えた

③ ベンリ―事業について
12 月で業務開始後 1 年が経過した。
販促活動として、職員キャンペーンを季節毎に 4 回行った。新規顧客獲得については、新聞折込を月 2 回実施、フリーペーパーへの広告を 1 回実施した。
年間問合せ件数 487 件、作業件数 374 件

④ めぐみ販売、レンタルステーション恵寿について
めぐみの業務を周知することを目的にめぐみニュース（チラシ）月 1 回発行を開始し、新規顧客獲得につなげる活動強化した。董仙会の新規事業である、脳活アイス、Foot 活サンダル、遺伝子解析キットなど商品の販売を開始した。

キャリアデザインプロジェクト

■委員長

松田 久良

■2019 年度のトピックス、実績

全員研修 E-lerning を開始したが、各期、修了者が減少。

	6 級	5 級	4 級	3 級	2 級	1 級	合計
4 月-7 月	2	39	98	171	145	235	690
	40%	80%	80%	72%	72%	67%	72%
8 月-11 月	3	12	49	92	93	197	446
	60%	24%	40%	39%	46%	56%	46%
12 月-3 月	0	10	43	66	65	129	313
	0%	20%	35%	28%	32%	37%	32%

■事業報告

① 5 年研修は、恵寿金沢病院 5 周年を記念し金沢にて開催、116 名の参加だった。20 年研修は、初めて北陸電力志賀原子力発電所、鳩ヶ丘、来迎寺見学コースを入れた。

② E-learning の新たな 5 コンテンツ（60 歳の手続き、ビジネスマナーの基本、健康経営、BCP 停電編、20 代からの資産形成）を作成、録音できず未完成。

TQM 委員会

■委員長

安井 智美

■2019 年度のトピックス、実績

若手職員（2 級、3 級者）の育成を目的に、発表大会の準備に参加する職員を各部門から選抜した。

本院	事務部：2 名、看護部：2 名、技術部：2 名
金沢	看護部：1 名
介護	和光苑：2 名、鳩ヶ丘・いこい・ケアマネ：各 1 名

■事業報告

① 前期は 9/21 ラピア鹿島で、特別審査員に北陸中日新聞 室木泰彦七尾支局長をお迎えし実施した。3 セッションの内 2 セッションで恵寿金沢病院が優秀賞を獲得した。

② 後期は 3/14 七尾サンライフプラザで、特別審査員に北國新聞 岩田稔弘七尾支社長をお迎えし実施を予定したが、新型コロナウイルスの影響で中止した。

広報委員会

■委員長 ■オブザーバー

進藤 浩美 神野 厚美

■2019 年度のトピックス、実績

法人の広報活動について検討・実行した。

	内容
製作物	広報誌、マンスリーレター、各種パンフレット、HP、サイネージ、フラッグ
メディア	ラジオななお、プレスリリース、広告

■事業報告

① 周知事項やイベント情報について検討し、外部には広報誌、マンスリーレター、プレスリリースなどを通じて情報を発信した。また、職員に向けてはメールやポータルサイトを活用し、情報共有・周知を図った。

② ラジオななおを活用し、法人の最新情報を地域に向けてお知らせした。放送したものを映像コンテンツとして病院内の医療情報ラウンジで放送した。

福利厚生委員会

■委員長

安井 智美

■2019 年度のトピックス、実績

クラブ活動登録を開始した。（12 月 1 日現在）

名称	部員数
恵寿総合病院野球部	12 名
恵寿フットサルクラブ	9 名
クオリア倶楽部	5 名

■事業報告

7 月：七尾港まつり総踊り

→董仙会全体で約 180 名参加

12 月：けいじゅヘルスケアシステム大忘年会

→董仙会 366 名、徳充会 107 名

パートナー企業他 51 名、合計 524 名

他、ボウリング・ソフトバレーボール・ヨガなど

病院・施設委員会

■委員長

吉田 茂和

■2019 年度のトピックス、実績

委員会の活動内容は以下の通りである。

開催日	内容
毎月 第２金曜日 16:30～17：00 （月１回）	各施設より稼働状況の報告 円滑な連携のための情報共有 新たな取り組みの紹介　など

■事業報告

① 生産性向上のため、Wi-Fi 環境整備施設を増やし、申し送りシステム「Dance Care」の増強を図った。

② 「介護医療連携用紙」の運用について協議した。

③ 「Foot 活プロジェクト」について周知した。また、「Foot 活サンダル」や「Foot 活体操」の活用について情報交換・情報共有を行った。

外国人職員受入れプロジェクト会議

■委員長

松田 久良

■2019 年度のトピックス、実績

インドネシア人の介護技能職の受入事業に着手。

	内容
2019.3	現地視察、面接(董仙会２名、徳充会３名内定)
2019.4 ～ 2020.3	・受入れ研修６回〔風習、生活習慣、食事、宗教〕 ・教育プログラム作成　・教育担当者の外部研修 ・祈りの部屋設置　・入国手続き（於：和光苑）

■事業報告

① 2019 年 4 月中国人看護師 IMS プロジェクトは、准看護師 1 名を採用でき、瀋陽プロジェクトは 5 名採用予定が、看護師 2 名、准看護師 1 名となった。

② 2020 年 4 月 IMS プロジェクトでは准看護師 1 名採用、瀋陽プロジェクトでは採用予定の 2 名が日本語検定 1 級に合格できず、採用に至らなかった。

地球温暖化対策推進本部会議

■委員長

梅田 信一

■2019 年度のトピックス、実績

エネルギー使用に係る原単位について、2018 年度は前年比の 97.8%となり、エネルギーの使用を削減できた。

2016 年度	2017 年度	2018 年度
0.07426	0.07627	0.07627
前年比	100.7%	97.8%

■事業報告

① 2018 年度の省エネ補助金にて、鳩ヶ丘の空調をファンコイル型空調から高効率空調機へ更新、および照明設備 LED 化に伴う効果にて 2018 年度のエネルギー使用に係る単位が下がったと考えられる。

② 2019 年度は和光苑の西棟にて給湯設備を A 重油から電気ボイラに更新および照明設備を LED 化を行い、省エネルギー化を推進している。

けいじゅ FM 会議

■委員長

梅田 信一

■2019 年度のトピックス、実績

各種補助金事業を実施した。

	内容
和光苑	省エネ補助金事業 （給湯設備・照明・キュービクル更新）
鶴友苑	補助金事業（非常用発電機整備）

■事業報告

① 各介護事業所の倉庫整理を行い不用品処分を実施し必要物品の収納を整理した。

② 災害時井水供給設備設置を用いた地域防災訓練を実施した。

③ 主な改修工事
・和光苑、鶴友苑　止水板設置　玄関改修
・和光苑　祈祷室整備
・金沢病院　正面エントランス改修　婦人科健診室改修

クリーン会議

■委員長

梅田 信一

■2019 年度のトピックス、実績

オリックスファシリティーズ恵寿事務所は本社より以下の 3 部門を受賞した。

1．業務負担軽減策 最優秀賞

ウィンドウロボット導入によるコスト削減＆安全作業の確保

2．2019 年度優良事業所認定

3．2020 年度の安全対策の標語で最優秀賞を受賞

■事業報告

① 恵寿総合病院の落下針（清掃時発見）は2018年度 20 件より対策にて 4 件と件数が大幅に減少した。

② ファイバースコープを導入して、配管を衛生的に清掃を行えるようにした。

けいじゅヘルスケアシステム給食戦略会議

■委員長

進藤 浩美

■2019 度のトピックス、実績

セントラルキッチン（デリカサプライセンター）と各病院等のサテライトキッチンでの給食提供システムについての問合わせ、見学が多かった。医療福祉設備学会からの依頼により学会誌にセントラルキッチンの業務とその効果をまとめた。

病院名	人数
函館五稜郭病院、福祉村病院、麻生飯塚病院	10

■事業報告

① 各サテライトの生産性向上のため、デリカにて皮むき機器を導入し、フルーツカット業務を移行した。

② 生野菜消毒をカット野菜工場での標準殺菌方法を導入し、オゾン水精製のメンテナンス費用を削減した。

③ デリカの BCM として、休日待機者を置いた。各事業所の食器を順次更新し、コップの標準化を図った。

健康委員会

■委員長

松田 久良

■2019 年度のトピックス、実績

健康経営優良法人「ホワイト 500」を申請し、上位 100 位以内で認定され、3 年連続の認定となった。

今年度の新たな取組み
・健康経営対策室を設置 ・健康課題等を法人外へ情報開示
・ヘルスリテラシーの強化
・365 日 24 時間電話相談可能な『けいじゅ心の相談室』開設

■事業報告

① かがやき健康企業認定証（全国健康保険協会石川県支部）を 3 年連続認定された。

② 腰痛発症を予防のため『持ち上げない介護』を推進、メンタルヘルス対策として、『けいじゅ心の相談室』『オンライン産業医面接』を準備し、ワークライフバランスとしての年次有給休暇 5 日以上取得を全職員達成した。

個人情報管理委員会

■委員長

進藤 浩美

■2019 度のトピックス、実績

新たな個人情報マネジメントシステムを構築した。

会議名	メンバー
個人情報管理委員会	管理者、部門管理者で構成 管理者：部門長 部門管理者：院長、院長、施設長
個人情報委員会 （事業所ごと設置）	部署責任者、担当者で構成 責任者：部長 部署担当者：科長、課長、所長

■事業報告

① 個人情報マネジメントシステムの見直しを開始した。

② 董仙会プライバシーポリシーを策定し、周知を開始した。

③ 33 部署の監査を実施し、集計中である。

④ 電子カルテ不正アクセス監査を実施し、アクセス職員へのヒヤリングを行い、是正措置をとった。

⑤ 入院・入所時の情報開示留保説明の再確認を実施。

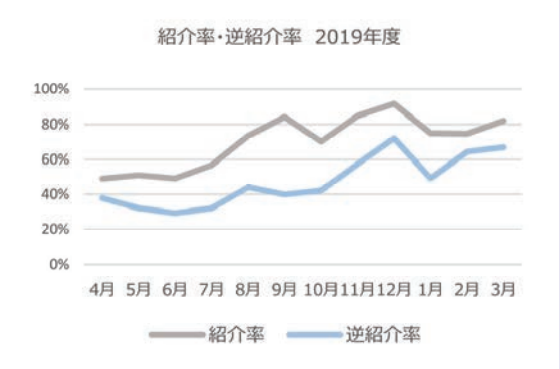
恵寿総合病院

■病院長

鎌田 徹

■2019 年度のトピックス、実績

地域医療支援病院が承認された。承認要件の中で紹介率・逆紹介率が問題であったが、下図のごとく夏から両者とも増加し、最終的な紹介率・逆紹介率はそれぞれ 67.3%、44.6%であった。2 月・3 月は新型コロナウイルス感染が大問題となり、外来患者数は 10 数%減少した。



■事業報告

① 入院においては、急性期病棟の4指標である病床稼働率、平均在院日数、看護必要度Ⅰ、入院単価はそれぞれ87.9%、15.1日、31-34%、47,157円であった。それ以外に重要な指標である救急車受入台数、入院患者数、手術件数（全身麻酔）は1,529台、6,393人、1,704（933）件であり、ほぼ前年と同様であった。また地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、障害者病棟の稼働率はそれぞれ89.1%、93.8%、98.3%であった。

② 外来においては、AI問診を多くの診療科で導入した。またかかりつけ医からの要望が多い紹介患者の予約や初診患者の予約も増加した。

③ 全職員が有給休暇取得5日以上を取得した。

④ 地域医療支援として、能登地域の医療機関で当院の眼科、脳外科、糖尿病、循環器疾患などの専門医が今年度も診療を継続した。

⑤ 教育研修として、看護師特定行為研修、救急事例検討会、ケアマネ事業所勉強会、研修医勉強会などを継続した。

診療部

■診療部長

山﨑　雅英

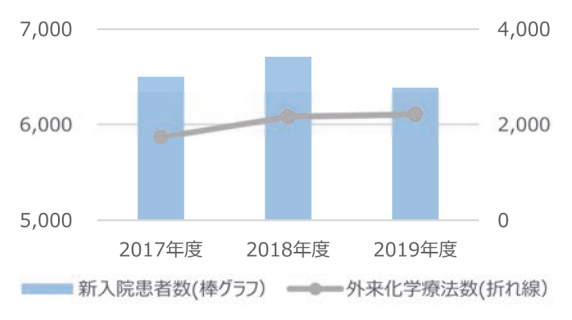
■2019 年度のトピックス、実績

① 外来化学療法の推進、延べ患者数の大幅増

② 紹介・逆紹介の推進、二人主治医制の充実

③ 免疫療法による irAE 対応における院内チーム医療開始

④ 医師の働き方改革の一環として、出退勤管理システムの導入、時期をずらした長期休暇取得の推進、全常勤医師 5 日以上の有給休暇消化



■事業報告

① 外来化学療法を診療部全体で推進し、外来化学療法患者数が大幅に増加
2017:1,727 件/2018:2,160 件/2019:2,211 件

② 病院長の指揮の下、地域連携を推進するため、連携医療機関との紹介・逆紹介を増やし、二人主治医の充実を図った。
紹介件数:
2017:4,484 件/2018:4,614 件/2019:4,735 件
逆紹介件数：
2017:3,231 件/2018:3,618 件/2019:3,671 件

③ 免疫療法による irAE(免疫関連副作用)発症に対し、複数の診療科による irAE 対応院内チームを立ち上げた。臨床腫瘍学会主催の irAE 対策講習会に他職種チームで参加し、病院全体に講習を行った。

④ 医師の働き方改革の一環として、出退勤管理システムを導入し、労務管理・健康管理に生かした。また、各医師が夏季休暇の取得時期を分散することで、全常勤医師が年 5 日以上の有給休暇を取得した。

⑤ 今後は他職種とのタスクシェア・タスクシフトを推進し、より濃厚かつ親切な患者診療を進めたい。

消化器外科

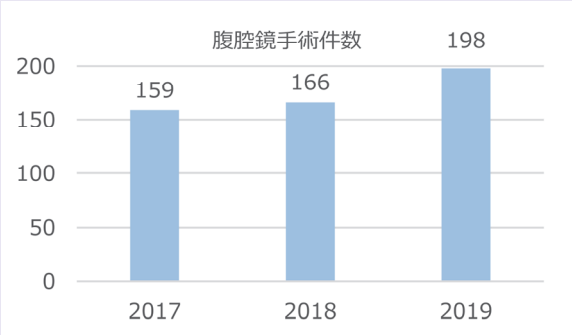
■所属医師

佐藤 就厚、髙井 優輝、河野 達彦、林 雅人、
望月 一太朗、岩井 俊

■2019 年度のトピックス、実績

今年度の、全麻・腹腔鏡手術件数、総売り上げ・入院売り上げは、前年比を上回り、総売り上げを除き、目標に到達した。積極的な手術治療をすすめた成果と考えられた。

医局が当科の現状を理解され、常勤医の招聘に応じて、3 名から 4 名に増員になった。



■事業報告

① 消化器外科として全麻手術目標 230 件→232 件（108.4%：前年度比、以下同じ）で達成

② 腹腔鏡手術目標 180 件→198 件(119.3%）で到達

③ 消化器外科医業総収入（外来・入院）目標の 95.3%で未到達（但し、設定根拠となった前年度の実績値は暫定値）

④ ③のうち、入院分目標の 113.8%で到達（但し、設定根拠となった前年度の実績値は暫定値）

⑤ CO2 送気装置を用いた CT colonography 目標 20 件→33 件（うち保険償還件数 19 件：機器購入後）で到達

⑥ その他：消化器外科外来売り上げ:92.6%、同単価:94.5%・入院単価:101.0%

⑦ 緊急手術件数増加 124 件

a) 外来減収の原因：外来化学療法患者の減少か

b) 緊急手術・拘束の負担に応える施策を強く要望

乳腺外科

■所属医師

鎌田 徹

■2019 年度のトピックス、実績

2016 年度から乳腺外科を専門科として独立し、評判向上と充実を図っている。乳がん手術例は昨年度 35 例、本年度は 37 例と微増であった（下図）。新しいマンモグラフィおよび乳腺超音波装置により、画像の質向上が計られ、診断力アップと針生検の安全性がアップしている。また遺伝性乳がんの遺伝子検査にも対応可能な体制を構築した。



■事業報告

① 乳がんの診療の充実

昨年度に比較し、乳がん手術件数は微増（図）だが、外来化学療法・放射線治療件数ともに増加し、当院乳腺外科が周知されていると考えている。マンモグラフィにおけるトモシンセシス撮影例（通常の撮影では見逃しそうな病変もチェック可能）がドックおよび外来で、徐々に増加している。女性放射線技師がドック乳房超音波検査を実施している。

② 学会参加

2019 年 7 月に日本乳癌学会にて発表を行うなど知識を深めた。

③ その他

再診患者さんはもちろん、初診・紹介患者も外来予約を開始し、利便性を図り、好評である。また紹介患者さんでなくても、かかりつけ医がいれば、積極的に診療情報を提供した。診療体制を充実し、最新の知見・治療にも対応し、能登の地域で信頼されるように精進していきたい。

内科

■所属医師

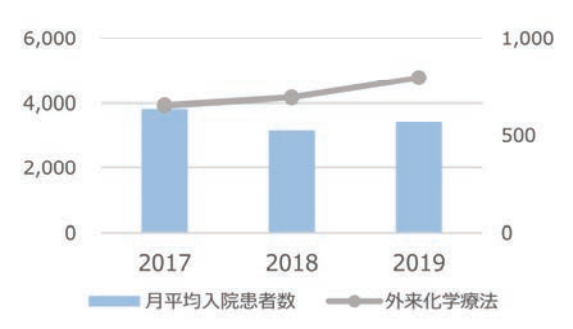
宮森 弘年、宮本 正治、豊田 洋平、山﨑 雅英、鎧高 健志、向井 清孝、山﨑 恵太、宮竹 敦彦、矢部 友久、山村 健太、加瀬 一政、赤崎 恭太、岩淵 佑

■2019 年度のトピックス、実績

① 外来化学療法の推進、増加

② リウマチ膠原病専門外来の充実

③ 内科系カンファレンス継続、他職種入院カンファレンスの継続・充実による入退院支援の強化



■事業報告

① 外来化学療法を推進、件数増（654 件（2017 年）→695 件（2018 年）→795 件（2019 年））

② 金沢医科大学血液・リウマチ膠原病内科の協力を得て、月 2 回リウマチ膠原病専門外来を拡充した。（正木主任教授、山田准教授）

③ 論文 3 編（筆頭）、学会発表 19 演題発表

④ 毎朝、内科・循環器内科・消化器内科・家庭医療科との合同カンファレンスを継続して実施し、個々の医師の専門知識のブラッシュアップを図るとともに、患者さんの主治医を分担し専門的診断・加療を実施した。

⑤ 毎週入院患者さんに関する多職種カンファレンスを行うことで、入院時より治療方針・退院支援に向けた意思統一を図ることができた。

⑥ 専門性の高い臓器別内科、他診療科との密な連携による高度な診療ができるよう推進した。

⑦ 今後は「総合内科外来」を設置し、プライマリケアを行うとともに、患者さんの適切な診療科への連携を図っていきたい。

消化器内科

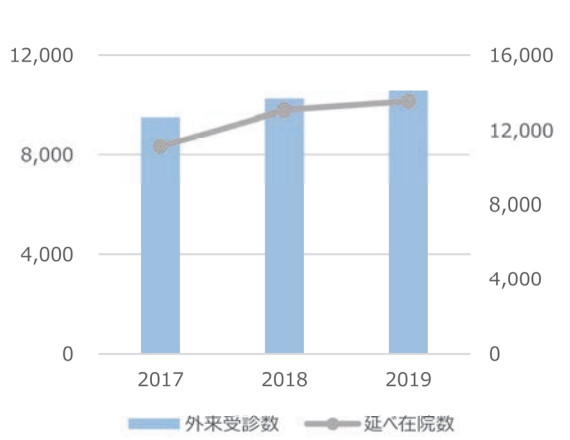
■所属医師

渕﨑　宇一郎、西谷　雅樹、中井　亮太郎

■2019 年度のトピックス、実績

・外来患者数、入院患者数はいずれも昨年を上回った。

・当院が事務局として、第 114 回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会を地場産業振興センターで開催した。



■事業報告

① 内科（血液内科、腎臓内科、循環器内科）、家庭医療科および他診療科との緊密な連携のもとに的確な診断、専門的な治療を行っている。消化器内科外来・入院いずれも前年に比べて増加した。

② 今年度も講演会・勉強会を開催した。
講師：愛知県がんセンター消化器内科部長　原　和生、川崎医科大学特任教授　春間　賢、日本大学医学部消化器肝臓内科学教授　後藤田卓志、東京医科大学消化器内科部門教授　糸井隆夫、山梨県立病院機構理事長　小俣政男、横浜市立大学肝胆膵化器病学教室教授　中島　淳、慶應義塾大学医学部　内科学（消化器）教授　金井　隆典先生をお招きして講演会・意見交換会を行い、最新の情報や治療ついて学んだ。

③ 次年度は消化器内科は1名増員となるため、これまでより余裕をもった可能となると考える。

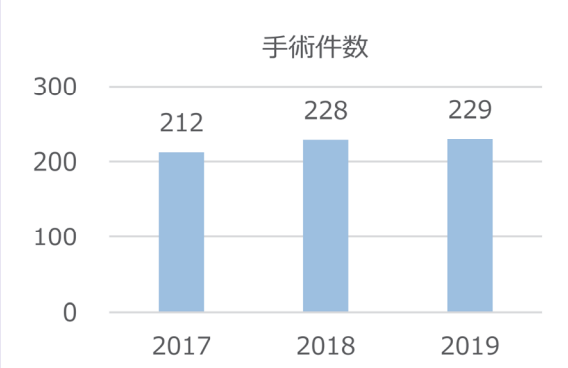
心臓血管外科

■所属医師

西澤　永晃、中嶋　和恵

■2019 年度のトピックス、実績

脈管専門医の取得（1 人）、産業医基礎講座研修全過程を終了（1 人）。産業医との協力による一般事業所への講演会（安全衛生委員会）を開始した。開心術の件数は減少したものの、下肢静脈瘤・透析関連の手術は増加、手術件数は維持している。



■事業報告

① 2019 年度は、産業医との協力による一般事業所への講演会を開始した。2020 年度は更に複数の事業所・会社等へ拡大し、病院アピール・患者数獲得に向けた企画を計画する。

② またハートセンターとして循環器内科と合同で、中能登・奥能登地域の医療機関と連携を深めるため、市民公開セミナー及び連携医療機関での講演会を行った。2020 年度も継続的に開催する予定である。
連携医療機関での講演会：
2019/7/19：ハートセミナー in 輪島
2019/10/10：奥能登抗凝固療法セミナー
2019/10/18：脳卒中・循環器病対策講演会
学会発表：
2019/11/10：第 5 回こしのくに Venous Forum

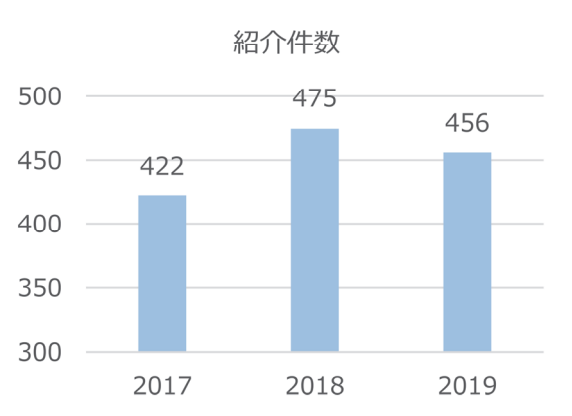
循環器内科

■所属医師

宝達 明彦、寺田 和始

■2019 年度のトピックス、実績

医師数は 2 人となったが、PCI 件数を維持し、さらにカテーテルアブレーションも軌道にのり、なんとか維持することができた。



■事業報告

① 人員減となったが、個々人の努力に加えて業務見直しによる効率上昇により、診療体制を維持した。

② 10 月に市民公開講座で講師を務め、七尾地区や奥能登での講演会を継続し、積極的にアピールを行っている。

③ 能登地区において唯一のハートセンターとしての役割を担っている。奥能登の医療機関と連携しての講演会や出張外来のみならず、能登地区唯一のリードレスペースメーカー、浅大腿動脈ステントグラフト施設、心臓血管外科とのハイブリッド治療など先進的な治療を導入して地域医療に貢献している。

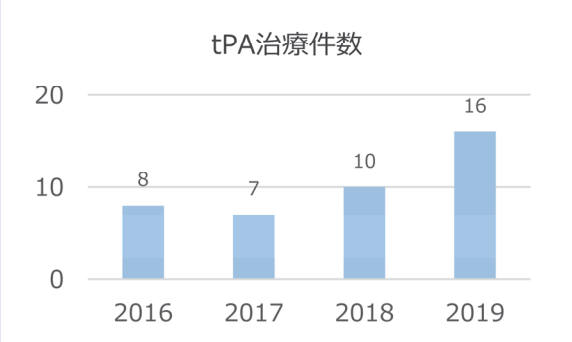
脳神経外科

■所属医師

岡田 由恵、東 壮太郎

■2019 年度のトピックス、実績

ｔPA 治療件数は、年々増加。発症時期不詳の、ウエイクアップストローク等に対しても、MRI 画像での「ディフュージョン・フレアー・ミスマッチ」を認め、適応があると考えられる症例には、投与可能となったため、更に件数が増加した。



■事業報告

① 2019 年
新入院患者数：183 人
延べ在院患者数：12,859 人
（1 日平均 35 人の入院患者）
手術件数：14 件（慢性硬膜下血腫 13 例、頸動脈ステント拡張術 1 件）

② 入院患者数は 30～40 人で推移している。

③ 他病院からの、回復期リハビリ病棟への適応が厳しい症例の受け入れにも対応している。

④ 毎週木曜にハイケアユニットにて、ストロークユニットフィルムカンファレンスを行っている。医師、看護師、リハビリ療法士、研修医等の多職種で、症例の病態の理解を深め、情報を共有するとともに、画像を読影する力を深めるために役立てている。

脳神経内科

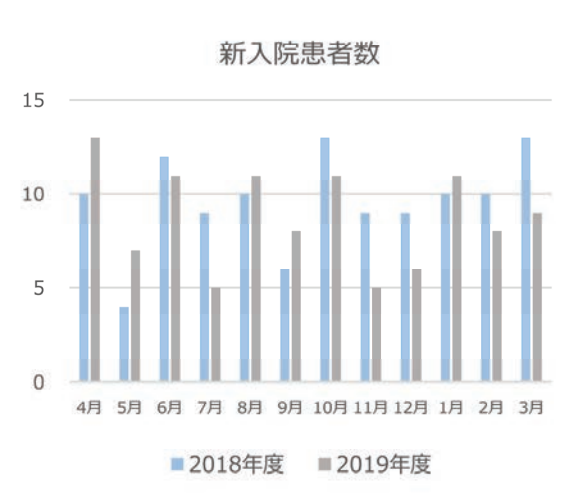
■所属医師

木元 一仁

■2019 年度のトピックス、実績

科名が神経内科から脳神経内科に変更となった。

前年と比較し、特に下半期は新入院患者数は減少した。



■事業報告

① ボトックス治療は 2018 年度の 26 件から 35 件に増加した。

② 外来、救急医療を継続し、入院患者は常時 15 名程度を推移している。

③ 多職種でのストロークユニット回診、カンファレンスを定期的に行い、スタッフのレベルアップを図っている。

④ 一人診療科であり、現状が限界である。

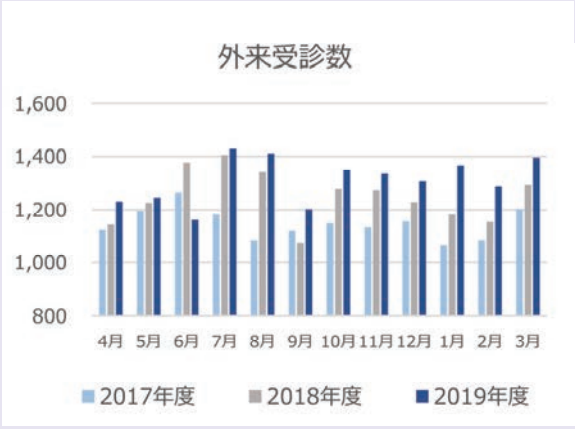
整形外科

■所属医師

森永 敏生、山本 大樹、下川 寛右

■2019 年度のトピックス、実績

外来患者数は増加、新入院患者数はほぼ昨年同様だった。また手術件数も増加し、増収に貢献した。特に、手指の疾病・外傷に対する治療を重点的に行った。



■事業報告

① 手術件数が増加した。特に手指の外傷や大腿骨近位部骨折に対する手術が多かった。その結果、外来、入院とも売り上げが増加した。

② 前年度に引き続き、骨粗鬆症患者の受け入れを積極的に行った。多職種からなるリエゾンチームを結成し、大腿骨近位部骨折患者に対してサービス提供を開始し、二次骨折予防に向けた活動を行った。

③ 毎朝カンファレンスを実施、患者の情報を共有するとともに、良質で適切な治療を提供できるように努力した。

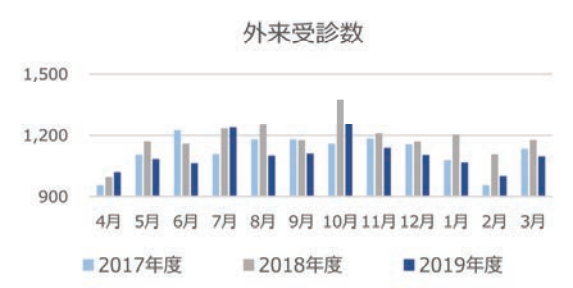
産婦人科

■所属医師

新井 隆成、安田 豊、高多 佑佳、宮田 康一、
東 恭子

■2019 年度のトピックス、実績

産婦人科の医師スタッフ数は、必要人数は維持できている状態であり、女性医師も２名が維持された。家庭医療科の医師を含めれば、妊産婦を含め女性のコモンな疾病に関わることのできる医師スタッフが充実していると言える。今年度は、当院における婦人科腫瘍腹腔鏡下手術の導入が増加した。業績アップを目指した外来体制と広報が課題となった。



■事業報告

① 婦人科健診異常者の２次検診率上昇を目指して、女性医師による２次検診日を新たに設定して診療を開始した。このような新しい取り組みには、その効果の評価が定期的に必要と考えられ、女性診療の業績をあげるためのプロジェクトチームを作ることを提案したが、実現できなかった。ぜひ、今後は医師と関連部署でチームを結成して継続的な診療体制のブラッシュアップを図り、業績につなげたい。

② 分娩数の減少は能登地域全体の問題である。この５年間で中能登地区の分娩数は 25%減少し、この率は当院の分娩数の減少割合とほぼ一致している。産科診療の状況については、母体死亡や母体の重篤な後遺症発症事例はなく、この５年間の新生児搬送は１例のみで、当院における周産期管理上の医療安全目標は達成されている。また、婦人科手術診療においても、医療事故事例は認められていない。これらの医療安全における実績を強みにした広報的戦略が不足しているのが、業績低下の要因の一つであると思われる。

③ 標準治療の医療機器の整備が本年度も叶わなかった。手術患者数増加を目指し、子宮鏡システムの整備を待ちたい。

家庭医療科

■所属医師

吉岡 哲也、伊達岡 要、二川 真子

■2019 年度のトピックス、実績

患者数：9,400 人（前年比：99.3%）

一日当たり患者数：40 人（前年比 103%）



■事業報告

① 総患者数は、9,400 人で、前年（9,467 人）と同等であった。一日当たりの患者数は 40 人で若干増加した。訪問診療件数は、432 件で、前年（188 件）より倍増し、外来⇔入院⇔在宅と継続して円滑に提供できる地域包括ケアを推進できた。

② また、新たな取り組みとして、

a）カルテコ導入、b）QR コード決済を開始した。

a）カルテコ導入

1 月より、カルテ情報閲覧サービス「カルテコ」で患者（透析患者含む）が自分のカルテ情報をスマートフォンやパソコンなどで閲覧できるサービスを開始した。

b）QR コード決済

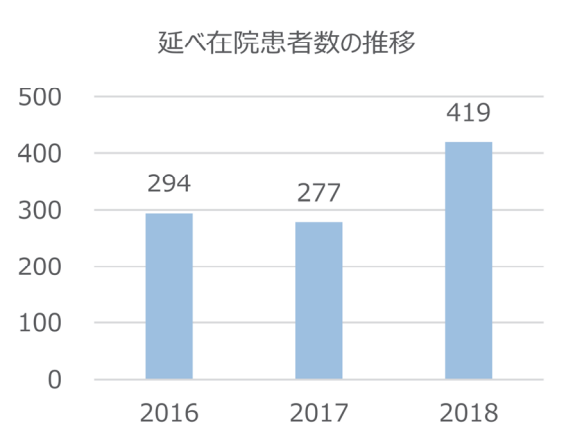
1 月より、QR コード決済サービスの提供を開始した。不意な怪我や病気で診察を受けた時等、持ち合わせよりも受診料が高くなった場合にも支払いができるようになり、来院者の方の利便性が向上した。

小児科

■所属医師

柳瀬 卓也、中谷 茂和、池野 観寿

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① 2019 年度は一般の小児疾患の診療と金沢医科大より小児内分泌、および小児神経、金沢大学より小児アレルギーそして小児循環器（中谷）の専門外来と新生児を中心にした入院治療を柱にして小児科の事業を行ってきた。

② 外来は専門外来が前年に比して患者数の増加があり全体的には堅調に推移したと思われるが、入院は新生児の分娩数の減少もあり前年に比して減少した。
また、血友病 A 患者の治療製剤変更に伴い 2020 年 1 月、2 月の外来の売り上げが増加した。

眼科

■所属医師

馬渡 嘉郎

■2019 年度のトピックス、実績

地域の医療機関との連携強化に努め、年間 400 件以上、毎月平均 30 件以上の紹介件数を継続している。

	2016	2017	2018	2019
紹介件数	461	437	450	425
紹介件数（月平均）	38	36	38	35
逆紹介	428	438	446	353
逆紹介件数（月平均）	36	37	37	29

■事業報告

① 他の医療機関の先生方の期待に沿えるよう、紹介患者さんに対し最新の知見に基づいた治療手段の選択肢を提供できるように努力したい。

② 白内障を中心に硝子体、眼瞼、緑内障の手術を提供している。全てご高齢の方に耐えうる低侵襲の最新の手技を心掛けている。

③ また外来診療では特に緑内障の薬物治療の方法論にこだわり、できるだけ患者さんの負担にならない投薬、通院の仕方を提供できたらよいと考えている。

④ 働き方改革に留意した仕事の進め方に注力したい。

耳鼻咽喉科

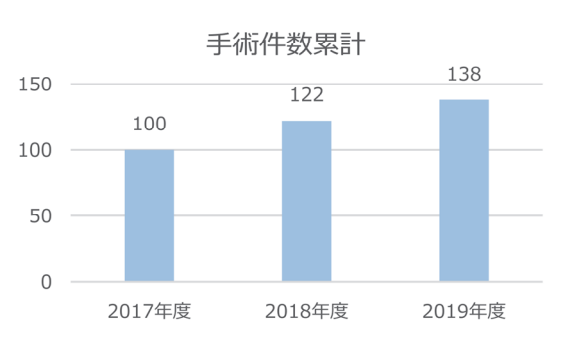
■所属医師

山田 和宏

■2019 年度のトピックス、実績

手術件数が 138 件に増加

（2017 年度 100 件、2018 年度 122 件）



■事業報告

① 2019 年度

外来受診数：6,395 名

初診患者数：630 名

新入院患者数：94 名

② 紹介件数が増加した。

183 名（2018 年度）→204 名（2019 年度）

③ 引き続き、院内他科や各部署、金沢大学附属病院耳鼻咽喉科などの高次医療機関と連携をはかり、安全で適切な医療を提供するよう努めたい。

泌尿器科

■所属医師

川村 研二

■2019 年度のトピックス、実績

第 20 回日本クリニカルパス学会 シンポジウム経営思想に基づくクリニカルパスを用いた医療情報の活用 S2-2 ERAS と急性期期間の短縮−DPC データによる急性期期間の分析−

12 年 8 ヶ月間に恵寿総合病院泌尿器科で施行された 1,836 例の手術症例を評価：手術の種類は経尿道的手術が約 70%，小切開開腹術(前立腺・腎等)が約 14%を占めた。手術関連死亡率は 1,836 例中 0 例（0%）であった。

2019 年度泌尿器科手術件数

手術の種類	件数
経尿道的膀胱腫瘍切除術	34
経尿道的前立腺剥離術	26
その他（手術室）	34
ESWL（結石衝撃波治療）	36
合計	130

■事業報告

① 体外衝撃波結石破砕術 （Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy：ESWL）

ドルニエ DeltaⅢ Far Sight を導入し 2020 年 3 月までに 55 回の治療を施行。95%の完全砕石率で手術併発症を認めなかった。

② 経尿道的前立腺剥離術

お腹を切らない前立腺肥大症の手術方法であり、2008 年から 470 例の手術を施行し、良好な手術成績を継続している。昨年から新たに保険収載され、全国の泌尿器科の指導的な役割を果たしている。

③ 排尿自立指導料

継続して、入院患者の排尿管理を行っている。尿道カテーテル抜去後の排尿管理で、感染症の減少、在院日数の短縮、カテーテル留置期間の短縮が可能となった。

④ 論文執筆・学会発表

感染症・泌尿器科癌・術後回復強化プロトコール（ERAS）・クリニカルパスについて報告している。論文執筆は 7 編と多数の報告。学会発表 6 回。

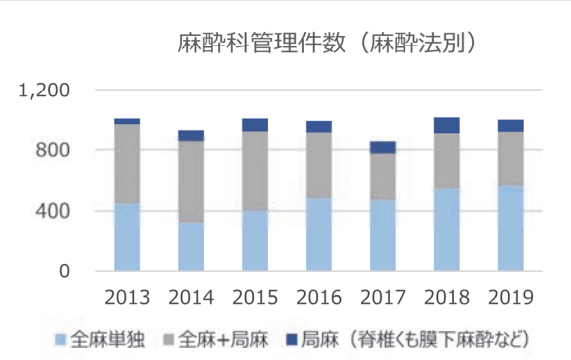
麻酔科

■所属医師

長谷川 公一、櫛田 康彦

■2019 年度のトピックス、実績

① 麻酔科管理手術件数 1,003 件（前年度 1,018 件）



② 総麻酔管理時間 3,318 時間（前年度 3,563 時間）

③ 緊急手術割合 37%（前年度 33%）

④ 無痛分娩数 27 件（前年度 28 件）

⑤ 緩和ケアチーム対応患者数 35 件（前年度 34 件）

■事業報告

① 麻酔科管理件数

昨年度とほぼ変化なし。周術期管理システムによる入退室管理やスケジューリングの効率化により、維持されている。

② 総麻酔時間

昨年度とほぼ変化なし。内視鏡手術など高度で長時間な手術に対応できている。

③ 緊急手術割合

37%と増加。麻酔科医を有効に配置し、緊急手術に対応した。また、夜間休日の拘束体制を維持した。

④ 無痛分娩数

全経腟分娩の 15%とほぼ変化なし。母体管理体制を整え、安全性と質を高め潜在的ニーズを拾い上げ、当院の分娩数の増加につなげたい。

⑤ 緩和ケアチーム対応患者数の維持

多職種と協議しながら、患者さんが少しでも満足できるよう質の高い対応をしていく。

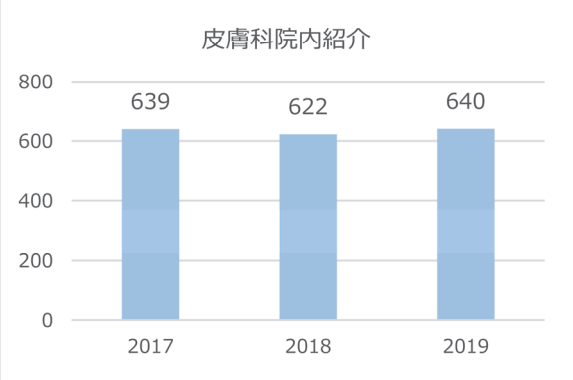
皮膚科

■所属医師

坂田 祐一

■2019 年度のトピックス、実績

曜日を問わず積極的に対診依頼を受けた。蕁麻疹、重症薬疹、帯状疱疹、マダニ刺症など当科の早期介入が役立ったケースもあった。蕁麻疹治療に日本皮膚科学会蕁麻疹治療ガイドラインを参考に質問票である UCT score を導入し患者の治療満足度を上げようとした。



■事業報告

① 蕁麻疹治療に質問票である UCT score を導入したことに関してその方法や成果などについて他院勤務の皮膚科医等に報告を行った。

② 真菌感染症にステロイドを誤って使用する機会を減らすため、積極的に KOH 直接検鏡を行った。

③ 臨床症状より脂漏性角化症を強く疑う症例であっても悪性黒色腫や基底細胞癌、Bowen 病などを見逃さないようにダーモスコピー検査を積極的に行った。

④ 高齢者のスキンテアを予防するために患者本人、家族にスキンケアの重要性を説明し実際に車椅子移乗時や入浴時など生活上の注意点についても説明を積極的に行った。

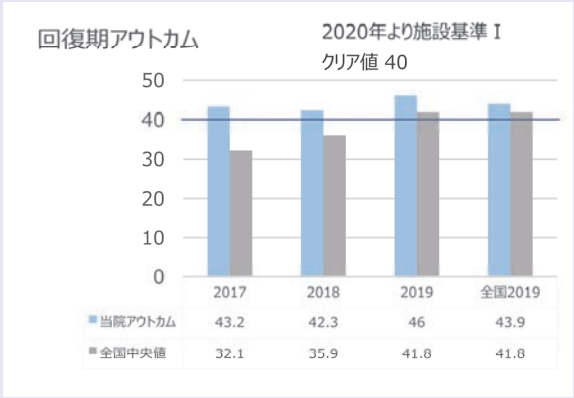
リハビリテーション科

■所属医師

川北　慎一郎、平井　文彦、伊達岡　要

■2019 年度のトピックス、実績

グラフは過去 3 年間の当院回復期リハ病棟の質の基準である実績指数の変化と全国平均を比べたものである。（実績指数は、入院リハによってどれだけ ADL 向上が見られたかを示す指標）2019 年は今まで以上に高い実績指数を示しており、当院回復期リハ病棟の質が高いことが改めて証明されている。



■事業報告

① リハ処方数は年間 2,500 を超えるようになり、さらに毎年増加している。その要因は入院患者のリハ施行率の年々の増加であり、2019 年度は入院患者の約 64%にリハが施行された。回復期リハ病棟への転院紹介患者数も増加が続いており、2019 年度は 67 例であった。

② 麻痺患者へのボツリヌス治療数は北陸でも有数だが、今年度は施行に際してセラピスト・薬剤師・検査（エコー）技師・看護師とチームで取り組むようになり時間短縮、精確性などが向上した。また地域との連携のためのボツリヌス連携手帳を作成し、今後脳卒中を中心に活用予定である。

③ 認知症および脳疾患後の自動車運転再開のための評価は、今年も昨年同等の約 60 例行っており、自動車学校との連携もさらに強くなっている。毎週認知症ケアチームとして認定看護師と作業療法士で BPSD 回診を継続しており、ケア加算は約 10%増加し、病棟の拘束数は約 17%減少した。

④ 新しい取組みとして透析中リハ、産科リハ、めまいリハに取り組んだが、今後も継続して効果などを啓蒙していく予定である。

⑤ リハ部での論文数は 7 、学会発表数は 29、資格取得数は 15 であった。

放射線科

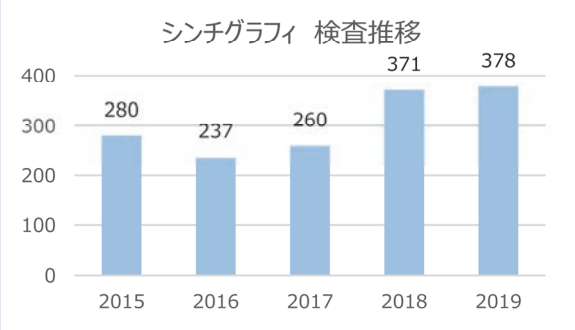
■所属医師

角 弘諭

■2019 年度のトピックス、実績

2017 年度に新しくガンマカメラを更新している。前年度同様に件数をほぼ維持（378 件）している。

地域連携病院からの依頼も 4 件→11 件と増加。（2018 年度比）能登地区での RI 検査の一翼を担っている。



■事業報告

① 核医学検査

ET 検査件数　748 件。前年度比 9.8%減。

② 腹部血管塞栓術

腹部血管塞栓術は、本年度より休日・時間外の緊急症例に対応する体制を整えており、緊急を含め 39 例行っている。 前年度比 2.5%減。

③ CT ガイド下生検、CT ガイド下ドレナージ

2018 年度　17 件

2019 年度　 9 件

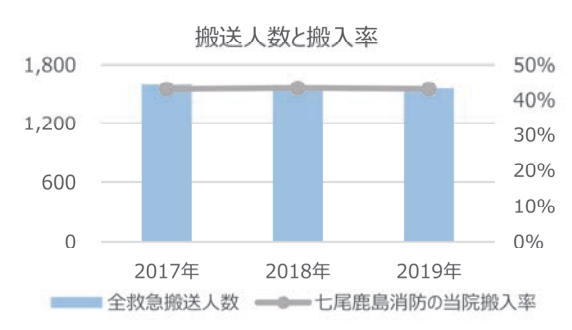
救急救命科

■所属医師

米田 高宏

■2019 年度のトピックス、実績

救急外来への患者、近医、職員からの不満はなかった。救急センター問診票を活用し逆紹介に意識して取り組み始めた。研修医への早朝勉強会に積極的に取り組んだ。後日専門外来でフォローアップしてもらうために救急外来受診患者に渡している再診案内用紙の回収を開始し、再診率は 54%だった。



■事業報告

① 救急医学会専門医、麻酔科学会専門医を更新できた。

② 救急搬送患者数を 1,500 台に維持できた。

③ 救急外来受診数は 1 万人台を維持できた。

④ 年間入院数は 1,000 人台を維持できた。

⑤ 当院の弱点であった IVR も、金沢大学の放射線科非常勤医師と連携をとって対応できている。

⑥ CT・MRI の読影レポート結果は必要に応じて患者に報告し受診を促したり、入院・外来主治医に直接届くような仕組みを継続できている。

⑦ 各科への振り分けのタイミングや各科の特徴を把握して適切な ER 診療を継続している。

⑧ 研修医の ER 研修は継続して力を入れている。最新のレポート提出状況を一覧で把握し、効率良いレポート作成ができた。

形成外科美容外科

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① 医師の異動により外来体制の変更があった。

② 金沢医科大学形成外科医師と連携した診療体制をとっている。

③ 外来手術を主軸とし、年間の手術件数は前年度水準を維持している。

緩和ケア科

■所属医師

櫛田 康彦

■2019 年度のトピックス、実績

毎週金曜日に症例検討会、2 ヶ月に 1 回緩和ケア委員会を開催した。下記は 2019 年度の主な活動内容である。

日付	活動内容
7/13	市民公開講座（公立羽咋病院） 緩和ケアの啓蒙をするための役者として参加
10/27	医療従事者のための緩和ケア研修会 （金沢大学附属病院）講師として参加

■事業報告

① 緩和ケア科（緩和ケアチーム）への紹介をスムーズにするため、紹介状がなくてもメール連絡のみで紹介できる体制を整えた。主治医だけでなく、他の医療従事者からのメールでも紹介可能とした。

② 疼痛の評価シートに入力可能とした。

健康管理部

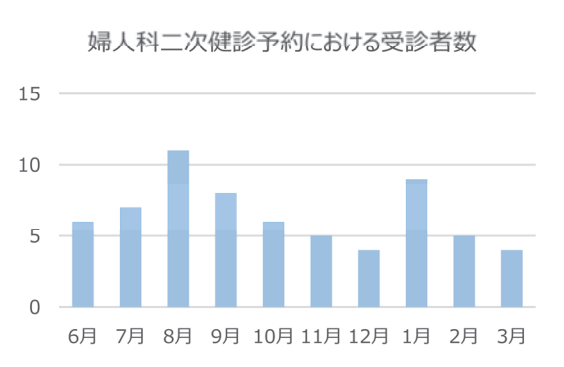
■所属医師

上野 恭一、泉谷 麻子

■2019 年度のトピックス、実績

6 月より婦人科二次健診について、毎週金曜日午後予約制を導入し、受診できるようになった。

当センターで健康診断を受けた方が、スムーズに二次健診が受けられるサービスが提供できるようになり、多くの方にご利用頂いた。



■事業報告

① 特定保健指導実施

全国健康保険協会石川支部の他、2 つの健康保険組合と協力し、特定保健指導を拡張し、130 名を超える対象者へ実施した。今後、積極的な促し、対象者にあった指導内容改善等行いながら、引き続き利用者の生活習慣改善に取り組みたい。

② 日本脳ドック学会施設認定取得

6 月に日本脳ドック学会の施設認定を新たに取得した。年間 1,100 名以上が脳ドックを受診されており、今後も引き続き、展開してきたい。

③ 遺伝子解析サービス開始

12 月から「ジェノプランジャパン」社の検査キットを使用した遺伝子解析サービスを開始した。健康段階で病気の予防方法を考え、健康寿命の延伸につなげるツールになると考える。既に 100 名以上へ提供している。

④ 受診者数推移

昨年度同様、来院健診、出張健診を含め、10,000 名以上の方が受診された。受診者数を維持しながら、人間ドック認定施設を更新するなどし、更に質も高めていきたい。

看護部

■看護部長

本橋 敏美

■2019 年度のトピックス、実績

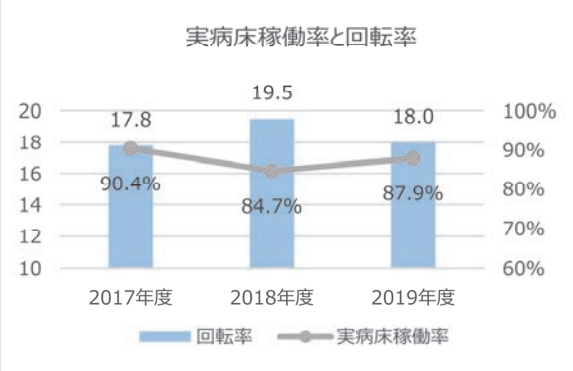
① 特定行為看護師 5 名誕生、計 16 名となる。

特定行為実施件数：151 件／年

② 抗癌剤投与実践研修継続 6 年目。修了者総数 55 名

③ 法人内施設―病院間の早期退院支援パス作成。

施設間との看看連携強化



■事業報告

① 退院支援の強化

退院支援パスの活用により情報共有が早くなった。

入院前～退院後までの業務フロー作成。効果あり。

退院支援看護師育成プログラム実施（12 名修了）

② 業務改善による生産性向上

24 時間持続点滴追加等や排液測定の時間帯を夜間から日勤帯に変更し、患者の環境調整、看護師の夜勤帯の業務量を減らした。

各部署で業務改善に取り組み、計 20 件改善

③ JNA クリニカルラダー導入

日本看護協会（JNA）クリニカルラダーを導入し、等級別に看護実践能力を評価した。意志決定支援能力の向上をめざし、研修会を実施し、評価結果が上がった。

④ スペシャリスト・ジェネラリストの活用

特定行為に実施件数が増加。特定行為看護師の支援が定着しつつある。

看護管理者研修においてデータ活用発表会を開催

事務部

■事務部長

森下 毅

■2019 年度のトピックス、実績

地域医療支援病院認定取得を目指し、紹介件数、逆紹介件数を向上を重要目標とした。紹介件数は、4,735 件で昨年度比 2.6%増加。目標達成率 100.7%であった。逆紹介件数も昨年度比 1.5%の増加となった。



■事業報告

① 昨年度から引き続いて紹介患者数の増加を目標に挙げた。目標値を 100 件（2.2%）アップした結果、100.7%の達成率となった。紹介率も地域医療支援病院の基準をクリアすることとなった。あわせて逆紹介件数も前年度を上回り、率においても基準をクリアした。

② タスクシフト・タスクシェアを進めるべく、部内の課をまたいだ協力体制の拡充を行った。

③ 生産性向上のため、作業効率を上げる取り組みとして、AI 問診導入を行った。患者は受付待ち時間の間に症状についてタブレット入力をすることで、これまで受付スタッフや看護師が行ってきた問診票のカルテ転記作業が大幅に削減された。
年度末には、PC の定型処理を自動化する RPA（Robotics Prosecc Automation）の導入を開始した。

④ 医師や医療従事者の負担軽減、働き方改革が拡がる一方で、事務代行を行う当部門の業務量は増える可能性がある。ICT 技術を積極的に活用した作業効率の改善は待ったなしであり、今後の課題は、そのための業務仕分け、作業分解を進めることである。

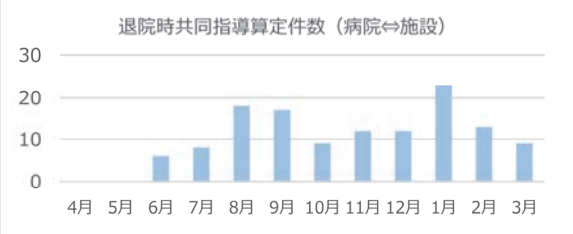
けいじゅサービスセンター 医療福祉相談課

■部門代表者

中川 一美

■2019 年度のトピックス、実績

6 月より新たに病院、施設間での退院時共同指導料算定を開始し、127 件算定した。



■事業報告

① 入退院支援パス作成と運用を開始し、支援を統一した。入退院支援加算 1,062 件算定
（昨年比 101%）

② 担当者会議院内ルールを作成、効率化（時間 30 分以内）と満足度向上を図った。

③ 認定医療社会福祉士 1 名取得した。

けいじゅサービスセンター 地域連携課

■部門代表者

宮田 琴江

■2019 年度のトピックス、実績

新たに紹介患者を対象に満足度調査を実施した。

4 月	調査内容・実施方法の検討
5～7 月	紹介患者満足度調査実施
8 月	調査結果分析　改善案の決定
9 月～	改善案実行
2 月	効果測定実施
3 月～	改善案実施継続

■事業報告

① 600 名の紹介患者を対象に、紹介患者満足度調査を実施。結果を基に 3 点の改善案を実行、効果測定をした。結果、満足度は 78%から 89%へ上昇した。

② 紹介件数目標 4,700 件に対し、4,735 件の実績、100.7%を達成。（対前年度 102.6%達成）

けいじゅサービスセンター
サービス課

■部門代表者

寺尾 美樹

■2019 年度のトピックス、実績

業務の平準化、受付待ち時間短縮にとり組んだ。

受付待ち時間調査実施（来院から受付開始までの時間）

調査月	紹介	紹介以外
5 月	17 分	23 分
9 月	12 分	35 分
3 月	14 分	15 分

■事業報告

① 受付、会計開始準備、精算機の片づけを当番制にし、誰もができるようになり業務の平準化につながった。

② 紹介受付優先窓口を拡大し紹介の待ち時間が短縮された。

③ 外国人対応講習会を実施し外来の職員がアプリを使用し対応できるようになった。

医療情報事務センター
医事課

■部門代表者

松本 伸恵

■2019 年度のトピックス、実績

難病外来指導料の算定件数を伸ばした。



■事業報告

① 主に難病外来指導管理料に力を入れ、医療秘書課、診療部との連携を強化した。2018 年度より 100 件増であった。

② 査定点数減少に向けて外来・入院共に勉強会を実施。2018 年度より、378,133 点の減少であった。

医療情報事務センター
管理課

■部門代表者

松木 尊紀法

■2019 年度のトピックス、実績

医師の働き方改革（出勤退勤の打刻、年休消化 5 日以上）に管理課として取り組んだ。

出勤退勤の打刻	管理課長が承認、打刻漏れがあれば確認修正
年休消化 5 日以上	月初に消化日数を幹部、各医師に周知 未消化医師には催促、取得予定日を確認
その他	出張申請の代行入力、医師の異動の対応

■事業報告

① 各部署、会議、委員会の資料印刷（作成もあり）

② 掲示物の印刷、ラミネート、掲示期間の管理

③ プリンターの交換 33 台（外部委託費の削減）

④ PHS の交換修理 23 台
（水没多数部署へは指導、注意）

⑤ 土日祝日の管理日直に加わる（月 1 、2 回）

医療情報事務センター
医療秘書課

■部門代表者

三浦 有紀

■2019 年度のトピックス、実績

各種診断書等の代行作成件数を伸ばした。



■事業報告

① 退院サマリ・診療情報提供書を含む文書代行件数 8,636 件

② 診療情報管理士によるがん登録件数 629 件

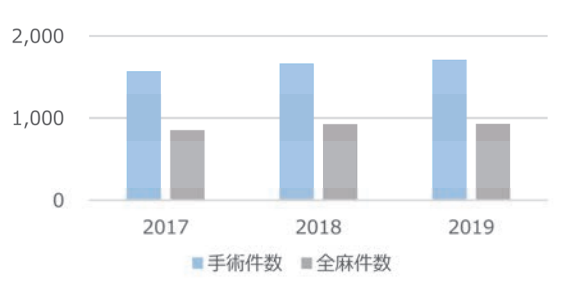
③ カルテコデータを活用し、診療補助の事前準備の効率化を図った。

手術センター

■部門代表者

長谷川 公一、金森 敦志

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① 手術件数の増加

手術件数は 2.6%増加した。中でも整形外科が 330 件から 406 件と 23%の増加率であった。

② 全身麻酔件数

全麻件数 932 件、前年比+5 件と昨年度からほぼ横ばいであるが施設基準 800 件をクリアしている。

血液浄化センター

■部門代表者

向井 清孝、菅野 則之

■2019 年度のトピックス、実績

新たに腎代替療法として腹膜透析を開始した。

開始月	内容
7 月	腹膜透析外来オープン
8 月	通院パンフレット作成
	恵寿ローレルクリニック ホームページ リニューアル
11 月	日本腹膜透析学会（広島市）にて研究発表

■事業報告

① 新たに腹膜透析外来をオープンし、ライフスタイルに合わせた腎代替療法を選択できるようになった。

② 周知としてラジオ出演やパンフレットを作成、また、恵寿ローレルクリニックのホームページをリニューアルした。

③ 外来の質を高めるため、院外研修や学会に参加し、研究発表をするとともに他施設との情報交換を積極的に行った。

PET・CT リニアックセンター

■部門代表者

角 弘諭、坂下 純司

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① 放射線治療は、遠隔システムにより速やかに治療計画しシミュレーションできる体制としている。放射線治療医は月 2 回の来院を継続している。治療件数は微増している。

② 来年度は PET-CT の更新を予定している。

内視鏡センター 内視鏡課

■部門代表者

渕﨑 宇一郎、松田 栄美子

■2019 年度のトピックス、実績

2019 年 7 月より北陸初の胆管鏡を導入。能登で最先端の治療を提供できるようになった。

項目	件数
胆管鏡による観察	6 件
生検	7 件
EHL（電気水圧式結石破砕術）	2 件

■事業報告

① 内視鏡総件数 8,000 件の目標に対し約 9,500 件と目標達成。

② 7 月より北陸初の胆管鏡を導入し、微細な粘膜模様や血管走行に対する狙撃生検や通常治療困難な巨大結石や嵌頓結石が治療可能となった。

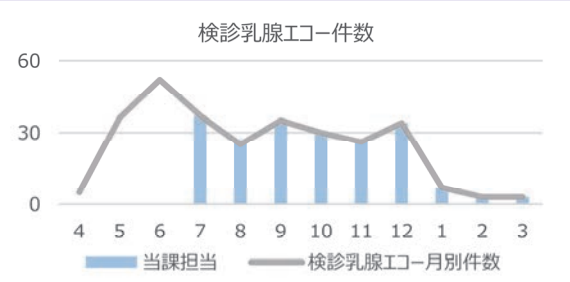
③ 週 1 回の治療日を継続し、残業日は減少したが、治療日の残業時間が長くなり今後の課題とする。

放射線センター
放射線課

■部門代表者

角 弘諭、坂下 純司

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① 検診乳腺エコーをタスクシフトして放射線課で担うため、研修・トレーニングを行い、7 月からは全例の 202 名を施行した。

② 未確認所見の内容を調査し、受診や精密検査が望ましい症例について、医師に報告した。（30 例）

③ 第 12 回中部放射線医療技術学術大会で発表

リハビリテーションセンター
理学療法課

■部門代表者

田中 秀明

■2019 年度のトピックス、実績

腎リハ・産科リハ件数が増加した。

	2018 年度	2019 年度
腎リハ	7 件	9 件
産科リハ	5 件	10 件

■事業報告

① めまいのリハビリテーションの運用システムを構築した。来年度より本格的に運用していく。

② ロボット装具を導入し、患者への治療に使用を開始している。来年度も実施件数を増加させていく。

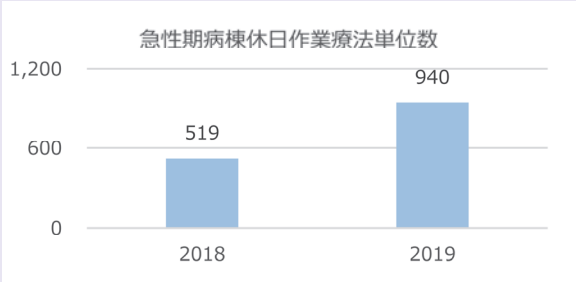
③ 喀痰吸引の手技向上に向けたプロトコルを見直した。研修内容充実させ、セラピストの吸痰実施者が増加した。

リハビリテーションセンター
作業療法課

■部門代表者

川上 直子

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① 3 名増員、急性期病棟休日体制の拡充

② キャリアアップ、スキルアップ

資格取得 4 名：認定 OT、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター2 級、認知症ケア専門士

③ 自動車学校と連携し実車評価日程を拡充

リハビリテーションセンター
言語療法課

■部門代表者

諏訪 美幸

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① 摂食機能療法総件数：看護部と連携し、今年度は 9,472 件であった。

② 吸痰の技術習得（新規）：言語聴覚士 7 名全員が、技術習得が可能となった（達成率：116%）。

③ 今後の課題：経験年数が浅い ST が大半を占めるため、質の向上や顧客満足度に努め、人材育成を重要視する。

リハビリテーション教育研修センター

■部門代表者

川北 慎一郎、井舟 正秀

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① リハスタッフにおける教育研修に関する職員満足度を調査した結果 62%だった。

② 記録業務省力化ため報告書のリスト入力や関連文書とのデータ連携処理機能を付加した。

③ 主に新人の教育研修プログラム数を増やし、研修計画の充実を図った。

栄養管理センター 臨床栄養課

■部門代表者

木元 一仁、前田 美穂

■2019 年度のトピックス、実績

栄養指導と栄養サポート加算の件数の増加を図った。

	2018 年度	2019 年度
入院栄養指導（件）	4,377	3,520
外来栄養指導（件）	1,317	1,289
栄養サポート（件）	651	578
計	6,345	5,387

■事業報告

① 栄養指導、栄養サポート介入件数は昨年と比較し、15%減少した。

② 昨年に引き続き、回復期リハビリテーション病棟での栄養管理、また、がん患者への栄養指導を積極的に実施した。

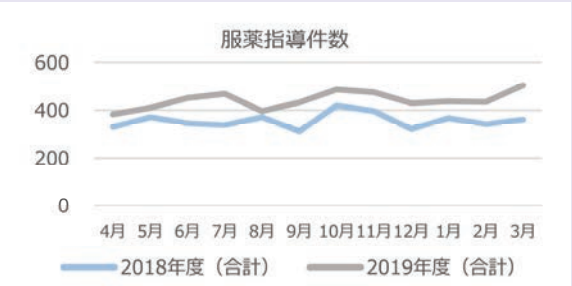
③ 各病棟の担当管理栄養士が専門性を高めた。

薬剤管理センター 薬剤課

■部門代表者

川村 研一、藤田 昌雄

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① MDV 社のご協力を受け、指導件数・指導患者数が大幅に増加した。

② （新規）薬剤総合評価加算 11 件

③ ジェネリック比率 2018 年度 90%→94%

④ 日病薬病院薬学認定薬剤師 1 名、論文執筆 2 編

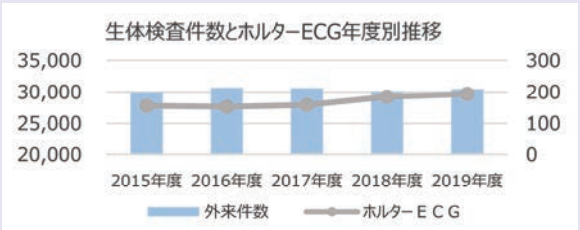
検査管理センター 臨床検査課

■部門代表者

西澤 永晃、谷内 正人

■2019 年度のトピックス、実績

ホルター心電図の件数増加を目指した。



■事業報告

① 検体検査総数 ：272,450 件 前年比 -2.6%

② 生体検査総件数： 35,254 件 前年比 -3.1%

③ RSV/hMPV（RS ウイルス/ヒトメタニューモウイルス）の同時測定迅速キットを導入した。

④ 厚生労働省指定講習会（検体採取）を技師全員が修了した。

⑤ 全ての領域で、作業手順書の作成が完了した。

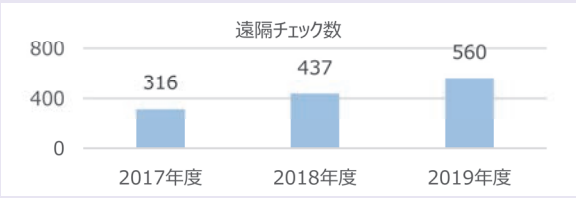
臨床工学センター
臨床工学課

■部門代表者

長谷川 公一、栃原 康則

■2019 年度のトピックス、実績

植込型心臓デバイス（ペースメーカー等）の遠隔モニタリング導入支援を強化し、遠隔チェック数増大に取り組んだ。



■事業報告

① 植込型心臓デバイスの遠隔チェック数は年々増加し、今年度の実績は 560 件であった。(昨年度+28%)

② 関与手術 856 件（昨年度+30.1%）、シャントエコー数 56 件（昨年度+133%）と増加し、教育・指導に力を入れて、部署内タスクシェアを行なった。

③ 生涯学習に取り組む姿勢が根付き、学会発表や学会認定資格取得などのキャリアアップに挑んだ。

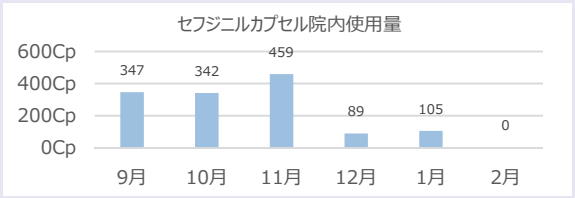
医療安全管理センター
感染制御課

■部門代表者

山﨑 雅英

■2019 年度のトピックス、実績

セフジニル（経口第 3 世代セフェム:AMR アクションプラン対象薬の 1 つ）使用量削減を行った。(白内障パスから削除)



■事業報告

① 針刺し等事故後の報告体制や提出資料の大幅な削減を行い、本来業務と再発防止対策の早期対応に繋げた。

② 新型コロナウイルス感染症防止対策の基盤を作成した

③ 新たに ICD 資格および抗菌化学療法認定医取得の医師 1 名、2020 年度の感染管理認定看護師教育機関への合格看護師 1 名と後継者が育成されている

医療安全管理センター
医療安全管理課

■部門代表者

渕﨑 宇一郎

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① 部会で選定した重要警鐘事例をリスクマネジメント部会で報告、各部署で全スタッフからの投票を依頼した。

② RM と共に毎月の院内ラウンドを実施定着させた。

③ KYT 研修を各部署で実施した。

臨床研修センター

■部門代表者

新井 隆成

■2019 年度のトピックス、実績

2020 年採用研修医のリクルート活動

	来訪者
6/23 レジナビフェア東京	30 名
7/7 レジナビフェア大阪	54 名
2/16 レジナビフェア金沢	22 名

病院見学見学 医学生 27 名、研修医 3 名
実習受け入れ 23 名

■事業報告

① 医師臨床研修マッチング 5 名（募集定員 5 名）
3 年連続フルマッチ（国家試験の結果 4 名採用）

② いわゆる後期研修医 3 名採用（産婦人科プログラム）

③ 外部講師を招聘し、講演会、研修会の開催
5/13 高村昭輝先生、5/20-25 ベリー先生
7/29 渡邉淳先生、1/6 三原華子先生
2/15 能登総合診療セミナー

看護師特定行為研修センター

■部門代表者

鎌田 徹

■2019 年度のトピックス、実績

新たに以下の 3 区分を追加し、計 7 区分の研修が可能となった。

区分
創傷管理関連
動脈血液ガス分析関連
血糖コントロールに係る薬剤投与関連

■事業報告

① 9/30 3 期生（2018.10 から 2019.9 まで）修了。
新規 6 名（うち 1 名は外部）、追加受講は 10 名

② 10/1 4 期生（2019.10 から 2020.9 まで）開講。
新規 9 名（うち 2 名は外部）

③ 3 期終了時点で当院の特定看護師は 16 名となった。
ポータルサイト等で周知し、活躍の場を広めていきたい。

恵寿金沢病院

恵寿金沢病院

■病院長

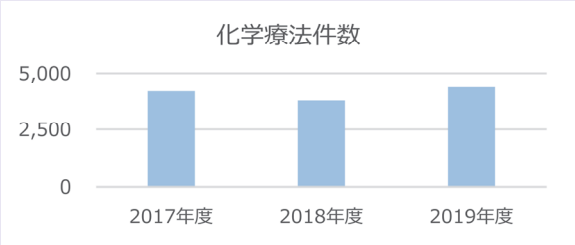
上田　幹夫

■2019 年度のトピックス、実績

7 月に恵寿金沢病院 5 周年記念研修を KKR ホテル金沢で開催し、116 名の職員が参加した。GroupWork では「他施設から見た金沢病院」のテーマのもと意見交換を行い、大変有意義な研修となった。

10 月に近隣地域の久保市乙剣宮で復活窪市が開催され、救急蘇生法の実演や脳活アイスの販売で当院も参加し、地元のお祭りを大いに盛り上げた。

年間を通じて、化学療法の患者が多く、入院・外来ともに前年・前々年度と比べて、件数が大きく増加した。



■事業報告

① 入院患者数：24,826 人（前年比：101.6%）

② 外来患者数：31,880 人（前年比：90.9%）

③ 人間ドック受検者数：2,236 件
（前年比：144.4%）

④ 全身麻酔手術件数：87 件（前年比：41.4%）

⑤ 化学療法実施件数：4,385 件
（前年比：115.9%）

⑥ 無菌室利用件数：3,923 件（前年比：90.0%）

⑦ 紹介件数：778 件（前年比：94.8%）

⑧ 救急車受入件数：89 件（前年比：89.0%）

⑨ 巡回インフルエンザ予防接種件数：1,644 件
（前年比：105.7%）

内科

■部門代表者

村田 了一

■2019 年度のトピックス、実績

新たに循環器を専門領域とする常勤医を迎え、血液内科を中心に呼吸器病や生活習慣病も含め、幅の広い受け入れ体制で診療を行った。それにより、循環器疾患が疑われる患者に対しても即座に対応でき、専門医の指示で適切な診断・治療を行うことができた。

■事業報告

① 入院患者数：19,965 人
（前年比：1,015 人増加、105.3%）

② 外来患者数：11,344 人
（前年比：144 人増加、101.3%）

③ 入院単価：前年比：103.1%

④ 外来単価：前年比：107.6%

血液疾患センター

■部門代表者

村田 了一

■2019 年度のトピックス、実績

2019 年度に新たに組織した血液疾患センターでは、化学療法を積極的に行い、『非ホジキンリンパ腫』『多発性骨髄腫』『骨髄異形成症候群』をはじめとする多くの血液疾患患者の診断・治療を行い、化学療法件数は入院・外来ともに増加した。

■事業報告

① 入院化学療法 3,640 件
（前年比：324 件増加、109.8%）

② 外来化学療法 745 件
（前年比：279 件増加、159.8%）

整形外科

■部門代表者

米澤 克隆

■2019 年度のトピックス、実績

病診連携により力を入れており、金沢市内に限らず、他の地区からでも手術適応の方を紹介いただければ、対応できる体制を整えている。

紹介患者さんに対しては、早期に手術・処置を行い、速やかに紹介元に逆紹介させていただくことを当科の特徴として、今後も病診連携を進めていきたい。

■事業報告

① 入院患者数：4,619 人（前年比：88.5%）

② 外来患者数：13,077 人（前年比：84.3%）

③ 入院単価：前年比：103.1%

④ 外来単価：前年比：85.8%

⑤ 手術件数：156 件（前年比：50.0%）

眼科

■部門代表者

繰納 勉

■2019 年度のトピックス、実績

従来からの涙道手術を中心に、白内障手術、角膜前眼部手術を積極的に行い、手術件数も増加した。

	2018 年度	2019 年度
手術件数	170 件	202 件

■事業報告

① 入院患者数：262 人（前年比：94.9%）

② 外来患者数：2,627 人（前年比：96.2%）

③ 入院単価：前年比：104.7%

④ 外来単価：前年比：103.1%

⑤ 手術件数：202 件（前年比：118.8%）

理学療法課

■部門代表者

畠山 智行

■2019 年度のトピックス、実績

整形外科医が変わり、課としての算定の方向性を検討した。

年度	2018	2019
運動器（単位数）	1,031	974
がん（単位数）	341	488
スタッフ数	3.7 人	4.1 人

■事業報告

① 2019 年より運動器の患者さんが減ることが予想されており、目標の業務量、算定額を目指しがんリハの対象患者増を目指した。

② 内科カンファレンスや新患カンファレンスにて、主治医、Ns、MSW とリハの必要性のある患者さんに対して検討した。

放射線課

■部門代表者

武村 真弓

■2019 年度のトピックス、実績

前年と比較して検査件数が増加した。

	件数	前年比
CT	2,608	108%
マンモグラフィ	800	260%
超音波	2,568	145%

■事業報告

① TQM 活動として安全な造影剤使用を目指し造影剤患者説明書・同意書の更新を行った。

② 7 月より画像参照システムを seavo へ更新した。

③ ドック受診者増加に伴いすべての検査において大幅に件数が増加した。

作業療法課

■部門代表者

米山 太朗

■2019 年度のトピックス、実績

急性期～ターミナル期、訪問リハビリを実施。
認知症や離床困難症例への OT 処方が増加。
訪問リハビリの新規獲得、円滑な移行に取り組んだ。

	2018	2019
新患人数	311	340（前年比 109.3%）
訪問件数	812	826（前年比 101.7%）

■事業報告

① OT3 名全員が訪問リハビリを実施、訪問業務の知識を身に着け、入院から訪問への移行が円滑になった。

② 臨床実習生受け入れを開始。

③ 6 件の地域事業に講師として参加した。

④ 全国学会発表 1 件 機関紙への論文投稿 1 件

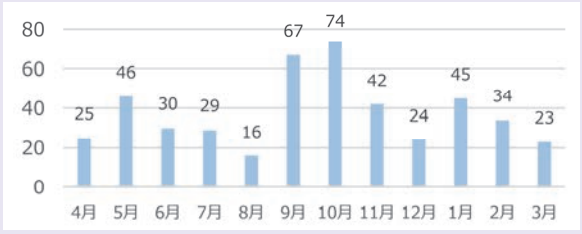
臨床検査課

■部門代表者

長面 佳央理

■2019 年度のトピックス、実績

内科外来での採血業務を継続した。



■事業報告

① 2018 年度よりスタートした内科外来および整形外科外来での検査技師による採血業務を継続し、件数も少しずつ増加している。

② TQM 活動において、人間ドック受検者への理解度・満足度向上をテーマに活動し、併せて生理機能検査室の環境改善にも取り組んだ。

薬剤課

■部門代表者

宮森 久志

■2019 年度のトピックス、実績

① 抗癌剤の簡易懸濁マニュアルを作成した。

② 院内フォーミュラリーの整備を開始し、
2 件の登録を行った。

③ 整形外科における生物学的製剤オーダーをプロトコルシステムに登録し、運用を開始した。

■事業報告

① 薬剤管理指導件数 2,163 件

② 無菌製剤処理料（抗癌剤）4,000 件

③ 病棟薬剤業務実施加算 4,240 件

④ 2 名の薬学生の実習を受け入れた。

⑤ 2020 年度は外科化学療法をプロトコルシステムに組み込み円滑な運用を目指す。

臨床栄養課

■部門代表者

羽根 由子

■2019 年度のトピックス、実績

栄養指導件数の増加を図った。特に外来栄養指導件数は昨年度実績より 2.35 倍増加した。

	2018 年度	2019 年度
入院栄養指導件数	649	734
外来栄養指導件数	39	92

■事業報告

① 栄養指導件数の増加
内科患者への外来栄養指導を強化した。

② 管理栄養士の技術向上
管理栄養士 1 名が NST 臨地修練に参加した。
学会・研修会に参加し知見を深めた。

人間ドックセンター

■所属医師

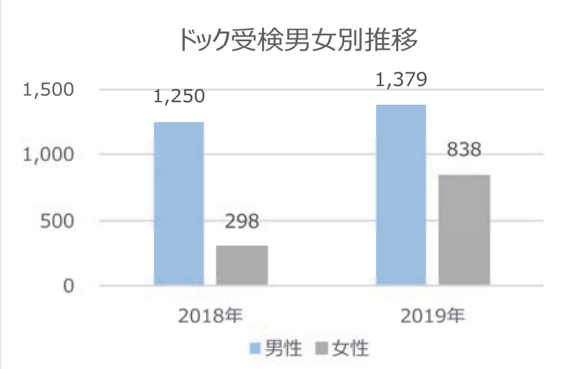
佐賀 務、森 清男

■2019 年度のトピックス、実績

人間ドック受検者数 2,217 人（前年度 1,548 人）

女性受検者 838 人（前年度 298 人）181%増加

ＴＱＭ活動として、ドック食改善による顧客満足度向上をテーマに、①ドック食の見直し②2 日目の昼食をドック食 or 外食の選択制とした。



■事業報告

① 受検者の多くは NTT 西日本の社員で NTT グループも健康経営の優良認定を受けている。福利厚生強化の一環として、昨年度より 40 才の節目ドックのみ必須であったものを 30～60 才まで 5 才刻みに節目ドックを拡大した。また、準社員にもドック受検枠を拡大したことから、女性を中心として 669 名の受検者が増加した。（昨年比 143%）

② 当院の 1 日当たりの受検者数は、スペース、内視鏡医の確保、診察医の確保、オプションの消化などを考慮すると最大 14 名が限度。何回かは満杯に近い月があった。効率はとても良いと思うが、さらに増やすにはあらゆる面での見直しが必要ともいえる。

③ 今回の人間ドック実績に入っていないが、NTT 西日本北陸健康管理センターの産業医も受託している。週 3 日は同センターに出向し業務をこなしており、この産業医としての分野は、働き方改革の実施もあり、有望な分野と感じている。

④ 2 日目昼食を、外食プラン選択可能とした結果、81%が外食プランを選択し、選択制プラン導入に約 9 割が満足しているとの回答を得ることができ、質の改善に寄与した。

看護部

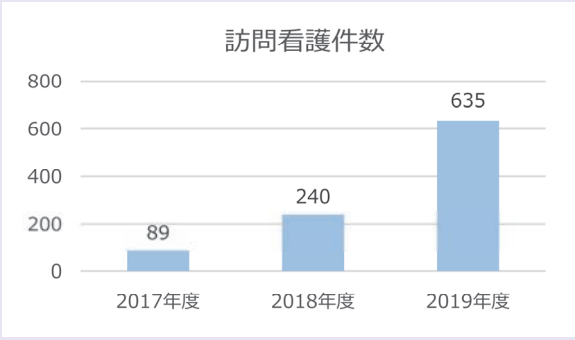
■診療部長

前大道　綾子

■2019 年度のトピックス、実績

① 7 月に訪問看護ステーションを開設した。利用者件数の獲得には苦慮したが、当院の特徴である抗がん剤投与や輸血投与を行い、看取りの看護を行った。

② 下半期、外来の化学療法件数が倍近くに増加し、対応できる看護師を育成した。新しい師長、主任が 7 月に誕生した。



■事業報告

① 病床稼働率平均値

目標：78%→ 結果：76.2%　達成度 97%

師長間の連絡を密にし、病棟状況を把握し指導した。また、他部署へ情報を発信した。

② 応援体制のシステムづくり

外来、病棟間のそれぞれの人員不足の際、部長の声掛け、師長采配で応援体制をとった。

③ 残業時間の削減

目標：300 時間／月→ 結果：271 時間／月

達成度 120%

④ 顧客満足度の増加

外来　目標：90% → 結果：99%

入院　目標：90% → 結果：96%

⑤ 医療機器、備品、滅菌物数のデータ化

⑥ 医師の協力のもと、稼働率は昨年とほぼ同じとなった。利用者の獲得が今後の課題。引き続き、PNS の定着へ向けての取り組み（時間外の削減、離職率の低下対策）、応援体制のシステムづくりの熟成、師長間の部署訪問を行う。

事務部

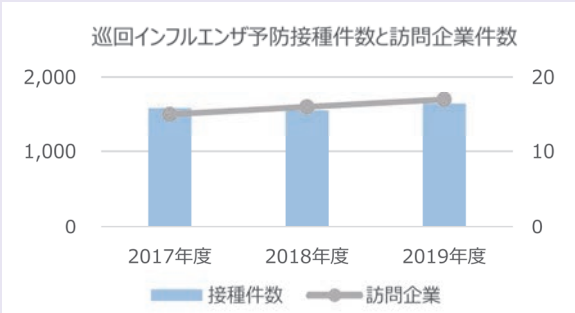
■部門代表者

森田 均

■2019 年度のトピックス、実績

2 月に病院機能評価の訪問審査を受審。資料の準備やマニュアルの整備など、病院全体で取り組み、講評の際には特に地域連携部門で高い評価をいただいた。

11 月に金沢市を中心に事業展開している通信事業者の要望に応え、企業のコールセンターを巡回し、インフルエンザ予防接種を実施。前年度より接種件数・訪問企業件数ともに増加した。



■事業報告

① 受付システム変更

11 月に受付システムを変更、受付番号が附番されて、患者さんに対して、名前ではなく番号での呼び出しが可能になり、プライバシーに配慮した体制が構築できた。受付補助役として、ホスピタルコンシェルジュを配置、患者サービスの向上にも繋がった。

② QR コード決済開始

1 月に QR コード決済を開始、現在「d 払い」「auPAY」「PayPay」「Alipay」「WeChat Pay」の 5 種類が使用可能。金沢市内で対応できる病院が増え、患者さんより QR コード決済の要望も増えてきたことにより、導入に踏み切った。人間ドックの利用の大半を占める NTT グループ職員の利用増加も見込まれる。

クリニック

田鶴浜診療所

■部門代表者

廣正 修一

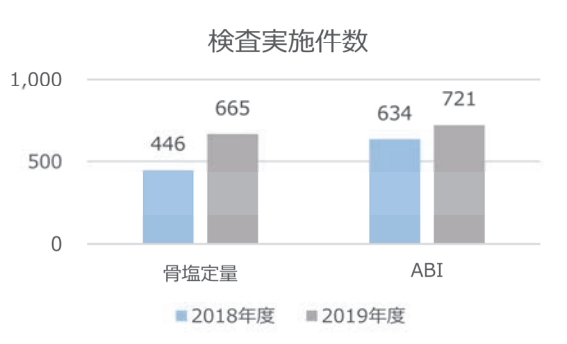
■2019 年度のトピックス、実績

① 患者数：6,934 人（前年比：97.6%）

② 1 日当たり患者数：30 人（前年比：101%）

③ 骨塩定量件数：665 件（前年比：149.1%）

④ ABI 件数：721 件（前年比：113.7%）



■事業報告

心臓・血管系などを中心とした生活習慣病、骨粗鬆症、睡眠障害などのスクリーニング検査及び管理を前面に出し、「元気で長生きするために」をテーマにしてのプライマリー医療を実践している。これらの検査を行うことにより、早期発見に努め、専門的な治療が必要な場合には恵寿総合病院へ紹介し、早期治療に繋げることができた。

例えば、骨塩定量検査では、治療の必要な骨粗鬆症の患者に対し、348 例のプラリア治療の開始を施行し、ABI 検査では、血管外科的治療を必要とする重症末梢動脈疾患患者に対し、恵寿総合病院の心臓血管外科で血管バイパス手術症例も数例治療施行していただいた。

鳥屋診療所いきいき

■部門代表者

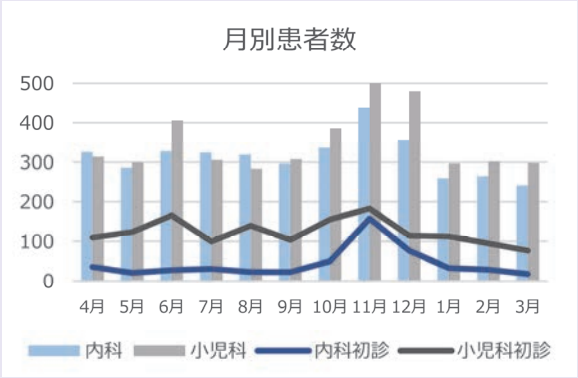
斎藤 靖人、中谷 茂和

■2019 年度のトピックス、実績

① 患者数 内科：3,779 人、小児科：4,207 人
計：7,986 人（前年 7,482 人）

② 紹介 61 人（恵寿総合病院 51 人、その他 10 人）

③ いきいき 総利用者数：2,225 人
平均稼働率：56.2%（目標 80%）



■事業報告

① 鳥屋診療所

総患者数は、7,986 人で、前年（7,482 人）より患者数が増加した。地域唯一の小児科があるため新患、再来ともに患者数が増加した。

今後の課題として、診察のみの患者に対して、定期的な検査等を行い、疾病管理を確実に行っていく。

② いきいき

延利用者数は、2,225 人で、前年度比 32%減、稼働率も前年より 14.2%低下し、大きく目標を下回った。新規利用者が減少していることが原因である。介護保険からの卒業を目指して、より自立に向けたリハビリを行っていることで、卒業できた利用者からは好評価を得ているので、強みとしてアピールして利用者増につなげていきたい。また、高齢者サロンでの講師を 4 回行っており、董仙会のアピールも行ってる。

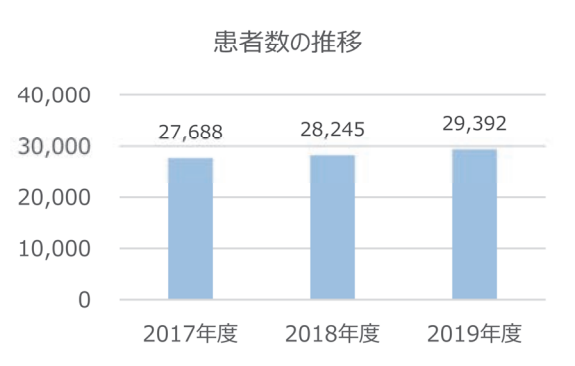
恵寿ローレルクリニック

■部門代表者

吉岡 哲也

■2019 年度のトピックス、実績

カルテ情報閲覧サービス「カルテコ」で透析情報などが閲覧できる機能が追加された。クリニック内に操作端末を設置し、周知を行った。また、QR コード決済サービスの提供を開始するなど、利便性向上の取り組みを行った結果、患者数は 29,392 名となり、前年より増加した。



■事業報告

① 家庭医療科

総患者数は、9,400 人で、前年（9,467 人）と同等であった。一日当たりの患者数は 40 人で若干増加した。訪問診療件数は、432 件で、前年（188 件）より倍増し、外来⇔入院⇔在宅と継続して円滑に提供できる地域包括ケアを推進できた。

② 血液浄化センター

7 月より、腎代替療法として腹膜透析を開始した。腹膜透析外来をオープンし、ライフスタイルに合わせて治療法を選択できるようになった。能登中部における腹膜透析の拠点となるため、更なる体制の強化と患者への周知を継続していく。

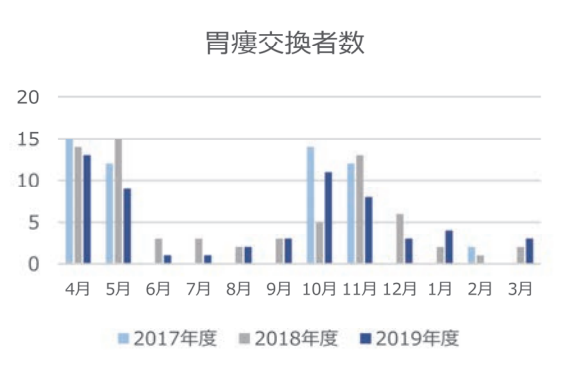
恵寿鳩ヶ丘クリニック

■部門代表者

宮本 正俊

■2019 年度のトピックス、実績

患者数 689 人（内、胃瘻交換者数が 2019 年度 58 人 前年 69 人 前々年 55 人）



■事業報告

① 昨年転換した介護医療院 恵寿鳩ヶ丘の併設医療機関として、入所者のレントゲン一般・CT 撮影を行い、病気の早期発見・治療に努めた。

② 入所者の胃瘻交換及び経鼻経管栄養患者の胃管カテーテル交換後の造影撮影を行った。

③ 穴水町の特定健診事業及び近隣市町のインフルエンザ・肺炎球菌等の予防接種事業に参加し、地域住民への予防医療に努めた。

介護事業統括部門

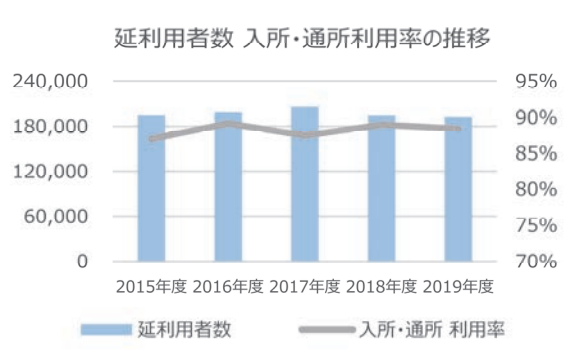
介護事業統括部門

■部門代表者

吉田　茂和

■2019 年度のトピックス、実績

本年度は、春先にもまだインフルエンザウイルスが残る不安な滑り出しであった。上半期は通所事業で苦戦したが、下半期には入所事業が安定し、ほぼ前年度並みまで回復。入所及び通所事業の合計利用率では、平均利用率が 88.4% となり、前年度をわずかに下回った。



■事業報告

① 「介護事業統括部門」等の名称変更

董仙会の組織変更に伴い、「介護事業統括部」は「介護事業統括部門」へ、各事業所も「ケアマネステーション」「訪問リハビリステーション」「福祉用具レンタルステーション」へと、一般にわかりやすい名称へ変更した。

② 「Foot 活（ふっかつ）」プロジェクト 始動

人生 100 年時代を迎え、足から元気を取り戻すため「Foot 活」プロジェクトを始動させた。これに伴い、「Foot 活サンダル」や「Foot 活体操」の活用なども開始した。

③ 外国人技能実習生 受け入れ準備

年度内の受け入れを予定し、必要資格の取得者を養成したが、日本語教育の遅れや新型コロナウイルスの影響により、受け入れはできなかった。

④ 介護職員「特定処遇改善加算」算定

介護職員の更なる処遇の改善を図るため、「特定処遇改善加算」の算定を開始した。

⑤ 介護プロフェッショナルキャリア段位制度

これまで継続的に取り組んでいるアセッサーは、年度末までに計 25 名、段位認定者は計 2 名となった。

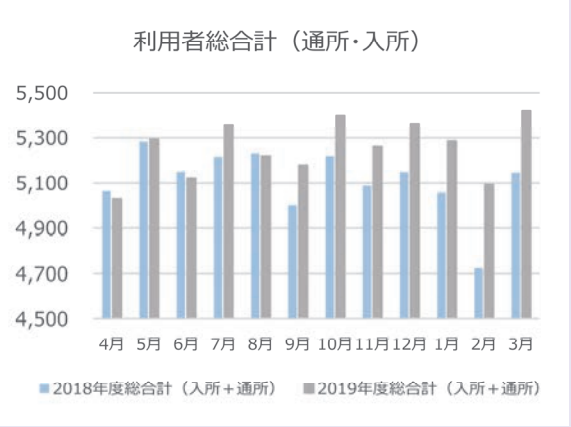
介護老人保健施設　和光苑

■所属医師

渡邉 博之

■2019 年度のトピックス、実績

今年度の上半期は通所の利用者数が減り、伸び悩んでいたが、入所の利用者数維持により何とか前年比で同等だった。しかし、下半期では通所・入所共に利用者数が格段に増え、昨年比を大幅に超える 2.8%の増加となった。



■事業報告

① 今期目標と達成度

入所稼働率 96.6%（前年比 +2.8%）

通所稼働率 80.7%（前年比 +0.1%）

短期集中リハビリ加算 4,702 件（昨年比+1,471）

認知症 〃 1,767 件（昨年比+455）

所定疾患療養費 500 件（昨年比+155）

排泄支援加算 75 件（昨年比+29）

② 教育関係

介護福祉士 3 名、介護支援専門員 1 名、

社会福祉士 1 名、介護福祉士実習指導者 3 名、

アセッサー2 名、技能実習管理者 1 名、

技能実習指導者 2 名、技能実習生活指導者 2 名

介護グランプリ予選会を実施（4 チーム）

③ 今後の課題

下半期に入り入所の稼働率が上がった一方で、在宅復帰率は停滞した。改善には、本来の老健の役割である在宅復帰の成功体験を積み上げていく必要があると思われる。また、介護人材の不足があり、介護スタッフの質の向上、介護周辺業務が出来る方の雇用、外国人技能実習生の指導、育成が鍵となってくる。

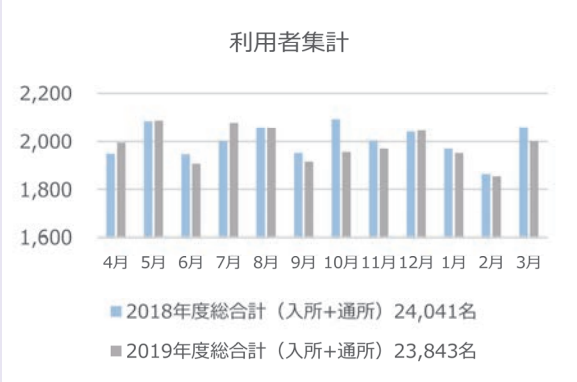
介護老人保健施設　鶴友苑

■所属医師

廣正 修一

■2019 年度のトピックス、実績

2 年目を迎える施設長の方針のもと、利用者に喜んでいただけるように、「本質を大切に、優しさを提供し、相手の良い面を見てあげるようにしよう」をテーマとして、全面的に接遇の見直しを行った。出来るだけ優しく接し、利用者の良い面を積極的に褒めるように努めた。



■事業報告

① 利用者数（入所+通所）

総利用延人数：23,843 名（前年比 0.83%減）

② 行事関係、クラブ活動

入所花見外出、通所花見ドライブ、令和だワッショイ夏祭り、令和最初の長寿感謝祭、レクリエーション大会、クリスマス会、通所リハ外出（足湯など）、秋祭り、節分実施、書道クラブ実施

③ 実習関係

金沢医科大学（医学科）、田鶴浜高校（看護・介護学科）、金沢学院大学（栄養学科）、七尾中学

④ ボランティア関係（定期的に来苑）

紙芝居（入所）、将棋（通所）、書道クラブ（入所）

⑤ 出前講座開催・地域交流関係

出前講座「高齢者への理解を深める」（田鶴浜小）

認知症出前講座（相馬分館、金ヶ崎分館）

運動会参加、苑訪問（田鶴浜小）

慰問（田鶴浜保育園）

⑥ IT 化による業務改善

ダンスケアシステムを導入し情報伝達のデジタル化へ

介護医療院　恵寿鳩ヶ丘

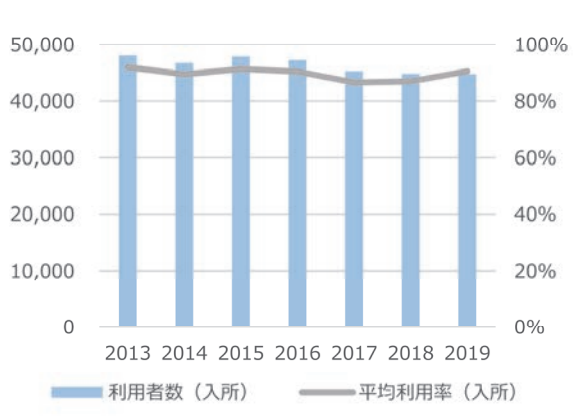
■所属医師

宮本 正俊

■2019 年度のトピックス、実績

県内初の「介護医療院」として 2 年目を迎え、地域に開かれた施設として「ケアフェスタ in 鳩ヶ丘」などの企画も定例化。

利用者・職員双方の体への負担を軽減する車椅子型個浴槽を導入。



■事業報告

① 年間延べ利用者数は、44,818 名（前年比±0%）（ただし、定床 143 床から 135 床とし療養環境改善を図ったことで、稼働率は約 3%増）。

② リハビリ専門職５名から８名（PT4 名　OT3 名　ST1 名（非常勤））に増員。体制強化により利用者のニーズに応えた。

③ 昨年に続き 11 月に地域住民を対象とした「ケアフェスタ in 鳩ヶ丘」を開催した。参加者は昨年より多く、約 90 名だった。

「家族みんなで病気に負けない食事！」と題した管理栄養士の講演をはじめ、各種健康チェック、健康相談、アロマテラピー、作品展示等様々な企画を行い、高校生ボランティアも参加した。

④ ノーリフト介護（持ち上げない介護）のさらなる推進のため、浴室脱衣室を改修し、車椅子型個浴槽を導入した。利用者への安心安全、満足の向上と、職員の体への負担の低減に寄与した。

在宅複合施設　ほのぼの

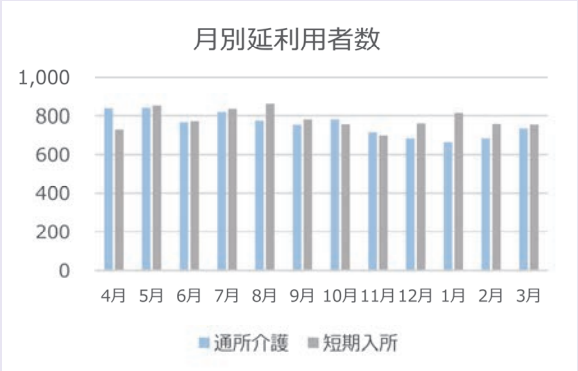
■部門代表者

諏訪 勝志

■2019 年度のトピックス、実績

介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者 1 名取得、認定特定行為業務従事者資格を 2 名取得中、介護プロフェッショナルキャリア段位制度レベル 2②1 名取り組み中。

入所セットを開始し、短期入所利用者の利便性向上に取り組んでいる。



■事業報告

① 今期目標と達成度

稼働率 90%以上を目標としたが、通所介護は 84.0%、短期入所は 85.6%で目標達成できなかった。通所介護、短期入所ともにアピールポイントを創り、毎月の居宅事業所への営業回りを行っている。

② 教育研修

喀痰吸引研修、介護キャリア段位制度など、スキルアップのために研修に参加している。また、中能登地区 3 施設合同で介護技術向上のため勉強会を開催し、日々の介護技術見直しを図った。

③ 今後の課題

介護技術の全体的向上と施設の強みをアピールし、利用したい施設を目指し、稼働率向上に努める。通所介護では、在宅生活が継続でき、より元気になってもらうために Foot 活プロジェクトを積極的に行っていく。短期入所では、喀痰・吸引など医療依存度の高い利用者、退院後で病状などの不安定な利用者の受入も検討し、職員教育を行っていく必要がある。

デイサービスセンター　いこい

■部門代表者

愛徳 亜矢

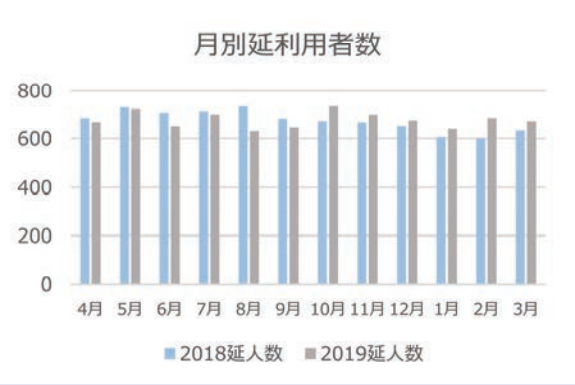
■2019 年度のトピックス、実績

① 個別機能訓練加算算定 90.8%

② 介護度改善者数 14／64 名（21.9%）

③ 本人の状態に合わせて利用回数を見直し、増やした数 21／90 名（23.3%）

④ 3/1（日）家族会に 20 名の参加予定だったが、中止



■事業報告

① 目標稼働率 85%　実績 平均 75.5%
達成度 88.8%

② 認知症対応型サービス実践者研修 1 名修了
正職員は全員、外部の研修会に参加し、報告できた。介護グランプリに向けて介護技術の勉強会や再確認ができた。

③ 介護度が高く、利用頻度の高い方が施設入所となり、新規で入られるのは回数制限のある予防の方が多く、延利用者数が増えていかない現状である。

④ 利用者を増やすことが最優先課題であり、アピールポイントとしては、健脚に力を入れていきたい。1 周 33m、3 周で 100mのつくりを利用し、歩いて筋力を維持できるだけでなく、距離を伸ばしていくことの楽しみや達成感を味わっていただきたい。Foot 活や運動指導士による筋力アップの活動も合わせてアピールし、利用者数を増やしていきたい。

けいじゅ一本杉

■部門代表者

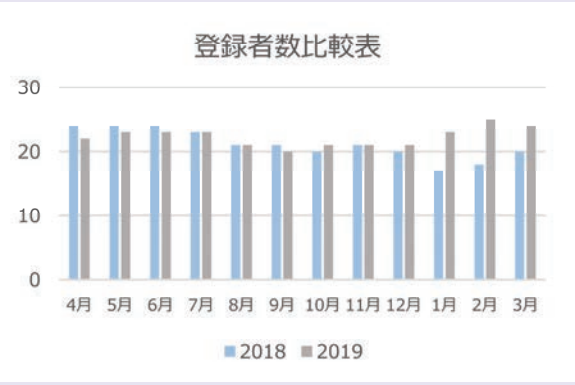
高木 ひとみ

■2019 年度のトピックス、実績

① 12／1 に見学会を開催し、47 名の参加があった。

② 2 階の階段をスロープにし、手すりを設置して、歩行を安全に、車椅子でも対応できるようにした。

③ 1 階の地域交流スペースを貸し出し、地域の皆様に利用して頂いた。



■事業報告

① 目標登録者数 26 名 実績 22.3 名
達成度 85.5%

② 地域とコラボレーション
4/29～5/12 花嫁のれん展に協賛
7/24 打ち水！「地球の温度を 1 度下げよう」
9/23～9/28 「けいじゅ一本杉大感謝祭」
11/3 秋の太市 「ちょんこ山保存会」と協働。
12/1 「一本杉見学会」
12/25.26 「クリスマスお楽しみ会」

③ 利用者の満足度向上
誕生日には地域のレストランで外食をするなど、楽しんでいただける企画を実行した。

④ 施設入所待ちで、泊まり中心に利用を希望される方が増えている。個室での対応ができないため、条件がクリアできず、利用に繋がらないこともあり、今後の課題と考える。

恵寿みおや

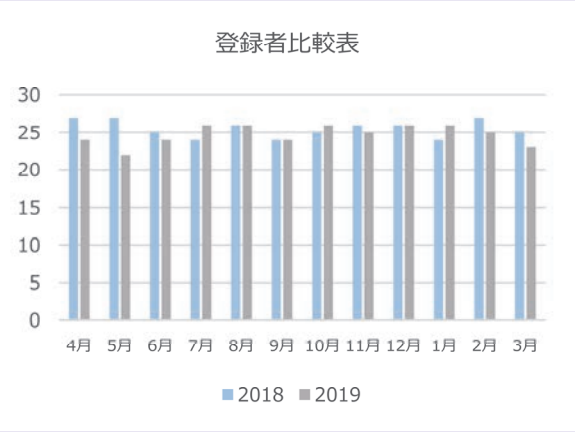
■部門代表者

古木　恵実子

■2019 年度のトピックス、実績

みらいカフェを年間 10 回開催し、計 113 名の参加者数となった。

7 月に恵寿みおや見学会、11 月にみおや感謝祭を開催した。



■事業報告

① 目標登録者数　29 名　実績　月平均 24.75 名

達成度　85.3%

② 認知症みらいカフェ

職員講師によるみらいカフェ開催

4 月　健康体力測定と頭の体操をやってみよう！

5 月　可愛い立体切り絵を作ろう

6 月　食中毒に気をつけよう

9 月　可愛い立体折り紙“川下りの舟”を作ろう

10 月　リボンでハットキーホルダーを作ろう

11 月　恵寿みおや感謝祭

12 月　お正月のフラワーアレジメントづくり

1 月　折り紙でおひなさまを作ろう

③ 資格取得

認定特定行為業務従事者　1 名

認知症ケア指導管理士（初級）1 名

整容介護コーディネーター　2 名

ケアマネステーション恵寿

■部門代表者

高松　由紀子

■2019 年度のトピックス、実績

7 月から事業所名を「ケアマネステーション恵寿」に変更した。

新しく 2 名のケアマネージャーが配属となり、総勢 14 名で居宅介護支援業務にあたった。



■事業報告

① 年間延べ利用者数　5,272 人（前年比－3.7%）

新規利用者数　147 人

② 加算

入院時情報連携加算　229 件

退院・退所加算　196 件

初回加算　154 件

今年度は入退院者数が前年度と比べて多く、入院時連携加算は前年比＋14.5%、退院・退所加算は前年比＋13.3%であった。

③ 資格

主任介護支援専門員　2 名更新　　現在 6 名

恵寿総合病院訪問看護ステーション

■部門代表者

受川 志津子

■2019 年度のトピックス、実績

能登初となる腹膜透析患者への訪問を開始し、特定行為のできる看護師（呼吸器、褥瘡）と連携した結果、訪問延べ件数が拡大した。



■事業報告

① 訪問延べ件数は増加している。
それに伴い収入も増加傾向にある。

② ターミナルや医療度の高い利用者も増えてきている為、研修会参加やステーション内での勉強会を行うなど知識を深める努力を行っている。
また、利用者個々のケアについてカンファレンスを重ね、必要時利用している事業所や認定看護師とのカンファレンスも開催している。人生会議も 1 度開催した。

③ 恵寿訪問看護ステーションの強みである、恵寿総合病院や法人内の施設との連携を行うため、必要時病棟や利用施設へ出向き情報共有を行っている。今後も看看連携ができるよう取り組んでいきたい。

④ 医療度の高い利用者が増えてきており、土・日の緊急呼び出しが多くなってきている為勤務体制の整備を行った。

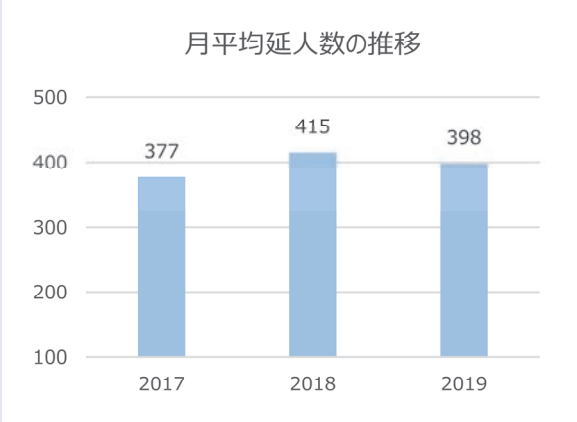
訪問リハビリステーション恵寿

■部門代表者

高松 由紀子

■2019 年度のトピックス、実績

７月に事業所名を「訪問リハビリステーション恵寿」に変更。昨年度と同様に、病院スタッフに訪問リハビリの紹介を働きかけ、またケアマネ事業所にもアピールし、新規利用者の獲得に取り組んだ。



■事業報告

① 訪問件数: 年間延べ件数 4,775 件
月平均 398 件
新規利用者数: 60 人
訪問件数は前年度比－4.1%、新規利用者数は前年比＋9.1%であった。

② 短期集中リハビリ加算: 302 件

③ 社会参加支援加算:3,903 件

④ リハビリテーションマネジメント加算: 1,023 件

⑤ 今年度は訪問件数を伸ばすため、担当スタッフが訪問できない場合には他のスタッフが代わりに訪問して対応できるよう調整を行った。

福祉用具レンタルステーション恵寿

■部門代表者

高松　由紀子

■2019 年度のトピックス、実績

① ７月より、事業所名を「福祉用具レンタルステーション恵寿」に変更した。

② 10 月より、毎月「めぐみニュース」を発行し、おすすめ商品を紹介してキャンペーンを行った。

③ 最新の福祉用具や介護ロボット等の研修会やフォーラムに参加し、新商品の知識を深めた。

■事業報告

① 年間延べ利用者数：2,137 人（前年比＋1.6%）

② 年間貸与品目数：7,333　（前年比－1.9%）

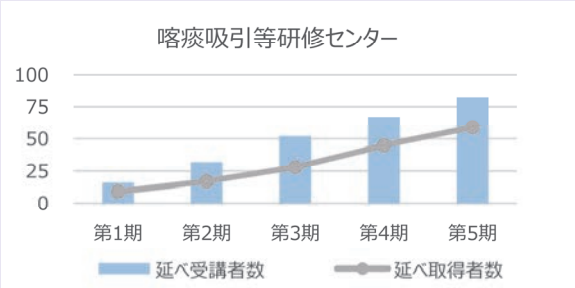
③ 利用者数及び貸与品目数を増やせるように、今後も継続して事業所の PR 活動を行っていく。

喀痰吸引研修センター

■部門代表者

吉田　茂和

■2019 年度のトピックス、実績



■事業報告

① 2017 年度に開講してから、今年度で第５期を迎え、これまでに延べ 84 名の基本研修修了生を輩出した。

② このうち、2019 年度までに実地研修を修了して県の特定行為の登録を行った受講生は 58 名にのぼった。

③ また、新たに指導者研修を修了した看護師 4 名を加え、現地実習の指導者は 19 名となった。

社会事業統括部

社会事業統括部門

■部門代表者　　■オブザーバー

進藤 浩美　　神野 厚美

■2019 年度のトピックス、実績

法人が行う社会事業をまとめた。

医療福祉ショップめぐみ	当法人が開発したものも販売可能
	新規発売：溶けない脳活アイス、foot 活サンダル、遺伝子解析サービス
デリカサプライセンター	けいじゅヘルスケアシステム全施設の給食のおかず工場
	新規導入：野菜洗浄オゾン水の廃止
ベンリー七尾店	便利屋事業
	1 周年　：黒字転換に至らず
（医師会立）七尾看護専門学校	経営管理業務を行うために職員出向
	新規取組：副校長を医師会職員から選定

■事業報告

① 医療福祉ショップめぐみでは、医療、介護に関するものと当法人が開発したもの、企業と提携したものを販売している。本年は、嚥下等に問題のある方、がんなどで食欲が落ちた方などに栄養補助食品として利用できる溶けない脳活アイス 4,300 個販売した。また、介護で foot 活プロジェクトを開始したが、その際使用するサンダルの販売も行った。ジェノプラン社の遺伝子解析サービスを開始し、未病に結び付けたい。

② デリカサプライセンターでは 1 日 5,000 食を超え、チルドおかずを運ぶカートで、ゾーニングがくずれつつあるので、場所をとらない保温のきくカートを企業と開発中である。

③ ベンリー七尾店は、販促活動を行っているものの、収益にばらつきがあり、さらにゴミ廃棄を他企業に委託しているため、利益を上げるためには、資格取得が急務となっている。

④ 七尾市医師会立の看護学校の職員の 1/2 は当法人から出向してもらっていたが、現在少しずつ減らし、七尾市医師会での経営管理力強化をはかっている。

七尾看護専門学校

■部門代表者

山崎 茂弥

■2019 年度のトピックス、実績

入学生の状況・卒業生（看護師として）の就業先は以下の通りである。

入学生の状況

	能登中部	能登北部	石川中央	南加賀	県外	合計(人)
2018	8	19	11	1	2	41
2019	8	23	9	0	2	42

卒業生の就業先

	能登中部	能登北部	石川中央	南加賀	県外	合計(人)
2018	3	20	9	0	2	42
2019	3	18	9	0	4	34

■事業報告

① 主な行事

4 月　入学式

6 月　社会人向けイブニングガイダンス　参加者 8 名

学習会「実習指導の実際」 参加者 38 名

7 月　オープンキャンパス　参加者 49 名

11 月　戴帽式

入試説明会

3 月　卒業式　※新型コロナウイルスの影響により中止

仮入学

② 入学試験

11 月 30 日　推薦入学試験

1 月 23 日　一次入学試験（一般・社会人）

2 月 20 日　二次入学試験（一般・社会人）

③ 看護師国家試験

2 月 16 日第 109 回看護師国家試験　37 名受験

④ 進路ガイダンス・高校訪問

進路ガイダンス　7 回参加

高校訪問　6 月・10 月実施

徳充会

徳充会

■部門代表者

今寺 忠造

■2019 年度のトピックス、実績

全体の延べ利用者件数は、24 万 9,400 件で、平年並みを維持した。

障がい者・高齢者の利用者件数についても、平年並みを維持。2 月・3 月は、新型コロナウイルスの影響が若干あった。

健康増進施設アスロン（七尾市指定管理）は、事業契約満期で、2020 年 3 月 31 日で終了した。



■事業報告

① 「生産性を向上せよ！」をテーマに、各事業所がそれぞれの目標を掲げ、強みを活かし、一致結束して取り組んだ。

② 障がい者事業局：身体・知的・精神の 3 障がいに加え、発達障害、高次脳機能障害等にも取り組んだ。入所利用者は年々高齢化・重度化が進み、医療的ケアのニーズが高い。通所利用者は日中活動・働くニーズが高く、機能訓練利用者は介護保険より、現サービスの継続を望んでいる。

③ 高齢者事業局：新しい価値観・ニーズに対応するため、Wi-Fi の導入、脳トレ・ゲーム、生活総合機能改善機器 DAM の導入、カルチャー教室、事業所内通貨の導入、食の創造（加賀屋とのコラボ、海鮮丼）、ベンリーとのコラボ等、時代の流れとニーズに対応する新しいチャレンジを行った。

④ 事務局：働き方改革（育児休暇・同一労働同一賃金）の対応、職員教育の推進（資格習得支援・研修会の開催他）、積極的な求人活動、徳充会中期計画書の策定を行った。

⑤ 地域貢献：新規に高階地区の障がい者移送、穴水限界集落地区の高齢者の買い物外出の支援を加えた。

⑥ 新型コロナウイルス対策：一致団結して感染予防に取り組み、継続中。

障がい者事業局

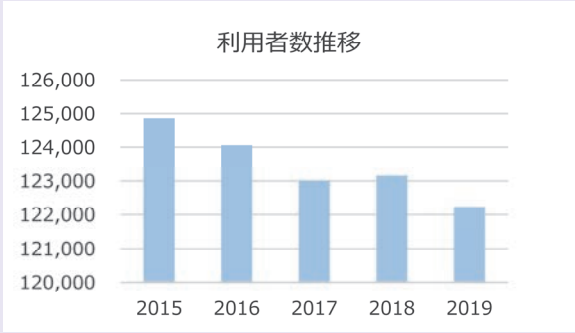
■部門代表者

今寺 忠造

■2019 年度のトピックス、実績

利用者数は、若干の減少が認められるが、12 万 2 千人を維持した。生活介護系（青山・穴水・精育園）、機能訓練（青山リハ）ともに、ほぼ横ばいの実績であるが、感染症の影響（入院・他）で、稼働率が減少した。

どの施設・事業所でも高齢化・障がいの重度化が進んでいる。



■事業報告

① 「新しい地域ニーズと生産性向上」をテーマに取り組んだ。

② さいこうえんの障害者生活支援センター：地域活動支援センター、相談支援、障害者就業・生活支援センターの 3 事業は現状維持。地域生活支援拠点等整備事業に重点を置いた。

③ セェレーナ青山：現状維持

④ 青山彩光苑リハビリテーションセンター：機能訓練は現状維持、就労移行支援の定着率は全国トップレベル。

⑤ ワークセンター田鶴浜：洗濯事業は順調、利用者の高齢化と夏場の作業環境に課題あり。

⑥ 青山彩光苑ライフサポートセンター：利用者個々人の活動を尊重する支援を実施。外出企画では、水族館・動物園・外食など延べ 250 人が参加した。

⑦ 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター：QOL を高める支援（生活場面でする）やスポーツ活動、作業活動や創作活動に力を入れて支援した。

⑧ 石川県精育園：地域行事の積極的参加、障がい者週間等の利用者作品展示、こども園との共同活動など、地域貢献活動に重点。開設 2 年目の自立ホームけいじゅは、短期入所、相談支援キララ、居宅支援の稼働率はアップした。

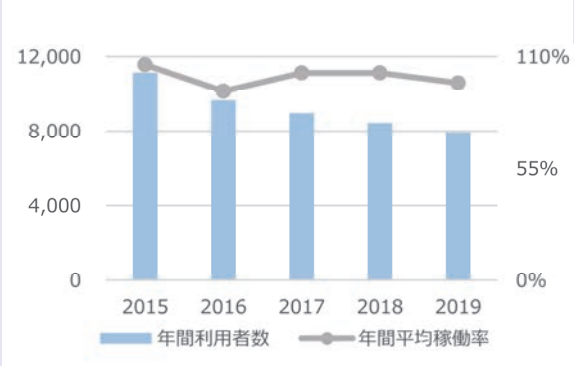
障がい者事業局　青山彩光苑
青山彩光苑リハビリテーションセンター

■部門代表者

瀧野 利徳

■2019 年度のトピックス、実績

就労移行支援事業において、前年度同様に一般就労を開始した全員が、退職することなく継続して働くことができている。定着率の低さを解消するために国が設定した数値目標を大幅に上回ることができ、働きたい障がい者の貴重な資源として地域貢献を果たしている。



■事業報告

① 目標と達成度

入所稼働率(短期入所含む)を 80%以上とする。

→71.8%であったため、達成度としては 89.7%

機能訓練稼働率を 100%以上とする。

→96.9%であったため、達成度としては 96.9%

就労移行支援稼働率を 94%以上とする。

→84.8%であったため、達成度としては 90.2%

② 通所、入所を問わず、機能訓練事業利用者の高齢化に伴い、利用終了や別の入所施設へ移行するケースが目立った。介護、介助に費やす時間も全体的に増加し、職員の意識変革が必要とされる時代に突入したと実感する一年であり、施設としての新たな価値観の構築が急務と感じた。

障がい者事業局　青山彩光苑
さいこうえんの障害者生活支援センター

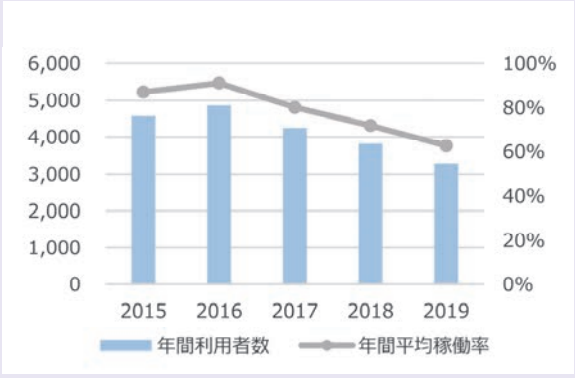
■部門代表者

前田 晋

■2019 年度のトピックス、実績

年間利用者数 3,266 名、前年度比 14.4%減であった。

平均稼働率 62.6%、前年度比 12.8%減であった。



■事業報告

① 七尾市・中能登町からの委託を受け、地域活動支援センターⅠ型事業を実施している。地域で在宅生活している障がい者が通所し日中活動を行っている。生活支援員 3 名を配置し、主に生産活動（作業）や創作活動、季節行事（花見会やクリスマス会など）、調理プログラムやレクスポなど余暇活動も行った。また、地域美化活動（除草作業）や、地域住民参加型の創作活動、地域の教室（健康教室）に参加するなど地域共生型を意識した取り組みを行った。

② 相談支援事業（指定特定・指定一般・定障害児）は、障がいのある人の様々な課題についての相談に応じ必要な情報提供、障害福祉サービス利用等の支援を行った（年間相談件数 3,180 件）。七尾市・中能登町における地域生活支援拠点等整備事業に取り組んだ。

③ 障害者就業・生活支援センター事業は、障がい者・企業等からの就職に係る相談・職場定着に係る相談、これらに伴う生活の相談を受け、その課題解決に向けて必要な情報提供、助言等の支援を実施した（年間相談件数 2,444 件、・就職件数 44 件、・職場実習件数 20 件）。

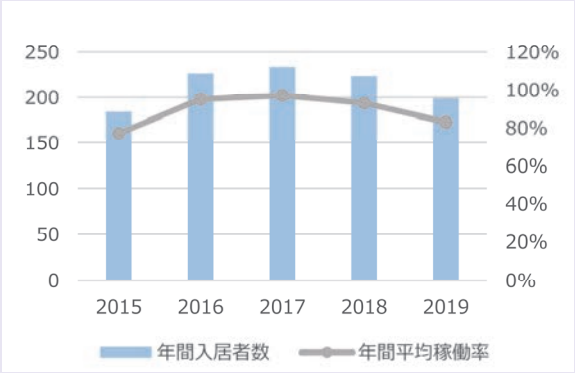
障がい者事業局　青山彩光苑
バリアフリーホーム セェレーナ青山

■部門代表者

瀧野 利徳

■2019 年度のトピックス、実績

入居者の高齢化や障がいの重度化により、住まいの場の変更を検討する必要がある者も増えてきている。定員 20 名に対し、16～17 名で推移し大きな変化は見られていない。



■事業報告

長期入院により 1 名が退去、新規入居者は 1 名であった。

年間平均稼働率は前年比 10%の減少となった。

＜入居者の法人内サービス利用の内訳＞　※重複利用を含む

（障がい者活動系）

リハビリテーションセンター	5 名
ワークセンター田鶴浜	9 名
障害者生活支援センター	1 名

（高齢者活動系）

ふれあいの里	1 名

（生活支援系）

ローレルハイツ恵寿（ホームヘルプ）	3 名

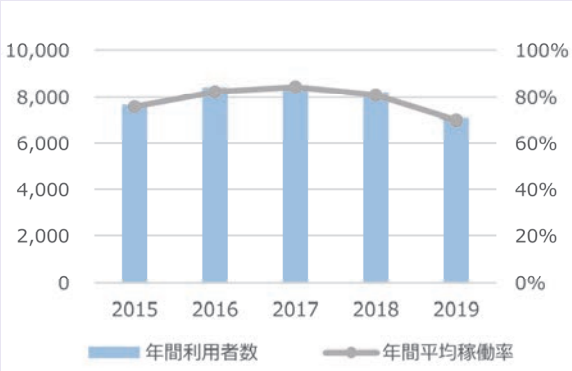
障がい者事業局
青山彩光苑ワークセンター田鶴浜

■部門代表者

池田 浩

■2019 年度のトピックス、実績

利用実績は、稼働率目標 85%に対し、70%昨年対比 11%減、延べ利用者数は 7,103 名で昨年対比 1,113 名減となった。事業総売上高は、ほぼ横ばいであるが、経費削減等により、収益は倍増した。事業に関しては順調に推移している。



■事業報告

① 2019 年度について新規利用者は 2 名のみであり、一方退所者は 6 名であった。退所者 6 名中 4 名が高齢を理由に退所した。利用者の高齢化が顕著に影響した結果となった。長期間休む利用者もおり稼働率は伸び悩み、減収となった。利用登録者も、31 名となった。利用者の高齢化の問題とともに、今後も利用者確保について継続し取り組んでいく。

② 授産事業においては、行政からの委託業務も継続委託され安定収入となっている。また洗濯事業も順調に推移し、他事業においても予定通り進行し、授産事業の安定化に結び付いている。今後は新型コロナウイルス騒動にて若干の売上減が予測されるが事業間でカバーしながら進めていく。

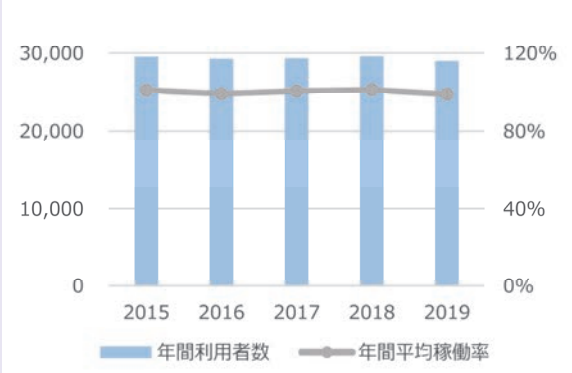
障がい者事業局
青山彩光苑ライフサポートセンター

■部門代表者

今寺 忠造

■2019 年度のトピックス、実績

強度行動障害者に対する支援の方法を職員間で統一する取り組みを行った。研修参加と伝達講習を通し、利用者の特性を理解した対応が行えるようになり、利用者も落ち着いた様子が見られた。その他、委員会活動の成果により、褥瘡発生率 0 %を達成。



■事業報告

① 個別の利用者の活動を尊重する支援を実施。おしゃれに対する興味に応えるため、昨年のフェイスケア・メイクに加え、エステティシャンを招いた。女性だけでなく、男性利用者の希望もあり、昨年よりも幅の広い取り組みとなった。

② 外出企画では、水族館・動物園・外食などに延べ 250 人が参加。利用者の高齢化に伴い、屋外で行っていた運動会を屋内で実施し、「レクリエーション大会」とした。以前よりも利用者の参加人数も増加。体と脳を動かすことや大声で声援を送ることで、ご家族との距離が縮まり、満足度の高い企画となった。

③ 食事支援では、災害に備え、介護職員による非常食の調理訓練をおこなった。実際に行うことで、現場の動きに合わせたマニュアルに改訂することができた。

④ 年間稼働率：

生活介護事業 115%

施設入所支援事業 99%　短期入所事業 76%

障がい者事業局
青山彩光苑穴水ライフサポートセンター

■部門代表者

細木 俊逸

■2019 年度のトピックス、実績

地域における公益的な取り組みとして、地元の穴水中学校において、福祉教育（車いす体験、視覚障がいの疑似体験、ボッチャ体験）を行い、障がいへの理解を深めてもらうことができた。また、ノーリフト（持ち上げない、抱えない介護）の取り組み、ケアの質向上のため、個別支援の実現に向けたケアガイドラインに基づいて取り組みを行い、職員の意識は向上している。



■事業報告

① 生活介護入所稼働率は 98.7％、目標稼働率は 98.0%であり、目標達成率は 100.7%であった。

② 生活介護通所稼働率は 97.0％、目標稼働率は 95.0%であり、目標達成率は 102.1%であった。

③ 施設入所稼働率は 98.9%、目標稼働率は 98.0%であり、標達成率は 100.9%であった。

④ 短期入所稼働率は 90.6%、目標稼働率は 88.0%であり、目標達成率は 103.0%であった。

⑤ まとめ

今年度は、利用者の生活の質（QOL）を高めるために、訓練場面でできることを生活の場面でできるようにすることやスポーツ活動、作業活動や創作活動に力を入れて支援を行った。今後も利用者の QOL 向上のため支援を行っていく。

障がい者事業局
石川精育園

■部門代表者

今寺 忠造

■2019 年度のトピックス、実績

①強度行動障害者への支援力を高める目的で研修派遣の実施、職員へ資格取得の支援を行い、新たに 6 名が介護福祉士の資格を取得した。

②日中活動支援として地域の行事に積極的に参加し、障がい者週間による利用者の作品展示、こども園との共同活動などを行った。

③開所 2 年目となる自立ホームけいじゅの GH（定員 20 名）は、併設事業として、短期入所（定員 4 名）、相談支援キララ、ヘルパーステーション銀河（居宅支援）、地域交流スペース等多機能型の事業を展開した。



■事業報告

① 施設入所の稼働率は前年度並みで、3 名入所増を達成できなかった。生活介護では 9 名通所の利用者を維持している。5S の実践により整理整頓の意識は向上したが、居室環境の向上を引き続き取り組む必要がある。地域バス運行支援の実施により地域貢献ができたと考える。

② 施設入所利用者の 65 歳以上が 28.2%を占め、最高齢者が 85 歳。高齢化の進行に伴う利用者の機能低下が顕在化し、泌尿器系の疾患に伴う通院支援が増えている。転倒予防・便秘対策・嚥下評価など事業所全体で多職種による支援に取り組んだ。また、感染症の予防についても職員一丸となって取り組んでいる。

③ 家族からは、居室の個室化など設備面の充実を希望する意見が寄せられており指定権者である石川県に対して施設整備の必要性を提言している。GH においては高齢な方が 8 名在籍しており介護保険との連携強化が必要になっている。その他、福祉人材の確保と育成が課題である。

高齢者事業局

■部門代表者

吉田 茂和

■2019 年度のトピックス、実績

本年度は上半期の通所事業などで苦戦があったが、特養・ケアハウス・サ高住など、入所系事業が比較的順調に推移し、全体の利用者数は前年に比べ若干だが増加した。Wi-Fi の整備も進め、団塊の世代など新たな高齢者世代を意識したサービス提供にも取り組んだ。



■事業報告

① エレガンテなぎの浦・アンジェリィなぎの浦：特養・通所ともやや苦戦。館内に Wi-Fi を導入し、団塊世代の高齢者への対応として、タブレットを活用した脳トレなどに取り組んだ。また、ケアハウスでは簡単クッキングでのお茶会等を開催した。

② エレガンテたつるはま・もみの木苑：特養は入院者が続出し稼働率が前年を若干割り込んだ。活動としては、利用者・家族の希望を個別に支援するため「夢実現プロジェクト」を計画し実施した。また通所のもみの木苑では、新規利用者の増加などがあり、前年の稼働率を上回った。地域貢献の一環として認知症カフェの送迎を開始した。

③ ふれあいの里：活動と参加の活性化を図り稼働率は上昇。カルチャー教室やイベント開催、社会参加活動にも積極的に取り組み、利用者や家族にも好評を得た。

④ ローレルハイツ恵寿：サ高住・ケアハウスともほぼ満室を維持。月 1 回の iPad 教室を開催し、脳トレに活用したり、個別アルバムや家族への案内等にも活用した。さらに、インスタグラムも開設。また、和倉温泉あえの風とコラボ企画で「おでかけランチ」を年 2 回企画。ベンリーとのコラボ企画も実施した。

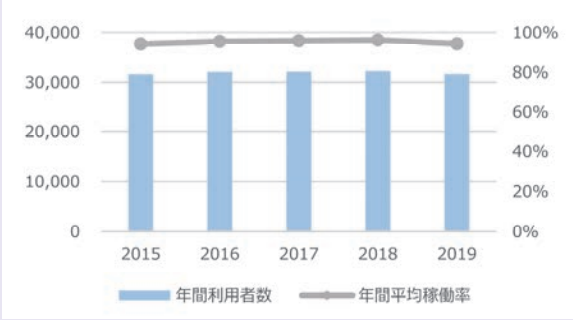
高齢者事業局
エレガンテなぎの浦・アンジェリィなぎの浦

■部門代表者

江沢 恵太

■2019 年度のトピックス、実績

Wi-Fi を導入し、タブレットを活用した支援を実施。脳トレやゲーム、動画鑑賞等で活用した。タブレットを活用した業務の電子化を進め、効率化を図った。また、生活総合機能改善機器 DAM を導入し、運動、口腔、認知機能の維持向上へとつながった。ケアハウスでは高級旅館でのランチ外食支援等新たな支援を導入し、意欲的な参加があった。



■事業報告

① 目標稼働率は、特養 96%、ショートステイ 96%、ケアハウス 100%、デイサービス 86%。平均稼働率実績は、特養 94.2%、ショートステイ 84.5%、ケアハウス 99.4%、デイサービス 81.6%であった。全てのサービスにおいて目標を下回った。特にショートステイ、デイサービスの在宅サービスの稼働率の低下が見られた。実人数の減少に対する今後の対策が重要である。

② 特養では、食事、排泄、移乗・移動のグループによる専門技術の向上を目的に課題や問題点に対して改善への取り組みを提案、実施した。ケアハウスの支援として、これまでの活動機会提供に加えて、簡単クッキングでのお茶会を開催し、コミュニケーションの機会ができた。自ら何かを開催することは難しいが、そのような機会を提供することで、活動的な生活を過ごすことができるため、今後も利用者の意見を伺いながら実施していく。

③ 職員の教育研修については、継続的な研修は行っているが、今後はより実践型の研修会を開催していきたい。

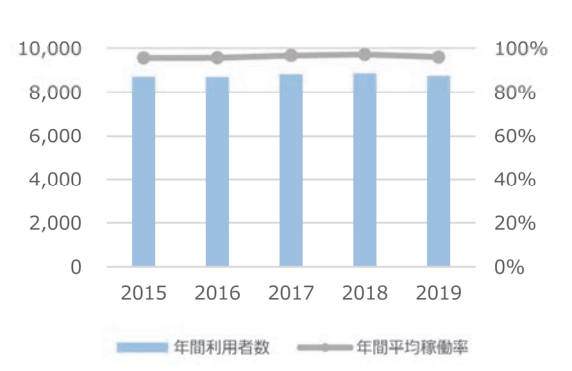
高齢者事業局
エレガンテたつるはま・もみの木苑

■部門代表者

山外　初美

■2019 年度のトピックス、実績

エレガンテたつるはまでは夢実現プロジェクトを計画し、利用者や家族の要望を実現できるよう個別支援を行い、実施できた利用者、家族に喜んでいただいた。もみの木苑では、地域へのボランティアとして、認知症カフェの送迎を行い、移動手段のない方から喜んでいただき、地域との交流も広がった。



■事業報告

① 目標稼働率は、エレガンテたつるはま（特養）99%、デイサービスセンターもみの木苑 90%→平均稼働率実績は、エレガンテたつるはま 95.9%、もみの木苑は、86.5%であった。特養については、会議でベッドコントロールについて協議し迅速に対応していたが、慢性疾患で入院する利用者が増えてしまい、結果的に稼働率は減少した。デイについては、入院などで利用休止や中止もあったが、新規利用者も徐々に増え、回数を増やしてほしい利用者もあって、昨年の稼働率を上回った。

② エレガンテたつるはま、もみの木苑では、地域密着型施設として、夏祭りなどの行事等には、地域の民生委員や介護支援サポーター会に協力していただいた。また、その他の活動として地区の祭りへの参加や学童・保育園等との地域交流も行った。

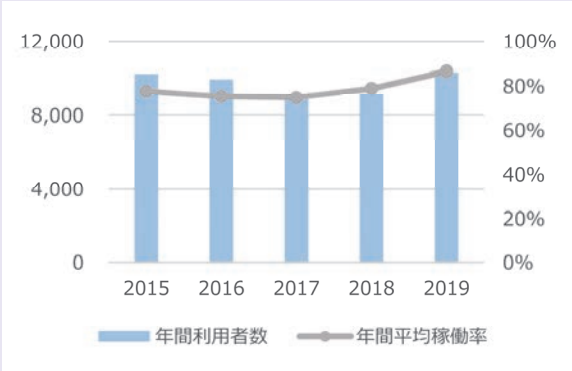
高齢者事業局
ふれあいの里

■部門代表者

芳原　哲弥

■2019 年度のトピックス、実績

活動と参加を活性化させるために事業所内通貨「フーレ」を発行し、様々な特典を設けることで多くの方々に楽しんでいただけた。カルチャー教室やイベントを毎日開催すると共に、社会参加活動にも積極的に取り組むことで、利用者やご家族にも好評を得ることができた。



■事業報告

① 通所介護の年間稼働率目標は 85%→実績 86.8%で達成度は 102.1%だった。活動と参加をコンセプトとしたメニューが利用者やケアマネからの支持を受けることができ、前年度の稼働率（78.9%）を大きく上回る結果となった。

② 訪問入浴は 72 件／月以上の提供を目標とする→実績 65.4 件で達成度は 90.8%だった。昨年度より多くの新規を受け入れたがその多くがターミナルケアの方であり定着した利用には至らないケースが多かった。→新規 16 件（前年度 9 件）

③ 配食サービスの目標配達件数 2,000 件／月→実績は 1,799 件／月で達成度は 90.0%だった。七尾市の受付の基準が前年度よりも厳しくなり、新規も減少した。

高齢者事業局
ローレルハイツ恵寿

■部門代表者

内田　かおり

■2019 年度のトピックス、実績

開設 5 周年を記念して、5 つの新たな取り組みに挑戦した。

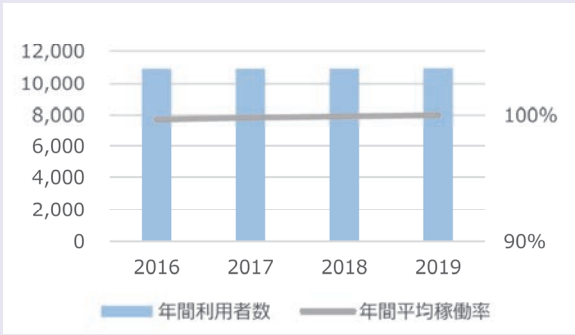
① 加賀屋とコラボ・あえの風ランチ

② iPad 教室

③ 海鮮どんぶり＆香箱がに

④ 生で落語

⑤ 御供田幸子ショー（新型コロナウイルスで中止）



■事業報告

『一歩先へ』

① 単価を上げる
ケアハウス：295,000⇒286,000
サ高住：144,000⇒135,000
ヘルパー：32,000⇒31,700
加算の途中中止、入院者の増が、減収の要因。また、全館通して、入居者の入れ替わりが多かった。（他施設、入院等）

② タブレット活用
月 1 回、iPad 教室を開催。脳トレに活用。申し込みの際に、タブレットにて室内案内に活用。個別アルバム、家族への案内等に活用。また、インスタグラムの開設。

③ 個別対応の充実
和倉温泉あえの風とコラボ。おでかけランチを夏・冬と 2 回企画。ベンリーとのコラボ企画は、夏祭りにベンリー無料券を景品にし、宣伝協力。

④ Only 1 の確立
職員一人一人が専門分野、特技等のスキルアップにつとめた。特に、インスタグラムの開設では、日々の更新から、全国各地より“いいね”があったり、お友達になったりと、つながりが広範囲となった。

⑤ 人財育成と質の向上
開設 5 周年祭の予定が、新型コロナウイルスにて中止。

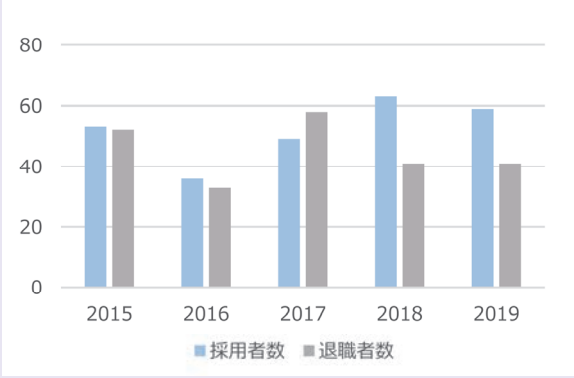
事務局

■部門代表者

山下　賢

■2019 年度のトピックス、実績

2019 年度における採用者数は 59 名、退職者数は 41 名で差し引き+15 名となった。また、期首の職員総数は 450 名であった。



■事業報告

① 外国人労働者受け入れ準備に着手

② 恵寿こころの相談室の開設

③ 従来の処遇改善交付金に加え、特別処遇改善を 2019 年下期から開始し、3 月に直接処遇職員等に手当金を支給。

④ 徳充会中期計画書を策定

⑤ 地域における公益的取り組み（新規）
a） 移動支援事業（高階地区）
b） お買い物支援事業（穴水地区）
c） 送迎サービス事業（田鶴浜地区）
d） 生活困窮者就労訓練事業

⑥ 補助金内示
a） 社会福祉施設等施設整備費補助金（穴水ライフサポートセンター）
b） 日本財団　ワゴン車 1 台購入

事務局
健康増進センターアスロン

■部門代表者

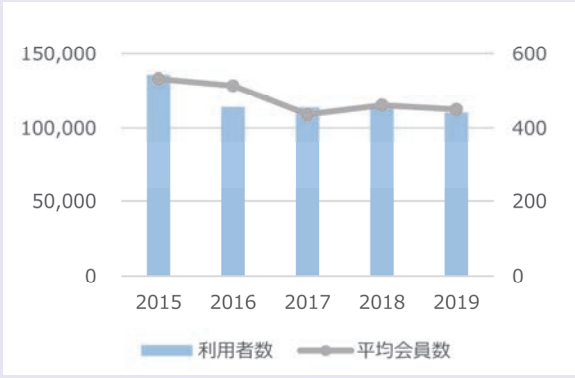
一谷　真澄

■2019 年度のトピックス、実績

会員数増への取組み。

『春／秋得々プレゼントキャンペーン』の実施

新規入会者を紹介した会員に対しアスロンオリジナルグッズをプレゼント。入会者は入会金が無料となる。



■事業報告

① 介護事業【基準緩和通所型サービス（運動型）】の取組み。2017 年 4 月 6 日より開始。

② 中能登町との連携

〈集団型〉

対象者：65～85 歳未満の高齢者

内容：運動機能向上プログラム 3 ヶ月間（1 クール）

〈個別型〉

対象者：特定保健指導に該当した方。

週 3 回アスロンへ通える方。

現在アスロンの会員ではない方。

内容：運動を中心とした生活習慣病予防の為の個別支援をアスロン会員として 3 ヶ月実施する。定員：10 名

〈保育園指導〉

中能登町 5 園

（さくら、こすもす、たんぽぽ、さくら、あおば）

対象者：年長組（5～6 歳児）

内容：身体を楽しく元気に動かす事を学ぶ(キッズエアロ)

事務局
徳充会　総務部

■部門代表者

山下　賢、畑中　浩樹

■2019 年度のトピックス、実績

① 働き方改革への取組、育児休暇の延長、同一労働同一賃金への対応。

② 停電対策マニュアル（青山彩光苑版）を作成。

③ 採用実績（正規職員 15 名、臨時職員 23 名）

■事業報告

① 総務課企画研修及び説明会の動画配信開始。

② 勤怠管理システムの開発、運用。

③ 福サポいしかわとタイアップした。

就職説明会の実施（毎月）

事務局
徳充会　経営企画部

■部門代表者

松下　清寛

■2019 度のトピックス、実績

① 業務標準化：部内業務のマニュアルの整備、データの一元化を図る。

② 改正消費税施行への対応

（会計システムの更新、消費税・物価額増による経費調整、業務委託等見直し）

③ 徳充会中期計画書を策定（2020 年～2022 年）

■事業報告

① 会計・請求業務

② 補助金申請

③ 地域における公益的取り組み（新規提案：10 月より）

④ 新規事業・取り組みの提案

⑤ 理事会・評議員会開催（6 月、3 月）

・理事・監事の改選

⑥ 法人登記手続き（資産総額変更、理事長登記）

⑦ 指導監査の対応

・石川県厚生政策課

（実地監査 9 施設、書面監査 3 施設）

事務局
アドボカシー室

■部門代表者

池田　まり子

■2019 年度のトピックス、実績

「ニコリほっと」の取り組みを実施した。

各事業所に投函箱を設置し、職員が日常生活の中で「ニコリ」と笑顔になった事、「ほっと」安心した出来事などを投函し、報告した。

4 月	投函箱の設置、「ニコリほっと」のポスターを掲示
9 月・2 月	事業所の施設長と面談
10 月・4 月	部長会議に報告

■事業報告

① 半年に一度、各施設で「にこりホット」の件数を集計した。今年度は計 135 件の投函があった。
また、投函された事例は会議・朝礼の場で公表し全体に共有した。結果、他者の長所に気づきやすくなり、自分を顧みて今後につなげるプラス思考を養うことができた。今後も前向きに取り組みを継続していきたい。

② 法人内の事業所で接遇の講義を行った。

福利厚生委員会

■委員長

表　晃一

■2019 年度のトピックス、実績

2019 年度　委員会回数 10 回を実施した。

	開催日	内容
第 1 回	10/26～10/27	伊勢旅行企画（参加 32 名）
第 2 回	11/2～11/3	東京旅行企画（参加 10 名）
第 3 回	2020/2/1	レク企画　ボウリング＆食事会（参加者 51 名）

■事業報告

① 旅行企画について職員全体にアンケートをとり職員のニーズに合った旅行を企画・実施することに努めた。

② レク企画では、ボウリングと食事会を同日に実施し、職員の交流を深めた。

③ 行事助成金の使用率は 47.2%であった。前年度使用率の 45.9%を上回った。

教育研修委員会

■委員長

畑中　浩樹

■2019 度のトピックス、実績

①役職者研修

	開催日	内容
第 1 回	7/10	役職者研修　理事長講義
第 2 回	8/5	役職者研修　経営戦略(財務状況)
第 3 回	9/22	役職者研修　考課者研修

②新人職員フォローアップ研修

③ストレスマネジメント研修

④介護福祉士試験対策講座（董仙会合同）

■事業報告

① 役職者研修を体系化した。

② 一部研修の動画配信を実施した。

事例研究大会

■委員長

北野　正敏

■2019 度のトピックス、実績

大会テーマは年度方針と同じ「生産性を向上せよ」とし、サブテーマを「一人ひとりの知識と資質向上」とした。

発表大会は 2020 年 2 月 29 日（土）に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの発生、感染および拡大防止等により、大会開催は中止とし、冊子配布のみとした。

■事業報告

① 提出事例は 67 事例と昨年度より 5 事例減少、テーマに沿った事例作成が難しかった。テーマ選定については充分な検討が必要。

② チーム作成と個人作成の割合が障がい者・高齢者の其々の部門で片寄りがみられ、全員が取り組む形としての事例発表について課題が残る。



2019 年 7 月 18 日　脳活アイス販売開始



第3章
医療部門
診療統計・医療の質

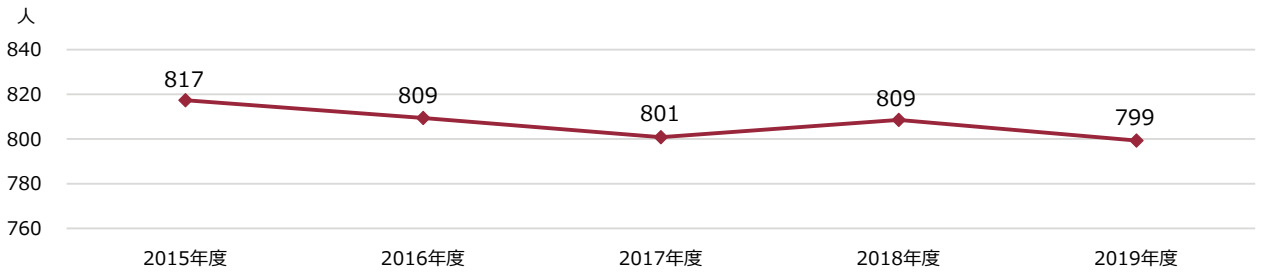
外来患者数（恵寿総合病院）

外来患者数の推移

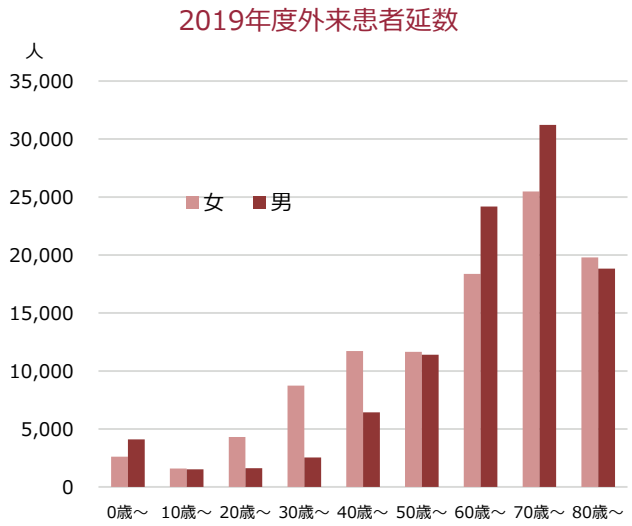
※上段：患者延数　下段：1 日当たりの平均患者数　　単位：人

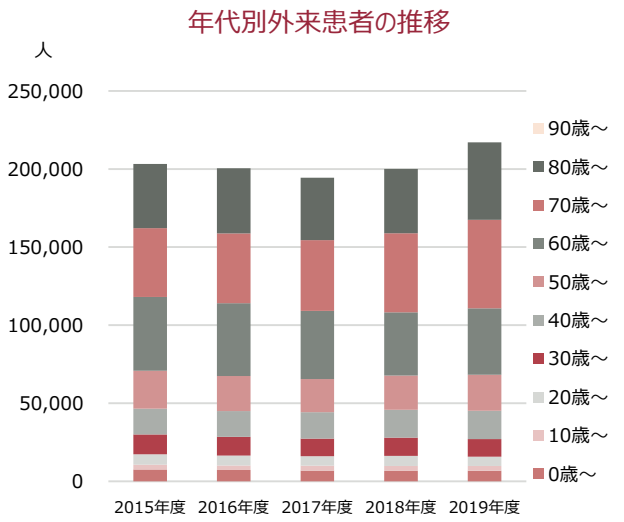
	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
形成外科	5,087	4,885	4,443	4,392	4,322
	21	20	18	18	18
脳神経外科	6,976	6,145	4,738	4,892	4,467
	29	25	19	20	19
心臓血管外科	2,940	2,855	2,773	2,850	2,880
	12	12	11	12	12
消化器外科	8,247	8,017	7,584	8,194	8,079
	34	33	31	34	34
整形外科	13,160	13,292	13,763	14,971	15,712
	54	55	57	62	66
内科	34,161	33,219	33,748	35,364	34,630
	141	137	139	146	145
産婦人科	13,887	13,375	13,420	14,221	13,287
	57	55	55	59	56
耳鼻咽喉科	6,715	7,125	7,422	7,124	6,395
	28	29	31	29	27
眼科	13,396	12,792	13,325	12,765	12,634
	55	53	55	53	53
泌尿器科	8,937	9,664	9,707	9,712	8,850
	37	40	40	40	37
小児科	6,058	5,577	6,030	5,951	5,976
	25	23	25	24	25
麻酔科	2,274	2,215	1,887	2,288	2,187
	9	9	8	9	9
透析科	18,644	18,170	18,207	18,672	19,114
	77	75	75	77	80
脳神経内科	4,656	4,770	5,024	5,061	5,059
	19	20	21	21	21
皮膚科	10,642	10,550	8,511	7,420	8,053
	44	43	35	31	34
循環器内科	7,582	8,275	9,645	8,816	7,799
	31	34	40	36	33
リハビリテーション科	12,248	13,790	13,460	12,064	11,222
	51	57	55	50	47
家庭医療科	10,720	10,071	9,585	9,593	8,801
	44	41	39	39	37
放射線科	606	440	396	419	383
	3	2	2	2	2
胸部呼吸器外科	373	439	437	1,462	590
	2	2	2	6	2
緩和医療科	930	1,174	971	0	0
	4	5	4	0	0
消化器内科	9,559	9,039	9,530	10,254	10,590
	40	37	39	42	44
合計	197,798	195,879	194,606	196,485	191,030
日当たり合計	817	809	801	809	799
稼働日	242	242	243	243	239

外来患者数1日あたり平均



年代別(男女別)外来患者数





救急外来患者数(恵寿総合病院)

救急外来患者数の推移

単位：人

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
形成外科	445	483	503	439	474
脳神経外科	576	596	645	479	432
心臓血管外科	22	29	46	41	44
消化器外科	112	110	250	152	162
整形外科	937	918	1,202	920	1,079
内科	2,469	2,707	3,432	3,376	3,369
産婦人科	160	106	196	155	176
耳鼻咽喉科	302	239	302	255	303
眼科	45	33	51	49	49
泌尿器科	141	201	242	181	188
小児科	1,280	854	1,187	984	971
麻酔科	83	4	2	2	14
透析科	0	0	0	0	0
脳神経内科	107	82	169	154	170
皮膚科	320	291	327	231	317
循環器科	283	320	451	365	394
リハビリテーション科	0	0	0	1	0
家庭医療科	216	121	99	63	61
胸部呼吸器外科	0	0	1	0	0
緩和医療科	37	25	23	0	0
消化器内科	640	696	889	836	800
合計	8,175	7,815	10,017	8,683	9,003

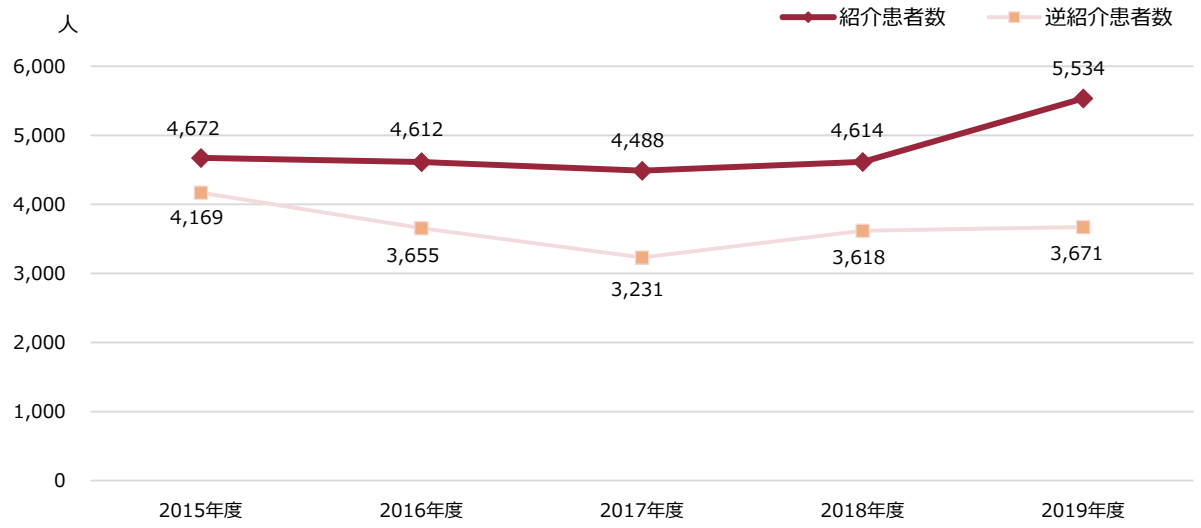
救急車受け入れ台数の推移

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
救急搬送件数（件）	1,630	1,521	1,569	1,533	1,527
入院率（%）	55%	59%	60%	58%	59%

紹介患者数(恵寿総合病院)

紹介患者数･逆紹介患者数の推移

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
紹介率	49.97%	53.84%	55.77%	56.02%	67.30%
逆紹介率	29.98%	28.23%	25.73%	29.38%	44.64%

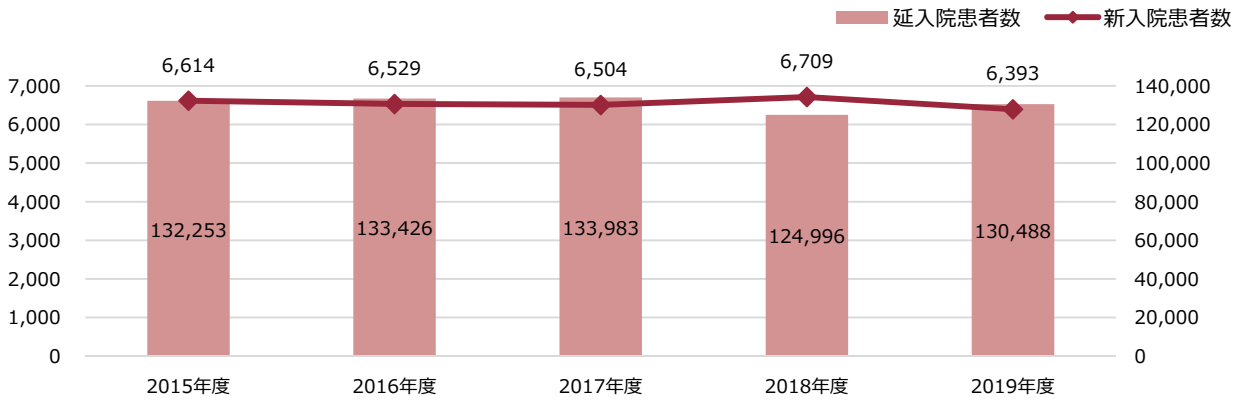


入院患者数(恵寿総合病院)

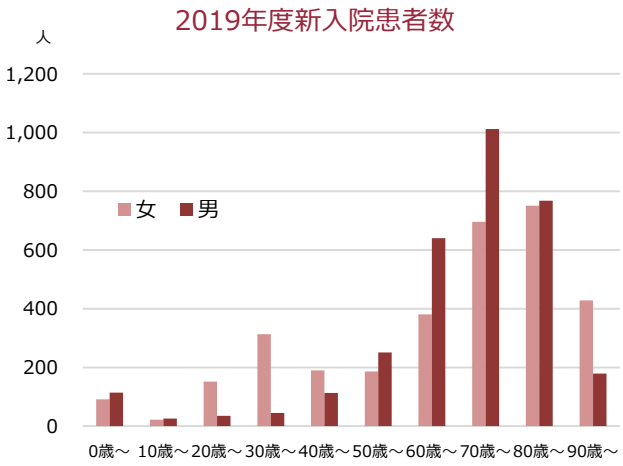
新入院患者数･延入院患者数の推移

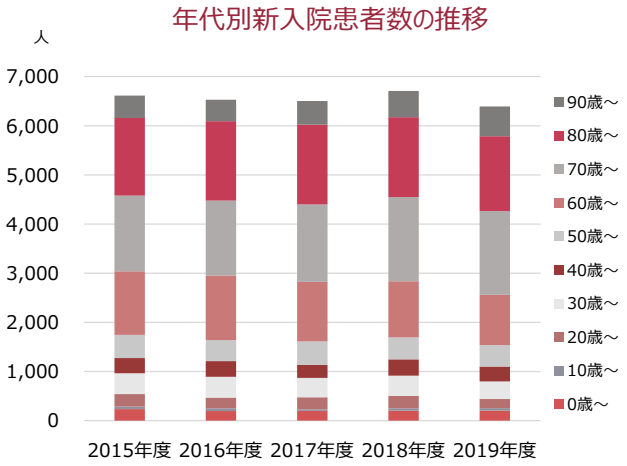
単位：人

	2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度	
	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院
形成外科	51	544	53	435	60	392	63	619	37	423
脳神経外科	297	12,842	223	11,166	209	8,886	192	9,470	183	12,679
心臓血管外科	216	2,496	176	2,047	162	2,335	172	2,026	168	2,392
消化器外科	426	6,308	414	6,361	440	6,397	487	7,786	500	8,726
整形外科	493	19,365	550	22,526	503	21,861	576	19,188	575	20,201
内科	1,253	36,540	1,520	39,091	1,684	44,227	1,634	36,227	1,706	39,467
産婦人科	632	6,611	599	6,415	570	5,708	658	5,687	552	4,307
耳鼻咽喉科	115	731	128	1,076	109	747	101	829	94	607
眼科	652	1,443	560	1,335	521	1,266	473	1,194	460	1,128
泌尿器科	201	1,096	228	1,190	253	1,271	249	1,245	150	904
小児科	224	1,537	184	1,237	189	1,063	194	1,144	197	1,106
麻酔科	1	38	0	0	0	0	5	52	4	42
脳神経内科	98	4,802	116	5,492	101	5,983	115	6,120	105	5,516
皮膚科	30	360	15	276	28	252	30	388	43	597
循環器科	606	6,051	617	6,406	544	8,041	592	7,913	495	7,089
リハビリテーション科	41	6,146	55	4,841	51	6,135	64	6,193	67	6,563
家庭医療科	365	11,397	225	9,249	173	6,580	168	6,795	156	6,168
緩和医療科	86	3,560	61	3,586	38	2,604	0	0	0	0
消化器内科	827	10,386	805	10,697	869	10,235	936	12,120	901	12,573
合計	6,614	132,253	6,529	133,426	6,504	133,983	6,709	124,996	6,393	130,488
月当たり平均/日当たり平均	551 / 362		544 / 366		542 / 367		559 / 342		533 / 357	



年代別(男女別)新入院患者数





平均在院日数･病床稼働率

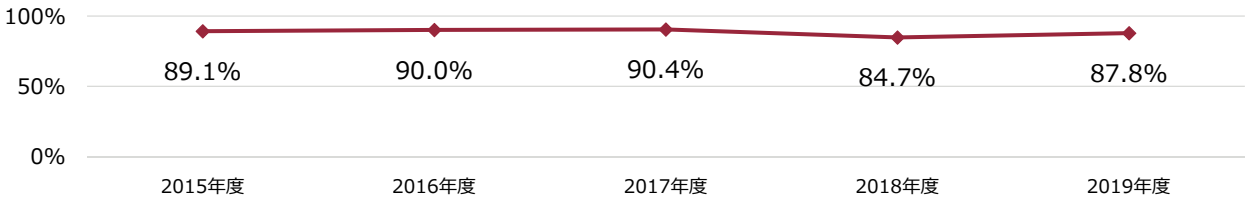
■平均在院日数(全病棟)

単位：日

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
形成外科	10.9	8.2	6.6	9.9	11
脳神経外科	44.9	51.3	44.1	49.3	70.1
心臓血管外科	11.6	11.6	14	11.9	14.3
消化器外科	14.8	15.4	14.2	15.9	17.2
整形外科	41.8	42.3	42.6	34.3	34.7
内科	29.7	26.3	26.8	22.5	23.5
産婦人科	10.5	10.7	9.9	8.6	7.8
耳鼻咽喉科	6.5	8.4	6.9	8.2	6.5
眼科	2.2	2.4	2.4	2.5	2.5
泌尿器科	5.4	5.1	5	5	5.9
小児科	6.8	6.7	5.6	5.9	5.6
麻酔科	25.3	-	-	10.4	10.5
脳神経内科	46.2	46.3	56.7	53	49.9
皮膚科	13.1	16.7	9.5	12.7	14.4
循環器内科	9.9	10.4	14.8	13.5	14.3
リハビリテーション科	87.0	82.1	110.5	90.4	94.4
家庭医療科	30.8	37	36.8	37.4	37.3
緩和医療科	35.8	47.2	45.7	-	-
消化器内科	12.7	13.2	11.7	12.9	13.6
月当たり平均	20.0	20.4	20.5	18.7	20.3

■病床稼働率(全病棟)

単位：日

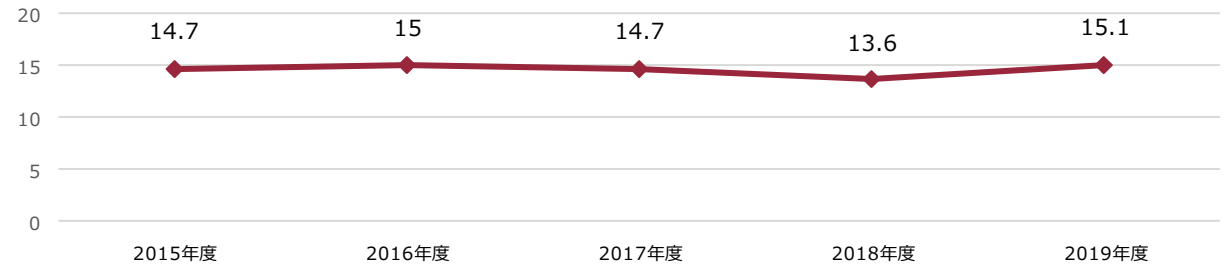


病床機能別在院日数

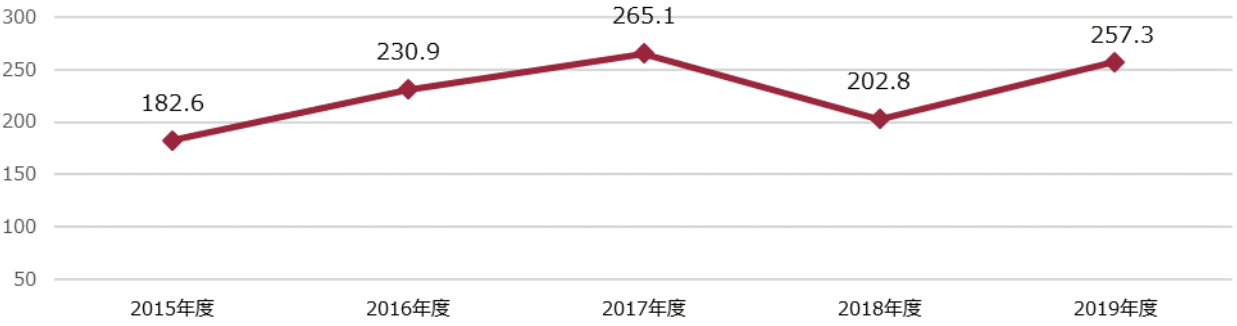
単位：日

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
一般（7：1）	14.7	15.0	14.7	13.6	15.1
障害者	182.6	230.9	265.1	202.8	257.3
地域包括ケア	39.1	36.0	41.3	33.6	31.3
回復期リハビリテーション	107.3	99.5	104.6	101.8	105.0

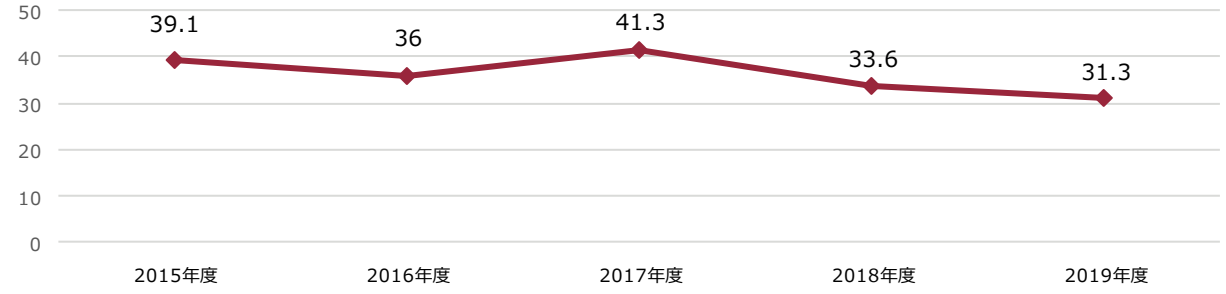
■平均在院日数（一般）



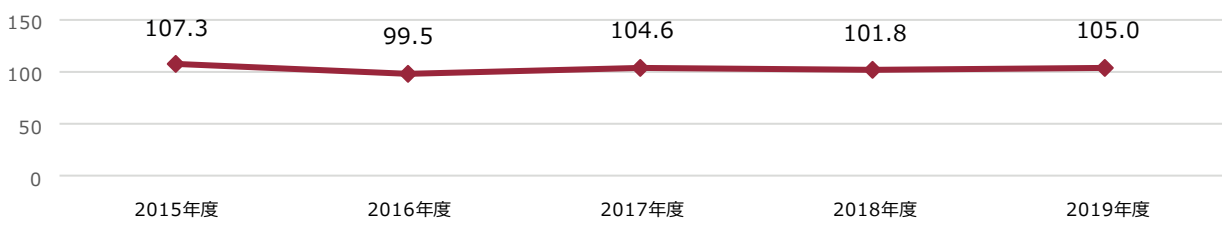
■平均在院日数（障害者）



■平均在院日数（地域包括ケア）



■平均在院日数（回復期リハビリテーション）



手術件数(恵寿総合病院)

手術件数･麻酔件数の推移

■手術件数

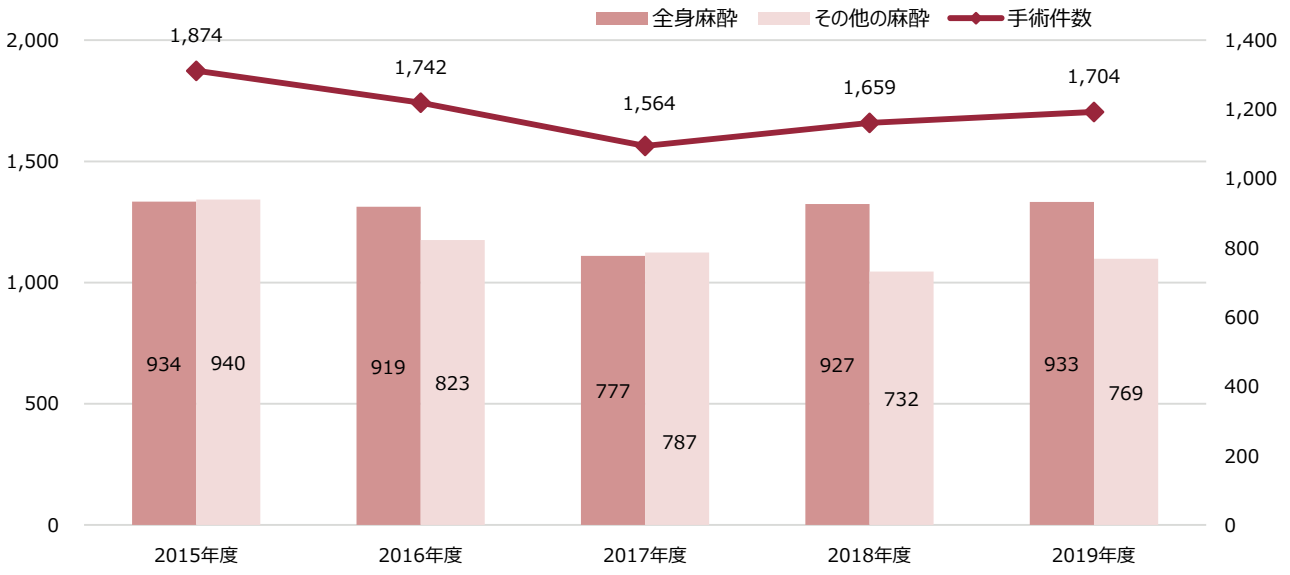
※手術室での件数　　単位：件

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
消化器外科	326	275	274	279	317
整形外科	297	283	235	330	406
形成外科	73	72	77	54	52
眼科	655	573	531	478	476
胸部呼吸器外科	0	0	0	0	0
産婦人科	138	145	127	180	146
耳鼻咽喉科	31	41	26	41	34
脳神経外科	44	33	18	13	19
泌尿器科	130	164	137	126	92
心臓血管外科	177	156	138	157	161
麻酔科	0	0	0	0	0
その他	3	0	1	1	1
合計	1,874	1,742	1,564	1,659	1,704

■麻酔件数

単位：件

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
全身麻酔	934	919	777	927	933
その他麻酔	940	823	787	732	769

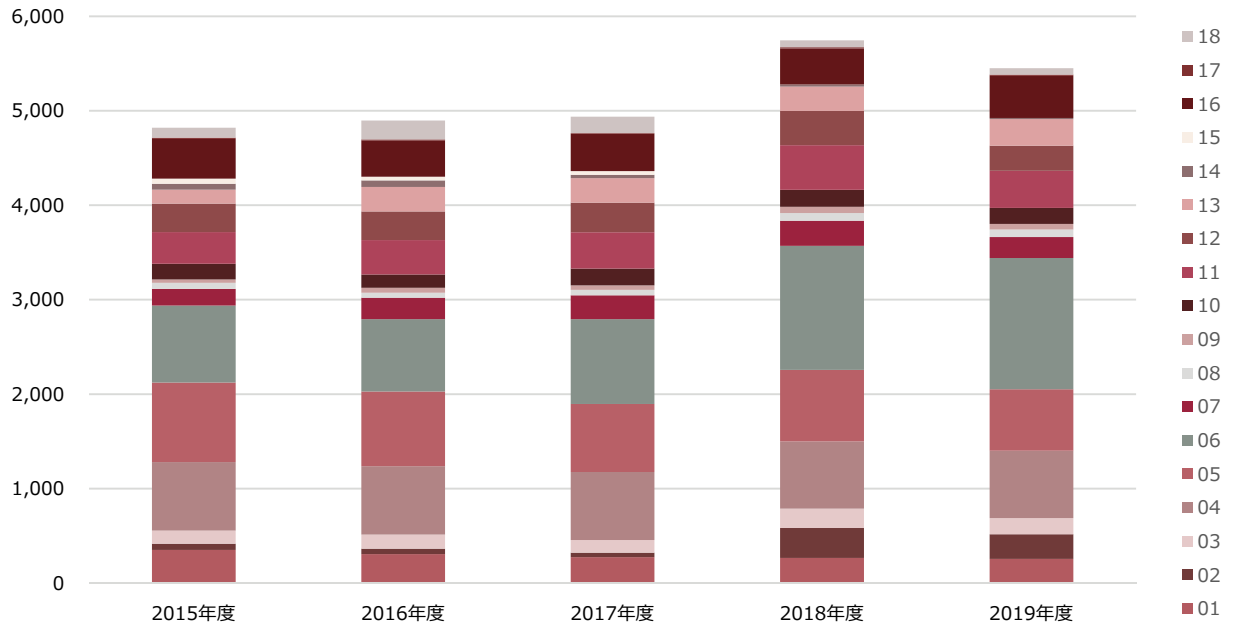


MDC 別(恵寿総合病院)

MDC 別件数

単位：件

		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
01	神経系疾患	351	308	275	266	257
02	眼科系疾患	66	57	48	317	261
03	耳鼻咽喉科系疾患	139	149	133	206	171
04	呼吸器系疾患	725	724	721	711	712
05	循環器系疾患	843	790	720	757	651
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	814	766	897	1313	1389
07	筋骨格系疾患	177	228	252	266	222
08	皮膚・皮下組織の疾患	64	51	59	81	79
09	乳房の疾患	35	54	47	67	60
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	167	140	177	179	170
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	334	364	385	473	392
12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	302	303	313	362	266
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	147	259	260	257	281
14	新生児疾患、先天性奇形	63	70	36	22	12
15	小児疾患	55	39	38	1	0
16	外傷・熱傷・中毒	419	384	394	381	446
17	精神疾患	15	10	8	14	14
18	その他	104	201	174	72	67
	合計	4,820	4,897	4,937	5,745	5,450



疾病分類別患者数(恵寿総合病院)

単位：人

コード	大分類（基本体系）項目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
Ⅰ	感染症および寄生虫	168	183	136	132	171
Ⅱ	新生物	988	1,164	1,206	1,162	1,165
Ⅲ	血液、造血器の疾患並びに免疫	55	36	32	27	36
Ⅳ	内分泌・栄養および代謝疾患	142	125	128	154	128
Ⅴ	精神および行動の障害	25	19	29	21	23
Ⅵ	神経系の疾患	157	131	148	172	140
Ⅶ	眼および付属器の疾患	648	558	520	482	469
Ⅷ	耳および乳様突起の疾患	59	75	92	83	73
Ⅸ	循環器系の疾患	970	971	884	921	865
Ⅹ	呼吸器系の疾患	576	574	551	594	571
ⅩⅠ	消化器系の疾患	895	819	928	914	778
ⅩⅡ	皮膚および皮膚組織の疾患	50	40	46	58	43
ⅩⅢ	筋骨格系及び結合組織の疾患	159	168	187	183	150
ⅩⅣ	尿路性器系の疾患	350	432	440	445	431
ⅩⅤ	妊娠、分娩および産褥	480	435	439	458	363
ⅩⅥ	周産期に発生した病態	219	181	174	177	172
ⅩⅦ	先天奇形・変形および染色体異常	7	9	12	10	8
ⅩⅧ	症状・症候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8	22	9	11	14
ⅩⅨ	損傷・中毒およびその他の外因の影響	563	551	579	531	529
ⅩⅩⅠ	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	411	358	361	391	313
	合計	6,930	6,851	6,901	6,926	6,442

年代別死亡退院患者数(恵寿総合病院)

2019 年度

単位：人

性別		男性								女性							
国際分類 ＼ 年齢階層(歳)		20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上	計	20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上	計
Ⅰ	感染症および寄生虫							1	1					1	1	2	4
Ⅱ	新生物				5	13	33	36	87			2	4	5	10	24	45
Ⅲ	血液、造血器の疾患並びに免疫			1			2		3				1		1	1	3
Ⅳ	内分泌・栄養および代謝疾患						2		2						1	2	3
Ⅴ	精神及び行動の障害															1	1
Ⅵ	神経系の疾患						1	2	3								
Ⅸ	循環器系の疾患				3	3	11	16	33			1		1	2	16	20
Ⅹ	呼吸器系の疾患					2	4	31	37						2	24	26
Ⅺ	消化器系の疾患				4		4	9	17						1	9	10
Ⅻ	皮膚及び皮膚組織の疾患							1	1								
ⅩⅢ	筋骨格系及び結合組織の疾患							1	1							1	1
ⅩⅣ	尿路性器系の疾患						2	4	6				1	1		4	6
ⅩⅥ	周産期に発生した病態																
ⅩⅦ	先天奇形、変形及び染色体異常																
ⅩⅧ	症状・症候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの						1	9	10						3	19	22
ⅩⅨ	損傷・中毒およびその他の外因の影響																
ⅩⅩ	傷病および死亡の外因																
	合計		1	12	18	60	110	201			3	6	8	21	103	141	

疾病分類(中分類)別上位疾病(恵寿総合病院)

2019 年度

コード	病　名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	420	6.5%
K63	腸のその他の疾患	180	2.8%
I50	心不全	179	2.8%
C34	気管支および肺の悪性新生物	175	2.7%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	170	2.6%
I63	脳梗塞	159	2.5%
J18	肺炎，病原体不詳	152	2.4%
C16	胃の悪性新生物	136	2.1%
Z12	新生物〈腫瘍〉の特殊スクリーニング検査	126	2.0%
C18	結腸の悪性新生物	110	1.7%
	その他	4,635	71.9%
	合計	6,442	100.0%

2018 年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	425	6.1%
K63	腸のその他の疾患	247	3.6%
I50	心不全	190	2.7%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	172	2.5%
I63	脳梗塞	167	2.4%
C16	胃の悪性新生物	152	2.2%
C34	気管支および肺の悪性新生物	144	2.1%
J18	肺炎，病原体不詳	141	2.0%
Z13	その他の疾患および障害の特殊スクリーニング検査	138	2.0%
I20	狭心症	111	1.6%
	その他	5,039	72.8%
	合計	6,926	100.0%

2017 年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	479	6.1%
K63	腸のその他の疾患	251	3.6%
C34	気管支および肺の悪性新生物	220	3.2%
I50	心不全	182	2.6%
I63	脳梗塞	163	2.4%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	147	2.1%
Z13	その他の疾患および障害の特殊スクリーニング	144	2.1%
C16	胃の悪性新生物	142	2.1%
J18	肺炎，病原体不詳	138	2.0%
K80	胆石症	118	1.7%
	その他	4,917	71.3%
	合計	6,901	100.0%

2016 年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	503	7.3%
K63	腸のその他の疾患	243	3.5%
C34	気管支および肺の悪性新生物	203	3.0%
I63	脳梗塞	180	2.6%
Z13	その他の疾患および障害の特殊スクリーニング	172	2.5%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	166	2.4%
I50	心不全	159	2.3%
I20	狭心症	154	2.2%
C16	胃の悪性新生物	140	2.0%
O70	分娩における会陰裂傷<laceration>	108	1.6%
	その他	4,823	70.4%
	合計	6,851	100.0%

2015 年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	581	8.3%
K63	腸のその他の疾患	260	3.8%
C34	気管支および肺の悪性新生物	221	3.2%
Z13	その他の疾患および障害の特殊スクリーニング	218	3.1%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	178	2.6%
I63	脳梗塞	159	2.3%
I50	心不全	157	2.3%
C16	胃の悪性新生物	123	1.8%
O70	分娩における会陰裂傷<laceration>	121	1.7%
P36	新生児の細菌性敗血症	120	1.7%
	その他	4,792	69.2%
	合計	6,930	100.0%

悪性新生物の国際疾病別　退院数及び内死亡数(恵寿総合病院)

単位：人

コード	中分類項目	2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度	
		退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡
C02	その他及び部位不明の舌	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
C03	歯肉の悪性新生物	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
C05	口蓋の悪性新生物	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
C06	その他及び部位不明の口腔	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
C10	中咽頭	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C11	鼻＜上＞咽頭	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
C13	下咽頭の悪性新生物	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-
C15	食道	15	4	10	3	19	5	26	5	33	3
C16	胃	123	21	140	21	142	17	152	13	136	13
C17	小腸	3	-	6	1	4	1	9	1	7	1
C18	結腸	109	6	85	13	115	11	73	7	110	12
C19	直腸 S 状結腸移行部	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C20	直腸	21	2	38	8	26	5	41	6	62	3
C21	肛門および肛門管の悪性新生物	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-
C22	肝および肝内胆管	22	2	39	5	41	4	40	4	35	4
C23	胆のう＜嚢＞	13	7	4	1	7	4	10	2	7	3
C24	その他及び部位不明の胆道	20	4	10	3	23	3	29	4	23	6
C25	膵	30	12	58	18	48	12	40	10	49	16
C31	副鼻腔	-	-	2	-	2	-	-	-	1	-
C32	喉頭	6	1	4	1	1	1	2	-	-	-
C34	気管支および肺	221	45	203	34	220	39	144	30	175	25
C38	心臓、縦隔及び胸膜	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C41	骨及び関節軟骨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
C43	皮膚の悪性黒色腫	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C44	皮膚	2	-	1	-	2	-	4	-	6	-
C45	中皮腫	6	3	5	1	-	-	1	-	2	-
C48	後腹膜および腹膜	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-
C49	その他の結合組織及び軟部組織	-	-	3	-	5	1	7	-	2	1
C50	乳房	35	2	67	1	59	4	71	3	65	5
C51	外陰	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
C52	腟	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
C53	子宮頸(部)	5	1	8	-	7	4	7	-	2	-
C54	子宮体部	10	4	14	2	6	-	7	-	2	-
C55	子宮の悪性新生物、部位不明	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
C56	卵巣	3	-	3	2	12	5	5	2	9	3
C60	陰茎	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
C61	前立腺	31	-	42	3	63	4	47	-	35	1
C62	精巣＜睾丸＞	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
C64	腎盂を除く腎	8	-	3	-	3	2	4	1	1	-
C65	腎盂	4	-	4	1	2	1	1	-	3	-
C66	尿管	6	3	7	4	7	-	3	1	1	2
C67	膀胱	52	2	52	2	62	2	67	1	45	4
C68	その他及び部位不明の泌尿器	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
C71	脳	3	1	1	-	2	-	1	1	2	1
C73	甲状腺	3	1	2	-	5	1	-	-	-	-
C75	その他の内分泌腺および関連組織の悪性新生物	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
C77	リンパ節の続発性及び部位不明	3	-	3	-	-	-	1	-	1	-
C78	呼吸器及び消化器の続発性	31	3	5	-	10	1	18	2	4	-
C79	その他の部位の続発性	10	-	16	1	5	1	9	-	7	-
C80	原発不明	-	1	2	1	3	-	4	2	1	1
C81	ホジキン病	3	-	11	-	10	-	1	1	6	-
C82	濾胞性[結節性]非ホジキンリンパ腫	5	-	15	-	29	-	10	-	21	-
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	37	-	107	-	112	-	74	4	60	3
C84	末梢性及び皮膚 T 細胞リンパ腫	2	-	5	-	6	-	11	1	15	2
C85	非ホジキンリンパ腫のその他	7	5	15	9	6	6	7	3	8	3
C86	T/NK 細胞リンパ腫のその他	-	-	-	-	-	-	12	1	11	-
C88	悪性免疫増殖性疾患	3	-	-	-	-	-	1	-	3	-
C90	多発性骨髄腫	18	5	16	2	29	3	26	6	35	8
C91	リンパ性白血病	4	-	3	1	3	-	6	-	3	1
C92	骨髄性白血病	18	3	35	7	15	1	28	3	30	4
C93	単球性白血病	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
C94	その他の細胞型の明示された白血病	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
D04	上皮内：皮膚	1	-	2	-	4	-	2	-	-	-
D06	上皮内：子宮頸(部)	1	-	1	-	1	-	2	-	1	-
	合計	910	141	1,052	146	1,127	142	1,010	115	1,021	127

※5 年間件数なしの項目は省略

48 時間以内死亡患者数(恵寿総合病院)

単位：人

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
退院患者数	6,589	6,537	6,572	6,660	6,723
死亡患者数	383	359	370	337	368
入院後 48 時間以内死亡患者数	49	54	45	40	31

2019 年度死亡要因上位件数(中分類) (恵寿総合病院)

全体

コード	病名	死亡患者数（人）	構成比（%）
C34	気管支および肺の悪性新生物	26	7.1%
R54	老衰	26	7.1%
J18	肺炎，病原体不詳	25	6.8%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	22	6.0%
C25	膵の悪性新生物	17	4.6%
C16	胃の悪性新生物	14	3.8%
I50	心不全	14	3.8%
C18	結腸の悪性新生物	13	3.5%
I63	脳梗塞	12	3.3%
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	8	2.2%
	その他	191	51.9%
	合計	368	100.0%

男性

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C34	気管支および肺の悪性新生物	24	11.3%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	15	7.0%
J18	肺炎，病原体不詳	14	6.6%
C25	膵の悪性新生物	11	5.2%
C18	結腸の悪性新生物	9	4.2%
I61	脳内出血	8	3.8%
C16	胃の悪性新生物	7	3.3%
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	7	3.3%
I50	心不全	7	3.3%
R54	老衰	7	3.3%
	その他	104	48.8%
	合計	213	100%

女性

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
R54	老衰	19	12.3%
J18	肺炎，病原体不詳	11	7.1%
C16	胃の悪性新生物	7	4.5%
I50	心不全	7	4.5%
J69	固形物および液状物による肺臓炎	7	4.5%
C25	膵の悪性新生物	6	3.9%
I63	脳梗塞	6	3.9%
C50	乳房の悪性新生物	5	3.2%
J84	その他の間質性肺疾患	5	3.2%
C18	結腸の悪性新生物	4	2.6%
	その他	78	50.3%
	合計	155	100%

医療 Quality Indicator(恵寿総合病院)

区分	項目	2017 年度 件数	2017 年度 母数	2017 年度 率	2018 年度 件数	2018 年度 母数	2018 年度 率	2019 年度 件数	2019 年度 母数	2019 年度 率	計算式
基本情報	新入院患者数		6,504			6,709			6,393		
	述べ入院患者数		133,983			124,996			130,488		
	退院患者数		6,572			6,660			6,442		
（1）病院全体	①死亡退院患者率	352	6,572	5.4%	330	6,660	5.0%	342	6,442	5.3%	死亡退院患者数/月間退院患者
	②退院後 2 週間以内の入院サマリ完成率	6,635	6,901	96.1%	6,636	6,926	95.8%	6,181	6,723	91.9%	退院後 2 週間以内の入院サマリ完成件数/退院患者件数(転科含む)
	③パス適用率	3,129	6,504	48.1%	3,241	6,709	48.3%	2,798	6,393	43.8%	電子パス適用件数/新入院患者数
	④入院 24 時間以内の死亡	36	6,054	0.6%	27	6,709	0.4%	23	6,393	0.4%	24 時間以内の死亡数/新入院患者数
	⑤紹介率	7,005	12,578	55.7%	6,897	12,314	56.0%	5,534	8,223	67.3%	紹介患者数＋救急患者数＋二次健診数/初診患者数
	⑥逆紹介率	3,232	12,578	25.7%	3,617	12,314	29.4%	3,671	8,223	44.6%	逆紹介患者数/初診患者数
	⑦職員の健診受診率(全職員)	766	766	100.0%	697	697	100.0%	704	704	100.0%	全職員健診受診件数/全職員数(休職者を除く)
	(医師)	62	62	100.0%	66	66	100.0%	68	68	100.0%	医師健診受診件数/常勤医師数
	⑧苦情件数率(全体)アドボカシー室	92	197	46.7%	115	232	49.6%	85	219	38.8%	苦情件数/相談件数(アドボカシー相談件数) ※内容によっては複数職種の場合
	(診療部)	21	43	48.8%	21	51	41.2%	16	45	35.6%	苦情件数/相談件数(アドボカシー相談件数)
	(看護部)	26	58	44.8%	39	71	54.9%	27	70	38.6%	
	(事務部)	9	15	60.0%	7	11	63.6%	9	18	50.0%	
	(医療技術部)	7	12	58.3%	7	11	63.6%	1	7	14.3%	
	(その他)	29	69	42.0%	41	88	46.6%	32	79	40.5%	
	⑨医師返書 3 日以内作成達成率							3,562	4,178	85.3%	返書が必要とされる紹介状件数/紹介日を 1 日として 3 日以内に返書が作成された数
	⑩救急車受け入れ不能件数(月平数)率	6(0.5)	1,527	0.4%	7(0.6)	1,464	0.5%	8(0.7)	1,465	0.5%	救急車受け入れ不能件数(月平均)/救急車受け入れ要請件数
	⑪入院患者のリハビリ実施率	81,009	133,983	60.5%	75,970	124,996	60.8%	82,991	130,488	63.6%	リハビリ実施延べ人数／延べ入院患者数
（2）医療安全	①転倒転落件数、転倒転落率	369(8)	133,983	0.28%(0.01%)	411(6)	124,996	0.33%(0.004%)	469(11)	130,488	0.36%(0.008%)	延べ転倒転落数(リスクレベル 3b 以上)/延べ入院患者
	②アクシデントレポート提出件数、提出率	866	133,983	0.65%	923	124,996	0.74%	1,183	130,488	0.91%	アクシデントレポート提出件数/延べ入院患者数
	③24 時間以内の再手術率	3	1,567	0.19%	2	1,664	0.12%	2	1,706	0.12%	24 時間以内の再手術患者数/手術実施患者数
	④手術後 24 時間以内の死亡率	6	1,567	0.38%	2	1,664	0.12%	0	1,706	0%	手術 24 時間以内の死亡患者数/手術実施患者数
	⑤褥瘡推定発生率	25	4,239	0.6%	28	3,988	0.7%	33	4,116	0.8%	褥瘡保有者数-新規自宅発生件数/患者数(月末)
（3）感染対策	①MRSA 感染症新規発生率	0	6,504	0%	1	6,709	0.01%	1	6,393	0.02%	MRSA 感染症新規発生患者数/新入院患者
	②中心ライン関連血流感染(CLABSI)発生率	1	388	2.6	1	4,768	0.2	6	5,094	1.2	（中心静脈カテーテル関連血流感染患者数/カテーテル延べ使用日数）×1000
	③血液培養 2 セット率	1,968	2,237	88.0%	2,162	2,301	94.0%	2,004	2,155	93.0%	2 セット数/入院・外来患者を含む全血液培養提出数
	④血液培養陽性率	236	2,237	10.5%	247	2,301	10.7%	231	2,155	10.7%	血液培養陽性数/入院・外来患者を含む全血液培養提出数
	⑤血液・体液暴露(針刺し)件数			25			13			16	
	⑥特定抗菌薬届出率	275	291	94.5%	287	290	99.0%	376	376	100.0%	特定抗菌薬届出数/特定抗菌薬処方患者数

外来患者数（恵寿金沢病院）

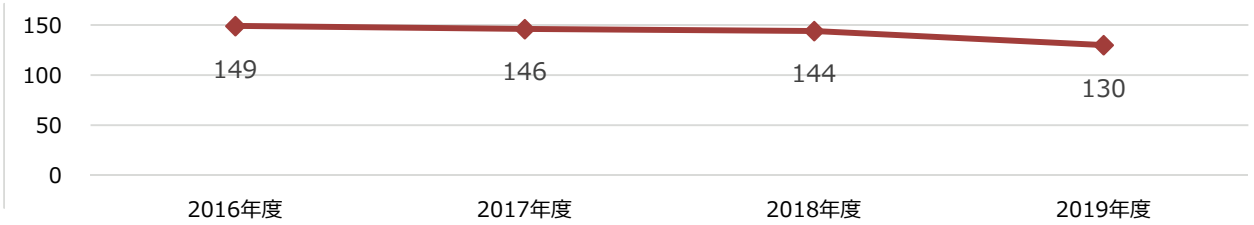
外来患者数の推移

※上段：患者延数　下段：１日当たりの平均患者数　　単位：人

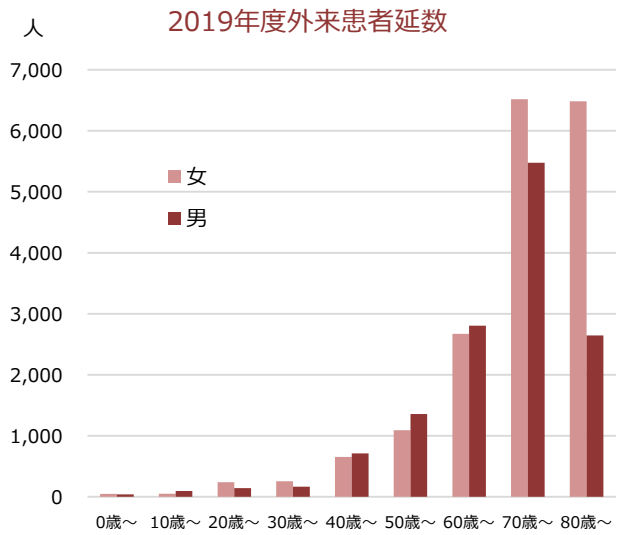
	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
内科	12,662	12,584	12,430	11,925
	52	52	51	49
外科	2,334	1,019	1,209	1,036
	10	4	5	4
整形外科	17,694	17,767	17,385	14,703
	73	73	72	61
眼科	3,152	3,167	3,468	3,428
	13	13	14	14
耳鼻咽喉科	405	456	395	352
	4	5	2	2
合計	36,247	34,993	34,887	31,444
日当たり合計	149	146	144	130
稼働日	244	243	242	242

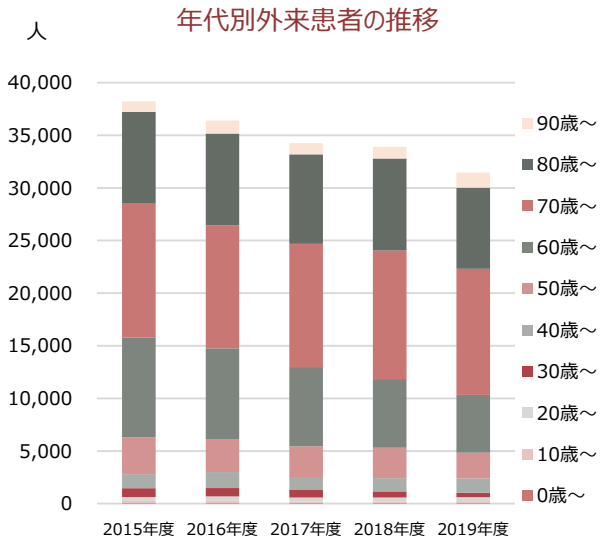
2018 年 4 月より、耳鼻咽喉科外来診療体制は週 1 日（火曜日午後のみ）に変更した。

１日当たり平均患者数



年代別(男女別)外来患者数



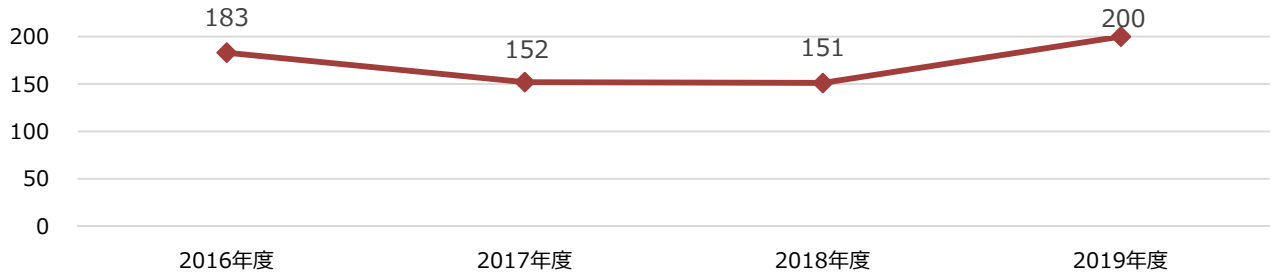


救急外来患者数（恵寿金沢病院）

救急外来患者数の推移

単位：人

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
内科	110	82	83	96
外科	24	12	6	18
整形外科	45	58	53	84
眼科	4	0	9	2
総計	183	152	151	200



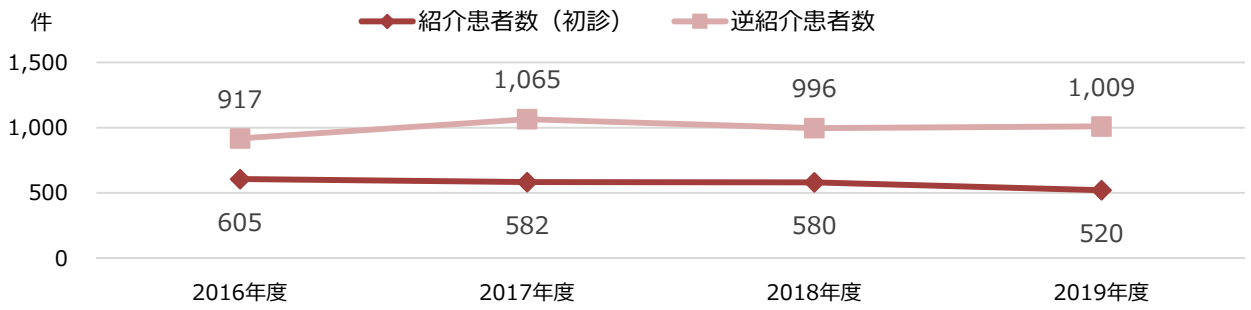
救急者受け入れ台数の推移

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
救急搬送件数（件）	118	102	100	89
入院率（%）	61.0%	58.8%	61.0%	63.0%

紹介患者数（恵寿金沢病院）

紹介患者数･逆紹介患者数の推移

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
紹介率	32.2%	32.9%	32.7%	33.2%
逆紹介率	40.8%	50.9%	47.8%	55%

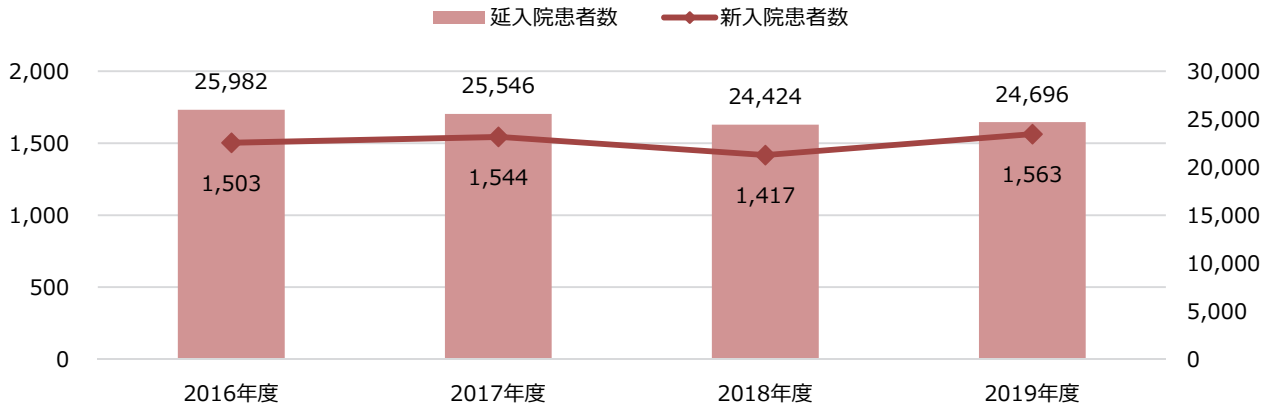


入院患者数（恵寿金沢病院）

新入院患者数･延入院患者数の推移

単位：人

	2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度	
	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院
内科	1,005	20,090	1,108	19,574	1,019	18,926	1,231	19,869
外科	97	1,047	-	-	-	-	-	-
整形外科	276	4,561	313	5,706	267	5,222	207	4,578
眼科	125	284	123	266	131	276	125	249
合計	1,503	25,982	1,544	25,546	1,417	24,424	1,563	24,696
月当たり平均／日当たり平均	125 / 71		129/70		118/67		130 / 67	

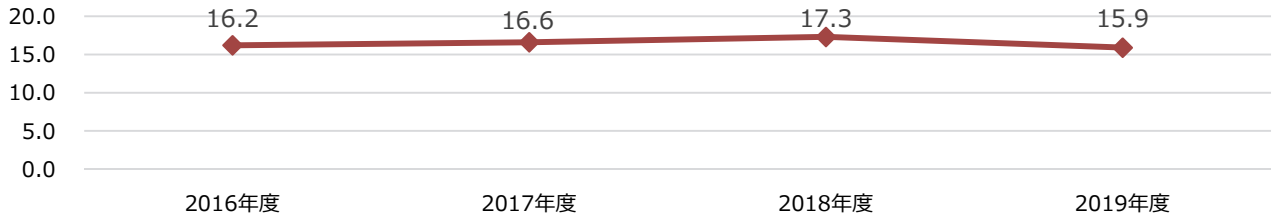


平均在院日数･病床稼働率

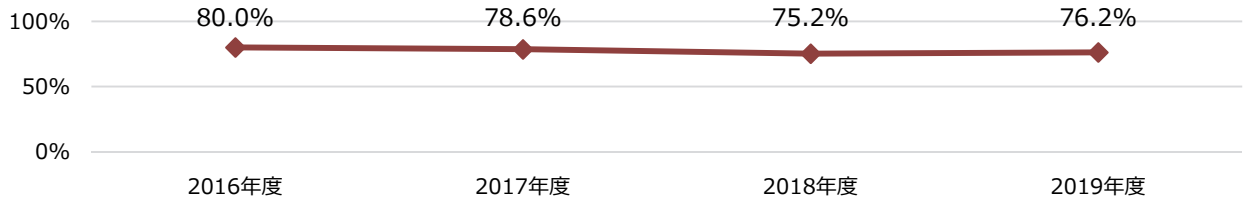
■平均在院日数(全病棟)

単位：日

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
内科	19.0	17.6	18.7	16.1
外科	9.6	-	-	-
整形外科	15.2	18.6	19.3	22.6
眼科	1.2	2.2	2.1	2.0
月当たり平均	16.2	16.6	17.3	15.9

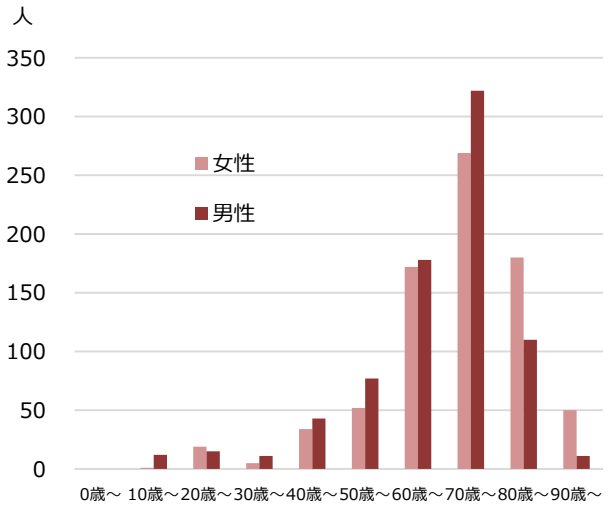


■病床稼働率(全病棟)

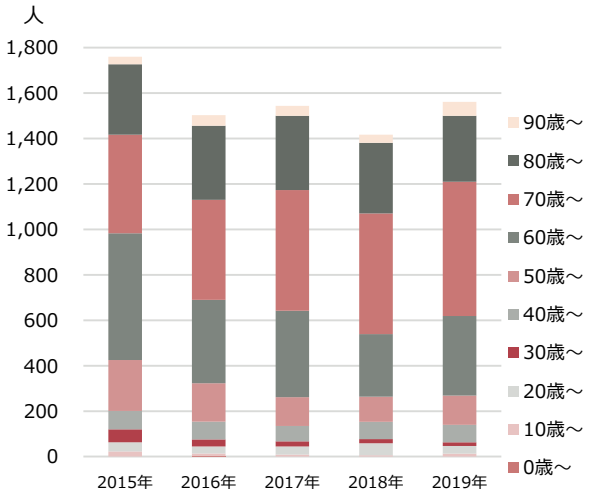


年代別(男女別)新入院患者数

■2019 年度新入院患者数



■年代別新入院患者数の推移



手術件数（恵寿金沢病院）

手術件数･麻酔件数の推移

■手術件数

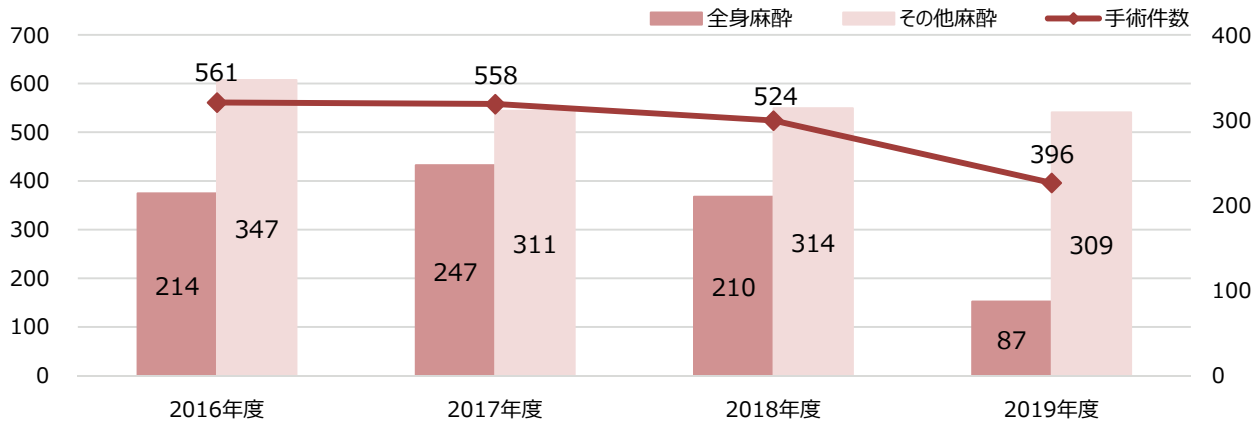
※手術室での件数　単位：件

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
外科	101	35	42	38
整形外科	312	354	312	156
眼科	148	169	170	202
合計	561	558	524	398

■麻酔件数

単位：件

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
全身麻酔	214	247	210	87
その他麻酔	347	311	314	309



疾病分類別患者数（恵寿金沢病院）

単位：人

コード	大分類（基本体系）項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
Ⅰ	感染症および寄生虫	35	17	19	14
Ⅱ	新生物	891	984	888	1,063
Ⅲ	血液、造血器の疾患並びに免疫	16	17	18	41
Ⅳ	内分泌・栄養および代謝疾患	16	10	6	10
Ⅴ	精神および行動の障害	10	4	5	4
Ⅵ	神経系の疾患	9	6	6	4
Ⅶ	眼および付属器の疾患	125	121	131	122
Ⅷ	耳および乳様突起の疾患	3	6	1	5
Ⅸ	循環器系の疾患	20	12	13	16
Ⅹ	呼吸器系の疾患	61	42	47	50
ⅩⅠ	消化器系の疾患	50	9	10	11
ⅩⅡ	皮膚および皮膚組織の疾患	4	9	7	13
ⅩⅢ	筋骨格系及び結合組織の疾患	87	104	108	48
ⅩⅣ	尿路性器系の疾患	7	14	6	6
ⅩⅤ	妊娠、分娩および産褥	0	0	0	0
ⅩⅥ	周産期に発生した病態	0	0	0	0
ⅩⅦ	先天奇形・変形および染色体異常	0	0	0	0
ⅩⅧ	症状・症候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4	9	5	7
ⅩⅨ	損傷・中毒およびその他の外因の影響	189	196	166	135
ⅩⅩⅠ	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	0	1	0	1
	合計	1,527	1,561	1,436	1,550

年代別死亡退院患者数（恵寿金沢病院）

単位：人

性別		男性								女性							
国際分類	年齢階層(歳)	20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上	計	20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上	計
B59	ニューモシスチス症						1		1							0	0
C16	胃の悪性新生物							0								1	1
C18	結腸の悪性新生物							1	1								0
C34	気管支及び肺の悪性新生物							1	1								0
C61	前立腺の悪性新生物							1	1								0
C65	播種性血管内凝固症候群							1	1								0
C83	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫							1	1								0
C85	非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫のその他および詳細不明の型						2		2				1	2	1	1	5
C90	多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物						1	2	3						1	2	3
C91	リンパ性白血病							1	1				1				1
C92	骨髄性白血病						5	1	6						3	4	7
C95	細胞型不明の白血病								0						1		1
D46	骨髄異形成症候群						3		3								0
D47	リンパ組織、造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物						1		1								0
D61	その他の無形成性貧血							1	1							2	2
D69	紫斑病及び造血器のその他の疾患								0							1	1
J44	その他の慢性閉塞性肺疾患						1		1								0
	合計	0	0	0	0	0	13	10	23	0	0	0	2	2	6	11	21

疾病分類(中分類)別上位疾病（恵寿金沢病院）

2019 年度

単位：人

コード	病 名	患者数(人)	構成比(%)
C85	非ホジキンリンパ腫	461	29.8%
C90	多発性骨髄腫	265	17.1%
D46	骨髄異形成症候群	79	5.1%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	71	4.6%
H25	老人性白内障	63	4.1%
H04	涙器の障害	56	3.6%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	48	3.1%
C92	骨髄腫白血病	46	3.0%
C81	ホジキン病	38	2.5%
C91	リンパ性白血病	33	2.1%
	その他	389	25.1%
	合計	1,549	100.0%

2018 年度

単位：人

コード	病 名	患者数(人)	構成比(%)
C85	非ホジキンリンパ腫	428	29.8%
C90	多発性骨髄腫	180	12.5%
H25	老人性白内障	78	5.4%
C92	骨髄性白血病	66	4.6%
C82	濾胞性リンパ腫	63	4.4%
D46	骨髄異形成症候群	54	3.8%
H04	涙器の障害	50	3.5%
C91	リンパ性白血病	39	2.7%
S52	前腕の骨折	31	2.2%
M48	その他の脊椎障害	29	2.0%
	その他	418	29.1%
	合計	1,436	100.0%

2017 年度

単位：人

コード	病 名	患者数(人)	構成比(%)
C85	非ホジキンリンパ腫	478	30.6%
C90	多発性骨髄腫	162	10.4%
D46	骨髄異形成症候群	96	6.1%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	71	4.5%
H25	老人性白内障	67	4.3%
C92	骨髄性白血病	50	3.2%
H04	涙器の障害	47	3.0%
S52	前腕の骨折	44	2.8%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	37	2.4%
C81	ホジキン病	30	1.9%
	その他	479	30.7%
	合計	1,561	100.0%

48 時間以内死亡患者数（恵寿金沢病院）

単位：人

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
退院患者数	1,514	1,542	1,415	1,554
死亡患者数	44	36	47	44
入院後 48H 以内 死亡患者数	0	0	0	0

2019 年度死亡要因上位件数(中分類) （恵寿金沢病院）

全体

コード	病名	死亡患者数(人)	構成比(%)
C92	骨髄性白血病	12	27.3%
C85	非ホジキンリンパ腫	6	13.6%
C90	多発性骨髄腫	5	11.4%
C91	急性リンパ性白血病	2	4.5%
D46	骨髄異形成症候群	2	4.5%
D61	不良性貧血	2	4.5%
J18	肺炎	2	4.5%
	その他	25	56.8%
	合計	44	100.0%

男性

コード	病名	死亡患者数(人)	構成比(%)
C92	骨髄性白血病	6	25.0%
C90	多発性骨髄腫	2	8.3%
D46	骨髄異形成症候群	2	8.3%
J18	肺炎	2	8.3%
	その他	12	50.0%
	合計	24	100.0%

女性

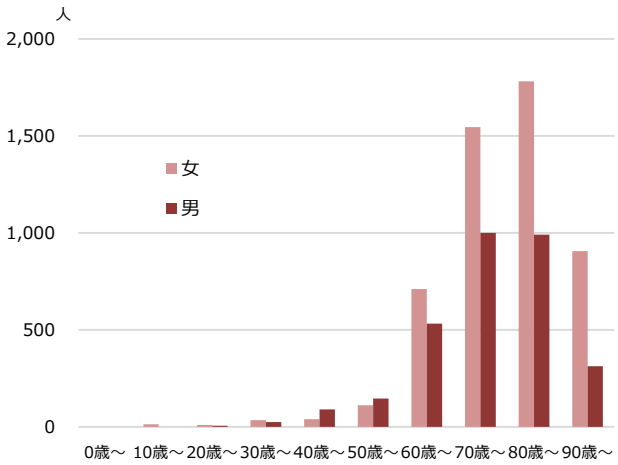
コード	病名	死亡患者数(人)	構成比(%)
C92	骨髄性白血病	6	30.0%
C85	非ホジキンリンパ腫	5	25.0%
C90	多発性骨髄腫	3	15.0%
	その他	6	30.0%
	合計	20	100.0%

医療 Quality Indicator(恵寿金沢病院)

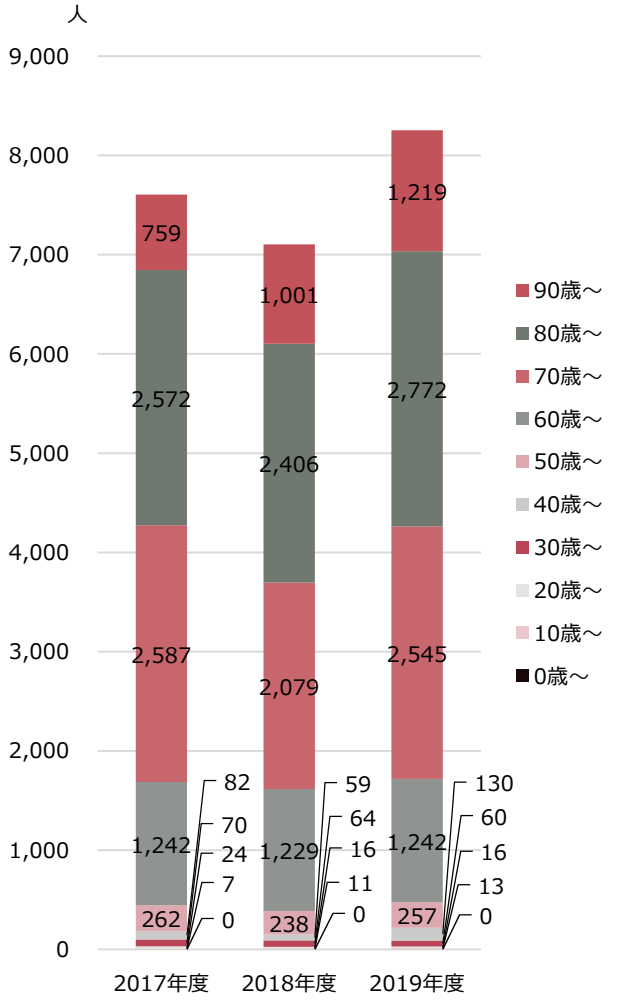
区分	項目	2017 年度 件数	2017 年度 母数	2017 年度 率	2018 年度 件数	2018 年度 母数	2018 年度 率	2019 年度 件数	2019 年度 母数	2019 年度 率	計算式
基本情報	新入院患者数(ドック除く)		1,544			1,417			1,562		
	述べ入院患者数		25,546			24,425			24,826		
	退院患者数(ドック除く)		1,542			1,415			1,554		
(1)病院全体	①死亡退院患者率	36	1,542	2.3%	47	1,415	3.3%	44	1,554	2.8%	死亡退院患者数/月間退院患者(ドック除く)
	②退院後 2 週間以内の入院サマリ完成率	1,406	1,562	90.0%	1,352	1,436	94.2%	1,463	1,568	93.3%	退院後 2 週間以内の入院サマリ完成件数/退院患者件数(転科含む)
	③パス適用率	–	–	–	–	–	–	–	–	–	電子パス適用件数/新入院患者数(ドック除く)
	④入院 24 時間以内の死亡	0	1,544	0.0%	0	1,417	0.0%	0	1,562	0.0%	24 時間以内の死亡数/新入院患者数(ドック除く)
	⑤紹介率	688	2,094	32.9%	681	2,085	32.7%	610	1,836	33.2%	紹介患者数＋救急患者数＋二次健診数/初診患者数
	⑥逆紹介率	1,065	2,094	50.9%	996	2,085	47.8%	1,009	1,836	55.0%	逆紹介患者数/初診患者数
	⑦職員の健診受診率 (全職員)	142	142	100.0%	134	134	100.0%	135	135	100.0%	全職員健診受診件数/全職員数(休職者を除く)
	(医師)	10	10	100.0%	9	9	100.0%	10	10	100.0%	医師健診受診件数/常勤医師数
	⑧苦情件数率(全体) アドボカシー室	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
	⑨医師返書作成日数			3.1 日			3.0 日			2.3 日	返書作成平均日数
	⑩救急車受け入れ不能件数(月平均)、率	–	–	–	–	–	–	–	–	–	救急車受け入れ不能件数(月平均)/救急車受け入れ要請件数
	⑪入院患者のリハビリ実施率	12,365	25,546	48.4%	13,970	24,425	57.2%	17,858	24,826	71.9%	リハビリ実施延べ人数／延べ入院患者数
(2)医療安全	①転倒転落件数、転倒転落率	2	25,546	0.01%	0	24,425	0.00%	2	24,826	0.01%	延べ転倒転落数(リスクレベル 3b 以上)/延べ入院患者
	②アクシデントレポート提出件数、提出率	173	25,546	0.7%	224	24,425	0.9%	216	24,826	0.9%	アクシデントレポート提出件数/延べ入院患者数
	③24 時間以内の再手術率	1	556	0.2%	0	524	0%	0	513	0%	24 時間以内の再手術患者数/手術実施患者数
	④手術後 24 時間以内の死亡率	0	556	0%	0	524	0%	0	513	0%	手術 24 時間以内の死亡患者数/手術実施患者数
	⑤褥瘡推定発生率	8	787	1.0%	17	735	2.3%	10	722	1.4%	褥瘡保有者数-新規自宅発生件数/患者数(月末)
(3)感染対策	①MRSA 感染症新規発生率	1	1,544	0.1%	3	1,417	0.2%	7	1,562	0.4%	MRSA 感染症新規発生患者数/新入院患者(ドック除く)
	②中心静脈カテーテル関連血流感染(CLABSI)発生率	4	4,803	0.8%	6	4,807	1.2%	6	2,868	2.1%	(中心静脈カテーテル関連血流感染患者数/カテーテル延べ使用日数)×1000
	③緑膿菌の薬剤耐性率 (MDRP)	0	7	0%	0	15	0%	0	17	0%	緑膿菌の各種薬剤に対する耐性株数/緑膿菌検出件数
	④擦式アルコール手指消毒剤使用量	–	–	–	–	–	–	–	–	–	擦式アルコール手指消毒剤使用量/延べ入院患者数
	⑤血液・体液暴露 (針刺し)件数			2			1			4	
	⑥特定抗生剤届出率	–	–	–	312	312	100%	222	222	100%	特定抗生剤届出数/特定抗生剤処方患者数
(4)栄養	①特別食比率	30,430	65,673	46.3%	28,283	62,801	45.0%	34,909	64,341	54.3%	特別食提供件数/食事提供件数

田鶴浜診療所

年代別（男女別）外来患者数

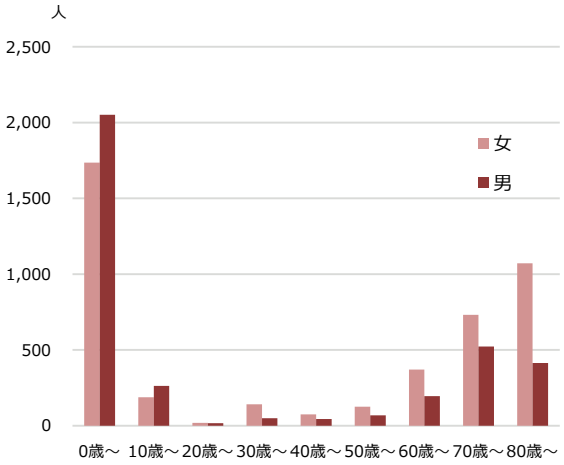


年代別外来患者数の推移

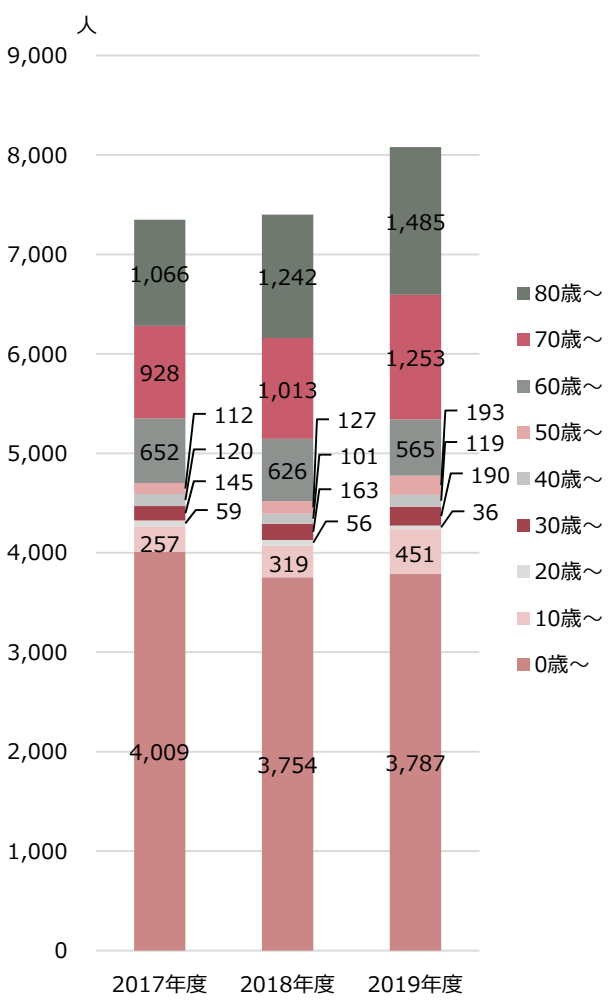


鳥屋診療所 いきいき

年代別（男女別）外来患者数

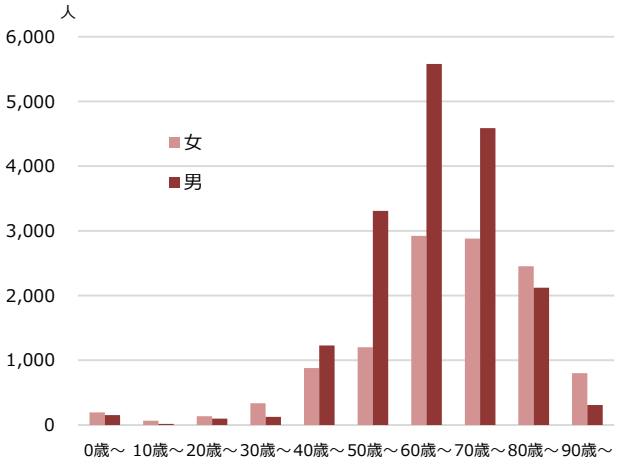


年代別外来患者数の推移

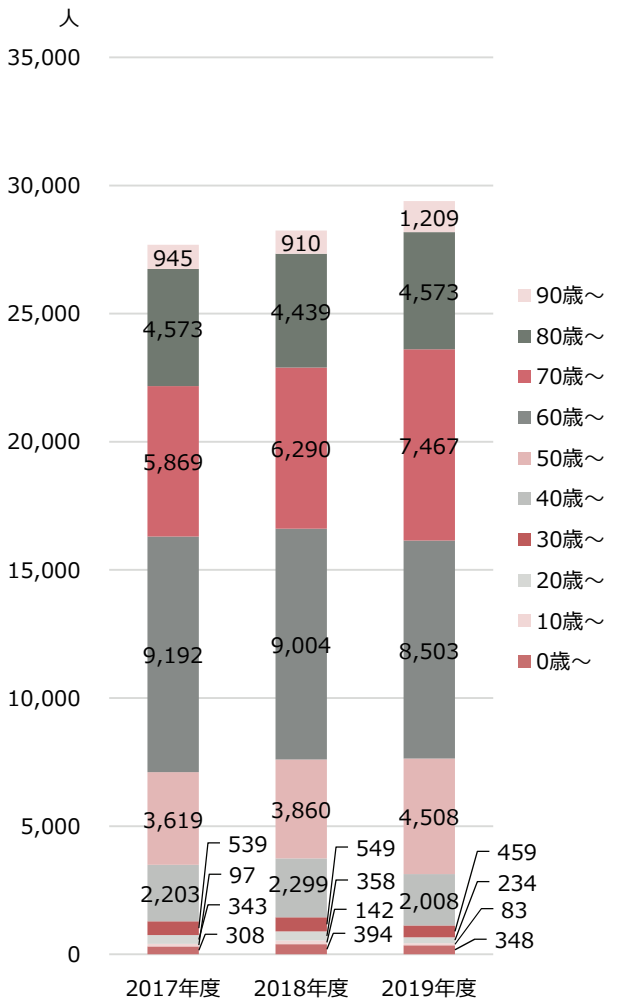


恵寿ローレルクリニック

年代別（男女別）外来患者数

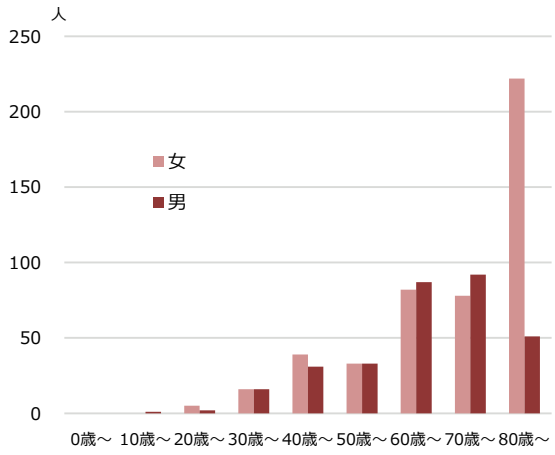


年代別外来患者数の推移

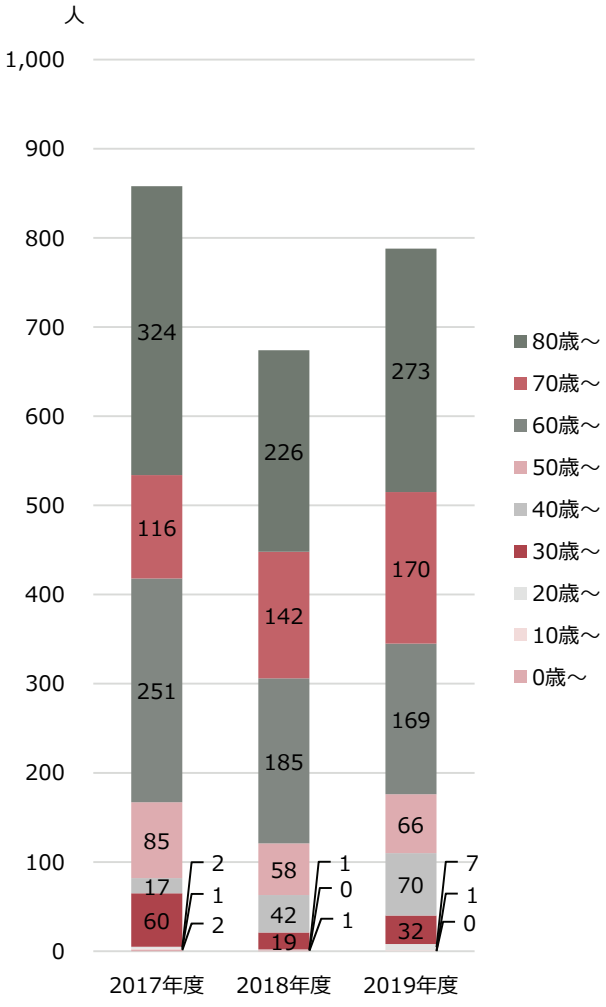


鳩ヶ丘クリニック

年代別（男女別）外来患者数



年代別外来患者数の推移





第4章
介護・福祉部門
利用統計・介護の質

利用統計

入所の推移

単位：人

延人数	2017 年度	2018 年度	2019 年度
恵寿鳩ヶ丘（135 床）	45,180	44,780	44,601
鶴友苑（50 床）	15,993	15,930	15,782
和光苑（150 床）	51,583	51,401	53,037
エレガンテなぎの浦	32,149	32,254	31,665
アンジェリイなぎの浦	10,493	10,190	10,219
エレガンテたつるはま	8,847	8,862	8,772
ローレルハイツ恵寿（ケアハウス）	7,298	7,300	7,290
ローレルハイツ恵寿（特定ケアハウス）	10,935	10,941	10,969
ローレルハイツ恵寿（サ高住）	15,610	16,365	16,426
総計	198,088	198,023	198,761

短期入所の推移

単位：人

延人数	2017 年度	2018 年度	2019 年度
ほのぼの	9,600	9,187	9,404
恵寿鳩ヶ丘	155	188	217
鶴友苑	1,411	1,576	1,484
和光苑	89	26	25
エレガンテなぎの浦	4,530	4,035	4,018
エレガンテたつるはま	18	30	0
総計	15,803	15,042	15,148

通所リハビリテーションの推移

単位：人

延人数	2017 年度	2018 年度	2019 年度
恵寿鳩ヶ丘	4,301	3,832	3,513
鶴友苑	6,451	6,535	6,577
和光苑	10,307	9,944	9,976
いきいき	3,498	3,272	2,225
総計	24,557	23,583	22,291

通所介護の推移

単位：人

延人数	2017 年度	2018 年度	2019 年度
ほのぼの	9,538	10,060	9,088
いこい	6,987	8,098	8,141
エレガンテなぎの浦	9,795	9,858	9,494
もみの木苑	7,138	7,455	7,695
ふれあいの里	8,882	9,134	10,316
総計	42,340	44,605	44,734

小規模多機能型居宅介護（延べ登録人数）の推移

単位：人

延人数	2017 年度	2018 年度	2019 年度
恵寿みおや	8,359	8,881	8,560
けいじゅ一本杉	8,655	7,352	7,810
総計	17,014	16,233	16,370

介護 Quality Indicator(恵寿鳩ヶ丘)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）施設全体	在宅復帰率	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	4.6%	在宅退所者数/月間退所者数
		5	5	3	3	0	7	8	6	10	5	9	4		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%		
	短期集中リハビリ(認知症短期集中リハビリ含)	363	265	244	259	310	200	246	348	559	536	548	495	9.8%	リハ実施延人数/延入所者数
		3,634	3,721	3,614	3,779	3,879	3,706	3,719	3,660	3,829	3,743	3,556	3,784		
		10.0%	7.1%	6.8%	6.9%	8.0%	5.4%	6.6%	9.5%	14.6%	14.3%	15.4%	13.1%		
	重度者（介護 4・5）割合率	85	84	83	86	90	91	89	85	80	81	78	79	66.6%	要介護 4･5 の人数/実利用者数
		125	124	124	124	126	128	130	129	128	125	129	127		
		68.0%	67.7%	66.9%	69.4%	71.4%	71.1%	68.5%	65.9%	62.5%	64.8%	60.5%	62.2%		
	認知症Ⅲa 以上の割合率	73	75	74	75	77	86	89	85	93	93	102	103	67.5%	認知症度Ⅲ以上実利用者数/実利用者数
		125	124	124	124	126	128	130	129	128	125	129	127		
		58.4%	60.5%	59.7%	60.5%	61.1%	67.2%	68.5%	65.9%	72.7%	74.4%	79.1%	81.1%		
	ターミナルケア率	0	2	2	2	0	3	4	2	4	3	5	2	1.9%	ターミナル実人数/月間実人数
		125	124	124	124	126	128	130	129	128	125	129	127		
		0.0%	1.6%	1.6%	1.6%	0.0%	2.3%	3.1%	1.6%	3.1%	2.4%	3.9%	1.6%		
	介護福祉士率	36	36	37	37	37	36	36	36	36	36	36	36	84.6%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		42	42	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43		
		85.7%	85.7%	86.0%	86.0%	86.0%	83.7%	83.7%	83.7%	83.7%	83.7%	83.7%	83.7%		
	介護実習指導者率	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	16.3%	介護実習指導者数/全介護職員数
		42	42	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43		
		16.7%	16.7%	16.3%	16.3%	16.3%	16.3%	16.3%	16.3%	16.3%	16.3%	16.3%	16.3%		
（2）安全・安心対策	入所者の転倒・転落発生率	6	12	4	3	10	6	6	10	11	8	9	11	0.2%	転倒転落件数/延入所者数
		3,634	3,721	3,614	3,779	3,879	3,706	3,719	3,660	3,829	3,743	3,556	3,784		
		0.2%	0.3%	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%		
	入所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 2 以下)	6	12	4	3	10	6	6	10	11	8	9	11	0.2%	転倒転落件数(レベル 2 以下)/延入所者
		3,634	3,721	3,614	3,779	3,879	3,706	3,719	3,660	3,829	3,743	3,556	3,784		
		0.2%	0.3%	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%		
	入所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 3 以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル 3 以上)/延入所者
		3,634	3,721	3,614	3,779	3,879	3,706	3,719	3,660	3,829	3,743	3,556	3,784		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数(提出率)	11	18	10	17	17	15	13	23	20	18	14	15	0.4%	提出件数/延入所者
		3,634	3,721	3,614	3,779	3,879	3,706	3,719	3,660	3,829	3,743	3,556	3,784		
		0.3%	0.5%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.6%	0.5%	0.5%	0.4%	0.4%		
	褥瘡推定発生率	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2.5%	褥瘡保有者数/入所者数
		121	121	121	122	126	121	122	123	121	121	120	123		
		2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.4%	2.5%	2.5%	2.4%	2.5%	2.5%	2.5%	2.4%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	0	0	0.6%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		89	84	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	3.5%	2.4%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザワクチン接種率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	84	1	0	0	0	8.3%	ワクチン接種者数/全職員数
		89	84	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85		
	血液・体液暴露(針刺し)件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	発生件数
（4）栄養	経口維持Ⅰ比率	36	34	34	32	34	35	33	34	32	30	30	30	25.9%	経口維持Ⅰ数/実利用者数
		127	127	128	130	130	128	129	125	127	127	127	127		
		28.8%	27.4%	27.4%	25.8%	27.0%	27.3%	25.4%	26.4%	25.0%	24.0%	23.3%	23.6%		
	療養食比率	65	68	70	71	73	75	75	75	75	73	73	73	57.0%	特食提供者数/実利用者数
		127	127	128	130	130	128	129	125	127	127	127	127		
		51.2%	53.5%	54.7%	54.6%	56.2%	58.6%	58.1%	60.0%	59.1%	57.5%	57.5%	57.5%		

介護 Quality Indicator(鶴友苑)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）施設全体	在宅復帰率	4	6	3	7	4	5	3	7	3	2	3	9	49.6%	在宅退所者数/月間退所者数
		8	9	13	10	7	15	9	10	9	7	5	11		
		50.0%	66.7%	23.1%	70.0%	57.1%	33.3%	33.3%	70.0%	33.3%	28.6%	60.0%	81.8%		
	短期集中リハビリ(認知症短期集中リハビリ含)	170	130	118	222	207	223	247	274	152	140	82	99	13.1%	リハ実施延人数/延入所者数
		1,269	1,401	1,219	1,364	1,349	1,313	1,247	1,262	1,334	1,364	1,326	1,334		
		13.4%	9.3%	9.7%	16.3%	15.3%	17.0%	19.8%	21.7%	11.4%	10.3%	6.2%	7.4%		
	重度者（介護4･5）割合率	17	17	19	19	20	20	18	20	20	19	18	18	36.9%	要介護4･5の人数/実利用者数
		50	51	53	52	51	53	48	51	51	50	49	50		
		34.0%	33.3%	35.8%	36.5%	39.2%	37.7%	37.5%	39.2%	39.2%	38.0%	36.7%	36.0%		
	認知症Ⅲa以上の割合率	17	17	17	17	18	17	18	18	17	17	16	16	33.7%	認知症度Ⅲ以上実利用者数/実利用者数
		50	51	53	52	51	53	48	51	51	50	49	50		
		34.0%	33.3%	32.1%	32.7%	35.3%	32.1%	37.5%	35.3%	33.3%	34.0%	32.7%	32.0%		
	ターミナルケア率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	ターミナル実人数/月間実人数
		50	51	53	52	51	53	48	51	51	50	49	50		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	介護福祉士率	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	90.0%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		20	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19		
		90.0%	90.0%	89.5%	89.5%	89.5%	89.5%	89.5%	89.5%	89.5%	89.5%	89.5%	94.7%		
	介護実習指導者率	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	33.2%	介護実習指導者数/全介護職員数
		20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19		
		30.0%	31.6%	31.6%	31.6%	31.6%	31.6%	31.6%	31.6%	36.8%	36.8%	36.8%	36.8%		
（2）安全・安心対策	入所者の転倒･転落発生率	9	8	6	4	4	6	4	10	4	4	3	4	0.4%	転倒転落件数/延入所者数
		1,269	1,401	1,219	1,364	1,349	1,313	1,247	1,262	1,334	1,364	1,326	1,334		
		0.7%	0.6%	0.5%	0.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.8%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%		
	入所者の転倒･転落による損傷発生率(レベル２以下)	9	8	6	4	4	6	4	9	4	4	3	4	0.4%	転倒転落件数(レベル２以下)/延入所者
		1,269	1,401	1,219	1,364	1,349	1,313	1,247	1,262	1,334	1,364	1,326	1,334		
		0.7%	0.6%	0.5%	0.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.7%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%		
	入所者の転倒･転落による損傷発生率(レベル３以上)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル３以上)/延入所者
		1,269	1,401	1,219	1,364	1,349	1,313	1,247	1,262	1,334	1,364	1,326	1,334		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント･アクシデントレポート提出件数(提出率)	11	6	5	0	1	3	1	1	0	1	1	2	0.2%	提出件数/延入所者
		1,269	1,401	1,219	1,364	1,349	1,313	1,247	1,262	1,334	1,364	1,326	1,334		
		0.9%	0.4%	0.4%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%		
	褥瘡推定発生率	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0.8%	褥瘡保有者数/入所者数
		50	51	53	52	51	53	48	51	51	50	49	50		
		2.0%	0.0%	1.9%	1.9%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		46	47	47	48	47	48	49	49	49	49	48	49		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザワクチン接種率(職員)	0	0	0	0	0	0	1	40	6	0	0	0	8.2%	ワクチン接種者数/全職員数
		46	47	47	48	47	48	49	49	49	49	48	49		
	血液･体液暴露(針刺し)件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		発生件数
（4）栄養	経口維持Ⅰ比率	25	24	22	29	26	25	30	26	30	30	29	31	53.7%	経口維持Ⅰ数/実利用者数
		50	51	53	52	51	53	48	51	51	50	49	50		
		50.0%	47.1%	41.5%	55.8%	51.0%	47.2%	62.5%	51.0%	58.8%	60.0%	59.2%	62.0%		
	療養食比率	48	47	50	49	48	50	46	48	48	47	46	47	94.3%	特食提供者数/実利用者数
		50	51	53	52	51	53	48	51	51	50	49	50		
		96.0%	92.2%	94.3%	94.2%	94.1%	94.3%	95.8%	94.1%	94.1%	94.0%	93.9%	94.0%		

介護 Quality Indicator(和光苑)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）施設全体	在宅復帰率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.7%	在宅退所者数/月間退所者数
		11	15	14	11	14	4	6	8	8	11	9	6		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	16.7%		
	短期集中リハビリ(認知症短期集中リハビリ含)	402	376	257	308	402	508	547	561	639	734	831	904	12.2%	リハ実施延人数/延入所者数
		4,227	4,446	4,345	4,451	4,404	4,404	4,538	4,409	4,543	4,444	4,282	4,514		
		9.5%	8.5%	5.9%	6.9%	9.1%	11.5%	12.1%	12.7%	14.1%	16.5%	19.4%	20.0%		
	重度者（介護 4・5）割合率	114	116	119	118	114	112	114	112	111	106	107	107	73.1%	要介護 4･5 の人数/実利用者数
		153	151	155	152	154	152	154	154	156	155	156	155		
		74.5%	76.8%	76.8%	77.6%	74.0%	73.7%	74.0%	72.7%	71.2%	68.4%	68.6%	69.0%		
	認知症Ⅲa 以上の割合率	121	122	122	120	122	120	121	120	120	115	115	111	77.4%	認知症度Ⅲ以上実利用者数/実利用者数
		153	151	155	152	154	152	154	154	156	155	156	155		
		79.1%	80.8%	78.7%	78.9%	79.2%	78.9%	78.6%	77.9%	76.9%	74.2%	73.7%	71.6%		
	ターミナルケア率	0	1	2	0	2	1	3	0	5	0	0	3	0.9%	ターミナル実人数/月間実人数
		153	151	155	152	154	152	154	154	156	155	156	155		
		0.0%	0.7%	1.3%	0.0%	1.3%	0.7%	1.9%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	1.9%		
	介護福祉士率	41	41	41	41	40	40	40	40	40	40	40	40	70.3%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		58	58	58	58	57	57	57	57	57	57	57	57		
		70.7%	70.7%	70.7%	70.7%	70.2%	70.2%	70.2%	70.2%	70.2%	70.2%	70.2%	70.2%		
	介護実習指導者率	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	20	20	30.5%	介護実習指導者数/全介護職員数
		58	58	58	58	57	57	57	57	57	57	57	57		
		29.3%	29.3%	29.3%	29.3%	29.8%	29.8%	29.8%	29.8%	29.8%	29.8%	35.1%	35.1%		
（2）安全・安心対策	入所者の転倒・転落発生率	4	9	10	11	5	15	14	9	15	11	15	14	0.2%	転倒転落件数/延入所者数
		4,227	4,446	4,345	4,451	4,404	4,404	4,538	4,409	4,543	4,444	4,282	4,514		
		0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.4%	0.3%		
	入所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 2 以下)	4	9	9	10	5	15	14	9	13	10	15	13	0.2%	転倒転落件数(レベル 2 以下)/延入所者
		4,227	4,446	4,345	4,451	4,404	4,404	4,538	4,409	4,543	4,444	4,282	4,514		
		0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.4%	0.3%		
	入所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 3 以上)	0	0	1	1	0	0	0	2	2	1	0	1	0.0%	転倒転落件数(レベル 3 以上)/延入所者
		4,227	4,446	4,345	4,451	4,404	4,404	4,538	4,409	4,543	4,444	4,282	4,514		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数(提出率)	41	16	41	24	32	33	22	27	22	37	34	33	0.7%	提出件数/延入所者
		4,227	4,446	4,345	4,451	4,404	4,404	4,538	4,409	4,543	4,444	4,282	4,514		
		1.0%	0.4%	0.9%	0.5%	0.7%	0.7%	0.5%	0.6%	0.5%	0.8%	0.8%	0.7%		
	褥瘡推定発生率	1	5	7	6	3	1	3	2	0	1	3	4	1.9%	褥瘡保有者数/入所者数
		153	151	155	152	154	152	154	154	156	155	156	155		
		0.7%	3.3%	4.5%	3.9%	1.9%	0.7%	1.9%	1.3%	0.0%	0.6%	1.9%	2.6%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.1%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		121	120	120	120	119	119	118	118	118	117	117	117		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザワクチン接種率(職員)	0	0	0	0	0	0	3	113	0	0	0	0	8.1%	ワクチン接種者数/全職員数
		121	120	120	120	119	119	118	118	118	117	117	117		
	血液・体液暴露(針刺し)件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		発生件数
（4）栄養	経口維持Ⅰ比率	84	83	86	84	86	86	86	87	86	87	85	82	55.3%	経口維持Ⅰ数/実利用者数
		153	151	155	152	154	152	154	154	156	155	156	155		
		54.9%	55.0%	55.5%	55.3%	55.8%	56.6%	55.8%	56.5%	55.1%	56.1%	54.5%	52.9%		
	療養食比率	85	90	91	90	90	89	91	90	91	91	92	91	58.5%	特食提供者数/実利用者数
		153	151	155	152	154	152	154	154	156	155	156	155		
		55.6%	59.6%	58.7%	59.2%	58.4%	58.6%	59.1%	58.4%	58.3%	58.7%	59.0%	58.7%		

介護 Quality Indicator(エレガンテなぎの浦)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
(1)施設全体	重度者（介護 4・5）割合率	78	81	79	82	80	83	84	84	85	84	82	81	87.6%	要介護 4・5 の人数/実利用者数
		92	94	93	94	92	92	93	94	95	96	94	93		
		84.8%	86.2%	84.9%	87.2%	87.0%	90.2%	90.3%	89.4%	89.5%	87.5%	87.2%	87.1%		
	認知症Ⅲa 以上の割合率	64	65	63	62	62	62	63	66	66	64	64	65	68.3%	認知症度Ⅲ以上実利用者数/実利用者数
		92	94	93	94	92	92	93	94	95	96	94	93		
		69.6%	69.1%	67.7%	66.0%	67.4%	67.4%	67.7%	70.2%	69.5%	66.7%	68.1%	69.9%		
	介護福祉士率	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	79.2%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		43	43	43	43	43	43	44	44	43	42	42	42		
		79.1%	79.1%	79.1%	79.1%	79.1%	79.1%	77.3%	77.3%	79.1%	81.0%	81.0%	81.0%		
	介護実習指導者率	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	7.0%	介護実習指導者数/全介護職員数
		43	43	43	43	43	43	44	44	43	42	42	42		
		7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	6.8%	6.8%	7.0%	7.1%	7.1%	7.1%		
(2)安全・安心対策	入所者の転倒・転落発生率	1	5	2	4	2	1	2	3	4	2	3	2	0.1%	転倒転落件数/延入所者数
		2,568	2,695	2,680	2,622	2,579	2,630	2,755	2,539	2,609	2,710	2,566	2,728		
		0.0%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%		
	入所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 2 以下)	1	4	2	3	1	0	1	2	2	2	3	2	0.1%	転倒転落件数(レベル 2 以下)/延入所者
		2,568	2,695	2,680	2,622	2,579	2,630	2,755	2,539	2,609	2,710	2,566	2,728		
		0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%		
	入所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 3 以上)	0	1	0	1	1	1	1	1	2	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル 3 以上)/延入所者
		2,568	2,695	2,680	2,622	2,579	2,630	2,755	2,539	2,609	2,710	2,566	2,728		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数(提出率)	4	13	11	19	7	8	20	14	21	14	19	17	0.5%	提出件数/延入所者
		2,568	2,695	2,680	2,622	2,579	2,630	2,755	2,539	2,609	2,710	2,566	2,728		
		0.2%	0.5%	0.4%	0.7%	0.3%	0.3%	0.7%	0.6%	0.8%	0.5%	0.7%	0.6%		
	褥瘡推定発生率	0	0	1	1	2	4	4	4	3	3	1	2	2.2%	褥瘡保有者数/入所者数
		92	94	93	94	92	92	93	94	95	96	94	93		
		0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	2.2%	4.3%	4.3%	4.3%	3.2%	3.1%	1.1%	2.2%		
(3)感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		58	58	58	59	59	58	58	58	57	57	57	57		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザワクチン接種率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	27	27	0	0	0	7.8%	ワクチン接種者数/全職員数
		58	58	58	59	59	58	58	58	57	57	57	57		
(4)栄養	経口維持Ⅰ比率	45	44	44	43	43	46	47	48	53	53	52	52	50.8%	経口維持Ⅰ数/延実人数
		92	94	93	94	92	92	92	94	95	96	94	93		
		48.9%	46.8%	47.3%	45.7%	46.7%	50.0%	51.1%	51.1%	55.8%	55.2%	55.3%	55.9%		
	療養食比率	4,282	4,549	4,555	4,409	4,211	4,467	4,347	4,190	4,122	4,337	4,253	4,441	61.9%	特食回数/食事回数
		6,817	7,125	7,027	6,878	6,777	6,937	7,286	6,845	7,125	7,260	6,858	7,384		
		62.8%	63.8%	64.8%	64.1%	62.1%	64.4%	59.7%	61.2%	57.9%	59.7%	62.0%	60.1%		

介護 Quality Indicator(エレガンテたつるはま)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）施設全体	重度者（介護 4・5）割合率	23	22	22	22	20	21	20	20	20	20	21	20	82.3%	要介護 4・5 の人数/実利用者数
		26	25	25	27	25	26	25	25	25	25	26	25		
		88.5%	88.0%	88.0%	81.5%	80.0%	80.8%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.8%	80.0%		
	認知症Ⅲa 以上の割合率	18	18	18	18	18	19	20	20	20	20	22	22	76.4%	認知症度Ⅲ以上実利用者数/実利用者数
		26	25	25	27	25	26	25	25	25	25	26	25		
		69.2%	72.0%	72.0%	66.7%	72.0%	73.1%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	84.6%	88.0%		
	介護福祉士率	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	93.3%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
		93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%		
	介護実習指導者率	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	20.8%	介護実習指導者数/全介護職員数
		14	14	14	14	14	14	15	15	15	14	15	15		
		21.4%	21.4%	21.4%	21.4%	21.4%	21.4%	20.0%	20.0%	20.0%	21.4%	20.0%	20.0%		
（2）安全・安心対策	入所者の転倒・転落発生率	1	0	1	3	1	3	4	2	4	2	1	0	0.3%	転倒転落件数/延入所者数
		710	755	705	733	757	735	729	716	735	732	716	749		
		0.1%	0.0%	0.1%	0.4%	0.1%	0.4%	0.5%	0.3%	0.5%	0.3%	0.1%	0.0%		
	入所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 2 以下)	8	6	8	11	7	10	10	6	5	5	10	7	1.1%	転倒転落件数(レベル 2 以下)/延入所者
		710	755	705	733	757	735	729	716	735	732	716	749		
		1.1%	0.8%	1.1%	1.5%	0.9%	1.4%	1.4%	0.8%	0.7%	0.7%	1.4%	0.9%		
	入所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル 3 以上)	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル 3 以上)/延入所者
		710	755	705	733	757	735	729	716	735	732	716	749		
		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数(提出率)	9	6	8	11	7	11	10	6	5	5	10	7	1.1%	提出件数/延入所者
		710	755	705	733	757	735	729	716	735	732	716	749		
		1.3%	0.8%	1.1%	1.5%	0.9%	1.5%	1.4%	0.8%	0.7%	0.7%	1.4%	0.9%		
	褥瘡推定発生率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	褥瘡保有者数/入所者数
		26	25	25	27	25	26	25	25	25	26	26	25		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザワクチン接種率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	100.0%	ワクチン接種者数/全職員数
		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
（4）栄養	経口維持Ⅰ比率	11	11	10	12	12	13	12	13	12	13	15	14	48.5%	経口維持Ⅰ数/延実人数
		26	25	25	27	25	26	25	25	25	25	26	25		
		42.3%	44.0%	40.0%	44.4%	48.0%	50.0%	48.0%	52.0%	48.0%	52.0%	57.7%	56.0%		
	療養食比率	1,404	1,507	1,479	1,539	1,666	1,598	1,440	1,434	1,574	1,510	1,516	1,527	65.2%	特食回数/食事回数
		2,340	2,325	2,250	2,511	2,325	2,340	2,325	2,250	2,325	2,325	2,262	2,325		
		60.0%	64.8%	65.7%	61.3%	71.7%	68.3%	61.9%	63.7%	67.7%	64.9%	67.0%	65.7%		

介護 Quality Indicator(恵寿鳩ヶ丘通所リハ)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）通所リハビリ事業	介護度改善率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	認定改善者数/月間認定更新者数
		0	1	1	2	0	2	1	0	0	0	3	0		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	リハビリマネジメント加算Ⅰ	34	31	31	30	31	32	30	31	29	31	31	32	89.9%	算定者数/月間要介護者数
		39	36	36	34	35	36	33	34	32	32	33	35		
		87.2%	86.1%	86.1%	88.2%	88.6%	88.9%	90.9%	91.2%	90.6%	96.9%	93.9%	91.4%		
	リハビリマネジメント加算Ⅱ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間要介護者数
		39	36	36	34	35	36	33	34	32	32	33	35		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	リハビリマネジメント加算Ⅲ	5	5	5	4	4	4	3	3	3	2	2	3	10.4%	算定者数/月間要介護者数
		39	36	36	34	35	36	33	34	32	32	33	35		
		12.8%	13.9%	13.9%	11.8%	11.4%	11.1%	9.1%	8.8%	9.4%	6.3%	6.1%	8.6%		
	リハビリマネジメント加算Ⅳ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間要介護者数
		39	36	36	34	35	36	33	34	32	32	33	35		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	短期集中リハビリテーション実施加算Ⅰ(認知症短期集中リハビリ含)	6	7	6	4	4	4	2	2	2	5	6	5	12.8%	算定者数/月間要介護者数
		39	36	36	34	35	36	33	34	32	32	33	35		
		15.4%	19.4%	16.7%	11.8%	11.4%	11.1%	6.1%	5.9%	6.3%	15.6%	18.2%	14.3%		
	短期集中リハビリテーション実施加算Ⅱ(認知症短期集中リハビリ含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間要介護者数
		39	36	36	34	35	36	33	34	32	32	33	35		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	中重度者比率(介護度３以上)	13	10	10	9	7	8	9	10	8	7	8	10	26.3%	要介護度 3・4・5の人数/月間要介護者数
		39	36	36	34	35	36	33	34	32	32	33	35		
		33.3%	27.8%	27.8%	26.5%	20.0%	22.2%	27.3%	29.4%	25.0%	21.9%	24.2%	28.6%		
	認知症自立度Ⅲa以上の割合	5	5	4	3	2	2	4	2	2	2	1	1	6.3%	認知症自立度Ⅲa 以上の数/月間利用実人数
		48	46	45	41	43	44	41	44	42	44	43	45		
		10.4%	10.9%	8.9%	7.3%	4.7%	4.5%	9.8%	4.5%	4.8%	4.5%	2.3%	2.2%		
	生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅰ	2	2	1	0	0	0	0	1	1	2	1	1	2.1%	算定者数/月間実利用者数
		48	46	45	41	43	44	41	44	42	44	43	45		
		4.2%	4.3%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	2.4%	4.5%	2.3%	2.2%		
	生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅱ	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4%	算定者数/月間実利用者数
		48	46	45	41	43	44	41	44	42	44	43	45		
		0.0%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	介護福祉士率	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	62.5%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8		
		62.5%	62.5%	62.5%	62.5%	62.5%	62.5%	62.5%	62.5%	62.5%	62.5%	62.5%	62.5%		
（2）安全・安心対策	通所者の転倒・転落発生率	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0.4%	転倒転落件数/延通所者数
		318	343	257	297	285	285	268	303	283	278	280	317		
		0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%		
	通所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル２以下)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	62.5%	転倒転落件数(レベル２以上)/延通所者
		318	343	257	297	285	285	268	303	283	278	280	317		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%		
	通所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル３以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2%	転倒転落件数(レベル３以上)/延通所者
		318	343	257	297	285	285	268	303	283	278	280	317		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数（提出率）	2	1	1	1	1	1	1	2	0	1	1	0	0.1%	提出件数/延通所者
		318	343	257	297	285	285	268	303	283	278	280	317		
		0.6%	0.3%	0.4%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.7%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザ罹患率(利用者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3%	インフルエンザ罹患者数/月間利用実人数
		48	46	45	41	43	44	41	44	42	44	43	45		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（4）栄養	栄養改善取組率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	改善取組者数/月間利用実人数
		48	46	45	41	43	44	41	44	42	44	43	45		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	口腔機能向上取組率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	向上取組者数/月間利用実人数
		48	46	45	41	43	44	41	44	42	44	43	45		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

介護 Quality Indicator(鶴友苑通所リハ)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）通所リハビリ事業	介護度改善率	0	0	2	1	2	0	4	0	1	1	2	0	22.0%	認定改善者数/月間認定更新者数
		5	3	11	2	9	5	6	2	5	3	4	4		
		0.0%	0.0%	18.2%	50.0%	22.2%	0.0%	66.7%	0.0%	20.0%	33.3%	50.0%	0.0%		
	リハビリマネジメント加算Ⅰ	52	52	47	49	52	49	50	54	52	50	49	49	81.1%	算定者数/月間要介護者数
		63	72	64	63	65	59	59	63	63	60	58	57		
		82.5%	72.2%	73.4%	77.8%	80.0%	83.1%	84.7%	85.7%	82.5%	83.3%	84.5%	86.0%		
	リハビリマネジメント加算Ⅱ	7	6	6	6	6	5	6	6	6	6	6	5	9.5%	算定者数/月間要介護者数
		63	72	64	63	65	59	59	63	63	60	58	57		
		11.1%	8.3%	9.4%	9.5%	9.2%	8.5%	10.2%	9.5%	9.5%	10.0%	10.3%	8.8%		
	リハビリマネジメント加算Ⅲ	7	8	11	8	7	5	3	3	5	4	3	3	9.0%	算定者数/月間要介護者数
		63	72	64	63	65	59	59	63	63	60	58	57		
		11.1%	11.1%	17.2%	12.7%	10.8%	8.5%	5.1%	4.8%	7.9%	6.7%	5.2%	5.3%		
	リハビリマネジメント加算Ⅳ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間要介護者数
		63	72	64	63	65	59	59	63	63	60	58	57		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	短期集中リハビリテーション実施加算Ⅰ(認知症短期集中リハビリ含)	3	4	4	3	2	1	2	2	4	2	1	0	3.8%	算定者数/月間要介護者数
		63	72	64	63	65	59	59	63	63	60	58	57		
		4.8%	5.6%	6.3%	4.8%	3.1%	1.7%	3.4%	3.2%	6.3%	3.3%	1.7%	0.0%		
	短期集中リハビリテーション実施加算Ⅱ(認知症短期集中リハビリ含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間要介護者数
		63	72	64	63	65	59	59	63	63	60	58	57		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	中重度者比率(介護度３以上)	20	25	23	21	24	19	18	19	19	19	16	18	32.3%	要介護度 3・4・5の人数/月間要介護者数
		63	72	64	63	65	59	59	63	63	60	58	57		
		31.7%	34.7%	35.9%	33.3%	36.9%	32.2%	30.5%	30.2%	30.2%	31.7%	27.6%	31.6%		
	認知症自立度Ⅲa以上の割合	12	13	10	10	10	9	9	7	7	7	8	5	11.5%	認知症自立度Ⅲa 以上の数/月間利用実人数
		75	84	77	77	80	74	75	80	81	78	76	74		
		16.0%	15.5%	13.0%	13.0%	12.5%	12.2%	12.0%	8.8%	8.6%	9.0%	10.5%	6.8%		
	生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間実利用者数
		75	84	77	77	80	74	75	80	81	78	76	74		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅱ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間実利用者数
		75	84	77	77	80	74	75	80	81	78	76	74		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	介護福祉士率	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	100.0%	介護福祉士数/介護職員総数
		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
（2）安全・安心対策	通所者の転倒・転落発生率	1	1	0	1	0	1	0	2	0	0	1	0	0.1%	転倒転落件数/延通所者数
		536	586	573	570	553	517	560	566	564	513	494	545		
		0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%		
	通所者の転倒・転落発生による損傷発生率(レベル２以下)	1	1	0	1	0	1	0	2	0	0	1	0	0.1%	転倒転落件数(レベル 2 以下)/延通所者
		536	586	573	570	553	517	560	566	564	513	494	545		
		0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%		
	通所者の転倒・転落発生による損傷発生率(レベル３以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル 3 以上)/延通所者
		536	586	573	570	553	517	560	566	564	513	494	545		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数（提出率）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%	提出件数/延通所者
		536	586	573	570	553	517	560	566	564	513	494	545		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.8%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザ罹患率(利用者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患者数/月間利用実人数
		75	84	77	77	80	74	75	80	81	78	76	74		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（4）栄養	栄養改善取組率	8	9	9	7	10	9	10	12	14	15	12	11	13.5%	改善取組者数/月間利用実人数
		75	84	77	77	80	74	75	80	81	78	76	74		
		10.7%	10.7%	11.7%	9.1%	12.5%	12.2%	13.3%	15.0%	17.3%	19.2%	15.8%	14.9%		
	口腔機能向上取組率	3	2	2	2	2	1	1	0	2	2	1	2	2.1%	向上取組者数/月間利用実人数
		75	84	77	77	80	74	75	80	81	78	76	74		
		4.0%	2.4%	2.6%	2.6%	2.5%	1.4%	1.3%	0.0%	2.5%	2.6%	1.3%	2.7%		

介護 Quality Indicator(和光苑通所リハ)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
（1）通所リハビリ事業	介護度改善率	2	0	3	2	3	2	1	0	0	1	0	1	15.3%	認定改善者数/月間認定更新者数
		6	9	13	9	10	8	8	7	5	10	8	5		
		33.3%	0.0%	23.1%	22.2%	30.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%		
	リハビリマネジメント加算Ⅰ	68	68	67	66	63	64	65	64	67	69	72	73	77.2%	算定者数/月間要介護者数
		86	85	85	86	81	79	88	82	89	90	96	97		
		79.1%	80.0%	78.8%	76.7%	77.8%	81.0%	73.9%	78.0%	75.3%	76.7%	75.0%	75.3%		
	リハビリマネジメント加算Ⅱ	4	5	6	6	7	5	4	3	3	3	3	2	4.9%	算定者数/月間要介護者数
		86	85	85	86	81	79	88	82	89	90	96	97		
		4.7%	5.9%	7.1%	7.0%	8.6%	6.3%	4.5%	3.7%	3.4%	3.3%	3.1%	2.1%		
	リハビリマネジメント加算Ⅲ	9	7	8	10	7	6	4	4	7	6	7	7	7.9%	算定者数/月間要介護者数
		86	85	85	86	81	79	88	82	89	90	96	97		
		10.5%	8.2%	9.4%	11.6%	8.6%	7.6%	4.5%	4.9%	7.9%	6.7%	7.3%	7.2%		
	リハビリマネジメント加算Ⅳ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間要介護者数
		86	85	85	86	81	79	88	82	89	90	96	97		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	短期集中リハビリテーション実施加算Ⅰ(認知症短期集中リハビリ含)	8	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1%	算定者数/月間要介護者数
		86	85	85	86	81	79	88	82	89	90	96	97		
		9.3%	0.0%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	短期集中リハビリテーション実施加算Ⅱ(認知症短期集中リハビリ含)	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0.4%	算定者数/月間要介護者数
		86	85	85	86	81	79	88	82	89	90	96	97		
		0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	中重度者比率(介護度３以上)	20	19	19	20	17	14	17	16	17	20	23	25	21.7%	要介護度 3・4・5の人数/月間要介護者数
		86	85	85	86	81	79	88	82	89	90	96	97		
		23.3%	22.4%	22.4%	23.3%	21.0%	17.7%	19.3%	19.5%	19.1%	22.2%	24.0%	25.8%		
	認知症自立度Ⅲa以上の割合	21	21	21	21	18	16	17	16	16	16	18	17	16.3%	認知症自立度Ⅲa 以上の数/月間利用実人数
		117	85	115	115	108	106	112	109	114	116	119	120		
		17.9%	24.7%	18.3%	18.3%	16.7%	15.1%	15.2%	14.7%	14.0%	13.8%	15.1%	14.2%		
	生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅰ	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.3%	算定者数/月間実利用者数
		117	117	115	115	108	106	112	109	114	116	119	120		
		0.9%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%		
	生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅱ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1%	算定者数/月間実利用者数
		117	117	115	115	108	106	112	109	114	116	119	120		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	介護福祉士率	6	6	6	6	6	6	6	6	7	6	6	6	60.3%	介護福祉士数/介護職員総数
		10	10	10	10	10	10	10	10	11	10	10	10		
		60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	63.6%	60.0%	60.0%	60.0%		
（2）安全・安心対策	通所者の転倒・転落発生率	0	1	0	2	1	0	3	0	1	0	2	2	0.1%	転倒転落件数/延通所者数
		806	848	760	864	758	761	850	832	811	819	853	891		
		0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%		
	通所者の転倒・転落発生による損傷発生率(レベル２以下)	0	1	0	2	1	0	3	0	1	0	2	2	0.1%	転倒転落件数(レベル 2 以下)/延通所者
		806	848	760	864	758	761	850	832	811	819	853	891		
		0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%		
	通所者の転倒・転落発生による損傷発生率(レベル３以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル 3 以上)/延通所者
		806	848	760	864	758	761	850	832	811	819	853	891		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数（提出率）	4	2	1	3	3	1	5	2	1	4	6	0	0.3%	提出件数/延通所者
		806	848	760	864	758	761	850	832	811	819	853	891		
		0.5%	0.2%	0.1%	0.3%	0.4%	0.1%	0.6%	0.2%	0.1%	0.5%	0.7%	0.0%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.6%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		13	13	13	13	13	13	13	14	15	13	13	13		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザ罹患率(利用者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患者数/月間利用実人数
		117	117	116	116	108	106	113	111	114	116	119	120		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（4）栄養	栄養改善取組率	8	6	6	6	4	5	6	6	6	7	7	8	5.5%	改善取組者数/月間利用実人数
		117	117	116	116	108	106	113	111	114	116	119	120		
		6.8%	5.1%	5.2%	5.2%	3.7%	4.7%	5.3%	5.4%	5.3%	6.0%	5.9%	6.7%		
	口腔機能向上取組率	11	11	11	10	9	9	10	9	9	8	9	12	8.6%	向上取組者数/月間利用実人数
		117	117	116	116	108	106	113	111	114	116	119	120		
		9.4%	9.4%	9.5%	8.6%	8.3%	8.5%	8.8%	8.1%	7.9%	6.9%	7.6%	10.0%		

介護 Quality Indicator(鳥屋診療所いきいき通所リハ)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）通所リハビリ事業	介護度改善率	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6.1%	認定改善者数/月間認定更新者数
		3	5	2	3	8	1	1	4	1	3	1	1		
		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	リハビリマネジメント加算Ⅰ	24	20	18	20	20	19	16	18	18	18	16	16	90.3%	算定者数/月間要介護者数
		26	22	20	22	22	21	18	20	20	20	18	18		
		92.3%	90.9%	90.0%	90.9%	90.9%	90.5%	88.9%	90.0%	90.0%	90.0%	88.9%	88.9%		
	リハビリマネジメント加算Ⅱ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間要介護者数
		26	22	20	22	22	21	18	20	20	20	18	18		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	リハビリマネジメント加算Ⅲ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	9.7%	算定者数/月間要介護者数
		26	22	20	22	22	21	18	20	20	20	18	18		
		7.7%	9.1%	10.0%	9.1%	9.1%	9.5%	11.1%	10.0%	10.0%	10.0%	11.1%	11.1%		
	リハビリマネジメント加算Ⅳ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間要介護者数
		26	22	20	22	22	21	18	20	20	20	18	18		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	短期集中リハビリテーション実施加算Ⅰ(認知症短期集中リハビリ含)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8%	算定者数/月間要介護者数
		26	22	20	22	22	21	18	20	20	20	18	18		
		3.8%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	短期集中リハビリテーション実施加算Ⅱ(認知症短期集中リハビリ含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間要介護者数
		26	22	20	22	22	21	18	20	20	20	18	18		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	中重度者比率(介護度３以上)	6	5	4	4	4	4	4	3	4	4	3	4	19.8%	要介護度 3・4・5の人数/月間要介護者数
		26	22	20	22	22	21	18	20	20	20	18	18		
		23.1%	22.7%	20.0%	18.2%	18.2%	19.0%	22.2%	15.0%	20.0%	20.0%	16.7%	22.2%		
	認知症自立度Ⅲa以上の割合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	認知症自立度Ⅲa 以上の数/月間利用実人数
		41	34	31	33	34	34	30	32	33	34	31	29		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	算定者数/月間実利用者数
		41	34	31	33	34	34	30	32	33	34	31	29		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅱ	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0.8%	算定者数/月間実利用者数
		41	34	31	33	34	34	30	32	33	34	31	29		
		2.4%	0.0%	0.0%	3.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	介護福祉士率	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	100.0%	介護福祉士数/介護職員総数
		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
（2）安全・安心対策	通所者の転倒・転落発生率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%	転倒転落件数/延通所者数
		236	193	171	215	201	194	157	190	163	176	156	173		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%		
	通所者の転倒・転落発生による損傷発生率(レベル２以下)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル２以下)/延通所者
		236	193	171	215	201	194	157	190	163	176	156	173		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	通所者の転倒・転落発生による損傷発生率(レベル３以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%	転倒転落件数(レベル３以上)/延通所者
		236	193	171	215	201	194	157	190	163	176	156	173		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数（提出率）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%	提出件数/延通所者
		236	193	171	215	201	194	157	190	163	176	156	173		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザ罹患率(利用者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患者数/月間利用実人数
		41	34	31	33	34	34	30	32	33	34	31	29		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（4）栄養	栄養改善取組率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	改善取組者数/月間利用実人数
		41	34	31	33	34	34	30	32	33	34	31	29		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	口腔機能向上取組率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	向上取組者数/月間利用実人数
		41	34	31	33	34	34	30	32	33	34	31	29		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

介護 Quality Indicator(ほのぼの通所介護)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
(1)通所介護事業	通所介護利用率	838	841	770	819	779	758	785	719	687	666	688	739	84.0%	月間利用延べ人数/(通所定員×営業日数)
		910	945	875	945	910	875	945	910	875	840	875	910		
		92.1%	89.0%	88.0%	86.7%	85.6%	86.6%	83.1%	79.0%	78.5%	79.3%	78.6%	81.2%		
	要支援者比率	20	19	20	21	19	18	19	21	21	22	22	18	20.6%	要支援者数/月間利用実人数
		100	98	99	97	98	100	99	103	97	94	90	88		
		20.0%	19.4%	20.2%	21.6%	19.4%	18.0%	19.2%	20.4%	21.6%	23.4%	24.4%	20.5%		
	要介護者比率	80	79	79	76	79	82	80	82	76	72	68	70	79.4%	要介護者数/月間利用実人数
		100	98	99	97	98	100	99	103	97	94	90	88		
		80.0%	80.6%	79.8%	78.4%	80.6%	82.0%	80.8%	79.6%	78.4%	76.6%	75.6%	79.5%		
	中重度者比率(介護度３以上)	25	24	24	21	26	24	25	27	27	28	25	25	32.6%	要介護度3･4･5の人数/月間要介護者数
		80	79	79	76	79	82	80	82	76	72	68	70		
		31.3%	30.4%	30.4%	27.6%	32.9%	29.3%	31.3%	32.9%	35.5%	38.9%	36.8%	35.7%		
	認知症自立度Ⅲa以上の割合	12	15	16	14	15	16	15	14	15	15	14	14	15.0%	認知症自立度Ⅲa以上の数/月間利用実人数
		100	98	99	97	98	100	99	103	97	94	90	88		
		12.0%	15.3%	16.2%	14.4%	15.3%	16.0%	15.2%	13.6%	15.5%	16.0%	15.6%	15.9%		
	介護度改善率	1	0	2	1	1	1	0	1	2	0	2	0	12.6%	認定改善者数/月間認定更新者数
		10	5	6	10	11	6	4	9	5	7	9	5		
		10.0%	0.0%	33.3%	10.0%	9.1%	16.7%	0.0%	11.1%	40.0%	0.0%	22.2%	0.0%		
	介護福祉士率	10	10	10	10	9	9	9	10	11	11	11	11	68.8%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		15	15	15	15	14	14	14	14	15	15	15	15		
		66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	71.4%	64.3%	64.3%	64.3%	66.7%	73.3%	73.3%	73.3%		
(2)安全・安心対策	通所者の転倒・転落発生率	1	1	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0.1%	転倒転落件数/延通所者数
		838	841	770	819	779	758	785	719	687	666	688	739		
		0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
	通所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル２以下)	1	1	1	0	0	1	1	0	2	0	1	0	0.1%	転倒転落件数(レベル２以下)/延通所者
		838	841	770	819	779	758	785	719	687	666	688	739		
		0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%		
	通所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル３以上)	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル３以上)/延通所者
		838	841	770	819	779	758	785	719	687	666	688	739		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数（提出率）	1	1	1	0	0	2	1	0	3	0	1	0	0.1%	提出件数/延通所者
		838	841	770	819	779	758	785	719	687	666	688	739		
		0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%		
(3)感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.8%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		22	22	22	22	21	21	21	21	22	21	21	21		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	4.8%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザ罹患率(利用者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.1%	インフルエンザ罹患者数/月間利用実人数
		100	98	99	97	98	100	99	103	97	94	90	88		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%		
(4)栄養	栄養改善取組率	8	8	7	7	8	8	7	7	7	5	5	6	7.1%	改善取組者数/月間利用実人数
		100	98	99	97	98	100	99	103	97	94	90	88		
		8.0%	8.2%	7.1%	7.2%	8.2%	8.0%	7.1%	6.8%	7.2%	5.3%	5.6%	6.8%		
	口腔機能向上取組率	7	7	7	7	8	8	7	10	8	8	9	9	8.2%	向上取組者数/月間利用実人数
		100	98	99	97	98	100	99	103	97	94	90	88		
		7.0%	7.1%	7.1%	7.2%	8.2%	8.0%	7.1%	9.7%	8.2%	8.5%	10.0%	10.2%		

介護 Quality Indicator(デイサービスセンターいこい通所介護)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）通所介護事業	通所介護利用率	670	725	653	702	630	648	735	701	677	639	687	674	75.5%	月間利用延べ人数/(通所定員×営業日数)
		910	945	875	945	875	875	945	910	875	840	875	910		
		73.6%	76.7%	74.6%	74.3%	72.0%	74.1%	77.8%	77.0%	77.4%	76.1%	78.5%	74.1%		
	要支援者比率	16	16	16	16	15	15	17	17	18	18	20	19	24.3%	要支援者数/月間利用実人数
		67	70	68	69	65	67	72	73	71	71	73	68		
		23.9%	22.9%	23.5%	23.2%	23.1%	22.4%	23.6%	23.3%	25.4%	25.4%	27.4%	27.9%		
	要介護者比率	51	54	52	53	50	52	55	56	53	53	53	49	75.7%	要介護者数/月間利用実人数
		67	70	68	69	65	67	72	73	71	71	73	68		
		76.1%	77.1%	76.5%	76.8%	76.9%	77.6%	76.4%	76.7%	74.6%	74.6%	72.6%	72.1%		
	中重度者比率(介護度３以上)	17	19	18	17	17	18	19	18	17	14	14	14	32.0%	要介護度3･4･5の人数/月間要介護者数
		51	54	52	53	50	52	55	56	53	53	53	49		
		33.3%	35.2%	34.6%	32.1%	34.0%	34.6%	34.5%	32.1%	32.1%	26.4%	26.4%	28.6%		
	認知症自立度Ⅲa以上の割合	13	13	16	14	13	13	14	14	13	13	14	13	19.5%	認知症自立度Ⅲa以上の数/月間利用実人数
		67	70	68	69	65	67	72	73	71	71	73	68		
		19.4%	18.6%	23.5%	20.3%	20.0%	19.4%	19.4%	19.2%	18.3%	18.3%	19.2%	19.1%		
	介護度改善率	1	0	0	1	0	3	1	0	3	1	0	4	21.9%	認定改善者数/月間認定更新者数
		6	3	2	4	6	12	7	3	7	3	5	6		
		16.7%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	14.3%	0.0%	42.9%	33.3%	0.0%	66.7%		
	介護福祉士率	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	66.7%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12		
		66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%		
（2）安全・安心対策	通所者の転倒･転落発生率	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0.0%	転倒転落件数/延通所者数
		670	725	653	702	630	648	735	701	677	639	687	674		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%		
	通所者の転倒･転落による損傷発生率(レベル２以下)	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0.1%	転倒転落件数(レベル２以下)/延通所者
		670	725	653	702	630	648	735	701	677	639	687	674		
		0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%		
	通所者の転倒･転落による損傷発生率(レベル３以上)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル３以上)/延通所者
		670	725	653	702	630	648	735	701	677	639	687	674		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント･アクシデントレポート提出件数（提出率）	0	2	0	0	1	0	0	2	1	0	1	1	0.1%	提出件数/延通所者
		670	725	653	702	630	648	735	701	677	639	687	674		
		0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	18	18		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザ罹患率(利用者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患者数/月間利用実人数
		67	70	68	69	65	67	72	73	71	71	73	68		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（4）栄養	栄養改善取組率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	改善取組者数/月間利用実人数
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	口腔機能向上取組率	12	12	12	12	12	10	10	10	10	10	10	10	15.6%	向上取組者数/月間利用実人数
		67	70	68	69	65	67	72	73	71	71	73	68		
		17.9%	17.1%	17.6%	17.4%	18.5%	14.9%	13.9%	13.7%	14.1%	14.1%	13.7%	14.7%		

介護 Quality Indicator(エレガンテなぎの浦通所介護)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）通所介護事業	通所介護利用率	820	851	796	874	756	786	842	774	802	737	660	797	81.7%	月間利用延べ人数/(通所定員×営業日数)
		980	1,020	925	1,020	980	965	1,020	940	965	900	900	1,005		
		83.7%	83.4%	86.1%	85.7%	77.1%	81.5%	82.5%	0.0%	83.1%	81.9%	75.6%	79.3%		
	要支援者比率	29	29	26	26	24	25	26	25	26	26	28	29	25.7%	要支援者数/月間利用実人数
		107	101	105	104	99	102	104	103	106	102	102	105		
		27.1%	28.7%	24.8%	25.0%	24.2%	24.5%	25.0%	24.3%	24.5%	25.5%	27.5%	27.6%		
	要介護者比率	78	77	78	78	75	77	78	78	80	76	75	76	74.7%	要介護者数/月間利用実人数
		107	101	105	104	99	102	104	103	106	102	102	105		
		72.9%	76.2%	74.3%	75.0%	75.8%	75.5%	75.0%	75.7%	75.5%	74.5%	73.5%	72.4%		
	中重度者比率(介護度３以上)	17	18	20	20	19	20	21	20	20	18	18	21	18.7%	要介護度 3･4･5の人数/月間要介護者数
		107	101	105	104	99	102	104	103	106	102	102	105		
		15.9%	17.8%	19.0%	19.2%	19.2%	19.6%	20.2%	19.4%	18.9%	17.6%	17.6%	20.0%		
	認知症自立度Ⅲa以上の割合	20	17	18	18	19	19	19	19	14	15	19	19	17.4%	認知症自立度Ⅲa 以上の数/月間利用実人数
		107	101	105	104	99	102	104	103	106	102	102	105		
		18.7%	16.8%	17.1%	17.3%	19.2%	18.6%	18.3%	18.4%	13.2%	14.7%	18.6%	18.1%		
	介護度改善率	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	2	1	9.0%	認定改善者数/月間認定更新者数
		8	11	10	8	9	4	7	7	3	7	8	7		
		0.0%	9.1%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	33.3%	14.3%	25.0%	14.3%		
	介護福祉士率	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	99.2%	介護福祉士数/介護職員総数
		11	11	11	11	11	11	12	11	11	11	11	11		
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
（2）安全・安心対策	通所者の転倒・転落発生率	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1	1	0.1%	転倒転落件数/延通所者数
		820	851	796	874	756	786	842	774	802	737	660	797		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%		
	通所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル２以下)	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0.1%	転倒・転落件数(レベル２以下)/延通所者
		820	851	796	874	756	786	842	774	802	737	660	797		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%		
	通所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル３以上)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル３以上)/延通所者
		820	851	796	874	756	786	842	774	802	737	660	797		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数（提出率）	4	5	9	4	3	7	3	6	3	3	6	6	0.6%	提出件数/延通所者
		820	851	796	874	756	786	842	774	802	737	660	797		
		0.5%	0.6%	1.1%	0.5%	0.4%	0.9%	0.4%	0.8%	0.4%	0.4%	0.9%	0.8%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		16	16	16	16	16	16	17	16	16	16	15	15		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザ罹患率(利用者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0.6%	インフルエンザ罹患者数/月間利用実人数
		107	101	105	104	99	102	104	103	106	102	102	105		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	3.9%	0.0%		
（4）栄養	栄養改善取組率	0	0	1	36	1	1	0	0	0	29	0	0	5.5%	改善取組者数/月間利用実人数
		107	101	105	104	99	102	104	103	106	102	102	105		
		0.0%	0.0%	1.0%	34.6%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.4%	0.0%	0.0%		
	口腔機能向上取組率	6	7	7	7	6	8	8	7	7	7	7	6	6.7%	向上取組者数/月間利用実人数
		107	101	105	104	99	102	104	103	106	102	102	105		
		5.6%	6.9%	6.7%	6.7%	6.1%	7.8%	7.7%	6.8%	6.6%	6.9%	6.9%	5.7%		

介護 Quality Indicator(もみの木苑通所介護)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
（1）通所介護事業	通所介護利用率	622	642	577	660	649	671	703	648	635	584	576	619	86.7%	月間利用延べ人数/(通所定員×営業日数)
		740	770	700	770	740	730	770	710	730	680	680	730		
		84.1%	83.4%	82.4%	85.7%	87.7%	91.9%	91.3%	0.0%	87.0%	85.9%	84.7%	84.8%		
	要支援者比率	7	7	7	5	5	7	8	8	8	7	6	6	9.2%	要支援者数/月間利用実人数
		68	71	74	73	75	75	77	75	72	74	75	70		
		10.3%	9.9%	9.5%	6.8%	6.7%	9.3%	10.4%	10.7%	11.1%	9.5%	8.0%	8.6%		
	要介護者比率	61	64	67	68	70	68	69	67	64	67	69	64	90.8%	要介護者数/月間利用実人数
		68	71	74	73	75	75	77	75	72	74	75	70		
		89.7%	90.1%	90.5%	93.2%	93.3%	90.7%	89.6%	89.3%	88.9%	90.5%	92.0%	91.4%		
	中重度者比率(介護度３以上)	20	20	20	20	21	19	20	20	19	20	19	22	30.1%	要介護度 3･4･5の人数/月間要介護者数
		61	64	67	68	70	68	69	67	64	67	69	64		
		32.8%	31.3%	29.9%	29.4%	30.0%	27.9%	29.0%	29.9%	29.7%	29.9%	27.5%	34.4%		
	認知症自立度Ⅲa以上の割合	20	21	22	22	20	22	22	22	21	23	19	20	28.9%	認知症自立度Ⅲa 以上の数/月間利用実人数
		68	71	74	73	75	75	77	75	72	74	75	70		
		29.4%	29.6%	29.7%	30.1%	26.7%	29.3%	28.6%	29.3%	29.2%	31.1%	25.3%	28.6%		
	介護度改善率	0	0	1	0	2	1	2	0	0	0	1	0	13.0%	認定改善者数/月間認定更新者数
		1	5	7	2	7	9	8	1	8	1	4	1		
		0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	11.1%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%		
	介護福祉士率	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	75.7%	介護福祉士数/介護職員総数
		9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10		
		77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	70.0%	70.0%	70.0%		
（2）安全・安心対策	通所者の転倒・転落発生率	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.1%	転倒転落件数/延通所者数
		622	642	577	660	649	671	703	648	635	584	576	619		
		0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%		
	通所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル２以下)	2	3	5	2	3	3	5	2	3	7	7	4	0.6%	転倒転落件数(レベル２以下)/延通所者
		622	642	577	660	649	671	703	648	635	584	576	619		
		0.3%	0.5%	0.9%	0.3%	0.5%	0.4%	0.7%	0.3%	0.5%	1.2%	1.2%	0.6%		
	通所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル３以上)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル３以上)/延通所者
		622	642	577	660	649	671	703	648	635	584	576	619		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数（提出率）	2	3	5	2	3	3	5	2	3	7	7	4	0.6%	提出件数/月間利用延人数
		622	642	577	660	649	671	703	648	635	584	576	619		
		0.3%	0.5%	0.9%	0.3%	0.5%	0.4%	0.7%	0.3%	0.5%	1.2%	1.2%	0.6%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		13	13	13	14	14	15	15	15	15	16	16	13		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザ罹患率(利用者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0.9%	インフルエンザ罹患者数/月間利用実人数
		68	71	74	73	75	75	77	75	72	74	75	70		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（4）栄養	栄養改善取組率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	改善取組者数/月間利用実人数
		622	642	577	660	649	671	703	648	635	584	576	619		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	口腔機能向上取組率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	向上取組者数/月間利用実人数
		622	642	577	660	649	671	703	648	635	584	576	619		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

介護 Quality Indicator(ふれあいの里通所介護)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）通所介護事業	通所介護利用率	804	896	824	906	874	848	933	860	827	798	854	893	86.8%	月間利用延べ人数/(通所定員×営業日数)
		1,000	1,040	950	1,040	1,030	960	1,040	990	960	920	950	1,000		
		80.4%	86.2%	86.7%	87.1%	84.9%	88.3%	89.7%	0.0%	86.1%	86.7%	89.9%	89.3%		
	要支援者比率	15	16	17	20	20	19	17	16	14	17	16	17	17.3%	要支援者数/月間利用実人数
		95	97	98	100	100	104	102	99	96	94	97	98		
		15.8%	16.5%	17.3%	20.0%	20.0%	18.3%	16.7%	16.2%	14.6%	18.1%	16.5%	17.3%		
	要介護者比率	80	81	81	80	80	85	85	83	82	77	81	81	82.7%	要介護者数/月間利用実人数
		95	97	98	100	100	104	102	99	96	94	97	98		
		84.2%	83.5%	82.7%	80.0%	80.0%	81.7%	83.3%	83.8%	85.4%	81.9%	83.5%	82.7%		
	中重度者比率(介護度３以上)	23	23	23	24	21	23	25	26	24	20	20	21	28.1%	要介護度 3･4･5の人数/月間要介護者数
		80	81	81	80	80	85	85	83	82	77	81	78		
		28.8%	28.4%	28.4%	30.0%	26.3%	27.1%	29.4%	31.3%	29.3%	26.0%	24.7%	26.9%		
	認知症自立度Ⅲa以上の割合	20	20	18	19	18	18	19	19	18	14	14	18	18.2%	認知症自立度Ⅲa 以上の数/月間利用実人数
		95	97	98	100	100	104	102	99	96	94	97	98		
		21.1%	20.6%	18.4%	19.0%	18.0%	17.3%	18.6%	19.2%	18.8%	14.9%	14.4%	18.4%		
	介護度改善率	1	1	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	10.3%	認定改善者数/月間認定更新者数
		11	7	7	8	10	5	5	6	7	4	5	3		
		9.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	28.6%	50.0%	0.0%	0.0%		
	介護福祉士率	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	7	7	78.8%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		11	11	11	11	11	11	11	11	12	12	10	10		
		81.8%	81.8%	81.8%	81.8%	81.8%	81.8%	81.8%	81.8%	75.0%	75.0%	70.0%	70.0%		
（2）安全・安心対策	通所者の転倒・転落発生率	1	2	4	1	2	2	4	2	1	2	2	1	0.2%	転倒転落件数/延通所者数
		804	896	824	905	874	848	933	860	827	798	854	893		
		0.1%	0.2%	0.5%	0.1%	0.2%	0.2%	0.4%	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%		
	通所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル２以下)	7	13	10	12	6	8	6	10	7	9	4	3	0.9%	転倒転落件数(レベル２以下)/延通所者
		804	896	824	905	874	848	933	860	827	798	854	893		
		0.9%	1.5%	1.2%	1.3%	0.7%	0.9%	0.6%	1.2%	0.8%	1.1%	0.5%	0.3%		
	通所者の転倒・転落による損傷発生率(レベル３以上)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル３以上)/延通所者
		804	896	824	905	874	848	933	860	827	798	854	893		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インシデント・アクシデントレポート提出件数（提出率）	7	13	10	12	7	8	7	10	7	9	4	3	0.9%	提出件数/延通所者
		804	896	824	905	874	848	933	860	827	798	854	893		
		0.9%	1.5%	1.2%	1.3%	0.8%	0.9%	0.8%	1.2%	0.8%	1.1%	0.5%	0.3%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		22	22	22	22	22	22	22	22	22	23	22	22		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザ罹患率(利用者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	インフルエンザ罹患者数/月間利用実人数
		95	97	98	100	100	104	102	99	96	94	97	98		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（4）栄養	栄養改善取組率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	改善取組者数/月間利用実人数
		95	97	98	100	100	104	102	99	96	94	97	98		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	口腔機能向上取組率	14	14	14	14	14	13	14	14	12	12	10	10	13.1%	向上取組者数/月間利用実人数
		95	97	98	100	100	104	102	99	96	94	97	98		
		14.7%	14.4%	14.3%	14.0%	14.0%	12.5%	13.7%	14.1%	12.5%	12.8%	10.3%	10.2%		

福祉 Quality Indicator(青山ライフサポートセンター)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）施設全体	重度者（支援区分 5･6）割合率	80	80	78	79	77	78	77	77	77	77	77	77	95.0%	支援区分 5･6 の人数/実利用者数
		84	83	82	83	82	82	81	81	81	81	82	81		
		95.2%	96.4%	95.1%	95.2%	93.9%	95.1%	95.1%	95.1%	95.1%	95.1%	93.9%	95.1%		
	介護福祉士率	32	32	32	32	32	32	32	31	31	31	31	31	69.3%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		45	45	45	45	45	47	47	46	44	46	46	46		
		71.1%	71.1%	71.1%	71.1%	71.1%	68.1%	68.1%	67.4%	70.5%	67.4%	67.4%	67.4%		
	喀痰吸引資格取得率	17	18	18	18	21	21	22	22	22	22	22	22	44.8%	喀痰吸引資格者数/全介護職員数
		45	45	45	45	45	47	47	46	44	46	46	46		
		37.8%	40.0%	40.0%	40.0%	46.7%	44.7%	46.8%	47.8%	50.0%	47.8%	47.8%	47.8%		
（2）安全・安心対策	入所者の転倒･転落発生率	6	4	4	8	6	10	5	7	1	7	7	5	0.2%	転倒転落件数/延入所者数
		2,520	2,573	2,460	2,573	2,542	2,460	2,511	2,430	2,511	2,511	2,378	2,511		
		0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%	0.4%	0.2%	0.3%	0.0%	0.3%	0.3%	0.2%		
	入所者の転倒･転落による損傷発生率(レベル 3 以上)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル 3 以上)/延入所者
		2,520	2,573	2,460	2,573	2,542	2,460	2,511	2,430	2,511	2,511	2,378	2,511		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	褥瘡推定発生率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	褥瘡保有者数/入所者数(月末)
		84	83	82	83	82	82	81	81	81	81	82	81		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.7%	インフルエンザ罹患者数/延職員数
		60													
		1.7%													
	インフルエンザワクチン接種率(職員)	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0	85.2%	ワクチン接種者数/延職員数
									61						
（4）栄養	経口維持Ⅰ比率	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.7%	経口維持Ⅰ数/実利用者数
		84	83	82	83	82	82	81	81	81	81	82	81		
		3.6%	3.6%	3.7%	3.6%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%		
	療養食比率	50	51	50	50	49	49	48	48	48	48	49	51	60.1%	特食人数/実利用者数
		84	83	82	83	82	82	81	81	81	81	82	81		
		59.5%	61.4%	61.0%	60.2%	59.8%	59.8%	59.3%	59.3%	59.3%	59.3%	59.8%	63.0%		

福祉 Quality Indicator(穴水ライフサポートセンター)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
（1）施設全体	重度者（支援区分 5･6）割合率	件数 35	35	35	35	35	34	34	33	33	33	33	33	66.7%	支援区分 5･6 の人数/実利用者数
		母数 51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51		
		率 68.6%	68.6%	68.6%	68.6%	68.6%	66.7%	66.7%	64.7%	64.7%	64.7%	64.7%	64.7%		
	介護福祉士率	件数 19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	62.6%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		母数 31	31	32	30	30	30	30	30	30	30	30	30		
		率 61.3%	61.3%	59.4%	63.3%	63.3%	63.3%	63.3%	63.3%	63.3%	63.3%	63.3%	63.3%		
	喀痰吸引資格取得率	件数 13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	44.0%	喀痰吸引資格者数/全介護職員数
		母数 31	31	32	30	30	30	30	30	30	30	30	30		
		率 41.9%	41.9%	40.6%	43.3%	43.3%	43.3%	43.3%	43.3%	46.7%	46.7%	46.7%	46.7%		
（2）安全・安心対策	入所者の転倒･転落発生率	件数 9	2	5	5	1	11	7	2	6	3	2	5	0.3%	転倒転落件数/延入所者数
		母数 1,512	1,524	1,495	1,538	1,509	1,452	1,472	1,473	1,539	1,531	1,470	1,573		
		率 0.6%	0.1%	0.3%	0.3%	0.1%	0.8%	0.5%	0.1%	0.4%	0.2%	0.1%	0.3%		
	入所者の転倒･転落による損傷発生率(レベル 3 以上)	件数 0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	転倒転落件数(レベル 3 以上)/延入所者
		母数 1,512	1,524	1,495	1,538	1,509	1,452	1,472	1,473	1,539	1,531	1,470	1,573		
		率 0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	褥瘡推定発生率	件数 2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3.9%	褥瘡保有者数/入所者数(月末)
		母数 51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51		
		率 3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	件数 0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4.9%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		母数 41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41		
		率 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	4.9%	0.0%	0.0%		
	インフルエンザワクチン接種率(職員)	件数 0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	97.6%	ワクチン接種者数/全職員数
		母数 41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41		
（4）栄養	経口維持Ⅰ比率	件数 4	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4	3	7.0%	経口維持Ⅰ数/延実人数
		母数 51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51		
		率 7.8%	5.9%	7.8%	7.8%	7.8%	5.9%	5.9%	5.9%	7.8%	7.8%	7.8%	5.9%		
	療養食比率	件数 21	21	21	21	21	20	20	19	20	20	20	20	39.9%	療養食実人数/入所者数
		母数 51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51		
		率 41.2%	41.2%	41.2%	41.2%	41.2%	39.2%	39.2%	37.3%	39.2%	39.2%	39.2%	39.2%		

福祉 Quality Indicator(精育園)

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計算式
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
		母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数	母数		
		率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率		
（1）施設全体	重度者（区分 5･6）割合率	65	64	64	65	65	65	66	67	68	68	68	68	53.4%	支援区分 5･6 の人数/実利用者数
		123	123	123	124	124	124	125	124	124	124	124	124		
		52.8%	52.0%	52.0%	52.4%	52.4%	52.4%	52.8%	54.0%	54.8%	54.8%	54.8%	54.8%		
	介護福祉士率	26	32	34	33	34	34	34	35	35	35	35	35	48.4%	介護福祉士資格者数/介護職員数
		69	69	69	68	69	69	69	70	70	70	69	69		
		37.7%	46.4%	49.3%	48.5%	49.3%	49.3%	49.3%	50.0%	50.0%	50.0%	50.7%	50.7%		
	喀痰吸引資格取得率	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.1%	喀痰吸引資格者数/全介護職員数
		69	69	69	68	69	69	69	70	70	70	69	69		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（2）安全・安心対策	入所者の転倒･転落発生率	2	2	0	6	9	1	0	4	1	1	0	4	0.1%	転倒転落件数/延入所者数
		3,588	3,638	3,564	3,788	3,622	3,651	3,794	3,666	3,666	3,600	3,533	3,783		
		0.1%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%		
	入所者の転倒･転落による損傷発生率(レベル 3 以上)	0	1	0	2	3	0	0	0	1	0	0	1	0.0%	転倒転落件数(レベル 3 以上)/延入所者
		3,588	3,638	3,564	3,788	3,622	3,651	3,794	3,666	3,666	3,600	3,533	3,783		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	褥瘡推定発生率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	褥瘡保有者数/入所者数(月末)
		123	123	123	124	124	124	125	124	124	124	124	124		
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
（3）感染対策	インフルエンザ罹患率(職員)	3												3.0%	インフルエンザ罹患職員数/全職員数
		100													
		3.0%													
	インフルエンザワクチン接種率(職員)								84					89.4%	ワクチン接種者数/全職員数
									94						
（4）栄養	経口維持Ⅰ比率	5	6	6	6	6	7	8	8	8	7	7	7	5.5%	経口維持Ⅰ数/実利用者数
		123	123	123	124	124	124	125	124	124	124	124	124		
		4.1%	4.9%	4.9%	4.8%	4.8%	5.6%	6.4%	6.5%	6.5%	5.6%	5.6%	5.6%		
	療養食比率	32	31	31	31	32	33	33	33	33	33	33	33	26.1%	療養食実人数/実利用者数
		123	123	123	124	124	124	125	124	124	124	124	124		
		26.0%	25.2%	25.2%	25.0%	25.8%	26.6%	26.4%	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%		



2019 年 10 月 1 日　特定行為研修修了式



第5章
研究・業績

論文・著書・インタビュー等

【理事長　神野 正博】

論文

1. 未来の病院をデザインする～イノベーションを引き起こせ～
   病院新聞連載集 4,2019.
2. 「活機応変」のために
   集中創刊 10 周年号:26,95 9,2019.
3. 「病院」が「病院」でなくなる日
   病院 Vol.79 No.2:118-123,2020.
4. 生産性向上なくして、時短なし！
   週刊日本医事新報 No.5000:30,2020.

寄稿

1. 巻頭言
   病院 Vol.78 No.8:561,2019.
2. 2040 年の病院
   病院新聞 No.2566:5,2019.

イベントレポート

1. サービス産業の先進事例視察～恵寿総合病院／加賀屋に学ぶ～
   サービス イノベーションレポート Vol.15:12-13,2019.
2. 生き残る病院の経営戦略
   週刊医学界新聞 第 3355 号:8,2020.
3. 人口構造や疾病構造の変化で病院経営はどう変わるのか？ 最新医療経:76-77,2020.

インタビュー

1. 医師が診療に集中できるしくみ作りで効率的な働き方を実現
   DOCTOR'S MAGAZINE No.235:16-17,2019.
2. 人生 100 年時代に対峙するイノベーティブな病院経営スタイルの実現 Part1 アボット Vol.1:2019.
3. 医療機関の業務改善に貢献するアメリカンエキスプレスのビジネス・カード
   日経ヘルスケア No.6:2019.
4. 業者との関係作り、開業医との連携を進めて―
   監事 No.008:38-49,2019.
5. 制度の枠を超え「人生」を応援
   Benry チェーン通信:2019.
6. 連載「未来を乗り越える病院建築」
   第 1 回 医療の動きに対応できる柔軟性を「費用抑制」と「高機能」の両立を目指した恵寿総合病院
   Medifax Web 9.2:2019.
7. AI が救う命「スマートホスピタル」最前線
   日経コンピュータ:32,2019.
8. 特集 七尾レボリューション「他人事ではなく自分事、多機能に関わって行こう」
   ななお会議所だより No.589:7,2020.
9. 徹底予測！2020 年度医療報酬
   日経ヘルスケア医療 No.361:24,2019.
10. 地域医療・福祉は総力戦で～自己管理に役立つ「カルテコ」充実
    加能人 第 740 号:15,2020.

対談・鼎談・座談会・シンポジウム

1. 社会医療法人のこれまでとこれから～日本社会医療法人協議会の活動から考える～ （西澤寛俊 会長×加納繁照 副会長×伊藤伸一 副会長×神野正博）
   日本社会医療法人協議会 5 周年記念誌:6-11,2019.
2. 経営者とともに夢を叶える優秀な人材が不可欠！（真野俊樹 中央大学ビジネススクール（大学院戦略経営研究科）教授・多摩大学大学院特任教授×神野正博）
   最新医療経営 Vol419:90-93,2019.
3. どうなる、どうする医師の働き方改革（武田俊彦 前厚生労働省 医政局長×河原和夫 東京医科歯科大学医歯学研究科 政策科学 教授×自見はなこ 参議院議員×神野正博）
   全日本病院協会雑誌 Vol.29-2:95-97,2019.
4. ICT 化が拓く次世代の医療と社会のかたち（亀田信介 医療法人鉄蕉会亀田総合病院院長×神野正博）
   病院 Vol.78 No.8:543-548,2019.
5. 人生 100 年時代の医療の役割とは（横倉義武 日本医師会会長×神野正博）
   So-say! 創生・100 年ライフ地域情報誌:4-8,2019.
6. 2040 年に迫る高齢化・働き手の減少～人口に応じた経営方針の転換と業務効率化の推進を～（伊原和人 厚生労働省 政策統括部×相澤孝夫 社会医療法人財団慈泉会 理事長×江澤和彦 医療法人和香会・博愛会 理事長×神野正博）
   日経ヘルスケア医療 No.362:64-68,2019.
7. いま病院に求められる生活を支える医療（江澤和彦 日本医師会常任理事／医療法人和香会・博愛会理事長×神野正博）
   病院 Vol.79 No.2:89-94,2020.

講演録

1. 医療の未来を切り拓くために病院組織と職員意識の改革を（2019.11.29 講演）
   MCH ニュース Vol.15:6-9,2020.
2. 改革待ったなし！今からできる病院マネジメント（2019.10.10 講演）
   日本経済新聞朝刊 日経健康セミナー21 スペシャル ～医療・介護マネジメント最前線 Vol.13～:10.18,2019.
3. 激動の医療界、いま必要な戦略的病院経営とは（2020.2.24 講演）

日本経済新聞朝刊 日経健康セミナー21 スペシャル ～医療・介護マネジメント最前線 Vol.14～:3,2020.

【本部 常務理事 神野 厚美】

論文

1. 給食提供体制の集中化におけるセントラルキッチンの運用効果
病院設備 一般社団法人日本医療福祉設備協会
349 VOL.62 NO.1:40-43,2020.

【本部 情報管理課】

インタビュー

1. 小澤 竹夫
User voice YES, I KNOW
DELLEMC,2019.

【恵寿総合病院 消化器外科】

寄稿

1. 佐藤 就厚
病院めぐり
臨床外科第 74 巻第 5 号:640,2019.

【恵寿総合病院 内科】

論文

1. Yamamura K, Hara J, Ohkura N, Abo M, Sone T, Kimura H, Kasahara K.
Increased Cough Receptor Sensitivity to Capsaicin Predicts a Positive Bronchial Thermoplasty Response: A Single-center Retrospective Study.
Journal of Bronchology & Interventional Pulmonology 2019, 26(2): 137-141
2. Yamamura K, Hara J, Sakai T, Ohkura N, Abo M, Ogawa N, Okazaki A, Sone T, Kimura H, Fujimura M, Nakao S, Kasahara K.
Repeated bronchoconstriction attenuates the cough response to bronchoconstriction in naïve guinea pigs.
Allergology International 2019 in press
3. 岩淵 佑、新屋 智之、加賀谷 尚史、酒井 珠美、内田 由佳、木村 英晴、笠原 寿郎、北 俊之
内視鏡的乳頭切開術と結石除去術が有効であった ceftriaxone による偽胆石症の 1 例
日本化学療法学会雑 2019, 67(5):591-596,2019.

【恵寿総合病院 消化器内科】

論文

1. 渕﨑 宇一郎
第 4 章 消化器内科
臨床写真図鑑ーコモンな疾患編 集まれ！よくみる疾患の注目所見 レジデントノート増刊 Vol.21 No.11:88-91,2019.
2. 渕﨑 宇一郎
消化器内科 反復性鼻出血、息切れ、心窩部違和感 総合診療 特集臨床写真図鑑レアな疾患編 見逃したくない疾患のコモンな所見
Vol.29 No.11:1310-1311,2019.

寄稿

1. 渕﨑 宇一郎
恵寿総合病院消化器内科における研究紹介
金沢大学医学部第一内科 同窓会誌

【恵寿総合病院 循環器内科】

論文

1. Hayashi K, Teramoto R, Nomura A, Asano Y, Beerens M, Kurata Y, Kobayashi I, Fujino N, Furusho H, Sakata K, Onoue K, Chiang DY, Kiviniemi TO, Buys E, Sips P, Burch ML, Zhao Y, Kelly AE, Namura M, Kita Y, Tsuchiya T, Kaku B, Oe K, Takeda Y, Konno T, Inoue M, Fujita T, Kato T, Funada A, Tada H, Hodatsu A, Nakanishi C, Sakamoto Y, Tsuda T, Nagata Y, Tanaka Y, Okada H, Usuda K, Cui S, Saito Y, MacRae CA, Takashima S, Yamagishi M, Kawashiri MA, Takamura M.
Impact of functional studies on exome sequence variant interpretation in early-onset cardiac conduction system diseases.
Cardiovasc Res. 2020 in Press

【恵寿総合病院 産婦人科】

論文

1. 新井 隆成
分娩後（時）異常出血
産科婦人科疾患最新の治療
2019-2021:105-107,2019.
2. 安田 豊、高多 佑佳
軟産道強靱 産科婦人科疾患最新の治療
2019-2021:79-80,2019.
3. 山下 公子、成瀬 勝彦、新井 隆成
産婦人科関連疾患に対する緊急度の判定と必要な処置ー産科関連疾患に対する緊急度表の作成ー
産婦人科の実際 68 巻 13 号:1571-1577,2019.

【恵寿総合病院 家庭医療科】

論文

1. 伊達岡 要
広く、そして奥行きのある医療を地域のより多くの人々に
さくらノート PROCEED,2019.
2. 伊達岡 要
妊婦でも common な「風邪をひきました」「おしっこをすると痛いです」
レジデントノート Vol.21 No.12:2107-2115,2019.
3. 宮田 潤、谷川 武、吉岡 哲也、磯 博康
検査施設外睡眠検査で持続陽圧呼吸療法の適応要件を満たさなかった閉塞性睡眠時無呼吸の症例検討
睡眠医療 2019 13 (2):187-194,2019.
4. 二川 真子
『臨床写真図鑑コモンな疾患編 集まれ！よくみる疾患の注目所見』
増刊レジデントノート Vol.21 No.11:93-96,2019.
5. 二川 真子
臨床写真図鑑レアな疾患編 見逃したくない疾患のコモンな所見
総合診療 Vol.29 No.11:1323-1324,2019.

【恵寿総合病院 泌尿器科】

論文

1. 川村 研二
DPC データを用いた ERAS 腎開腹手術における急性期期間の判定
泌尿外科 32: 949-954,2019.
2. 辻口 美奈子、川村 研二、他
Dornier DeltaⅢ Far Sight を用いた超音波焦点による上部尿管結石の治療
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:1-4,2020.
3. 扇 菜美、川村 研二、他
アンケート調査を用いた病院の言葉を
分かりやすくする試み
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:5-9,2020.
4. 長浦 智里、川村 研二、他
恵寿総合病院・泌尿器科における手術の質の評価
―手術併発症と手術関連死亡について―
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:10-17,2020.
5. 酒井 順、川村 研二、他
尿道結石陥頓に対するリアルタイム経直腸超音波下経尿道的砕石術の経験
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:18-22,2020.
6. 田畑 茜、川村 研二、他
産褥期における患者用日めくりパス導入の効果
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:27-31,2020.
7. 豊岡 達志、川村 研二、他
基質特異性拡張型β―ラクタマーゼ（ESBL）産生菌直腸スワブ陽性患者における cefmetazole（CMZ）と amikacin sulfate（AMK)併用投与による経直腸的前立腺生検の感染予防効果
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:32-37,2020.
8. 堀井 雄之介、川村 研二、他
ペムブロリズマブ投与で完全寛解が得られた転移性尿管癌の一例
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:38-39,2020.

【恵寿総合病院 看護部】

論文

1. 竹端 義子
肩腱板断裂術後患者への装具着脱体験を取り入れた退院指導の有効性
全日本病院協会雑誌 Vol.30-1,2019.
2. 左近 みゆき
当院における貯血式自己血輸血の現状と課題
～医師への意識調査の実施と勉強会を開催して～
日本輸血細胞治療学会誌 Vol.65 No.6:882-886,2019.
3. 扇 菜美
アンケート調査を用いた病院の言葉をわかりやすくする試み
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:5-9,2020.

寄稿

1. 本橋 敏美
新しい外来の形「ユニバーサル外来」のメリットと看護師の役割・働き方
継続看護を担う体質強化 外来看護 Vol24 No.4:2-7,2019.

【恵寿総合病院 医療秘書課】

1. 長浦 智里、川村 研二、他
恵寿総合病院・泌尿器科における手術の質の評価
―手術併発症と手術関連死亡について―
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:10-17,2020.

【恵寿総合病院 理学療法課】

論文

1. 山田 若奈、井舟 正秀、田中 秀明、柴田 真行、石川 貴士
神経痛性筋萎縮症（Neuralgic Amyotrophy）により右肩関節挙上困難を呈し職業に支障をきたした一症例
石川県理学療法学雑誌 Vol.19 No.1:15-18,2020.

【恵寿総合病院 作業療法課】

論文

1. 川上 直子
在宅復帰困難な終末期がん患者に対する
退院・外出支援と家族との関わり

石川県作業療法学術雑誌 28:13-16,2019.

2. 五十嵐 満哉
介護保険短時間型通所リハビリテーションから就労継続支援Ｂ型事業所へと結びついた一例
～他機関多職種との連携を通して～
石川県作業療法学術雑誌 28:43-48,2019.

【恵寿総合病院 薬剤課】

論文

1. 室宮 智彦
服薬指導支援ソフトによる業務効率化の評価
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:23-26,2020.
2. 堀井 雄之助
ペムブロリズマブ投与により長期に完全寛解が維持できた転移性腎盂・尿管癌の１例
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:38-42,2020.

【恵寿総合病院 臨床栄養課】

論文

1. Yoji Kokura
Energy intake during the acute phase and changes in femoral muscle thickness in older hemiplegic inpatients with stroke
Nutrition・70・110582
2. Yoji Kokura
Weight gain is associated with improvement in activities of daily living in underweight rehabilitation inpatients: a nationwide survey
European journal of clinical nutrition・73・12・1601-1604
3. Yoji Kokura
Presence of a rehabilitation nutrition team, evaluation of sarcopenic dysphagia and nutritional goal setting: A cross-sectional survey
Journal of Japanese Association of Rehabilitation Nutrition・3・2・234-242

寄稿

1. 小蔵 要司
現場発！管理栄養士のための臨床研究 Tips、How to 査読対応 総論:査読を受ける際の心構えと対応のノウハウ
臨床栄養 135 7:967-973,2019.
2. 小蔵 要司
めざせ！リハビリテーション栄養の NST48 CASE No.25～48 CARE ガイドラインに基づく症例報告
臨床栄養 別冊 編者
3. 小蔵 要司
攻めの栄養療法とは ーリハビリテーション栄養の考え方ー
攻めの栄養療法実践マニュアル:2-6,2019.
4. 小蔵 要司
リハビリテーション栄養臨床研究のすすめ
研究プロトコール
リハビリテーション栄養 3 1:62-67,2019.
5. 山本 知子
回復期リハビリテーション病棟で行う栄養ケア －回復期リハビリテーション病棟管理栄養士必携とリハ栄養チームで日常生活動作の改善に挑むー
栄養経営エキスパート・3・4・24:25-31,2019.
6. 山本 知子
【第２章 症例で学ぶ経腸栄養剤の選択のポイント】
回復期リハビリテーション
ニュートリションケア冬季増刊 1:18-128,2020

【恵寿総合病院 臨床研修センター】

論文

1. 豊岡 達志
基質特異性拡張型β―ラクタマーゼ（ESBL）産生菌直腸スワブ陽性患者における cefmetazole と amikacin sulfate 併用投与による経直腸的前立腺生検の感染予防 恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:32-37,2020.
2. 酒井 順
尿道結石陥頓における経直腸超音波下砕石術の経験
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.8:18-22,2020.

【恵寿金沢病院 病院長 上田 幹夫】

論文

1. Yuki Kato, Shohei Kawaguchi, Kazuyoshi Shigehara, Hitoshi Yaegashi, Kazuhumi Nakashima, Tomomi Nakagawa, Jiro Sakamoto, Ichiro Itoda, Mikio Ueda, Kouji Izumi, Yoshifumi Kadono, Atsushi Mizokami.
Prevalence of N.gonorrhoeae, C.trachomatis, M.genitalium, M.hominis, and Ureaplasma spp. in the anus and urine among Japanese HIV-infected men who have sex with men.
J of Infection and Chemotherapy

【恵寿金沢病院 リハビリテーション科】

論文

1. 米山 太朗、生田 宗博
作業療法―多発性骨髄腫の再発するなかで自宅退院となった症例から
緩和ケア どこでもやっているわけではない治療 ー先進・先端治療から補完代替医療まで 増刊号 Vol.29 NO.6:116-121,2019.

【恵寿金沢病院　人間ドックセンター】

論文

1. Mori K,Yagi M,Shimojima M,Maekawa N,Kuroda E,Takamura M,Yamagishi M. Coexistence of multiple congenital anomalies: quadricuspid pulmonary valve, infundibular pulmonary stenosis, coronary artery anomaly, biventricular hypertrophy
   J Xiangya Med 2020; 5:8

【介護医療院　恵寿鳩ヶ丘】

対談・鼎談・座談会

1. 宮本 正俊
   実践・介護医療院戦略　選択プロセスと成果を語る（鈴木龍太 日本介護医療院協会会長・鶴巻温泉病院理事長・院長×唐澤秀治 初富保健病院院長×猿原大和 湖東病院院長×宮本正俊）
   TOWA Communication Plaza No.48,2020

【苑長　今寺 忠造】

論文

1. リハビリテーション風船バレーボールの歴史
   OT ジャーナル 53(8),886-891,2019.

学会発表

【理事長　神野 正博】

1. 地域医療構想
   全日本病院学会　企画シンポジウム
   2019.9.28 名古屋市
2. “輝かしい未来をめざして、今なすべきこと地方からの発信～病院の価値観を変えよ
   第 20 回大阪病院学会～大転換期の日本と医療
   2019.10.27 大阪市

【本部 情報部】

1. 小澤 竹夫
   HCI を使用したシンプルで拡張性の高い仮想環境構築事例　第 39 回医療情報学会連合大会
   2019.11.21-23　千葉市

【恵寿総合病院 病院長　鎌田 徹】

1. 25 歳で乳癌を発症した Bloom 症候群の 1 例
   日本乳癌学会
   2019.5.24 東京都
2. TN 乳がんの 1 例
   能登がん治療セミナー
   2019.10.18 輪島市

【恵寿総合病院　消化器外科】

1. 佐藤 就厚
   前立腺、膀胱術後の鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）症例の検討
   第 17 回日本ヘルニア学会学術集会
   2019.5.24-25 四日市市
2. 林 雅人
   腹腔鏡手術を施行した幽門側胃切除後の食餌性イレウスの一例
   第 56 回北陸内視鏡外科研究会
   2019.6.22 富山市
3. 河野 達彦
   手術操作が困難であった高度肥満 De novo 型鼠径ヘルニアの一例
   第 9 回北陸ヘルニア研究会
   2019.6.29 金沢市
4. 望月 一太朗
   門脈圧亢進症によるストーマ静脈瘤に対して腹腔鏡下脾臓摘出術および下腸間膜静脈結紮術を施行した 1 例
   第 57 回北陸内視鏡外科研究会
   2019.10.5 七尾市
5. 林 雅人
   当院での左側結腸癌に対する ICG 蛍光法を用いた腸管血流評価について
   第 57 回北陸内視鏡外科研究会
   2019.10.5 七尾市
6. 望月 一太朗
   石灰化を伴ったリンパ節転移を認める原発性十二指腸癌の一例
   第 81 回日本臨床外科学会総会
   2019.11.14-16 高知市
7. 望月 一太朗
   門脈圧亢進症によるストーマ静脈瘤に対して腹腔鏡下脾臓摘出術および下腸間膜静脈結紮術を施行した 1 例
   第 32 回日本内視鏡外科学会総会
   2019.12.5-7 横浜市
8. 佐藤 就厚
   再発性鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）症例の検討
   第 32 回日本内視鏡外科学会総会
   2019.12.5-7 横浜市
9. 林 雅人
   幽門側胃切除後に発症した食餌性イレウスに対し腹腔鏡下手術を施行した一例
   第 32 回日本内視鏡外科学会総会
   2019.12.5-7 横浜市
10. 岩井 俊
    肺癌または血管肉腫との鑑別に難渋した，胸部大動脈解離の症例
    第 60 回日本肺癌学会学術集会
    2019.12.6-8 大阪市

【恵寿総合病院　内科】

1. 加瀬 一政、佐伯 啓吾、渡辺 知志、赤崎 恭太、野村 俊一、湯浅 瑞希、寺田 七朗、山村 健太、西川 晋吾、丹保 裕一、原 丈介、曽根 崇、阿保 未来、木村 英晴、笠原 寿郎
   強皮症関連間質性肺炎における気管支肺胞洗浄の有用性の検討
   第 59 回日本呼吸器学会学術講演会
   2019.4.12-14 東京都
2. 山村 健太、原 丈介、大倉 徳幸、阿保 未来、野村 俊一、赤崎 恭太、上田 宰、湯浅 瑞希、寺田 七朗、佐伯 啓吾、松岡 寛樹、西川 晋吾、丹保 裕一、曽根 崇、木村 英晴、笠原 寿郎
   気管支サーモプラスティの治療効果予測因子に関する検討
   第 59 回日本呼吸器学会学術講演会

2019.4.12-14 東京都

3. 山村 健太、原 丈介、大倉 徳幸、阿保 未来、野村 俊一、赤崎 恭太、上田 宰、湯浅 瑞希、寺田 七朗、佐伯 啓吾、松岡 寛樹、西川 晋吾、丹保 裕一、曽根 崇、木村 英晴、笠原 寿郎
気管支サーモプラスティの長期的な治療効果と安全性に関する検討
第 59 回日本呼吸器学会学術講演会
2019.4.12-14 東京都

4. 小西 正剛、二川 真子、宮本 正治、米田 隆、武田 仁勇
当院における後期高齢 1 型糖尿病患者の診療について
第 92 回 日本内分泌学会学術総会
2019.5.8 仙台市

5. 山﨑 雅英
輸血後にHEV-IgA抗体陽性急性肝炎を発症したIgG-κ型多発性骨髄腫
第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会
2019.5.23-25 熊本市

6. 山﨑 雅英
輸血後感染症採血実施率向上に向けての取り組み：I&A 受審を受けて
第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術集会
2019.5.23-25 熊本市

7. 山﨑 雅英
当院における高齢者骨髄異形成症候（Myelodysplastic syndrome, MDS)の臨床像
第 61 回日本老年医学会学術集会
2019.6.6-8 仙台市

8. 山村 健太、原 丈介、大倉 徳幸、阿保 未来、曽根 崇、木村 英晴、笠原 寿郎
当院における重症気管支喘息に対する生物学的製剤の使用実態
第 68 回日本アレルギー学会学術大会
2019.6.14-16 東京都

9. 岩淵 佑、新屋 智之、酒井 珠美、内田 由佳、北 俊之、笠原 寿郎
若年女性に発症した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の 1 例
第 68 回日本アレルギー学会学術大会
2019.6.14-16 東京都

10. 山﨑 雅英
Rapid improvement of secondary myelodysplastic syndrome from essential thrombocytosis (ET) treated by Azacitidine(AZA)
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会
2019.7.18-20 京都市

11. 山根 希望、加瀬 一政、赤崎 恭太、山村 健太、岩井 俊、船崎 愛可、上田 善道、浦本 秀
PD-L1 高発現進行非小細胞肺癌に対する Pembrolizumab 投与経過中に PD-L1 低発現非小細胞肺癌を合併した 1 例
第 239 回日本内科学会北陸地方会
2019.9.1 内灘町

12. 鎧高 健志、高松 博幸、山下 剛史、村田 了一、吉原 享子、吉原 哲、上田 幹夫、中尾 眞二、末永 孝生
KRD 療法を受けた多発性骨髄腫症例での EuroFlow による MRD 評価
第 81 回日本血液学会学術集会
2019.10.11-13 東京都

13. 岩淵 佑、西川 晋吾、中積 広貴、上田 宰、小川 尚彦、谷村 航太、佐伯 啓吾、寺田 七朗、松岡 寛樹、丹保 裕一、阿保 未来、大倉 徳幸、原 丈介、木村 英晴、曽根 崇、笠原 寿郎
Virtual Bronchoscopic Navigation で示された 1cm 未満の肺原発巣への新型デバイスを用いた経気管支針生検で診断ができた腺癌の 1 例
第 83 回呼吸器合同北陸地方会
2019.11.9-10 黒部市

14. 山﨑 雅英
大腿筋肉内出血を契機に診断された後天性 von Willebdrand 症候群（AVWS)合併真性赤血球増多症（PV)の 1 例
第 66 回日本臨床検査医学会学術集会
2019.11.21-24 岡山市

15. Takeshi Yoroidaka
Minimal Residual Disease Assessment Using Euroflow-NGF in Patients with Multiple Myeloma Treated with a Combination of Carfilzomib, Lenalidomide, and Dexamethasone (KRD)
the 61st Annual Meeting and Exposition
2019.12.6-11 USA

16. 宮竹 敦彦
血清 CTRP9 は腎移植患者において血管石灰化を抑制する
第 53 会日本臨床腎移植学会
2020.2.13-21 東京都

17. 數本 弘子、高松 博幸、水牧 裕希、岩城 憲子、山﨑 雅英、中尾 眞二
骨髄微小残存病変陽性ながら自家移植片微小残存病変が陰性であった多発性骨髄腫例
第 42 回日本造血細胞移植学会
2020.3.5-7 東京都

18. 大田垣 昂、豊田 洋平、宮本 正治
リアルタイム持続血糖測定（CGM）にて血糖コントロール

が改善した後期高齢 1 型糖尿病の 1 例
第 240 回日本内科学会北陸地方会
2020.3.22 富山市

【恵寿総合病院 消化器内科】

1. 西谷 雅樹
化学療法中に多彩な合併症を呈した膵腺扁平上皮癌 5 例の検討
第 27 回日本消化器関連学会週間（JDDW）
2019.11.21-24 神戸市
2. 西谷 雅樹
当科における Physician controlled wire-guided cannulation 法と Two step Endoscopic sphincterotomy の有用性と安全性の検討
第 114 回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会
2019.12.8 金沢市
3. 中井 亮太郎
当科における胆膵領域疾患に対する新型胆道鏡(SpyGlassTM DS/CHF-B290)の有用性に関する検討
第 114 回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会
2019.12.8 金沢市

【恵寿総合病院 心臓血管外科】

1. 西澤 永晃
深部静脈圧排による DVT 治療の 2 例
第 5 回こしのくに Venous Forum/日本静脈学会中日本支部会
2019.11.10 内灘町

【恵寿総合病院 循環器内科】

1. 高橋 健、宝達 明彦、山崎 雅英、谷村 航太、上田 善道
気管支喘息治療中に発症した好酸球性心筋炎の 1 例
第 238 回日本内科学会北陸地方会
2019.6.16 福井市
2. 寺田 和始
残枝に対する PCI 時に冠動脈穿孔を来したバイパス術後の一例
北陸 PTCA 研究会
2019.7.20 金沢市
3. Akihiko Hodatsu
A successful case of revascularization with hybrid therapy for Leriche syndrome.
Complex Cardiovascular Therapeutics 2019
2019.10.24-26 神戸市

【恵寿総合病院 整形外科】

1. 下川 寛右
低エネルギー外傷による高齢者頚椎骨折の検討
北陸整形外科集談会
2019.11.17 内灘町

【恵寿総合病院 産婦人科】

1. 東 恭子
子宮動脈に加え片側の卵巣動脈塞栓術を要した仮性動脈瘤の 1 例
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会
2019.4.11-14 名古屋市
2. 尾山 量子
大量出血を来した AB 型 Rh 陰性の一例
第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会
2019.4.11-14 名古屋市
3. 東 恭子
膀胱充満法と羊水穿刺を併用し子宮頸管縫縮術が可能となり生児を得た 2 例
第 47 回北陸産科婦人科学会総会並びに学術講演会
2019.6.1-2 富山市
4. 尾山 量子
常位癒着胎盤に対し UAE 後に子宮全摘術を行った一例
第 47 回北陸産科婦人科学会総会並びに学術講演会
2019.6.1-2 富山市

【恵寿総合病院 家庭医療科】

1. 宮田 潤、二川 真子、伊達岡 要、吉岡 哲也
介護老人保健施設の投薬コストに関する実態調査
第 10 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
2019.5.17-19 京都市
2. 宮田 潤
上腸間膜動脈（SMA）症候群患者の SMA は右方に偏位している：横断研究
日本臨床疫学会 第 3 回年次学術大会
2019.9.28-29 福岡市

【恵寿総合病院 小児科】

1. 中谷 茂和
七尾市・中能登町の学校心臓検診
第 52 回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会
2020.1.26 金沢市

【恵寿総合病院 泌尿器科】

1. 川村 研二
泌尿器科手術における ERAS 800 例の評価
第 107 回日本泌尿器科学会総会
2019.4.18 京都市
2. 川村 研二
DPC データを用いた ERAS 腎開腹手術における急性期期

間の判定
第 107 回日本泌尿器科学会総会
2019.4.18 京都市

3. 川村 研二
GnRH アンタゴニスト先行投与で GnRH アゴニストの testostrerone surge を抑制できるか
第 57 回日本癌治療学会学術集会
2019.10.25 福岡市

4. 川村 研二
多死社会における泌尿器科患者の高齢化
第 69 回日本泌尿器科学会中部総会
2019.10.31 大阪市

5. 川村 研二
経直腸超音波ガイド下経尿道的手術の経験
第 33 回 日本泌尿器内視鏡学会総会
2019.11.23 京都市

6. 辻口 美奈子、川村 研二
Dornier DeltaIII Far Sight を用いた超音波焦点による上部尿管結石の治療
第 33 回 日本泌尿器内視鏡学会総会
2019.11.23 京都市

7. 川村 研二
女性尿道憩室に対するソフト凝固を用いた超音波下ガイド下憩室凝固術
第 32 回日本内視鏡外科学会総会
2019.12.7 横浜市

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

1. 川北 慎一郎
能登エリアの脳卒中地域連携の現状
第 14 回日本海脳卒中連携セミナー
2019.4.6 金沢市

2. 川北 慎一郎
当院における自動車運転評価の現状
第 56 回日本リハビリテーション医学会
2019.6.14 神戸市

3. 川北 慎一郎
新しいリハビリ治療効果のエビデンス
能登脳卒中連携フォーラム
2019.7.6 七尾市

4. 川北 慎一郎
リハスタッフが主導する認知症ケアチームの意義
第 46 回日本リハビリテーション医学会北陸地方会
2019.8.31 金沢市

5. 川北 慎一郎
療法士が参加するボツリヌス治療の意義
第 7 回日本ボツリヌス治療学会
2019.9.28 東京都

6. 川北 慎一郎
リハビリ医療における認知症治療の意義
第 38 回日本認知症学会
2019.11.8 東京都

7. 川北 慎一郎
能登脳卒中地域連携の現状
能登脳卒中連携協議会総会
2019.12.14 七尾市

【恵寿総合病院 看護部】

1. 櫻 栄一朗
輸血後感染症採血実施率向上に向けての取り組み：I&A 受審を受けて
第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会in熊本
2019.5.24 熊本市

2. 森田 菜月
抑制だけに頼らない看護を目指して
第 14 回北陸地区 脳神経リハビリテーション看護研究会
2019.9.7 金沢市

3. 石田 純也
排尿障害を合併した脳卒中患者への侵襲的導尿回数の見直し
～超音波画像診断装置を活用し導尿 0 を目指して～
第 14 回北陸地区 脳神経リハビリテーション看護研究会
2019.9.7 金沢市

4. 川江 辰徳
当院における看護師特定行為の実践報告を今後の課題
第 61 回全日本病院学会 in 愛知
2019.9.28-29 名古屋市

5. 石垣 恵理
腹膜透析導入患者・家族の思いを支える退院支援
～在宅生活を意識した具体的アプローチ～
第 61 回全日本病院学会 in 愛知
2019.9.28-29 名古屋市

6. 山田 志都子
がん化学療法の安全な投与を目指して
～がん化学療法投与研修の実施～
第 61 回全日本病院学会 in 愛知
2019.9.28-29 名古屋市

7. 杉原 健太
能登地区における腹膜透析(PD)の拠点病院となるために
第 61 回全日本病院学会 in 愛知
2019.9.28-29 名古屋市

8. 錦木 圭介
対応が困難で入浴拒否があった患者へのアプローチ
リハビリテーション・ケア合同学会研究大会金沢
2019.11.22 金沢市

9. 簑川 愛実

能登地区の血液浄化療法の現状と課題
～腹膜透析は解決策となり得るか～
第 25 回日本腹膜透析医学会　学術集会・総会
2019.11.23-24 広島市

10. 田尻 初美
糖尿病腎症重症化予防と療養指導
石川県糖尿病療養指導士研修会
2020.2.9 金沢市

11. 黒氏 美紀
人生の最終段階における患者の ACP を取り入れた家族とのかかわり
第 34 回日本がん看護学会学術集会
2020.2.22 東京都

【恵寿総合病院　地域連携課】

1. 細谷 幸治
PHR システムを活用した新しい価値の創出に向けての取り組み
第 61 回全日本病院学会 in 愛知
2019.9.28-29 名古屋市

【恵寿総合病院　放射線課】

1. 辻口 美奈子
Dornier DeltaⅢ Far sight を用いた超音波焦点による上部尿管結石の治療
第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会
2019.11.21-23 京都市

2. 辻口 美奈子
インライン超音波焦点を用いた ESWL の使用経験
第 12 回中部放射線医療技術学術大会
2019.11.30-12.1 浜松市

【恵寿総合病院　理学療法課】

1. 水口 光
在宅での呼吸リハビリテーション介入を行った ALS 患者の一例　第 12 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 北陸支部学術集会
2019.6.1 金沢市

2. 柴田 真行
急性期病棟での 365 日リハビリテーション導入による効果の検証　～運動器疾患を対象に検証～
第 7 回日本運動器理学療法学術大会
2019.10.5-6 岡山市

3. 藤井 亮嗣
回復期リハ中にボツリヌス注射を実施した過体重・重症脳出血の 1 例
第 3 回能登脳卒中地域連携症例検討会
2019.11.13 七尾市

4. 川畑 真司
透析中の腎臓リハを併用した腎不全・被殻出血の 1 例
第 3 回能登脳卒中地域連携症例検討会
2019.11.13 七尾市

5. 杉野 志学
高齢心不全患者の再入院の有無に影響を与える因子
日本心臓リハビリテーション学会 第 5 回 北陸支部地方会
2019.11.16 金沢市

6. 井舟 正秀
能登地域における脳卒中者の歩行自立度について
能登脳卒中地域連携協議会総会
2019.12.14 七尾市

【恵寿総合病院　作業療法課】

1. 川上 直子
自宅退院が困難な多発性骨髄腫患者への終末期の外泊支援・家族との関わり
第 28 回石川県作業療法学会
2019.6.23 金沢市

2. 五十嵐 満哉
介護保険通所リハビリから就労継続支援 B 型事業所へと結びついたケース～他機関多職種との連携を通して～
第 28 回石川県作業療法学会
2019.6.23 金沢市

3. 小谷 桃子、代理発表:小川 正人
下肢の痙性が高く、股関節可動域制限のある症例に対し、自助具の工夫により、自宅での入浴が可能となった一例
第 53 回日本作業療法学会
2019.9.6-8 福岡市

4. 守友 ひとみ
3 年間の入所生活から在宅復帰後、QOL 向上し地域サービスにつながった左片麻痺の事例
～訪問リハと目標を共有して～
第 53 回日本作業療法学会 2019.9.6-8 福岡市

5. 北谷 渉
当院回復期リハビリテーション病棟における modified Constraint-Induced movement therapy の実践
第 53 回日本作業療法学会 2019.9.6-8 福岡市

6. 山下 香奈
頸髄損傷不全麻痺により上肢優位の麻痺を呈した患者への再就職に向けた関わり
第 19 回東海北陸作業療法学会
2019.11.16-17 浜松市

【恵寿総合病院　言語療法課】

1. 加藤 愛華
右前頭葉皮質下出血により脳梁まで損傷が及んだ右利きの一症例

第 491 回北陸言語障害研究会
2019.5.25 七尾市

2. 荒尾 祐希
左視床出血により前頭葉機能障害を呈した一例
第 20 回 日本言語聴覚学会
2019.6.29 大分市

3. 真田 はるか
左 MCA 前方領域損傷によりブローカ失語と重度発語失行を呈した一例
石川県言語聴覚士会 能登地区症例検討会
2019.9.1 七尾市

4. 下野 明日香
失語症を呈したベトナム人患者-評価に難渋した一例-
石川県言語聴覚士会 能登地区症例検討会
2019.9.1 七尾市

5. 金城 総
がん患者におけるカウンセリング依頼時の抑うつ症状に関する検討
第 83 回 日本心理学会
2019.9.12 茨木市

6. 木村 聖子
聴覚障害幼児の言語指導法－行動発達に合わせたスモールステップ法美幸～事例検討から－
第 64 回日本音声言語医学会
2019.10.17 大宮市

7. 加藤 愛華
評価に難渋した右前頭葉皮質下出血と脳梁損傷の一例
－文献考察を中心に－
第 10 回石川県言語聴覚学術集会
2019.11.10 金沢市

8. 梅木 祐子
左被殻出血により重度失語を呈した 2 例の SLTA の経過
－各モダリティーにおける比較検討－
第 43 回 日本高次脳機能障害学会
2019.11.28 仙台市

【恵寿総合病院 臨床栄養課】

1. 小蔵 要司
急性期脳卒中患者のリハビリテーションの効果を高める栄養管理
第 23 回日本病態栄養学会年次学術集会
2020.1.24 京都市

2. 小蔵 要司
脳卒中片麻痺患者の摂取エネルギー量と大腿直筋の輝度および歩行能力との関連：超音波診断装置を用いた検討
第 23 回日本病態栄養学会年次学術集会
2020.1.25 京都市

【恵寿総合病院 臨床工学課】

1. 乾 祐輔、栃原 康則
遠隔モニタリングで早期発見ができた入院患者のペースメーカ心室キャプチャーロスの 1 例
第 20 回 中部臨床工学会
2019.11.9-10 金沢市

【恵寿総合病院 臨床研修センター】

1. 髙橋 健
ローレルクリニックの糖尿病患者の患者教育を通して学んだ事
北陸総合診療コンソーシアムウェブカンファレンス
2019.4.17

2. 安田 康平
治療経過中に多彩な合併症を呈した膵腺扁平上皮癌の 2 例
第 128 回日本消化器病学会北陸支部例会
2019.6.9 富山市

3. 髙橋 健
気管支喘息治療中に発症した好酸球性心筋炎の 1 例
第 238 回北陸地方会
2019.6.16 永平寺町

4. 山根 希望
PD-L1 高発現進行非小細胞肺癌に対する Pembrolizumab 投与経過中に PD-L1 低発現非小細胞肺癌を合併した 1 例
第 239 回北陸地方会
2019.9.1 永平寺町

5. 酒井 順
能登地区における産科出血に対する子宮動脈塞栓術（UAE）の適応について
第 33 回北陸周産期・新生児研究会
2019.10.19

6. 酒井 順
当院での弛緩出血に対する interventional radiology(IVR)の適応
第 33 回北陸周産期・新生児研究会
2019.10.20 金沢市

7. 安田 康平
当院における治療困難胆管結石（巨大/嵌頓結石）に対する新型胆道鏡を用いた治療戦略 【優秀賞】
第 129 回北陸支部例会 日本消化器関連学会
2019.11.17 金沢市

【恵寿金沢病院 リハビリテーション科】

1. 浅野 慶祐
投球動作中の胸郭運動が肘関節の高さに与える影響-学童期野球選手における検討-

第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会
2019.11.15-16 横浜市

2. 米山 太朗
外出への支援が自宅での看取りにつながった症例-高熱を繰り返す ADL 全介助の終末期造血器悪性腫瘍患者-
リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢 2019
2019.11.21-22 金沢市

3. 浅野 慶祐
投球動作中の肘関節の高さと胸郭運動の運動学的関連性-学童期野球選手における検討-
第 6 回日本スポーツ理学療法学会学術大会
2019.12.7-8 東京都

【恵寿金沢病院 薬剤課】

1. 宮森 久志
当院における薬学生実務実習の取り組み
第 61 回 全日本病院学会 in 愛知
2019.9.28-29 名古屋市

【恵寿金沢病院 人間ドックセンター】

1. 森 清男
冠動脈瘤、肺動脈瘤、心房中隔欠損、顔貌・胸郭異常、抗セントロメア抗体陽性を合併した 1 例
第 16 回南加賀循環器スペシャリストミーティング
2020.2.6 小松市

【恵寿金沢病院 看護部】

1. 白井 綾音
患者と共に退院後の生活を見据えた目標設定することの必要性
第 61 回 全日本病院学会 in 愛知
2019.9.28-29 名古屋市

【介護老人保健施設 和光苑】

1. 福井 朱美
重度認知症高齢者の強みを生かした介入
～「師匠」としての役割を担って～
第 20 回日本認知症ケア学会
2019.5.25-26 京都市

2. 本殿 美紗子
慢性腎不全の入所者に対して、多職種・家族と栄養管理を行った一例
第 66 回日本栄養改善学会学術総会
2019.9.5-7 富山市

3. 山上 恵
認知症高齢者の栄養改善に向けた食事支援の取り組み
第 66 回日本栄養改善学会学術総会
2019.9.5-7 富山市

4. 福井 朱美
機能回復に固執し、施設生活の不満が強い左片麻痺者に対し、家族に再入所を保証して在宅復帰を目指した事例
第 53 回日本作業療法学会
2019.9.6-8 福岡市

5. 曽山 智寿
家にかえりたい（私のゴールは施設での生活ではない）
第 14 回東海・北陸ブロック老健大会福井
2019.10.16 福井市

6. 清水 光代
入所前から関わり一度は諦めた在宅復帰を支援する
第 30 回全国老人保健施設記念大会 別府大分
2019.11.20-22 大分市

7. 仁八 志緒理
帰宅願望、リハビリ拒否のある 認知症事例への関わり ～生活期の強みを生かした取り組み～
第 30 回全国老人保健施設記念大会 別府大分
2019.11.20-22 大分市

【介護老人保健施設 鶴友苑】

1. 水野 桃佳、杉田 千香子
食事会～在宅復帰への第一歩～
第 15 回東海・北陸ブロック老健大会
2019.5.16-17 名古屋市

2. 山田 久美子
利用者の笑顔が絶えないデイケアを目指して
～レクリエーション活動報告～
第 23 回石川県老人保健施設大会
2019.10.16 金沢市

3. 岩間 卓也
秋祭り ～祭りの國 能登～
利用者に季節感を感じてもらうために
第 30 回全国介護老人保健施設記念大会 別府大分
2019.11.20-22 別府市

【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

1. 金田 岬
多職種との連携によって移乗動作介助量が軽減し、1 泊 2 日の外泊支援が行えた事例
北陸 3 県合同 MTDLP 事例検討会
2019.12.21 金沢市

2. 蒲田 千晴
おむつ内排泄からトイレ動作自立し外出も可能となった事例
北陸 3 県合同 MTDLP 事例検討会
2019.12.21 金沢市

【ケアマネステーション恵寿】

1. 高塚 るみ子

パーキンソン病の夫を支えた妻と共に…
第５回　能登地区神経・筋難病ネットワーク地域連携の会
2019.9.14 七尾市

【在宅複合施設　ほのぼの】

1. 諏訪 勝志
アンケート調査から考える介護支援専門員との連携
～医療・介護連携を推進するために～
第 14 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会
in にいがた
2019.6.29-30 新潟市

【青山彩光苑リハビリテーションセンター】

1. 金井 もも
その人らしさを支えるために
～就労継続支援Ｂ型事業所との連携～
令和元年度（第 33 回）中部ブロック身体障害者更生援
護施設長協議会・研修会　2019.10.3-4　七尾市

【青山彩光苑ライフサポートセンター】

1. 山本 奈々
「自由な活動参加を目指して」
～皮膚状態改善のため排泄面に着目した取り組み～
第 43 回全国身体障害者施設協議会　研究大会
2019.8.26-29　札幌市
2. 嶋田 紀依
「安心して排泄するために」
～安全な移乗方法・介護負担を考える～
東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会　2019
2019.9.26-27　加賀市

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

1. 高見 翼
優勝したい！～ボッチャの技術向上に向けた取り組み～
第 43 回全国身体障害者施設協議会　研究大会
2019.8.26-8.29　札幌市
2. 岡田 理華
「食べたい」に寄り添う　～摂食嚥下障害のアプローチ～
東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会　2019
2019.9.26-27　加賀市

講師・座長・パネリスト等

【理事長　神野 正博】

1. われわれはいかに対応するか、パッケージはどう利用するか（オープニングリマークス）
   全日本病院協会　看護師特定行為研修セミナー「じっくり語ろう」－指定研修機関以外も知っておくべきモデルチェンジへの対応－
   2019.4.10 東京都
2. 病院経営と ICT 活用～これまでとこれから（講師）
   公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会　愛知県支部　継続研修会
   2019.4.12 名古屋市
3. 地域包括ケアシステムにおける急性期医療をデザインする（講師）
   厚生労働省医政局講演
   2019.4.19 東京都
4. 「面倒見のいい病院」を目指して（シンポジスト）
   奈良県　地域医療構想実現に向けた病院意見交換会「面倒見のいい病院」について考えるシンポジウム
   2019.5.8 奈良市
5. 未来の病院をデザインする ～地域包括ケアシステムのための ICT 構築と AI 利用の可能性を探る～（講師）
   JBHC 医療総合セミナー2019 in 大阪心斎橋
   2019.5.11 大阪市
6. 未来の病院をデザインする（講師）
   泉大津市立病院 泉州カンファレンス
   2019.6.20 大阪市
7. 地域支援事業の現在の到達点～あるべき姿とこれからの課題～パネルディスカッション（講師）
   医療経済研究機構　第 5 回地域包括ケアシステム特別オープンセミナー
   2019.7.4 東京都
8. すべては SPD から始まった～イノベーションをデザインせよ～（講師）一般社団法人日本 SPD 協議会セミナー外部委託と賢く付き合う
   2019.7.5 東京都
9. 未来の病院をデザインする～病院での働き方改革を含めた、病院の生き残り方を考える～（講師）
   栃木県病院協会　第 49 回病院管理研修会
   2019.7.13 宇都宮市
10. これからの病院マネジメント
    ～地域医療構想、病床機能の再構築、地域包括ケア、働き方改革の行方は？～（講師）
    日経スペシャル健康セミナー 2 1 医療・介護マネジメント最前線 Vol.13 改革待ったなし！今からできる病院マネジメント～2025 年問題とその先の病院経営戦略とは？～
    2019.9.1 仙台市
11. Can × Will × Must を考え、地域医療の未来を創造する（講師）
    MDV 理事長・院長セミナー
    2019.9.7 東京都
12. これからの病院マネジメント
    ～地域医療構想、病床機能の再構築、地域包括ケア、働き方改革の行方は？～（講師）
    日経スペシャル健康セミナー 2 1 医療・介護マネジメント最前線 Vol.13 改革待ったなし！今からできる病院マネジメント～2025 年問題とその先の病院経営戦略とは？～
    2019.9.22 札幌市
13. 地域を支える医療法人の戦略
    「日経ヘルスケア」創刊 30 周年記念シンポジウム【パネルディスカッション】2040 年に向けた人口構造の変化を踏まえた医療・介護経営とは（シンポジスト）
    2019.10.9-11 東京都
14. 医療 IoT の具現化による医療サービスの刷新
    ～働き方改革を見据えて～（講師）
    地域中核病院研究会 in 恵寿
    2019.10.16 七尾市
15. 病院経営（経営理念）について Ⅰ
    病院経営と ICT 活用～これまでとこれから（講師）
    武田薬品　恵寿総合病院　研修プログラム
    テーマ　課題解決力をどうつけるのか？
    2019.10.24 七尾市
16. 地域をデザインしよう
    ロータリー市民フォーラム 人生 100 年時代の生き方（講師）2019.10.26 七尾市
17. チーム医療の推進と特定行為の今後の方向性（講師）
    第 29 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会
    ワークショップⅠ慢性呼吸器疾患看護認定看護師と特定行為～質の高いチーム医療を推進するために～
    2019.11.11 名古屋市
18. 地域を支える医療を考える～地域医療構想、働き方改革、診療報酬改定の行方を探りながら～（講師）
    金沢市・富山市・福井市三市医師協議会
    2019.11.17 金沢市
19. 病院の殻を破れるか
    中小病院の柔軟性を生かす経営改革（講師）
    医学書院『病院』セミナー2019
    2019.11.23 東京都
20. 医療と社会をデザインする
    エム・シー・ヘルスケア株式会社
    第 20 回　病院の経営を経営を考える会（鼎談）

2019.11.29 東京都

21. 診療報酬改定の議論を通しての病院の方向性を探る（講師）MDV ユーザー大規模セミナー
2019.12.17 東京都
22. 地域医療における PHR の利活用について ～私たちに今できること～（講師）
青森県 PHR 研究会 講演
2020.1.16 青森市
23. 医療を取り巻く環境変化と病院経営（講師）
IQVIA 2020 年新春セミナー
医薬品市場の構造変化と企業の対応
2020.1.24 東京都
24. 看護師の専門性の更なる発揮に向けた取組（講師）
内閣府 規制改革推進会議 医療・介護ワーキング・グループ(第５回)ヒアリング
2020.1.27 東京都
25. 2020 診療報酬改定動向から読み解く持続可能な地域医療機関作りのポイント（講師）
宮城県非官公病医院事務長会講演
2020.1.30 仙台市
26. 診療報酬改定の動向（講師）
全日本病院協会石川支部研修会
2020.2.8 金沢市
27. 2020 年度診療報酬改定が病院経営に及ぼす影響とは（講師）日経スペシャル健康セミナー21
激動の医療界、今必要な戦略的病院経営の推進とは
～診療報酬改定・地域医療構想・働き方改革を踏まえた病院マネジメントとは～
2020.2.24 神戸市
28. 2020 年度診療報酬改定・地域医療構想と病院経営戦略（講師）
株式会社新社会システム総合研究所
三位一体改革の推進と 2020 年度診療報酬改定
～地域医療構想・医師偏在対策・医師の働き方改革～
2020.2.27 東京都

【本部 本部長 進藤 浩美】

1. 役職者・リーダー育成研修会「作業療法士の職業倫理」（講師） 公益社団法人 石川県作業療法士会
2019.8.24 金沢市
2. 地域包括ケア時代に地域からみたリハビリテーション専門職に求められること（座長） 石川県リハビリテーションセンター 石川県 PT 会・OT 会・ST 会連絡会
2019.8.31 金沢市
3. 現職者共通研修「職業倫理」（講師）
公益社団法人 石川県作業療法士会
2019.10.6 金沢市
4. 職場環境改善研修会「董仙会における取組み」（講師）
石川県健康福祉部長寿社会課
2019.10.25 金沢市
5. キャリア教育講演「なりたい自分 医療の職種」（講師）
石川県立七尾高校
2019.11.2 七尾市
6. リハビリテーション専門職活用支援事業 実践報告 介護予防事業 C 型サービス（座長）
石川県委託事業 石川県 PT 会・OT 会・ST 会連絡会
2020.2.16 金沢市
7. 石川県介護ロボット ニーズ・シーズ連携協調協議会 「介護職員の見守り・声かけの時間を削減するための介護ロボット（講師） 厚生労働省 介護ロボット普及拠点事業 介護ロボット石川フォーラム
2020.2.16 金沢市

【本部 総務課】

1. 初道 彩花
企業合同説明会 in 七尾高校（講師）ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業 企業合同説明会
2019.7.17 七尾市

【本部 企画課】

1. 磯野 和香
企業合同説明会 in 七尾高校（講師）ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業 企業合同説明会
2019.7.17 七尾市
2. 龍澤 悠希
企業合同説明会 in 七尾高校（講師）ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業 企業合同説明会
2019.7.17 七尾市
3. 辻口 芹夏
企業合同説明会 in 七尾高校（講師）ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業 企業合同説明会
2019.7.17 七尾市

【恵寿総合病院 病院長 鎌田 徹】

1. 能登がん治療セミナー（座長）
各施設における外来化学療法の工夫
2019.5.24

【恵寿総合病院 消化器外科】

1. 佐藤 就厚
腹腔鏡手術を施行した幽門側胃切除後の食餌性 イレウスの一例（座長）
第 56 回北陸内視鏡外科研究会
2019.6.22 富山市
2. 佐藤 就厚
第９回北陸ヘルニア研究会（座長）

2019.6.29 金沢市

3. 佐藤 就厚
腹腔鏡手術成績向上への挑戦～各施設の現況～
（当番幹事・特別講演座長）
第 57 回北陸内視鏡外科研究会
2019.10.5 七尾市

【恵寿総合病院 消化器内科】

1. 渕﨑 宇一郎
胃・十二指腸ステント（座長）
第 105 回日本消化器病学会総会
2019.5.11 金沢市
2. 渕﨑 宇一郎
『肝細胞癌診療 Update』～intermediate stage の治療戦略～（座長）
肝がん診療セミナー 2019.9.30 七尾市
3. 渕﨑 宇一郎
『当院における IBD 診療の実際』（座長）
炎症性腸疾患講演会 2019.10.4 七尾市
4. 渕﨑 宇一郎
『酸分泌抑制の安全性を考察する』（座長）
第 12 回イブニングセミナー 2019.11.6 七尾市
5. 渕﨑 宇一郎
『患者満足度向上を目指した慢性便秘症診療』（座長）
便秘症診療セミナー 2020.1.7 七尾市

【恵寿総合病院 心臓血管外科】

1. 西澤 永晃
奥能登抗凝固セミナー（講師）
第一三共株式会社 講演会
2019.7.19 輪島市
2. 西澤 永晃
奥能登抗凝固セミナー（講師）
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社、ファイザー株式会社 講演会
2019.10.10 能登町
3. 西澤 永晃
脳卒中・循環器病対策後援会（オープニングリマークス）
七尾医師会・能登脳卒中連携協議会・第一三共株式会社 2019.10.18 七尾市
4. 西澤 永晃
ハートセミナーin 七尾（座長）
第一三共株式会社 講演会
2020.2.14 七尾市
5. 西澤 永晃
七尾市医師会学術講演会（座長）
七尾医師会 七尾鹿島薬剤師会 興和創薬株式会社
2020.2.21 七尾市

【恵寿総合病院 循環器内科】

1. 宝達 明彦
当院での心不全に対する試み（講師）
ハートセミナーin 輪島
2019.7.19 輪島市
2. 宝達 明彦
心電図からわかる私の体（講師）
七尾市市民公開講座
2019.10.29 七尾市
3. 寺田 和始
能登地区における動脈硬化疾患治療について（講師）
七尾市医師会学術講演会
2019.11.1 七尾市

【恵寿総合病院 脳神経内科】

1. 木元 一仁
七尾市医師会学術講演会 パーキンソン病（座長）
2019.7.3 七尾市
2. 木元 一仁
第 5 回能登地区神経・筋難病ネットワーク
地域連携の会（座長）
2019.9.14 輪島市

【恵寿総合病院 整形外科】

1. 森永 敏生
大腿骨近位部骨折（講師）
旭化成ファーマ社内勉強会
2020.1.31 金沢市

【恵寿総合病院 産婦人科】

1. 新井 隆成
帝王切開瘢痕部陥凹をどのように防ぐか？
～Gambee 縫合の可能性と限界～（講師）
第 55 回周産期・新生児学会学術集会
2019.7.13 松本市
2. 新井 隆成
帝王切開瘢痕部症候群の臨床を考える
～術中評価、術後経過観察、診断、IC、治療～（講師）
第 11 回びわ湖周産期研究会
2019.8.3 草津市
3. 新井 隆成
北海道胆振東部地震復興支援 周産期災害対策特別講座 （講師） ALSO プロバイダーコース
北海道小樽協会病院 2019
2019.8.10 小樽市
4. 新井 隆成
帝王切開瘢痕部症候群の臨床を考える

～術中評価、術後経過観察、診断、IC、治療～（講師）
宮崎市郡産婦人科医会学術講演会
2019.9.20 宮崎市

5. 新井 隆成
ドクターヘリの運用状況と今後の展望（石川県立中央病院 明星康裕）・災害医療における小児周産期リエゾン（石川県立中央病院 上野泰尚）（座長）
第 2 回能登母子保健・医療連携ネットワーク研究会
2020.2.13 七尾市

【恵寿総合病院 家庭医療科】

1. 宮田 潤、二川 真子、伊達岡 要、他
行動変容へのアプローチ ～行動科学に基づく医療面接諤実践～（講師）
第 31 回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー
2019.8.3-5 熱海市
2. 伊達岡 要
BLSO プロバイダーコース（インストラクター）
2019.9.29 高知市
3. 吉岡 哲也
シンポジウム I『エビデンスに基づいた分娩サポート』
『家庭医の分娩サポート～米国での状況と日本での可能性』（シンポジスト）
第 5 回 ALSO-Japan 学術集会
2019.10.13 奈良市
4. 宮田 潤、二川 真子、他
ヘルスリテラシー入門～患者さんの「健康を決める力」を高めるために～（講師）
第 15 回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー
2020.2.8-9 東京都
5. 天野 雅之、安藤 裕貴、次橋 幸男、篠原 孝宏、平山 恭平、二川 真子、他
特別企画「実践家に学ぶ！若手医師のための臨床ビジネススキル」（講師）
第 15 回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー
2020.2.8-9 東京都
6. 伊達岡 要
BLSO プロバイダーコース（インストラクター）
2020.2.9 高知市

【恵寿総合病院 小児科】

1. 中谷 茂和
子どもの病気の対処法 ～急なときのために知っておきたい知識～（講師）
医師による小児救急対策出前講座
2020.1.7 宝達志水町
2. 中谷 茂和
子どもの病気の対処法 ～急なときのために知っておきたい知識～（講師）
医師による小児救急対策出前講座
2020.2.1 中能登町

【恵寿総合病院 泌尿器科】

1. 川村 研二
ポスターセッション バリアンス分析
婦人科、腎・泌尿器科（座長）
2020.1.17 熊本市
2. 川村 研二
経営思想に基づくクリニカルパスを用いた医療情報（コスト分析）の活用 ERAS と急性期期間の短縮－DPC データによる急性期期間の分析－（シンポジスト）
第 20 回日本クリニカルパス学会学術集会
2020.1.18 熊本市

【恵寿総合病院 皮膚科】

1. 坂田 祐一
UCT を用いた蕁麻疹コントロールの評価（講師）
能登 皮膚科医会
2019.11.1 七尾市

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

1. 川北 慎一郎
ボツリヌス治療の Q＆A（講師）
東海北陸ボツリヌス治療研究会
2019.6.4 金沢市
2. 川北 慎一郎
認知症には種類がある（講師）
恵寿認知症ケア研修会
2019.6.11 七尾市
3. 川北 慎一郎
癌患者の心のケアとリハビリ（講師）
北陸癌リハ研修会
2019.7.7 金沢市
4. 川北 慎一郎
高次脳機能障害の評価とリハビリ（講師）
石川高次脳機能障害研修会
2019.7.29 （金沢市）
5. 川北 慎一郎
脳卒中リハビリの進歩（講師）
能登脳卒中連携協議会市民公開講座
2019.11.16 輪島市
6. 川北 慎一郎
緊急時医療研修会（座長）
七尾市医師会緊急時医療研修会
2020.1.29 七尾市

【恵寿総合病院 看護部】

1. 船山 真理子
   病態疾病論（講師）
   石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護科専攻科
   2019.5 七尾市
2. 大内 喜美子
   思春期講座 大切なあなたへ（講師）
   七尾市立中島中学校
   2019.6.6 七尾市
3. 大内 喜美子
   子供たちとともに～これまで、そしてこれから～（講師）
   輪島市立大屋小学校 保護者会研修会
   2019.6.27 輪島市
4. 山本 美保
   ジェネラリスト研修 呼吸器看護（講師）
   石川県看護協会
   2019.7.5,10.8 金沢市
5. 船山 真理子
   フィジカルアセスメントと在宅での呼吸管理（講師）
   石川県看護協会
   2019.7.27 七尾市
6. 谷口 隆行
   麻酔看護（講師）
   日本手術看護学会北陸地区石川ブロック
   2019.8.3 金沢市
7. 高柳 由香里
   老年看護学Ⅱ（講師）
   石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護科専攻科
   2019.9 七尾市
8. 川江 辰徳
   脳血管の模型作成・講義（講師）
   第 14 回脳神経リハビリテーション看護研究発表会セミナー
   2019.9.7 金沢市
9. 山本 美保
   委員会企画 呼吸器関連特定行為の実践事例 ～急性期・回復期・生活期を支える呼吸器管理～（講師）
   第 61 回全日本病院学会 in 愛知
   2019.9.29 名古屋市
10. 大内 喜美子
    エイズ講演会 「社会に出る前に・・」（講師）
    石川県立田鶴浜高等学校
    2019.10.30 七尾市
11. 大内 喜美子
    「輪島市心の授業」大切なあなたへ（講師）
    輪島市大屋小学校
    2019.11.7 輪島市
12. 大内 喜美子
    道徳授業 「命の授業」大切なあなたへ（講師）
    七尾市山王小学校
    2019.11.9 七尾市
13. 大内 喜美子
    「中能登しごと館」医療系助産師編（講師）
    中能登町中能登中学校
    2019.11.9 中能登町
14. 松江 仁美
    「中能登しごと館」医療系看護師編（講師）
    中能登町中能登中学校
    2019.11.9 中能登町
15. 船山 真理子
    ワークショップ 1 慢性呼吸器疾患看護認定看護師と特定行為～質の高いチーム医療を推進するために～（講師）
    第 29 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会
    2019.11.11 名古屋市
16. 大内 喜美子
    エイズ講演会「社会に出る前に」（講師）
    石川県立飯田高等学校
    2019.11.21 珠洲市
17. 大内 喜美子
    エイズ講演会「社会に出る前に」（講師）
    日本航空高等学校石川
    2019.11.25 輪島市
18. 大内 喜美子
    「輪島市こころの授業」大切なあなたへ（講師）
    輪島市立河井小学校
    2019.12.4 輪島市
19. 大内 喜美子
    エイズ講演会「社会に出る前に」（講師）
    石川県立能登高等学校
    2019.12.4 能登町
20. 大内 喜美子
    「思春期講座」大切なあなたへ（講師）
    七尾市立七尾中学校
    2019.12.19 七尾市
21. 大内 喜美子
    「思春期講座」大切なあなたへ（講師）
    七尾市能登香島中学校
    2020.1.24 七尾市
22. 本橋 敏美
    石川県認定看護管理者教育課程修了時特別講演（講師） 石川県看護協会
    2020.2.7 金沢市
23. 大根 光彩
    進路講話（講師）
    石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護科専攻科
    2020.3.4 七尾市

【恵寿総合病院　事務長　森下　毅】

1. 多角的視点から放射線部門のマネジメントを探る
   （シンポジスト）　第 35 回日本診療放射線技師学術大会：日放シンポジウム 6
   2019.9.14-16 大宮市
2. Personal Health Record システムの 2 次利用による業務効率化の試み（シンポジスト）
   第 52 回北陸診療情報管理研究会
   2019.11.16 能美市
3. 一般演題「教育・医療安全」（座長）
   第 12 回中部放射線医療技術学術大会
   2019.11.30-12.1 浜松市
4. 病院をとりまく環境と求められる事務力（講師）
   金城大学医療経営情報セミナー
   2020.2.14 白山市

【恵寿総合病院 医療福祉相談課】

1. 中川 一美
   能登でがんと"私らしく"暮らす（パネリスト）
   市民公開講座がんを知ろう！語ろう！
   出張はなうめ 2019 in 七尾
   2019.6.2 七尾市

【恵寿総合病院 地域連携課】

1. 宮田 琴江
   地域連携の現状と課題 ～事例紹介を通じて～
   （講師、パネリスト）
   「地域連携の集い －病院と開業医をつなぐ会－」
   2020.2.5 七尾市

【恵寿総合病院　放射線課】

1. 永草 大輔
   講義（講師）
   七尾看護専門学校
   2019.10. 8 -15 七尾市
2. 辻口 美奈子
   講義（講師）
   七尾看護専門学校
   2019.10.29 七尾市
3. 山下 勝
   講義（講師）
   七尾看護専門学校
   2019.11.1,11.19,12.17　七尾市
4. 延田 宗久
   講義 （講師）
   七尾看護専門学校
   2019.11.5 七尾市
5. 延田 宗久
   シーメンス AI の取り組み胸部（座長）
   第 10 回北陸 SOMATOM 研究会
   2019.12.7 金沢市

【恵寿総合病院　理学療法課】

1. 田中　秀明
   石川県理学療法士会　新人プログラム
   リスクマネジメント（講師）
   石川県理学療法士会
   2019.6.30 七尾市
2. 田中　秀明
   循環器領域の理学療法（講師）
   国際医療福祉専門学校　七尾校
   2019.9.11,9.25 七尾市
3. 田中　秀明
   第 1 回臨床実習指導者講習会（講師 ）
   専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
   2019.9.28-29 金沢市
4. 井舟　正秀
   理学療法概論（講師）
   七尾看護専門学校
   2019.10.1 七尾市
5. 井舟　正秀
   理学療法各論（講師）
   七尾看護専門学校
   2019.10.8 七尾市
6. 松本　康嗣
   社会人と語る会（講師）
   石川県立鹿西高等学校
   2019.10.16 中能登町
7. 久保　佳子
   健康福祉科 講義（講師）
   石川県立田鶴浜高等学校
   2019.11.25,11.27,12.06 七尾市
8. 田中　秀明
   第 2 回臨床実習指導者講習会（講師 ）
   金城大学
   2019.11.30-12.01 白山市
9. 荒木　恵美
   腰痛予防教室（講師）
   ななおあいじ保育園
   2019.12.20 七尾市
10. 桶　拓貴
    短期集中予防サービス（C 型サービス）（講師）
    地域支援事業におけるリハビリテーションの実践報告会
    PT・OT・ST 士会連絡会
    2020.2.16 金沢市

【恵寿総合病院　作業療法課】

1. 五十嵐 満哉
   第 28 回石川県作業療法学会
   セッション ADL/IADL（座長）
   第 28 回石川県作業療法学会
   2019.6.23 金沢市
2. 川上 直子
   リハビリの先生にさらにしっかり体操を習おう！講座（講師）
   中能登町地域リハビリテーション活動支援事業
   2019.6.27 中能登町
3. 川上 直子
   令和元年度 中能登町地域ケア会議(目標設定会議)（アドバイザー）
   中能登町役場鹿西庁舎
   2019.7.23,2020.1.21 中能登町
4. 川上 直子
   リハビリ専門職が教える介護のコツ（講師）
   中能登町家族介護者交流会
   2019.7.25 中能登町
5. 白山 真由子
   令和元年度 中能登町地域ケア会議(目標設定会議)（アドバイザー）
   中能登町役場鹿西庁舎 2019.7.16 中能登町
6. 五十嵐 満哉
   介護と障害の連携を事例から学ぼう～お互いの役割を理解し合う連携とは～（講師）
   中能登町在宅医療介護連携推進事業多職種研修会
   2019.9.26 中能登町
7. 五十嵐満哉
   「サービス付き高齢者住宅」という在宅の形、そこに関わる作業療法士の取り組み（講師）
   石川県作業療法士会在宅支援部研修会「在宅支援の幅を広げよう！」 2019.10.26 金沢市
8. 五十嵐 満哉
   「サービス付き高齢者賃貸住宅に訪問する作業療法～新たな住まいでの活動・参加を OT がコーディネートする～」（講師） 石川県高度・専門医療人材養成支援事業検討会「地域包括ケア時代！在宅で求められる作業療法士の専門性」 2019.12.14 金沢市
9. 五十嵐 満哉
   事例②：ALS のコミュニケーション支援（講師）
   石川県リハビリテーションセンター 自立支援機器スペシャリスト育成実践研修-コミュニケーション編-
   2020.1.26,2.15 金沢市

【恵寿総合病院　言語療法課】

1. 梅木 祐子
   同職種連携(各病期の役割について)（講師）
   金沢こども医療福祉センター
   2019.7.28 金沢市
2. 木村 聖子
   治療論（言語療法）（講師）
   七尾看護専門学校
   2019.11.5,11.12 七尾市
3. 諏訪 美幸
   言語リハビリテーション講習会（講師）
   石川県脳卒中リハビリテーション協会
   七尾市言語リハビリ講習会
   2019.11.14 七尾市
4. 木村 聖子
   介護福祉基礎（非常勤講師）
   石川県立田鶴浜高等学校健康福祉科
   2020.1.15,1.22 七尾市
5. 梅木 祐子
   失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修
   伝達研修（講師）
   恵寿総合病院
   2020.2.11 七尾市

【恵寿総合病院　リハビリテーション教育研修センター】

1. 井舟 正秀
   理学療法 講義（講師）
   七尾看護専門学校
   2019.9.3,9.10 七尾市
2. 井舟 正秀
   能登地域における脳卒中者の歩行自立度について（講師）
   能登脳卒中地域連携協議会総会
   2019.12.14 七尾市

【恵寿総合病院　臨床栄養課】

1. 前田 美穂
   2019 年度静脈経腸栄養（TNT-D）研修会 スキルアップセミナー（講師）
   公益社団法人日本栄養士会
   2019.5.25-26 東京都
2. 前田 美穂
   2019 年度静脈経腸栄養（TNT-D）研修会「静脈栄養管理の基礎」（講師）
   公益社団法人日本栄養士会
   2019.7.6-7 東京都
3. 小蔵 要司
   臨床研究ことはじめ リサーチクエスチョンの作成（講師）
   第 9 回日本リハビリテーション栄養 学会学術集会
   2019.11.23 福岡市
4. 小蔵 要司
   リハビリテーション栄養のすゝめ

―リハの効果を高める栄養サポートとは―（講師）
石川県病院薬剤師令和元年度 NST 委員会研究会
2019.12.1 金沢市

5. 前田 美穂
2019 年度静脈経腸栄養（TNT-D）研修会「静脈経腸栄養管理の応用」（講師）
公益社団法人日本栄養士会
2020.1.25 東京都

6. 小蔵 要司
リハビリテーション栄養のススメなぜリハ栄養が必要か（講師）
羽咋市郡リハ栄養研修会
2020.2.22 宝達志水町

【恵寿総合病院 臨床検査課】

1. 谷内 正人
七尾看護専門学校（講師）
2020.1.7,1.14,1.21,1.28 七尾市

2. 橋 ひとみ
七尾看護専門学校（講師）
2020.2.4,2.18,2.25 七尾市

【恵寿総合病院 医療安全管理センター】

1. 谷田部 美千代
感染管理認定看護師の活動
～兼任から専従への転機～ （シンポジスト）
感染管理認定看護師教育課程 フォローアップ研修会
2019.10.5

【恵寿金沢病院 リハビリテーション科】

1. 米山 太朗
そくさい地域出前講座（転倒予防）（講師）
金沢市地域包括支援センター おおてまち
2019.4.19 金沢市

2. 畠山 智行
股関節周辺組織の触診と評価（講師）
整形外科リハビリテーション学会北陸支部
2019.5.21 金沢市

3. 米山 太朗
そくさい地域出前講座（腰痛・膝痛）（講師）
金沢市地域包括支援センター おおてまち
2019.6.13 金沢市

4. 米山 太朗
認知症カフェ（相談員・講師）
金沢市地域包括支援センター おおてまち
2019.8.8 金沢市

5. 米山 太朗
そくさい地域出前講座（腰痛・膝痛）（講師）
金沢市地域包括支援センター おおてまち
2019.9.10 金沢市

6. 畠山 智行
股関節の機能解剖と運動療法（講師）
金城大学卒後研修会
2019.9.14 白山市

7. 村田 廉志
大腿骨近位部骨折術後症例に対する評価と治療方法（講師） 整形外科リハビリテーション学会リハビリテーション学会北陸支部
2019.10.31 金沢市

8. 畠山 智行
肩関節後下方の拘縮に対する機能解剖学的評価と治療（講師） 整形外科リハビリテーション学会北陸支部
2020.2.8-9 金沢市

9. 米山 千尋
認知症予防（講師）
転ばん元気な体づくり教室
2020.2.14 金沢市

【恵寿金沢病院 人間ドックセンター】

1. 森 清男
循環器領域における SGLT2 阻害薬（講師）
興和創薬薬剤療法検討会
2019.12.19 金沢市

【恵寿金沢病院 看護部】

1. 宝金 あゆみ
令和元年度仕事探しシェルパ講師
石川県人材確保・定住推進機構：ジョブカフェ
2019.5.8 金沢市

2. 浜下 朋子
令和元年度専門的看護実践力研修【認知症看護】事業（講師） 石川県令和元年度専門的看護実践力研修【認知症看護】事業
2019.9.26 かほく市

3. 浜下 朋子
認知症看護認定看護師教育課程修了生フォローアップ研修（講師）
石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター
2019.10.26 かほく市

【鳥屋診療所 いきいき】

1. 細口 智之
健康講座（講師）
高齢者地域サロン
2019.7.11 中能登町

2. 前田 莉沙
健康講座（講師）

高齢者地域サロン
2019.9.26 中能登町

3. 和田 卓矢
健康講座（講師）
高齢者地域サロン
2019.10.23 中能登町

4. 北谷 渉
健康講座（講師）
高齢者地域サロン
2020.2.13 中能登町

【介護老人保健施設 和光苑】

1. 福井 朱美
リハビリの先生にさらにしっかり体操を習おう！講座（講師）
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業
2019.6.4 中能登町

2. 室野 翔太
リハビリの先生にさらにしっかり体操を習おう！講座（講師）
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業
2019.6.12 中能登町

3. 大森 光紗
リハビリの先生にさらにしっかり体操を習おう！講座（講師）
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業
2019.6.21 中能登町

4. 仁八 志緒里
リハビリの先生にさらにしっかり体操を習おう！講座（講師）
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業
2019.7.9 中能登町

【介護老人保健施設 鶴友苑】

1. 廣正 修一
不眠症の完治を目指して
～新規不眠症治療薬の可能性～（演者）
ロゼレムWeb 講演会
2020.3.26 金沢市

【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

1. 鵜野 誠
介護職の倫理の実践的理解と展開（ファシリテーター）
介護福祉士ファーストステップ研修
2019.6.1 金沢市

2. 赤坂 直樹
桜町健康教室（講師）
令和元年度穴水町健康長寿のまちづくり推進事業
2019.7.4 穴水町

3. 宮本 正俊
国際モダンホスピタルショウ2019 カンファレンス講演（講師）
介護医療院への転換
2019.7.19 東京都

4. 鵜野 誠
医療・介護・福祉への誘い～卒業生からのメッセージ～
（講師） ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業
2019.7.19 輪島市

5. 鵜野 誠
観察と記録の的確性とチームケア（ファシリテーター）
介護福祉士ファーストステップ研修
2019.8.31 金沢市

6. 中西 こずえ
NOSS 健康教室（講師）
令和元年度穴水町健康長寿のまちづくり推進事業
2019.9.26 穴水町

7. 原田 真梨
運動機能向上プログラム げんき教室（講師）
令和元年度穴水町健康長寿のまちづくり推進事業
2019.10.10,17,12.12,19 穴水町

8. 大崎 志帆
たんぽぽ健康教室（講師）
令和元年度穴水町健康長寿のまちづくり推進事業
2019.11.6 穴水町

9. 岡本 尚士
七尾特別支援学校 薬物乱用防止教室（講師）
酒、たばこなどの薬物乱用防止について
2019.11.11 七尾市

10. 鵜野 誠
実習指導の方法と展開 実習指導における課題への対応
実習指導者に対する期待（ファシリテーター）
介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修(能登)
2020.1.19 七尾市

11. 形田 晃子
基本的な介護の方法（講師）
ゼロからはじめる介護職入門セミナー 石川県社会福祉協議会 石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター
2020.2.25-26 七尾市

【ケアマネステーション恵寿】

1. 高塚 るみ子
個別ケアプラン検討会議（アドバイザー）
七尾市地域ケア会議
2019.7.18 七尾市

2. 中田 理恵子
個別ケアプラン検討会議（アドバイザー）
七尾市地域ケア会議
2019.9.26 七尾市

3. 田辺 航也
利用者多くの種類の専門職等への説明及び合意（講師）
令和元年度 石川県介護支援専門員実務研修・更新研

修 B･再研修　2019.12.25

4. 田辺 航也
ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術/居宅サービス計画等の作成（ファシリテーター）
令和元年度 石川県介護支援専門員実務研修･更新研修 B･再研修 2019.12.25

5. 高塚 るみ子
事例検討会（ファシリテーター）
七尾市介護保険事業者連絡会 居宅介護支援分科会
2020.1.14 七尾市

6. 愛徳 誓城
実習の振り返り①（ファシリテーター）
令和元年度 石川県介護支援専門員実務研修･更新研修 B･再研修 2020.2.12

7. 愛徳 誓城
ケアマネジメントの展開／基礎理解 介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）（講師）
令和元年度 石川県介護支援専門員実務研修･更新研修 B･再研修 2020.2.12

8. 愛徳 誓城
ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術／サービス担当者会議の意義及び進め方（ファシリテーター）
令和元年度 石川県介護支援専門員実務研修･更新研修 B･再研修 2020.2.13

9. 愛徳 誓城
更新研修 B･再研修のケアプランチェック（ケアプランチェック）
令和元年度 石川県介護支援専門員実務研修･更新研修 B･再研修 2020.2.13

10. 愛徳 誓城
ケアマネジメントの展開／内臓の機能不全に関する事例
自立支援のためのケアマネジメントの基本⑤
（ファシリテーター）
令和元年度 石川県介護支援専門員実務研修･更新研修 B･再研修 2020.2.19

11. 田辺 航也
アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習
（ファシリテーター）
令和元年度 石川県介護支援専門員実務研修･更新研修 B･再研修 2020.3.5

12. 愛徳 誓城
ケアマネジメントに係る法令等の理解（ファシリテーター）
令和元年度 石川県介護支援専門員実務研修･更新研修 B･再研修 2020.3.6

13. 愛徳 誓城
研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り（講師）
令和元年度 石川県介護支援専門員実務研修･更新研修 B･再研修 2020.3.6

【在宅複合施設 ほのぼの】

1. 諏訪 勝志
リハビリの先生にさらにしっかり体操を習おう！講座（講師）
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業
2019.5.23,5.28,7.22 中能登町

2. 諏訪 勝志
令和元年度 中能登町地域ケア会議(目標設定会議)（アドバイザー）
中能登町役場鹿西庁舎
2019.6.18, 8.20 中能登町

3. 諏訪 勝志
ケアマネジメントの演習/リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例（講師）
令和元年度 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ(更新研修 A) 2019.7.3 金沢市

4. 諏訪 勝志
ケアマネジメントの演習/リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例（講師）
令和元年度 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ(更新研修 A) 2019.7.5 七尾市

5. 諏訪 勝志
個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習（ファシリテーター）
令和元年度 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ(更新研修 A) 2019.7.5 七尾市

6. 諏訪 勝志
ケアマネジメントの演習/家族への支援の視点が必要な事例（講師）
令和元年度 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ（更新研修 A) 2019.7.11 七尾市

7. 諏訪 勝志
ケアマネジメントにおける実践事例の研究および発表／リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例（講師）
令和元年度 介護支援専門員専門研修過程Ⅱ（更新研修 A） 2019.8.13,11.11 金沢市

8. 諏訪 勝志
主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践/リハビリテーションや福祉用具の活用に関する事例（講師）
令和元年度 主任介護支援専門員更新研修
2019.11.1 金沢市

9. 諏訪 勝志
内部障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
2019.11.14 七尾市

10. 諏訪 勝志
ケアマネジメントの展開／脳血管疾患に関する事例

（講師） 令和元年度 介護支援専門員専門実務研修・更新研修 B・再研修
2020.1.15 七尾市

11. ケアマネジメントの展開／内臓の機能不全に関する事例
（講師） 令和元年度 介護支援専門員専門実務研修・更新研修 B・再研修
2020.2.19 七尾市

【苑長 今寺 忠造】

1. 人材育成（第 5 分科会）（助言者）
東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会 2019 石川大会
2019.9.26-27 加賀市

【青山彩光苑リハビリテーションセンター】

1. 久保 奈保
認定調査について（講師）
障害支援区分に係る認定調査員研修
2019.5.30 金沢市
2. 久保 奈保
身体障害について（講師）
七尾商工会議所青年部定例会
2019.6.17 七尾市
3. 瀧野 利徳
中部ブロック身体障害者更生援護施設長協議会 会議・議題討議（司会者）
令和元年度（第 33 回）中部ブロック身体障害者更生援護施設長協議会・研修会 2019.10.3-4 七尾市
4. 久保 奈保
事例研究発表（座長）
令和元年度（第 33 回）中部ブロック身体障害者更生援護施設長協議会・研修会 2019.10.3-4 七尾市
5. 久保 奈保
サービス提供のプロセス（講師）
サービス管理責任者児童発達支援管理責任者基礎研修
2019.12.9, 12.11-12 金沢市
6. 久保 奈保
身体障害について（講師）
利用者個別支援計画基礎研修
2020.2.25 金沢市

【青山彩光苑ライフサポートセンター】

1. 藤井 則子
個別支援（第 2 分科会）（助言者）
東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会 2019 石川大会
2019.9.26-27 加賀市
2. 前田 奈津子
個別支援（第 2 分科会）（司会者）
東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会 2019 石川大会
2019.9.26-27 加賀市
3. 前田 奈津子
令和元年度 個別支援計画基礎研修 演習Ⅱ（講師）
石川県社会福祉協議会 2020.2.25-26 金沢市

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

1. 舩山 和浩
令和元年度障害施設職員研修（初任者）研修（講師）
石川県社会福祉協議会 福祉施設等職員研修
2019.6.27 金沢市
2. 舩山 和浩
令和元年度障害施設職員研修（初任者）研修（講師）
石川県社会福祉協議会 福祉施設等職員研修
2019.8.29 七尾市

【石川県精育園】

1. 川島 大和
障害者虐待防止・権利擁護研修（講師）
石川県障害者虐待防止・権利擁護研修
2019.11.12 金沢市
2. 谷 良観
強度行動障害支援者養成研修（講師）
石川県強度行動障害支援者養成研修
2019.7.9,9.6,9.13 金沢市

【事務局】

1. 畑中 浩樹
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課初任者講習（講師）
石川県社会福祉協議会主催研修
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課初任者講習
2019.8.20-21 金沢市
2. 森山 能孝
人材育成（第 5 分科会）（座長）
東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会 2019 石川大会
2019.9.26-27 加賀市

資格取得

【本部 本部長 進藤 浩美】

1. 認定作業療法士（更新）
2. 病院管理士（更新）

【本部 資財課】

1. 池岡 一彦
   電話応対技能検定４級
2. 中村 佳代
   BLS プロバイダー（一次救命処置）
3. 竹川 武彦
   BLS プロバイダー（一次救命処置）
4. 竹川 武彦
   ISO 内部監査員
5. 小林 未奈
   BLS プロバイダー（一次救命処置）

【恵寿総合病院 消化器外科】

1. 河野 達彦
   臨床指導医養成ワークショップ受講

【恵寿総合病院 内科】

1. 鎧高 健志
   日本血液学会 血液専門医
2. 山村 健太
   金沢大学大学院医学系研究科 医学博士
3. 加瀬 一政（内科）
   臨床指導医養成講習会受講（金沢医科大学主催）

【恵寿総合病院 心臓血管外科】

1. 西澤 永晃
   日本脈管学会 脈管専門医

【恵寿総合病院 循環器内科】

1. 寺田 和始
   日本循環器学会 循環器専門医

【恵寿総合病院 産婦人科】

1. 新井 隆成
   日本産科婦人科学会 認定指導医
2. 安田 豊
   日本産科婦人科学会 認定指導医
3. 新井 隆成
   日本プライマリ・ケア学会 認定指導医
4. 新井 隆成
   日本産婦人科医会 母体保護法指定医
5. 安田 豊
   日本産婦人科医会 母体保護法指定医
6. 高多 佑佳
   日本産婦人科医会 母体保護法指定医

【恵寿総合病院 家庭医療科】

1. 吉岡 哲也
   米国老年医学専門医（更新 10 年）
2. 吉岡 哲也
   米国ミシガン州医師免許（更新 3 年）
3. 伊達岡 要
   Home and Away Nine Days Faculty Development Fellow ship（HANDS-FDF 2019）
4. 伊達岡 要
   日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医
5. 伊達岡 要
   ICD 制度協議会 インフェクションコントロールドクター（ICD）

【恵寿総合病院 皮膚科】

1. 坂田 祐一
   日本医真菌学会 認定専門医
2. 坂田 祐一
   臨床指導医養成講習会受講（金沢医科大学主催）

【恵寿総合病院 健康管理部】

1. 泉谷 麻子
   人間ドック健診専門医
2. 泉谷 麻子
   日本医師会認定産業医

【恵寿総合病院 看護部】

1. 船山 真理子
   認定看護管理者
2. 中河 健一
   看護師特定行為研修修了
   （2 区分 5 行為：人工呼吸・長期呼吸関連)
3. 松尾 りえ
   看護師特定行為研修修了
   （2 区分 5 行為：人工呼吸・長期呼吸関連)
4. 田尻 初美
   看護師特定行為研修修了
   （2 区分 3 行為：栄養・血糖コントロール関連)
5. 川端 望
   看護師特定行為研修修了

（2 区分 3 行為：栄養・血糖コントロール関連)

6. 中山 知奈美
看護師特定行為研修修了
（2 区分 5 行為：人工呼吸・気道確保関連)

7. 山本 美保
看護師特定行為研修修了
（1 区分 1 行為：動脈血液ガス分析関連）

8. 船山 真理子
看護師特定行為研修修了
（1 区分 1 行為：動脈血液ガス分析関連）

9. 川江 辰徳
看護師特定行為研修修了
（1 区分 1 行為：動脈血液ガス分析関連）

10. 三味 亜生子
看護師特定行為研修修了
（1 区分 1 行為：動脈血液ガス分析関連）

11. 大森 圭子
看護師特定行為研修修了
（1 区分 2 行為：創傷管理関連）

12. 寺田 千恵
看護師特定行為研修修了
（1 区分 2 行為：創傷管理関連）

13. 櫻 さおり
特定行為研修修了看護師
（1 区分 1 行為：血糖コントロール関連)

14. 小崎 孝幸
看護師特定行為研修修了
（1 区分 1 行為：動脈血液ガス分析関連）

15. 櫻 栄一朗
看護師特定行為研修修了
（1 区分 1 行為：動脈血液ガス分析関連）

16. 川江 辰徳
ISLS（脳卒中初期診療コース）受講修了

17. 池田 陽子
心臓リハビリテーション指導士

18. 池田 陽子
ACLS インストラクター（更新）

19. 佐藤 洋子
ACLS インストラクター（更新）

20. 坂内 可奈恵
ACLS プロバイダー（更新）

21. 田口 万紀
ACLS プロバイダー（更新）

22. 橋戸 志織
ACLS プロバイダー

23. 谷内 加奈子
ACLS プロバイダー

24. 基村 梓
ACLS プロバイダー

25. 辛 倩倩
ACLS プロバイダー

26. 濱嵜 亮子
ACLS プロバイダー

27. 高木 真利絵
ACLS プロバイダー

28. 菅野 則之
AHA BLS インストラクター（更新）

29. 菅野 則之
石川県看護協会 災害支援ナース（更新）

30. 竹森 さつき
BLS インストラクター（更新）

31. 竹中 菊香
BLS インストラクター（更新）

32. 土谷 節
BLS インストラクター（更新）

33. 高杉 真帆
BLS インストラクター（更新）

34. 木村 博子
BLS インストラクター（更新）

35. 木谷 奈津江
BLS インストラクター（更新）

36. 和田 安代
BLS インストラクター（更新）

37. 新田 理沙
BLS インストラクター（更新）

38. 橋本 可菜実
BLS インストラクター（更新）

39. 大湯 静
BLS インストラクター（更新）

40. 宮島 文也
BLS インストラクター（更新）

41. 船木 浩憲
BLS インストラクター（更新）

42. 柏原 翔太
BLS インストラクター（更新）

43. 高見 里香
BLS インストラクター（更新）

44. 橋戸 志織
BLS プロバイダー（更新）

45. 新谷 真由美
BLS プロバイダー（更新）

46. 濱嵜 亮子
BLS プロバイダー（更新）

47. 奥本 雄飛
BLS プロバイダー（更新）

48. 瀧音 香菜

BLS プロバイダー（更新）

49. 矢田 世莉果
BLS プロバイダー（更新）

50. 佐々木 海斗
BLS プロバイダー（更新）

51. 石坂 由香利
BLS プロバイダー（更新）

52. 高見 里香
呼吸療法認定士

53. 井上 聖美
呼吸療法認定士

54. 鳥越 暢恵
NST 専門療養士

55. 水口 ふじ美
NST 専門療養士（更新）

56. 石田 純也
ISLS(脳卒中初期診療コース)受講修了

57. 脇田 由香
アドバンス助産師

58. 吉野 杏菜
NCPR（A コース）

59. 大野木 結菜
NCPR（A コース）

60. 大根 光彩
NCPR（A コース）

61. 米田 妃那
NCPR（A コース）

62. 大根 光彩
ALSO

63. 戸田 秀之
がん看護実践看護師

64. 南 愉衣
がん看護実践看護師

65. 谷口 卓也
がん看護実践看護師

66. 竹端 義子
日本運動器看護学会認定運動器看護師更新

【恵寿総合病院 医療福祉相談課】

1. 中川 一美
認定医療社会福祉士

【恵寿総合病院 管理課】

1. 松木 尊紀法
乙種危険物取扱者（更新）

2. 松木 尊紀法
AHA-BLS インストラクター（更新）

【恵寿総合病院 医療秘書課】

1. 田中 瑞栄
がん登録実務初級者認定

2. 三浦 有紀
石川県肝炎医療コーディネーター

3. 瀬戸 亜矢
石川県肝炎医療コーディネーター

4. 鷲尾 留美
石川県肝炎医療コーディネーター

5. 大鍋 奈央子
ピンクリボンアドバイザー中級

【恵寿総合病院 放射線課】

1. 永草 大輔
アドバンス診療放射線技師

【恵寿総合病院 理学療法課】

1. 桶 拓貴
介護支援専門員

2. 桶 拓貴
認定理学療法士（運動器）

3. 本橋 徹也
介護支援専門員

4. 道邊 要太
心臓リハビリテーション指導士

5. 土肥 哲也
認定理学療法士（運動器）

6. 土山 葵衣
認知症ライフパートナー

7. 中村 秀哉
BLS ヘルスケアプロバイダー

8. 牧野 芹香
BLS ヘルスケアプロバイダー

9. 今中 瑛理伽
BLS ヘルスケアプロバイダー

10. 澤村 謙伸
BLS ヘルスケアプロバイダー

11. 髙木 一成
BLS ヘルスケアプロバイダー

【恵寿総合病院 作業療法課】

1. 北谷 渉
福祉住環境コーディネーター2 級

2. 五十嵐 満哉
認定作業療法士

3. 五十嵐 満哉
介護支援専門員

4. 守友 ひとみ

認知症ケア専門士

【恵寿総合病院　リハビリテーション教育研修センター】

1. 井舟　正秀
   専門理学療法士（神経）更新

【恵寿総合病院　薬剤課】

1. 望月 友美
   日病薬病院薬学認定薬剤師

【恵寿総合病院　臨床栄養課】

1. 小蔵　要司
   日本リハビリテーション栄養指導士
2. 田中　裕子
   NST 専門療法士

【恵寿総合病院　臨床検査課】

1. 室塚 秋子
   超音波検査士（更新）
2. 山口 拓也
   検体採取に関する厚生労働省指定講習会修了
3. 井下 侑一郎
   検体採取に関する厚生労働省指定講習会修了
4. 干場 大輔
   検体採取に関する厚生労働省指定講習会修了
5. 髙橋 功樹
   検体採取に関する厚生労働省指定講習会修了
6. 北野 可那子
   検体採取に関する厚生労働省指定講習会修了
7. 坂本 奈央
   検体採取に関する厚生労働省指定講習会修了
8. 木戸 薫
   BLS プロバイダー（更新）
9. 竹内 由紀子
   BLS プロバイダー

【恵寿総合病院　臨床工学課】

1. 栃原 さとみ
   透析技術認定士（更新）
2. 栃原 康則
   体外循環技術認定士

【恵寿総合病院　臨床研修センター】

1. 酒井 順
   AHA-ACLS プロバイダー
2. 山根 希望
   AHA-ACLS プロバイダー
3. 上田 菜保子
   AHA-ACLS プロバイダー
4. 大田垣 昂
   AHA-ACLS プロバイダー
5. 長岡 理紗
   AHA-ACLS プロバイダー
6. 加藤 大翔
   AHA-ACLS プロバイダー
7. 板谷 芳輝
   AHA-ACLS プロバイダー
8. 豊岡 達志
   AHA-PALS プロバイダー
9. 山根 希望
   NCPR（A コース）
10. 酒井 順
    NCPR（A コース）
11. 上田 菜保子
    NCPR（A コース）
12. 酒井 順
    ALSO プロバイダー
13. 山根 希望
    ALSO プロバイダー
14. 上田 菜保子
    ALSO プロバイダー
15. 大田垣 昂
    ALSO プロバイダー
16. 長岡 理紗
    ALSO プロバイダー
17. 加藤 大翔
    ALSO プロバイダー
18. 板谷 芳輝
    ALSO プロバイダー

【恵寿金沢病院　リハビリテーション科】

1. 浅野　慶祐
   修士（リハビリテーション学）

【恵寿金沢病院　放射線課】

1. 武村　真弓
   超音波検査士（消化器領域）
2. 武村　真弓
   検診マンモグラフィ撮影技術認定（更新）

【恵寿金沢病院　臨床栄養課】

1. 羽根　由子
   日本臨床栄養代謝学会
   NST 臨床実地修練（40 時間）修了

【恵寿金沢病院　看護部】

1. 清水 ちえみ
フットケア指導士
2. 酢野 亜由子
3 学会合同呼吸療法認定士

【介護事業統括部門長 吉田 茂和】

1. 吉田 茂和
外国人技能実習責任者

【介護老人保健施設 和光苑】

1. 室野 翔太
介護支援専門員
2. 谷平 真理
介護福祉士
3. 安田 匡晃
介護福祉士
4. 谷田 綾
介護福祉士
5. 福原 なるみ
社会福祉士
6. 小林 かおり
介護福祉士実習指導者
7. 山下 充
介護福祉士実習指導者
8. 直江 祥子
介護福祉士実習指導者
9. 奥本 健司
外国人技能実習生責任者
10. 中森 亨
外国人技能実習指導員
11. 谷口 菜美
外国人技能実習指導員
12. 扇 真須美
外国人技能実習指導員
13. 山口 真紀
外国人技能実習生活指導員
14. 飛弾 幸恵
外国人技能実習生活指導員
15. 水野 夏江
介護プロフェッショナル段位制度評価者（アセッサー）
16. 尾蔵 亜矢子
介護プロフェッショナル段位制度評価者（アセッサー）

【介護老人保健施設 鶴友苑】

1. 岡田 尚子
介護福祉士
2. 田辺 しのぶ
介護プロフェッショナル段位制度評価者（アセッサー）
3. 上坂 清恵
介護福祉士養成実習施設指導者

【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

1. 原田 真梨
地域ケア会議推進リーダー
2. 原田 真梨
介護予防推進リーダー
3. 赤坂 直樹
地域ケア会議推進リーダー
4. 赤坂 直樹
介護予防推進リーダー
5. 赤坂 直樹
生活行為向上リハビリテーション修了者
6. 大崎 志帆
日本糖尿病療養指導士（更新）
7. 中西 こずえ
臨床実習指導者
8. 坂野 奈津子
レクリエーション介護士
9. 梶山 知巳
病態栄養専門管理栄養士
10. 泉 真由美
医療的ケア教員

【福祉用具レンタルステーション恵寿】

1. 谷 伸悟
福祉住環境コーディネーター3 級

【在宅複合施設 ほのぼの】

1. 小森 若葉
介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者（アセッサー）
2. 吉田 美恵子
介護福祉士実習指導者
3. 吉田 美恵子
安全衛生推進者
4. 西田 久枝
介護職員等による喀痰吸引等の研修の指導者
5. 岡田 優理
上級認知症ケア指導管理士

【デイサービスセンター いこい】

1. 愛徳 亜矢
安全衛生推進者

【小規模多機能型居宅介護事業所 けいじゅ一本杉】

1. 高木 ひとみ
安全衛生推進者

2.　小川 真由美
　　小規模多機能計画作成担当者

【小規模多機能型居宅介護事業所　恵寿みおや】

1.　筒井 静恵
　　認知症ケア指導管理士（初級）
2.　大葉 佳菜
　　認定特定行為業務従事者

【青山彩光苑ライフサポートセンター】

1.　小林 美和　　介護福祉士
2.　山本 響季　　介護福祉士
3.　所司 琉雅　　介護福祉士

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

1.　舩山 和浩　　社会福祉士
2.　山田 和磨　　介護福祉士

【石川県精育園】

1.　大谷 英隆　　介護福祉士
2.　堀内 潤　　介護福祉士
3.　大竹 貴子　　介護福祉士
4.　竹野 国恵　　介護福祉士
5.　藤井 めぐみ　　介護福祉士
6.　水端 郁枝　　介護福祉士
7.　百成 公美子　　介護福祉士

【エレガンテなぎの浦】

1.　小浦 百葉　　介護福祉士
2.　石本 雅　　介護福祉士
3.　緒方 里奈　　介護福祉士

【エレガンテたつるはま･もみの木苑】

1.　蔵本 達矢　　介護福祉士

【ローレルハイツ恵寿】

1.　清水 潤智　　介護福祉士
2.　竹内 美香子　　介護福祉士

【事務局】

1.　神野 由美子　　第一種衛生管理者

公職

【理事長　神野 正博】

1. 公益社団法人　全日本病院協会
   副会長
2. 一般社団法人　日本社会医療法人協議会
   副会長
3. 一般社団法人　日本専門医機構
   理事
4. 七尾商工会議所
   副会頭
5. サービス産業生産性協議会(SPRING)
   幹事
6. 石川県病院協会
   副会長
7. 特定非営利活動法人 VHJ 機構
   理事・VHJ 研究会監事
8. 公益財団法人　日本医療機能評価機構
   評議員、事業推進委員
9. 一般社団法人　日本医療経営実践協会
   理事
10. 一般社団法人　日本ホスピタルアライアンス
    理事
11. 厚生労働省
    医道審議会医師分科会医師臨床研修部会委員
12. 厚生労働省
    医道審議会保健師助産師看護師分科会看護師特定行為・研修部会委員
13. 厚生労働省
    医師臨床研修制度到達目標・評価の在り方に関する WG 委員
14. 厚生労働省
    中医協・診療報酬調査専門組織　入院医療等の調査・評価分科会委員
15. 厚生労働省
    医療従事者の需給に関する検討会医師分科会委員
16. 厚生労働省
    平成 28 年度厚生労働科学研究「看護師の特定行為に係る研修制度の普及等に関する研究（神野班）」研究代表者
17. 厚生労働省
    平成 28 年度厚生労働科学特別研究「看護師の特定行為研修の修了者の活動状況に関する研究(永井良三班)」委員
18. 石川県
    石川県医療審議会委員
19. 石川県
    医療計画推進委員会地域医療ビジョン策定部会委員
20. 石川県
    医商工連携促進協議会会員
21. 四病院団体協議会
    総合部会員、医療安全対策委員会委員長、医療制度委員会委員、病院医師の働き方検討委員会委員
22. 公益社団法人　全日本病院協会
    看護師特定行為研修検討プロジェクト委員会委員長
23. 日本病院会
    災害医療対策委員会副委員長
24. 日本医師会
    病院委員会委員
25. 日本専門医機構
    総合診療専門医に関する委員会委員
26. 医師臨床研修マッチング協議
    運営委員
27. 医学書院
    月刊「病院」編集主幹
28. モントレー・ジャズ・フェスティバル・イン・能登
    理事

【本部 常務理事　神野 厚美】

1. 公益財団法人　日本看護協会
   看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討委員会

【本部 本部長　進藤　浩美】

1. 社会福祉法人　徳充会
   理事
2. 公益社団法人　石川県作業療法士会
   監事
3. 一般社団法人　日本作業療法士協会
   代議員
4. 厚生労働省受託事業　介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会
   石川県委員長
5. 一般社団法人　石川県介護支援専門員協会
   監事
6. 一般社団法人　日本作業療法士協会
   学会演題査読委員
7. 公益財団法人
   日本電信電話ユーザー協会七尾地区協会
   理事

【本部 総務部長　松田 久良】

1. 石川県鹿島郡中能登町
   中能登町地域公共交通協議会委員

【恵寿総合病院　内科】

1. 山﨑 雅英
   石川県危機管理監室消防保安課
   石川県メディカルコントロール協議会　委員
2. 山﨑　雅英
   石川県健康福祉部地域医療推進室
   石川県ドクターヘリ運航調整委員会 ワーキング　委員
3. 山﨑　雅英
   日本内科学会北陸支部
   評議員
4. 山﨑　雅英
   日本血液学会
   評議員
5. 山﨑 雅英
   北陸地区造血幹細胞移植推進拠点病院　造血細胞移植センター
   北陸地区造血幹細胞移植推進　委員
6. 宮本　正治
   石川県医師会
   石川県糖尿病対策推進会議　委員
7. 宮本　正治
   糖尿病患者を助け合う地域連携協議会・七緒の会
   会長

【恵寿総合病院　消化器内科】

1. 渕﨑　宇一郎
   日本消化器内視鏡学会
   第 114 回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会会長
2. 渕﨑　宇一郎
   日本消化器内視鏡学会
   本部学術評議員
3. 渕﨑　宇一郎
   日本消化器内視鏡学会
   北陸支部評議員
4. 渕﨑　宇一郎
   日本消化器病学会
   北陸支部評議員

【恵寿総合病院　心臓血管外科】

1. 西澤 永晃
   石川県
   石川県循環器治療推進委員
2. 西澤 永晃
   日本循環器学会
   日本循環器学会東海北陸地方会評議員

【恵寿総合病院　循環器内科】

1. 宝達 明彦
   日本循環器学会北陸支部
   評議員
2. 宝達 明彦
   日本心血管インターベンション学会東海北陸支部
   運営委員

【恵寿総合病院　産婦人科】

1. 新井 隆成
   山梨大学産婦人科学教室
   臨床教授
2. 新井 隆成
   日本胎児心臓病学会
   評議員

【恵寿総合病院　小児科】

1. 中谷 茂和
   石川県小児科医会
   理事
2. 中谷　茂和
   七尾市医師会
   理事
3. 中谷　茂和
   石川県医師会
   学校医部運営委員会　委員
4. 中谷　茂和
   七尾市
   健康福祉審議会児童福祉分科会委員
5. 中谷　茂和
   能登中部小児休日診療協議会
   会長
6. 中谷　茂和
   能登小児科医会
   代表理事

【恵寿総合病院　リハビリテーション科】

1. 川北 慎一郎
   日本リハビリテーション医学会
   代議員、指導責任者
2. 川北 慎一郎
   日本リハビリテーション医学会北陸地方会
   世話人、監事
3. 川北 慎一郎
   日本医師会
   認知症サポート医
4. 川北 慎一郎
   七尾市医師会
   理事
5. 川北 慎一郎

石川県医師会
スポーツ医会委員

6. 川北 慎一郎
日本温泉気候物理医学会
温泉療法アドバイザー

7. 川北 慎一郎
能登脳卒中連携協議会
会長

8. 川北 慎一郎
北陸癌リハ研究会
副会長

9. 川北 慎一郎
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師

10. 川北 慎一郎
七尾市
介護保険審査委員会委員

【恵寿総合病院 看護部】

1. 本橋 敏美
石川県スポーツナース連絡協議会
理事

2. 松下 逸子
石川県看護協会
助産師職能委員

3. 平田 吉喜
石川県看護協会
医療・看護安全対策委員

4. 櫻 さおり
石川県看護協会
教育委員

5. 山本 美保
石川県看護協会
選挙管理委員会

【恵寿総合病院 事務長 森下 毅】

1. 公益社団法人石川県診療放射線技師会
副会長

【恵寿総合病院 医療福祉相談課】

1. 岡崎 美穂
七尾市
介護認定審査会委員

【恵寿総合病院 医療秘書課】

1. 田中 瑞栄
北陸診療情報管理研究会
理事

【恵寿総合病院 理学療法課】

1. 井舟 正秀
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本神経理学療法学術大会査読員

2. 井舟 正秀
能登脳卒中地域連携協議会
能登脳卒中地域連携協議会幹事

3. 田中 秀明
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本運動器理学療法学術大会査読員

4. 田中 秀明
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本神経理学療法学術大会査読員

5. 田中 秀明
七尾市
七尾市介護認定審査委員

6. 田中 秀明
学校法人阿弥陀寺教育学園
国際医療福祉専門学校七尾校 非常勤講師

7. 久保 佳子
石川県教育委員会教育長
石川県立田鶴浜高等学校 非常勤講師

8. 久保 佳子
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本生活支援理学療法学術大会査読員

9. 桶 拓貴
公益社団法人 日本訪問リハビリテーション協会
日本訪問リハビリテーション協会学術大会査読員

【恵寿総合病院 作業療法課】

1. 川上 直子
金沢大学医薬保健学域保健学類
臨床講師

2. 川上 直子
七尾市
七尾市医療・介護連携推進委員会委員

3. 永井 亜希子
石川県作業療法士会
理事

4. 永井 亜希子
石川県立田鶴浜高等学校
非常勤講師

5. 小川 正人
七尾市
介護認定審査会委員

6. 高間 達也
七尾市
七尾市障害判定審査会委員

7. 高間 達也
専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
非常勤講師

【恵寿総合病院　言語療法課】

1. 諏訪 美幸
石川県失語症友の会
主任相談役

【恵寿総合病院　リハビリテーション教育研修センター】

1. 井舟 正秀
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本神経理学療法学術大会査読員
2. 井舟 正秀
能登脳卒中地域連携協議会
幹事

【恵寿総合病院　臨床栄養課】

1. 小蔵 要司
一般社団法人 日本リハビリテーション栄養学会
理事

【恵寿総合病院　臨床検査課】

1. 尾田　真一
石川県臨床衛生検査技師会
常務理事
2. 谷内 正人
石川県輸血合同療法委員会
委員

【恵寿総合病院　医療安全管理センター】

1. 谷田部 美千代
石川県健康福祉部医療対策課
石川県院内感染対策支援ネットワーク会議委員
2. 谷田部 美千代
石川県感染対策フォーラム
世話人

【恵寿金沢病院　病院長　上田　幹夫】

1. 日本血液学会
評議員
2. 日本輸血・細胞治療学会
評議員
3. 日本内科学会 北陸地方会
評議員
4. 北陸 HIV 臨床談話会
世話人
5. 石川県合同輸血療法委員会
顧問

【恵寿金沢病院　放射線課】

1. 武村　真弓
公益社団法人石川県診療放射線技師会
理事
2. 廣田　さおり
金沢市医師会
乳がん検診読影員会　委員

【恵寿金沢病院　薬剤課】

1. 髙倉　美穂
石川県病院薬剤師会がん治療委員会
委員

【恵寿金沢病院　看護部】

1. 藤川　裕美
公益社団法人　石川県看護協会
教育委員会　委員

【介護事業統括部門長　吉田　茂和】

1. 中能登町
中能登町介護認定審査会審査委員

【田鶴浜診療所・介護老人保健施設　鶴友苑】

1. 廣正　修一
石川県循環器学会
評議員
2. 廣正　修一
石川県老人保健施設協会
理事
3. 幸田 正広
七尾市
介護保険認定審査会審査員

【介護医療院　恵寿鳩ヶ丘】

1. 中瀬 利美
石川県介護福祉会
能登北部ブロック役員
2. 大崎 志帆
公益社団法人　日本理学療法士協会
日本地域理学療法学術大会査読員
3. 中西 こずえ
七尾市
七尾市介護認定審査会委員
4. 鵜野 誠
石川県介護福祉士会

石川県介護福祉士会理事

5. 形田 晃子
石川県介護福祉士会
石川県介護福祉士会理事

6. 岡本 尚士
七尾市
七尾市介護認定審査会委員

【ケアマネステーション恵寿】

1. 愛徳 誓城
石川県介護支援専門員協会
理事

2. 愛徳 誓城
石川県介護支援専門員協会
業務推進委員

3. 愛徳 誓城
社会福祉法人石川県社会福祉協議会
福祉総合研修センター
令和元年度 石川県介護支援専門員研修企画委員

4. 田辺 航也
石川県介護支援専門員協会
能登中部支部役員

5. 高塚 るみ子
七尾市
七尾市介護認定審査会 審査委員

【在宅複合施設 ほのぼの】

1. 諏訪 勝志
公益社団法人石川県理学療法士会
副会長

2. 諏訪 勝志
公益社団法人日本理学療法士協会
日本理学療法学術大会査読員

3. 諏訪 勝志
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師

4. 諏訪 勝志
国際医療福祉専門学校七尾校
教育課程編成委員

5. 諏訪 勝志
七尾市
在宅医療・介護連携推進協議会委員

6. 諏訪 勝志
七尾市
健康福祉審議会 高齢者福祉分科会委員

7. 諏訪 勝志
七尾市
地域密着型サービス運営委員

8. 諏訪 勝志
七尾市介護保険事業者連絡会
介護保険事業者連絡会 会長

9. 諏訪 勝志
中能登町
介護認定審査会審査委員

【苑長 今寺 忠造】

1. 全国身体障害者施設協議会
常任協議員

2. 一般社団法人 日本作業療法士協会
代議員

3. 石川県障害者施策推進協議会
石川県自立支援協議会 委員

4. いしかわ介護・福祉人材確保対策推進協議会
委員

5. 石川県社会福祉協議会
石川県身体障害者施設部会 副部会長

6. 公益社団法人 石川県作業療法士会
顧問

7. 七尾市・中能登町自立支援協議会
会長

8. 七尾市自殺対策委員会
委員

9. 七尾市社会福祉協議会
委員

10. 特定非営利活動法人 七尾鹿島手をつなぐ育成会
顧問

【青山彩光苑リハビリテーションセンター】

1. 瀧野 利徳
全国身体障害者更生施設長会
幹事

2. 瀧野 利徳
中部ブロック身体障害者更生援護施設長協議会
会長

3. 瀧野 利徳
七尾市
健康福祉審議会障害者福祉分科会 委員

4. 瀧野 利徳
七尾市
総合福祉施設協議会 幹事

5. 瀧野 利徳
七尾市・中能登町
地域自立支援協議会定例会 委員

6. 瀧野 利徳
七尾市民健康福祉まつり 市民委員

7. 久保 奈保

石川県
サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者研修
企画委員

【さいこうえんの障害者生活支援センター】

1. 前田 晋
   独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構
   石川障害者職業センター
   精神障害者雇用推進連絡協議会 委員
2. 前田 晋
   独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構
   石川障害者職業センター
   発達障害者雇用推進連絡協議会 委員
3. 澤村 麻紀
   石川県教育委員会
   特別支援学校就労サポーター

【青山彩光苑ライフサポートセンター】

1. 米田 直美
   七尾市
   障害支援区分認定審査会 委員
2. 前田 奈津子
   石川県社会福祉協議会
   障害科目等検討部 委員
3. 嶋田 紀依
   石川県
   介護・福祉の仕事の魅力伝道師

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

1. 細木 俊逸
   石川県相談支援専門員協会
   理事
2. 細木 俊逸
   石川県
   自立支援協議会 委員
3. 細木 俊逸
   奥能登地域自立支援協議会
   会長
4. 細木 俊逸
   輪島市
   障害支援区分認定審査会 委員
5. 細木 俊逸
   石川県社会福祉法人経営者協議会
   青年部 副代表幹事

【石川県精育園】

1. 池田 まり子
   穴水町
   障害支援区分認定審査会 委員
2. 田中 こず恵
   石川県
   相談支援従事者初任者研修 企画委員
3. 田中 こず恵
   石川県
   主任相談支援専門員養成研修 企画委員

【エレガンテなぎの浦】

1. 藤澤 優子
   七尾市
   障害支援区分認定審査会 委員

【エレガンテたつるはま】

1. 山外 初美
   田鶴浜地区社会福祉協議会 理事

【事務局】

1. 畑中 浩樹
   石川県社会福祉法人経営者協議会
   青年部 広報部 委員
2. 畑中 浩樹
   七尾鹿島安全運転管理者協議会
   理事

【健康増進センターアスロン】

1. 一谷 真澄
   七尾市
   健康福祉審議会保健医療分科会 委員

メディア出演

FM ラジオななお「ほっとたいむ」 出演者：理事長　神野 正博

放送年月日	放送内容	放送回数
2019.4.1	生活支援サービス	1,141
2019.4.8	悪い姿勢が招く「隠れ酸欠」 呼吸筋ほぐして深い息に	1,142
2019.4.15	脱腸の話 そけいヘルニア	1,143
2019.4.22	ふくらはぎは第二の心臓	1,144
2019.4.29	アポトーシス（あらかじめプログラムされた細胞寿命）	1,145
2019.5.6	血糖スパイク	1,146
2019.5.13	歩くとき、股関節には体重の何倍の負荷がかかる？	1,147
2019.5.20	食中毒、実は多い鶏肉由来　焼き鳥も要注意	1,148
2019.5.27	やっかいな爪水虫	1,149
2019.6.3	家族性高コレステロール血症	1,150
2019.6.10	男性の骨粗鬆症	1,151
2019.6.17	食後の血糖値どれが一番低い？ビール・日本酒・芋焼酎	1,152
2019.6.24	夏バテ防ぐミネラル補給 しっかり 3 食、バランス重視	1,153
2019.7.1	乾癬　10 年で治療が進化	1,154
2019.7.8	梅雨時になぜか頭痛やめまい	1,155
2019.7.15	夏バテ撃退は腸内環境から	1,156
2019.7.22	しびれいろいろ	1,157
2019.7.29	たかが虫刺されと侮らない	1,158
2019.8.5	ゲーム障害、無理やり禁止は NG　子どもがルールを	1,159
2019.8.12	寝苦しい夏の夜　心地よく眠るには	1,160
2019.8.19	夏は注意、尿路結石いつもの 2 倍　就寝前トイレも対策	1,161
2019.8.26	あせも・汗かぶれ　大敵は乾燥、猛暑でもしっかり保湿	1,162
2019.9.2	夏の目の充血や目やに、感染症かも　高齢者も注意	1,163
2019.9.9	足裏の力	1,164
2019.9.16	あの場所のホクロが大きくなってきた	1,165
2019.9.23	肌のシミ、たるみで老け見え　原因は「糖化」かも	1,166
2019.9.30	30 中高年に忍び寄る大腸憩室出血 食生活改善で予防　排便に注意	1,167
2019.10.7	冷えが招く秋むくみ	1,168
2019.10.14	気温低下は要注意　いきなり痛む五十肩を運動で防ぐ	1,169
2019.10.21	AYA 世代がん患者、2 年で 5 万 7 千女性が男性の 3.5 倍	1,170
2019.10.28	AI（人工知能）の時代	1,171
2019.11.4	「口臭の強い女性、男性の 2 倍」 ホルモンに原因あり	1,172
2019.11.11	アスリートこそ腸内細菌　競技ごとに違い、戦績も左右	1,173

放送年月日	放送内容	放送回数
2019.11.18	「歩きやすい街」で高齢者を健康に。政府も後押し	1,174
2019.11.25	Foot 活プロジェクト始動	1,175
2019.12.2	一見「風邪」だが実は違う　受診すべき６つの症状	1,176
2019.12.9	悪い姿勢が招く「隠れ酸欠」呼吸筋ほぐして深い息に	1,177
2019.12.16	ドライアイ最大の原因は涙の油不足　脂質異常なら注意	1,178
2019.12.23	冬の肌のかゆみを招く、３つの“ぱなし”とは？	1,179
2020.1.6	年頭にあたって	1.180
2020.1.13	“孤独な男性”は認知症リスクが高い？	1,181
2020.1.20	隠れ貧血	1,182
2020.1.27	隠れ肥満にご用心	1,183
2020.2.3	慢性の腰痛は「痛くても動け」 新診療指針は強く勧める	1,184
2020.2.10	寒い日が憂鬱なのは甲状腺の病気のせいかも!? 女性に多い「甲状腺機能低下症」って？	1,185
2020.2.17	飲み過ぎ、食べ過ぎと逆流性食道炎	1,186
2020.2.24	胸痛いろいろ	1,187
2020.3.1	新型コロナウイルス	1,188
2020.3.9	飲酒は血圧を上げる？　下げる？	1,189
2020.3.16	腰痛を引き起こす「脊柱管狭窄症」は、どんな動作が NG？	1,190
2020.3.23	感染症の時代だからこそ、、、腸と免疫	1,191
2020.3.30	高齢者の心不全	1,192

FM ラジオななお「安心マイライフ」

放送年月日	放送内容	出演者
2019.4.1	介護施設の申し送りシステムについて①	吉田 茂和
2019.4.8	介護施設の申し送りシステムについて②	
2019.4.15	介護施設の申し送りシステムについて③	
2019.4.24	病院長に就任して	鎌田 徹
2019.5.8	病院長に就任して	
2019.5.15	看護外来について①	前濱 静香、松下 逸子、山田 志都子
2019.5.22	看護外来について②	
2019.5.29	看護外来について③	
2019.6.5	健康管理センターについて	上野 恭一、武田 洋和
2019.6.12	PET-CT 健診について	
2019.6.19	血液でできるがん検査について	
2019.6.26	防災の取り組みについて①	松木 尊紀法
2019.7.3	防災の取り組みについて②	
2019.7.10	臨床研修センターについて	

放送年月日	放送内容	出演者
2019.7.17	AI 問診の導入について	森下 毅
2019.7.24	実際に AI 問診を体験してみよう	
2019.7.31	脳活アイスについて	神野 厚美
2019.8.7	恵寿こころの相談室について	
2019.8.21	一次救命処置について	松木 尊紀法
2019.8.28	AED の使い方について シミュレーターで実践	
2019.9.4	腹膜透析について①	宮竹 敦彦、菅野 則之、栃原 さとみ
2019.9.11	腹膜透析について②	
2019.9.18	特殊透析について	
2019.9.25	乳がん検診について	林 圭子、寺田 晃子
2019.10.2	骨粗しょう症の検査について	赤坂 正明
2019.10.9	白癬について①	坂田 祐一
2019.10.16	白癬について②	
2019.10.23	看護外来について	川端 望
2019.10.30	糖尿病について	川端 望
2019.11.6	認知症看護外来について	高柳 由香里
2019.11.13	認知症について①	
2019.11.20	認知症について②	
2019.12.4	一本杉 Café について	高木 ひとみ
2019.12.11	ケアマネステーションについて①	高松 由紀子
2019.12.18	ケアマネステーションについて②	
2019.12.25	1 年の振り返り	進藤 浩美
2020.1.8	新年のご挨拶	鎌田 徹
2020.1.15	めぐみ・レンタルステーションについて①	山本 由美子、谷 伸悟
2020.1.22	めぐみ・レンタルステーションについて②	
2020.1.29	Foot 活体操について	神野 厚美
2020.2.5	Foot 活サンダルについて	
2020.2.12	活躍プロジェクトについて	
2020.2.19	ジェノプランについて①	進藤 浩美
2020.2.26	ジェノプランについて②	
2020.3.4	ローレルハイツ恵寿 5 周年について①	内田 かおり
2020.3.11	ローレルハイツ恵寿 5 周年について②	
2020.3.18	新型コロナウイルスについて①	山﨑 雅英
2020.3.25	新型コロナウイルスについて②	

テレビ放送（董仙会）

放送年月日	放送内容	放送番組
2019.6.4	ハローベイビー連動企画 “命が生まれる現場”を体験	石川テレビ「プライムニュース」
2019.7.1	AI 活用した問診システム導入	NHK「かがのとイブニング」
2019.7.1	AI 問診を北陸初導入	MRO「レオスタ」
2019.8.18	溶けないアイスが医療を救う	テレビ東京 「チェンジ・ザ・ワールド－未来を築く志－」
2019.11.12	足を元気に！フレイル予防	北陸朝日放送「スーパーJ チャンネル」
2019.11.12	足から健康に！フレイル予防	MRO「レオスタ」
2019.11.25	車いすで金沢を旅 写真展	北陸朝日放送「スーパーJ チャンネル」
2020.1.14	病院に新サービス導入	北陸朝日放送「スーパーJ チャンネル」
2020.1.14	「透析データ」が PC・スマホに	MRO「レオスタ」
2020.3.6	七尾 医師や看護師の子供預かり始まる	NHK「かがのとイブニング」
2020.3.16	中国から病院へ善意届く 高性能マスク 10,00 枚寄付	北陸朝日放送「スーパーJ チャンネル」

テレビ放送（徳充会）

放送年月日	放送内容	放送番組
2019.9.17	青山彩光苑 能登島小学校交流～車椅子体験～	NHK「かがのとイブニング」
2019.11.12	足を元気に！フレイル予防	北陸朝日放送「スーパーJ チャンネル」
2019.11.12	足から健康に！フレイル予防	MRO「レオスタ」
2019.11.29	穴水地区施設（穴水ライフ、精育園）の地域貢献事業	北陸朝日放送「スーパーJ チャンネル」
2019.11.25	車いすで金沢を旅 写真展	北陸朝日放送「スーパーJ チャンネル」

雑誌・書籍等掲載（董仙会）

タイトル	著者・掲載誌名・巻・号・頁
“恵寿式”地域包括ヘルスケアサービス	日本サービス大賞受賞事例集 第 1 回・第 2 回版:42-43,2019.
社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	松井 拓己（2019）日本の優れたサービス 2：206-208,生産性出版



2019 年 9 月 21 日　TQM 発表大会



第 6 章

KEIJU MONTHLY LETTER

No.204
発行日：2019.4.1

TSUNAMI～令和の時代

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

いよいよ平成も最後の月となる。改めて、すでにこのマンスリーの年頭で書いた「平成」の謂れである。「内**平**らかに外**成**る（史記）、地**平**らかに天**成**る（書経）」と願いが込められた。

太平洋戦争を少年期に経験された平成天皇の平和を祈る強いお気持ち、そして精力的な鎮魂の旅にもかかわらず、平成の始まりに湾岸戦争が勃発し、その後の中東での混乱、あるいは9.11を代表とするテロの脅威が世界を襲った。「内平らかに外成る」だったのだろうか。

一方、わが国では、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、加えて 12 年前の能登半島地震など地は揺れた。そして、世界的な温暖化に対する無策からか天は荒れ、豪雨災害が人々の生活を破壊した。「地平らかに天成る」だったのだろうか。

この 30 年に区切りをつけた令和の時代となる。日本は年号のおかげで、区切りを付けることができる。新天皇を象徴として新規一転の気持ちがわれわれの中にある。

3 月 19 日にマレーシアの首都クアラルンプールで開催された ASEAN Healthcare Transformation Summit 2019 に招待された。ASEAN 諸国を中心にしたカンファレンスだが、オーストラリア、韓国から、そして日本から私が講演を担当した。

冒頭、マレーシアの厚生大臣 Dzulkefly Ahmad 氏の基調講演では、医療の IT 化が遅れている同国で、3 年以内にマレーシア全土において政府主導で病院共通の電子カルテ導入を宣言した。ほぼゼロからの構築、また既存権益がほぼないところからの構築だけに、いきなりのあるべき、かつ廉価な先進システム導入の可能性にぞくぞくしてしまった。

私の方は講演の中で、日本の少子高齢社会を高齢化の TSUNAMI とし、それはこれから高齢化が進む韓国、シンガポールなどの国々にとっても深刻な問題であること、



ASEAN Healthcare Transformation Summit 2019会場で
マレーシア厚生大臣・Dzulkefly Ahmad氏と
（2019.3.19　クアラルンプールにて）

そして世界一の高齢社会を迎える日本を注目すべき Look East!を訴えた。

*主な ASEAN 諸国の高齢化率（2017 年）：シンガポール 12.9%、タイ 11.4%、ベトナム 7.2%、マレーシア 6.3%、インドネシア 5.3%、フィリピン 4.8%

その上で、さらに日本の中でも高齢化先進地域である能登における恵寿のミッション『先端医療から福祉まで「生きる」を応援します』の具現化としての統合した ICT システムやヒューマンインターフェイスとしてのコールセンター、生活支援事業などを紹介し、講演後には多くの注目を浴びた。

戦後の高度成長期から続くバブル期に迎えた平成から、経済成長が鈍化し、高齢化の TSUNAMI を迎える令和となる。これまでの社会の常識や価値観が劇的に変化するパラダイムシフトが求められる。社会あっての医療であり、医療というセーフティネットあっての社会である。その中で、私たちは、規制や既得権益をも打ち破る気概をもって時代を切り拓いていきたく思う。

No.205
発行日：2019.5.1

5G の衝撃

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

平成がアナログからデジタルへの橋渡しの時代であるなら、令和は高速デジタルがわれわれの社会を、生活を変える時代かもしれない。

2019 年 4 月 3 日、どちらが世界初か詳細は分からないが、予定を前倒しして米国のベライゾン・コミュニケーションズと韓国の 3 社 SK テレコム、KT、LG ユープラスは第五世代（5G）移動通信システムを開始した。

同月 10 日に、日本の総務省はドコモ、KDDI(au)、ソフトバンク、楽天に 5G 電波の割り当てを認め、本年秋から試験的運用を開始し、2020 年から本格的に商用化されるという。この 5G を巡って、ファーウェイの問題、あるいは Apple と Qualcomm の和解などニュースに事欠かない。

何といっても現行の 100 倍の「**高速大容量通信**」、1 平方キロ当たり 100 万台の端末という「**多数同時接続**」、そして 1000 分の 1 秒程度という通信による時間のずれが少ない「**低遅延**」の 3 点が主な特徴とされている。

＜携帯通信規格の世代交代＞　日本電信電話公社（現 NTT）が 1979 年、音声通話ができるアナログ方式の第 1 世代（1G）移動通信システムの提供を開始。デジタル化した 2G が 93 年から導入され、メール送受信などが可能になった。2001 年前後に始まった 3G では音楽や写真を楽しめる環境が整い、その後に高速通信 LTE サービスで動画視聴も円滑なスマートフォン時代が到来。14 年の 4G 開始でさらに高速化した。5G の登場により、通信速度は当初と比べ約 10 万倍になる。(東京新聞 Web 版 2019.4.10 より)

5G を活用することで私たちのデジタル生活も、そして医療も大きく変わるに違いない。まずゲーム専用機は消え、高速通信によるクラウド型のゲームとなるだろう。たくさんの



センサーから 5G 通信によってデータが集められ、かつ遅延なく意思を伝えることによって、自動運転の車だけではなく建設現場や危険作業の現場での遠隔操作も可能となるだろう。

身体が不自由な障がい者や高齢者でも、アバターを使って、世界のどこでも旅行が可能になるだろう。学校や会社に出勤するのもアバターになるかもしれない。翻訳の世界では、高速、遅延なしということで、クラウド AI を利用した同時通訳が当たり前となろう。

そして、医療である。センサーの発達と多数のセンサー取得データの解析によって、遠隔診療は当たり前のものとなる。しかも、それらセンサーで取得したデータを神羅万象、全世界の論文を網羅した AI に照会することにより人間の医師以上に正確な診断が可能となるだろう。また、遅延性のない通信は、正確な手技を可能とし、遠隔手術も容易となろう。

この高速デジタル時代・令和では、われわれは過去の経験・知見にとらわれることのない柔らかい頭をもって、技術革新に臨んでいかねばならないようだ。

No.206
発行日：2019.6.3

氷山の一角

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

氷山といえば、北大西洋で 1912 年に起きたタイタニック号沈没事件を思い起こす。戦時を除くと 20 世紀最大の海難事故だ。もちろん、1998 年にアカデミー賞を総なめにしたジェームズ・キャメロン監督、レオナルド・ディカプリオ、ケイト・ウィンスレットによる悲劇のラブロマンスとセリーヌ・ディオンが歌い上げる主題歌「マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン」がこの出来事を記憶に残るものとする。

事故の原因には様々な憶測が語られるが、本質的には「氷山をなめてかかった」といわざるを得ない。水上の小さな氷山の下には大きな氷山が潜んでいることは周知である。氷は、全体のほんの一部が水面に出ているだけで、90%以上は水面下にあるのだ。そこで、「氷山の一角」という言葉はいろいろな事象に例えられる。

例えば、「摘発された汚職は氷山の一角にすぎない」「表を見ると児童虐待の報告数は、年々増えているが、この報告件数は、氷山の一角だという。」など、よく見る表現だ。

製造業や医療現場における安全管理ではハインリッヒの法則が有名だ（下図）。1 ：29：300 の法則として「１件の重大災害（死亡・重傷）が発生する背景に、29 件の軽傷事故と 300 件のヒヤリ・ハットがある。」される。したがって、たくさんのヒヤリ・ハットを明らかにして、その原因をつぶしていくことで 1 たる氷山の一角を未然に防ごうとするものなのだ。

また、われわれの行動、意思決定や理性といわれるものを氷山の一角とするならば、その行動に至るまでの潜在意識としてのあらゆる記憶、思考パターン（思い癖）、主観、人格、使命感、喜び、はたまた恐れが水面下に存在するに違いない。人の行動は心の奥底にある意識によってもたらされるが、普段は水面に浮かんだ氷山のように一部分だけしか見えない。水面下の潜在意識に基づいていることを理解すれば、行動の本質が見えてくるかもしれないといわれる。

さらに、氷山の一角を画期的なイノベーションとするならば、それはある日突然沸いてくるものではない。水面下には、その業務のプロとしての問題意識や日頃の気づき、そして改善事例があるに違いない。こういった積み重ねがイノベーションを生むのだとも思われる。

こういった、事故にせよ、行動にせよ、イノベーションにせよ、すべては氷山の下、水面下に対していかに心を配るか、マネジメントするかにかかっていると思う。いわゆる日の当たらない縁の下かもしれないが、水面下がなければ、一角も存在しない。その部分を丁寧にリスペクトしていく心構えが必要だろう。



氷山（大きな失敗）は海面下に巨塊（小さな失敗）が隠れている
「ハインリッヒの法則」仕事における失敗の発生確率は【1 ：29 ：300】

No.207
発行日：2019.7.1

人生 100 年時代

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの無職の世帯では毎月の不足額の平均は約 5 万円であり、まだ 20～30 年の人生があるとすれば、不足額の総額は単純計算で 1300 万円～2000 万円になる。この金額はあくまで平均の不足額から導きだしたものであり、不足額は各々の収入・支出の状況やライフスタイル等によって大きく異なる。当然不足しない場合もありうるが、これまでより長く生きる以上、いずれにせよ今までより多くのお金が必要となり、長く生きることに応じて資産寿命を延ばすことが必要になってくるものと考えられる。重要なことは、長寿化の進展も踏まえて、年齢別、男女別の平均余命などを参考にしたうえで、老後の生活において公的年金以外で賄わなければいけない金額がどの程度になるか、考えてみることである。

この文章に違和感を覚えるだろうか？目新しいことを言っているのだろうか？これこそ、金融庁の「金融審議会市場ワーキング・グループ報告書」（6 月 3 日）の 21 ページ「2.基本的な視点及び考え方」からの抜粋だ。

この内容が SNS ばかりかワイドショー、さらには国会までで取り上げられる。「2000 万円を自助努力で準備しろというのか！」「年金保険料を払わせるだけ払わせておいて、もらえないのは詐欺だ！」という議論だ。今月の参議院議員選挙にも影響しそうな勢いとなっている。

そもそも、年金は、生命保険のような掛け金ではない。今の現役世代が今の年金世代を支えてくという社会システムだ。日本国憲法で護られた最低限の生活を営む生活権のための「補償」なのだ。

人生を、教育→仕事→引退の 3 つのステージとし、引退後は悠々自適の生活をする。悠々自適の生活には、それぞれの価値観と多様性がある。また、都会に住んでいれば家賃、住宅ローン、共益費、交通費など高額だ。旅行、グルメ、趣味、スポーツなど、ものによっては金もかかる。それぞれの価値観、生活感の中、年金で間に合う人、間に合わない人、多様性があるということだろう。しかし、果たして、引退後は、たっぷりとした余暇時間があって、散歩や旅行に庭いじり、時に孫と遊ぶ生活を人生 100 年時代に、続けることができるのか。金の問題よりも、人生の潤いはあるのだろうか。


金融審議会 市場ワーキング・グループ報告書
「高齢社会における資産形成・管理」
令和元年６月３日
https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/tosin/20190603/01.pdf

人生 100 年時代の今、この 3 つのステージの考え方を変えていく必要があろう。マルチステージの考え方だ。労働力不足時代に、引退という考え方も変えていく必要がある。様々なステージで自分のスキルと健康・体力に見合った仕事をする。それが社会参加の自負と生きがいにもつながっていくように思う。

次のステージにできる仕事があるか？それは、現役時代に自分の仕事に、どれだけ懸命に向き合い、創意工夫を重ねたかにかかる。次のステージで、現役時代と同じスキルではないかもしれない。ことは、物事に真剣に向き合う姿勢があるかということではないだろうか。そのプロセスの成功体験と頑張りが、次の潤いのある人生につながっていくように思ってならない。

No.208
発行日：2019.8.1

むきゅう芸人とむきゅう医

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

なんだかわからないが、吉本興業のごたごたが続きワイドショーばかりかニュース番組もにぎわす。反社会的勢力との闇営業問題が発端となり、6,000 人の芸人を抱える吉本興業の組織運営、コーポレートガバナンス、企業倫理、企業の社会的責任（CSR）まで飛び出す。そもそも、雇用契約がないことが大きな問題としてささやかれているのである。さらにはこれまで彼らが言う安い給料で働かされている芸人の不平不満まで飛び出し、まさに「エライコッチャ」だ。

しかし、芸は生産工場ではない、また画一的な事務作業でもない。いかに才能の有無とはいえ、一発芸タレントは、一瞬にして廃れる事例は多々見る。芸を学ぶには、師匠に付き、寝食を忘れ修練する。まさに、無休で無給の時期を耐えなければならないだろう。

きちんとしたカリキュラムの下、確かな指導者の下で学習し、演習し、実習して、人を唸らせる芸が誕生するとは思えない。そして、そんな芸に金を払う谷町もいないと思う。

そういえば、吉本の芸人だけではなく、一角の名の売れた芸能だって、芸妓だって、料理人だって、さらには相撲や数々のプロスポーツ選手だって、才能に加えて、血がにじむような努力が根底にあるに違いない。

そして、最近の話題は無給医だ。文部科学省は 7 月 28 日、労働として診療を行っているのに給与が支払われない無給医が、50 の大学病院に計 2,191 人いたと発表した。もちろん、氷山の一角という意見もある。1 万円でも給与が支払われていれば、有給医となるわけで、どこまでが実態かといえばお寒い統計であろう。無給であるということは、労働契約もなされておらず、当然、働き方改革など労働時間制限もない。とすれば、こちらも無休で無給である。

医師の働き方改革の問題は、医療という人の生命を扱う場面で、過重労働で疲れ果てている医師に診てもらいたくないという感覚から、そして人の健康を護る医師の健康があってこそ診療ができるという考え方から生まれてきたものであろう。



涙の会見、、、

ならば、交代勤務に耐えるだけの医師需給数の確保とともに、その後ろ盾となる、給与の原資を手当てする、すなわち診療報酬上の技術料の評価が必要であろう。

東京大学病院には 1,000 人を超える医師が、慶應大学病院医は 900 人の医師が勤務する。おそらく、これら医師すべてに十分な手当を支給する診療報酬収入はあり得ないし、研究費の支給もあり得ないと思われる。

芸人と医師を一緒にすると、お叱りを受けるかもしれない。ただ、今後、修業時代の手当て、労働時間、そして一人前になった時のインセンティブ（プラスもマイナスも）を管理していくことが時代の流れとなりそうである。

No.209
発行日：2019.9.2

PPSDCA サイクルのすゝめ

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

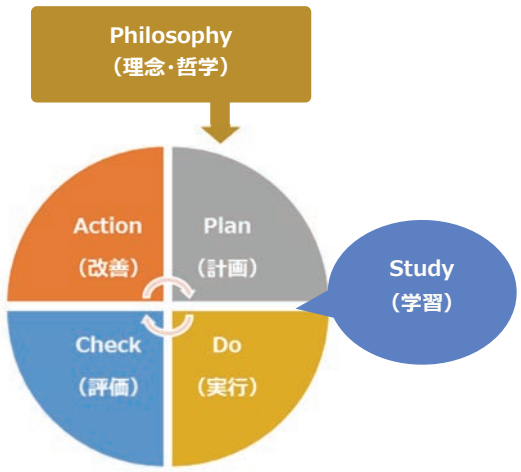
今さらこの業界で PDCA を聞いたことがないは勘弁してほしい。PDCA サイクルとは、Plan(計画)・Do(実行)・Check（評価）・Action（改善）を繰り返すことによって、生産管理や品質管理などの管理業務を継続的に改善していく手法のことであり、病院の運営においてはこのサイクルを回すことによって、計画実施が検証され、改善がおこなわれている（はずである）。

子供たちには、夏休みの宿題攻略の計画を立て（Plan）、計画に則って実行し（Do）、そして、その完成度を評価（Check）し、不十分な点や改善点を見出し（Action）、改めて改善計画をたてる（Plan）。はずである。しかし、私の幼少期を含めて多くの子供たちは夏休みの終わりに尻に火が付いたように慌て始める。そのようなやっつけ仕事では、Plan、Do で終わる。

親から宿題をやったか問われれば、「全部やったよ」というわけだ。まだ、期限内に自分の力でやっただけましかもしれない。しかし。これを「やっただけ」という。中身の検証がないのである。C と A がない。宿題の質、あるいは問題に正答しているかどうかはお構いなしである。まさに「やった」と「できた」は異なるのだ。

よもや、大人の仕事ではそんなことはないでしょうな。。。やったことで中身の検証なく自己満足していないか。やっつけ仕事の成果物を最終成果としていないか。丁寧な検証と改善を面倒がっていないか。万が一！そんなことが横行しているならば、ビジネスに関わる万人が知っている PDCA サイクルという仕組みの方に問題があることになる。

そこで、PSDCA サイクルである。Do の前に、Do を行うための学習・研修(Study)を行うことを入れてみる。Do



を行うにも流儀があるはずである。流儀を学習しないことには、定型業務はできない。

さらに、もう一つおまけとばかりに頭に P を付け、PPSDCA サイクルとする。Plan の前に、Philosophy である。すなわち、理念や哲学である。子供ならば、なぜ夏休みの宿題が必要なのか、理解させることから始める。無理やり強いても子供は嫌になるばかりだし、夏休み明けの不登校問題など心の病の元凶にもなるかもしれない。わが業界でも、やりたい医療・介護、なりたい姿がないままに Plan を立てても、身の入らない自己満足の Plan になるしかない。その上で、外部環境や内部環境を十分に考えながらの Plan であるべきとは言うまでもなかろう。

絶えず、理念を見据えながら、理念に沿った仕事を実行し、弛まない検証と見直しのサイクルを確立する。そんな組織を目指していきたい。

No.210
発行日：2019.10.1

微分・積分

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

お馴染みのアップル社のりんごのマークは、ニュートンがリンゴの木の下で万有引力の法則を発見したという故事に由来。また、りんごがかじられているのは、パソコンの容量を表す単位のバイト(byte)が、英語の他の意味ではかじる(bite)になり、これと引っ掛けたそうだ。

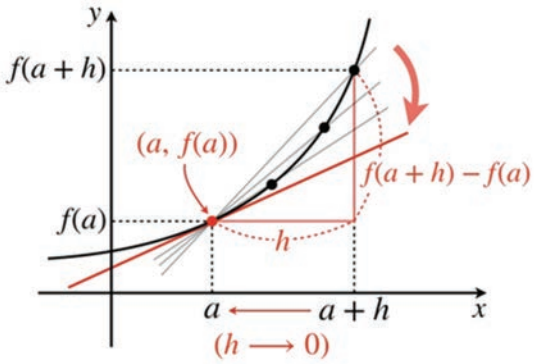
このアイザック・ニュートン（1642～1727）、リンゴの話だけではない。自然哲学、数学、物理学、天文学、錬金術、神学、キリスト教神学、経済学に長け、運動力学のための微積分法の発見という輝かしい業績を持つ。

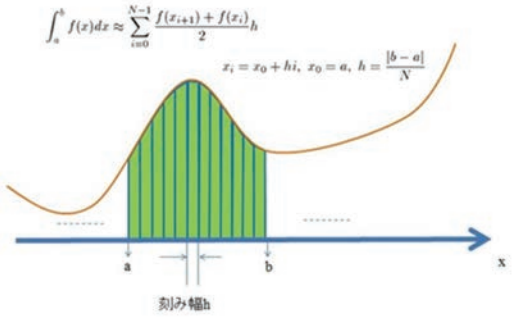
とすれば、ニュートンが微分・積分を発見しなければ高校の数Ⅱや大学入試で苦労することはなかったのにと思ってしまう。しかし、微分・積分がなければ、電気は通らず、スピードメーターは機能せず、建物や橋の設計はできないし、株価のチャートでトレンドの把握はできないのだ。

“微分とは、チリのように目に見えない小さなものを顕微鏡で見ようとすること。積分とは、まさに「ちりも積もれば山となる」のように、そのチリを目に見えるくらいたくさん積み重ねようとすること”（「難しい数式はまったくわかりませんが、微分積分を教えてください！」たくみ著、SB クリエイティブ 、2019/5/18 より）らしい。

さて、先日、名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究センター　センター長である水野正明教授のお話を伺った。これまでの西洋医学に基づく医学・医療は、より細分化、専門分化してきた。それが、診療科の分化、専門化であり、さらには疾病や異常を、細胞レベルから遺伝子レベルの解析にまで深化させてきた。まさに「微分の医療」とする。

一方、東洋医学は「気・血・水」といったコンポーネント





から人全体を概観する医療、まさに「積分の医療」かもしれない。

これからの病院機能を疾病治療ばかりではなく、未病・予防であるとすると、より細分化していく「微分の医療」から人全体を概観する「積分の医療」への転換が重要かもしれない。

何も今の病院で、医療界の趨勢である西洋医療をやめるということではない。これまで蓄積されてきた英知や最新のゲノム解析までに至る知見である微分を、全人的な積分につなぐ役割としての総合診療医、ツールとして ICT や AI に期待が高まるのである。

No.211
発行日：2019.11.1

巨大隕石

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

約 6550 万年前、小惑星バプティスティナが他の小惑星と衝突し、分解してできた直径 10 キロほどの隕石が、メキシコのユカタン半島近くに衝突した。巻き上げられた大量のチリは太陽光を遮り"衝突の冬"が訪れた。10 年ほど続いた"冬"の間に植物は枯れ、続いて草食恐竜が死に絶え、肉食恐竜も絶滅していったという。地球上でわが世の春を謳歌してきた巨大生物の絶滅の物語だ。

この巨大隕石と同じようなものがその後も地球上に降りかかる。「インターネットは隕石だ」。1995 年にソニー社長に就任した出井伸之氏は当時、日本の産業界にこんな警鐘を鳴らしていた。その予想は的中し、ネットへの対応が遅かった日本が世界に誇った電機産業はソニーもろとも崩れ落ちた。アップルやグーグルなど米 IT 大手が新たな支配者として産業界に君臨する。

さらに、新たな巨大隕石が、日本の基幹産業である自動車業界を直撃しようとしている。CASE と呼ばれる Connected（つながる）、Autonomous（自動運転）、Shared & Service（シェア）、Electric（電気）の席捲だ。これまでの車の概念から異なったものが誕生しようとしている。特に、電気自動車の礎となるリチウム電池の発展には、先日ノーベル化学賞に選ばれた吉野 彰・旭化成名誉フェローの貢献は多大なものがあるものの、すでにわが国の電気自動車の販売は中国、米国、欧州に大きく後れを取っている。電気自動車そのものの価値も移動手段だけではなく、移動蓄電池となっていくようである。

そして、病院には隕石は落ちないのか。最も大きな隕石は人口問題である少子高齢化・人口減少だろう。2025



年以降の高齢化は高齢者数の増加ではなく、生産年齢の減少によって率が上がる。人口が減少しても、有病率の高い高齢者の増加に対応して病院は機能を強化してきた。その時代もこの隕石によって終わろうとしているのかもしれない。

今後、激しい人口減、患者減の中で、病院はどれだけの機能を維持し、どれだけをダウンサイジングし、どこを転換させていくのかという選択を迫られる。9 月に発表され、物議を醸しだした公立・公的病院再検証 424 病院の意味にもここにあることだろう。病院はこれまでの病院から別の形態、「病」院から「生活」院への変態を模索する必要があるかもしれない。

もともと人の生涯（＝人生）の中で、「病」が優位になるところはほんの一時期だけであろう。人生の大部分は、社会生活であり家庭での生活ということになる。巨大隕石から生き残るためには、従来の仕事の中身や仕事のやり方に捉われないライフ産業として生活にかかわる病院の形が必要かもしれない。

No.212
発行日：2019.12.2

スマートホスピタル

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

日本の社会が大きく変わってきた。その根本は少子高齢・人口減社会の到来という人口問題だ。お客の減少と働き手の不足が深刻だ。身の回りでも早くから銀行の再編統合が起こり、多くの銀行の名前と支店が消えていった。全国で街中の商店街は縮小しシャッター通りが増えてきた。最近ではわが世の春を謳歌したコンビニエンスストアさえ業態の見直しが発表されている。

一方、病院のお客たる患者は有病率の高い高齢者が中心である。そういった意味で、人口減はあるものの高齢者が増加してきたこれまでは、他の産業ほどお客の不足は深刻ではなかった。だから、国が地域医療構想をかざして病院の再編・統合を求めても、多くの病院は現状維持で前に進もうとはしなかった。しかし、人口予測では、団塊の世代が 75 歳を迎える 2025 年までは高齢者の増加が社会の問題であるものの、2025 年を過ぎると高齢者の増加は頭打ちとなり、生産年齢人口の減少が大きな社会問題となるのである。さらに、その先の 2040 年が過ぎると、若年者人口だけではなく、高齢者人口も減少の一途をたどると予測される（図）。

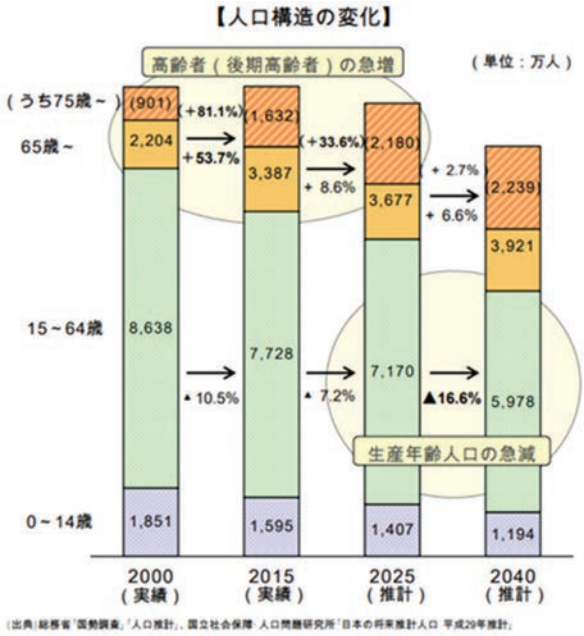
したがって、病院の正念場はこの 2025 年以降にどのようなサービスを提供して自らの経営を持続可能性のあるものにするのか、同時に働き手が減少する中でいかにして生産性の向上、効率化を実現していくのか。。。それまでに病院の姿をこれまでのままでいいのか、変えていかねばならないのか、各々の病院のビジョンを明確にしていかねばならないだろう。

日経 BP 社が発行する雑誌『日経コンピュータ 2019.11.28 号』の特集は、

AI が救う命

「スマートホスピタル」最前線

と時代の最先端の内容だ。迫る「2025 年問題」の処方箋はデータ集積とする。そして、



“ケガや病気の時だけではなく、健康なうちから病院と関わることが当たり前になる－。

今、日本の病院が変わり始めている。主役は AI(人工知能)などの先端技術を駆使し、院内に蓄積した医療・健康データを積極的に活用する病院「スマートホスピタル」だ。従来の「治療」のみならず、地域住民の健康を維持する「予防」の拠点を目指す。“

と明解な方向性を示す。

これまで、急性期、回復期、慢性期など様々の病期に対応する病院をケアミックス病院と呼んでいたが、この「スマートホスピタル」となると、病院前の未病から、病院後のフォローまでを、さらに健康のもととなる生活支援まで取り込んだヘルスミックス病院を目指す方向性を示しているようだ。これこそ、これまで主張してきた QOL の Life を「生命」も「生活」も含めた「人生」として、「生きる」を応援するという私たちのミッションにつがるものかもしれない。

No.213
発行日：2020.1.6

年の初めに未来を語る

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

謹賀新年

令和 2 年が幕を開けた。気候変動に伴う天災が少ない年になるよう願うばかりだ。そして「令和」の英意、beautiful harmony（美しい調和）の通り、日本社会が、世界社会が調和し、平和な世の中であることも願いたい。

1 年先だって読めないことがたくさんある。まして、5 年先、10 年先なんてとんでもない。経済や景気の予測などは然りである。しかし、人口予測だけは当たるといわれてきた。わが国の全世代型社会保障の論議や施策は、この人口予測をもとにしているのである。

ところが、先月末のクリスマスイブ、12 月 24 日に、

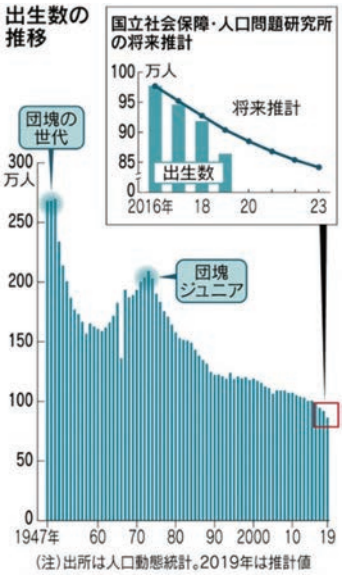
厚生労働省が 24 日発表した 2019 年の人口動態統計の年間推計で、日本人の国内出生数は 86 万 4 千人となった。前年比 5.92%減と急減し、1899 年の統計開始以来初めて 90 万人を下回った。出生数が死亡数を下回る人口の「自然減」も 51 万 2 千人と初めて 50 万人を超え、少子化・人口減が加速している。

（右図ともに日本経済新聞 12 月 25 日朝刊一面）

と報道された。政府が 2017 年にまとめた長期推計では、出生数 86 万人台は 2021 年のはずだったわけで、ついに人口予測までも外れたということになる。しかも、出生数 90 万人割れは 1899 年の統計開始以来初めてで、少子化のスピードは想定以上ということになる。また、人口の自然減 51 万人は能登の消滅は言うまでもなく、金沢市が 1 年で消滅したと同等なのである。

2019 年は「令和婚」「令和ベビー」を狙い、結婚、出産を控えたという分析も有り得るものの、この出生率の低下と人口減は日本のすべての業態に影響を与える。労働力減少は、製造業やサービス業はもちろんのこと、これまで人が人にサービスを提供してきた医療や介護にも大きな影響を与えるだろう。

昨年からこの Letter では、時短と生産年齢人口の減少に伴い、生産性向上・効率化の必要性を説いてきた。今回は特に、高齢社会を背景に国が推し進める在宅医療や在宅介護が可能なのかという視点で考えてみたい。



病院や入所施設では、1 つの病棟や入所棟当たりの看護師や介護士の夜間配置は 2～3 人である。一方、在宅の場合は 1 人の被介助者につき 1 人以上の家人等の介助が必要となる。労働力不足の中で、一人のために一人が拘束される姿をいかに考えるか？

さらにこの在宅の場が人口密集地ではなく過疎地であったらいかがなのか？介助する家人だけではない。過疎地のインフラ整備などの行政サービスや訪問サービスにかかる金額と労力はただならぬものになるに違いない。

集住する。これをコンパクトシティーという。医療も介護も商業施設も行政も、そして住宅も市街地に集約されている都市をいう。ここならば、買い物難民も減らせ、病院や施設に通うことも容易となり、行政サービスも届きやすい。何よりも、薄れつつあるコミュニティーを形成することができるかもしれない。

No.214
発行日：2020.2.3

ピット

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

自動車レースといえば、パリ-ダカールラリーにルマン、インディ500、そしてF1　などいずれもそのロマンが映画化されたり、ドキュメント化されたりし、男の子たちの胸を躍らせてきた。SDGs など環境保護が叫ばれている中で、エンジンを思いっきり回転させ、また急ブレーキをかけるなど燃費性能が悪い車を競争させるのは、いろいろ批判があるかもしれない。

もちろんその最高峰は F1 だ。元 F1 ドライバーというだけでも羨望の的だ。そんな中、レースの間に、車はピットに入る。すり減ったタイヤを交換するだけでも走行性能が変わる。同時に給油し、そして不具合を調整する。これだけの作業は自家用車ならば 1 時間ものだ。しかし、一流のチームでは何と 6 秒ぐらいで終えるという。6 分でも驚きだが、6 秒である。6 秒のピット作業で、レースカーは厳しいレースに戻っていく。それすらもどんどん短くなっているという。四輪のタイヤ交換だけならば、1.88 秒という記録もあるようだ。





その背景には IoT（ Internet of Things）があるだろう。車の走行中データはピットに、さらに遠く離れた指令所に WiFi でリアルタイムに送られてくる。必要にして十分なピット作業をあらかじめ準備しておくということだ。

さて、人生は何もすべてが競争ではない。しかし、人生をこの自動車レースに例えてみたらどうだろう。サーキットを周遊するのは仕事と日常生活だ。そこで、ピットは病院だ。不具合をピット作業で調整し、再びサーキットという人生に送り出すからだ。

そして、このピット作業の短縮化は、病院の在院日数の短縮化に通じる。無駄をそぎ落とした資源と時間で、病を治し、またすばやく日常生活に人を戻すのである。そのためには、F1 レースの IoT 化と同様に、病気を起こす前、いわゆる未病段階におけるケアの重要性が増してくることだろう。われわれ病院も未病、予防段階への目配せと支援が重要となってくる時代と思えてならない。

私たちは、2017 年から患者さんの医療情報を、ご自身のスマートフォンなどで閲覧可能な Personal Health Record，「カルテコ」を、また昨年から、脳活アイス、Foot 活プロジェクト、遺伝子解析サービスを展開してきた。これらも未病への新たな取り組みをめざしたものだ。今年も、さらなるイノベーションを起こしていきたい。

No.215
発行日：2020.3.2

ソニーの車とトヨタの街

けいじゅヘルスケアシステム　理事長　神野正博

「時代は変わる。われわれは変わらなくてはならない。」といった趣旨は、このマンスリーレターの巻頭言でも繰り返し述べてきた。その根底として、古典にある

It is not the strongest of the species that survives, nor the most intelligent that survives. It is the one that is most adaptable to change.

Charles Darwin

生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。それは、変化に最もよく適応したものである。

チャールズ・ダーウィン

は、今なお多くの文章やスピーチで引用される名言だ。

それでも「どうして変わらなければいけないの？」と思う御仁はたくさんいる。その答えは簡単だ。5 年前、10 年前、20 年前の身の回りの世界はどうだったのか？社会・世界は数々の分岐点を選びながら今の社会を形作ってきた。電気自動車(EV)はいつからわれわれの周りを走り出したのか？液晶テレビにデジタル放送は？インターネットは？WiFi は？スマートフォンは？、、、医療界においても、がんの告知は？がんは不治の病？3D 画像は？血管内手術は？内視鏡手術は？免疫チェックポイント阻害剤は？など誰かが変化を起こしてきたのである。

今年に入ってこれまでの固定概念を打ち破る 2 つの衝撃的な発表があった。いずれも落ち着いて今後の企業戦略を考えると唐突なものではないと理解できる。まずは、あのソニーである。ソニーといえば電機メーカーとして、これまで多くの音響や映像機器を作り世界を引っ張ってきた。AIBO という犬型ロボットの登場にも驚いたが、今度はそのロボット開発チームが手掛けたという電気自動車（EV）の開発だ。複雑なエンジンではなく電気モーターで動く EV は電化製品なのかしれない。ロボットの関節制御の延長かもしれない。





次に度肝を抜いたのは、トヨタが静岡県で街を作るということだ。なぜ都市開発？という思いがあったが、確かに既存の街での自動運転車の走行は、道路交通法など従前の法律で規定される。しかし、ゼロから、しかも私有地に建設する街である。道路に、地下に、建物に様々なセンサーなどを埋め込める。さらに、ゼロエミッションも実現可能だ。壮大な社会実験であるとともに素晴らしいショールームとなることだろう。

両社ともに、これまでの電機メーカー、自動車メーカーという業態から新たなカテゴリーの業態を創り出そうとする意気込みを感じる。

われわれも、過去の業態をひたすら守り継続していくだけというわけにはいかない。新たなカテゴリーを創り出す意気込みが必要な時だと思えてならない。



Foot 活サンダル



第7章
トピックス
(社会貢献)

董仙会トピックス（社会貢献）

日付	内容
2019.4.18	がん患者サロン Smile～すみれ～イベント「お薬を知ろうパートⅡ」開催（恵寿総合病院）
2019.4.23	「居宅支援事業所交流会」を開催（恵寿総合病院）
2019.5.8	看護の日イベント「プチナース・ふれあい看護体験」を開催（恵寿総合病院　看護部）
2019.5.20	高校生 ふれあい看護体験（恵寿総合病院　看護部）
2019.5.23	医療連携の集いを開催
2019.6.20	がん患者サロン Smile～すみれ～イベント「七夕に願いをこめて！楽しいひとときを」開催（恵寿総合病院）
2019.6.12	救急医療事例検討会開催（恵寿総合病院）
2019.6.20	「育 Café」を開催
2019.6.23	「防災ウォーキング in みそぎ」に参加
2019.7.2	AI 問診を導入
2019.7.3	鳥屋小学校にて「PTA 救命救急講演会」を開催（恵寿総合病院）
2019.7.14	七尾港祭り 総踊りに参加
2019.7.18	「脳活アイス」販売開始
2019.7.19	門前高校にて「出前授業」を開催
2019.7.22	防火訓練を実施（恵寿総合病院）
2019.7.25	わく・ワーク体験受入れ（恵寿総合病院）
2019.7.31	高校生インターンシップ受け入れ（恵寿総合病院）
2019.8.5	「HOSPITAL VISIT in 恵寿総合病院」を開催（恵寿総合病院　看護部）
2019.8.22	がん患者サロン Smile～すみれ～イベント「上手に栄養をとろうパートⅢ」開催（恵寿総合病院）
2019.9.21	第 18 回董仙会 TQM 発表大会開催（七尾サンライフプラザ）
2019.10.1	看護師特定行為研修修了式を開催 特定行為看護師が誕生
2019.10.1	「脳活アイス」ネット販売を開始
2019.10.17	がん患者サロン Smile～すみれ～イベント「化学療法後の運動と生活パートⅡ」開催（恵寿総合病院）
2019.11.3	一本杉通り「秋の大市」にて一本杉カフェを開催
2019.11.9	「ケア・フェスタ in 鳩ヶ丘」を開催（恵寿鳩ヶ丘）
2019.11.12	「Foot 活プロジェクト」を開始
2019.11.16	羽咋高校 2 年生を招き「医志未来塾セミナー in けいじゅ」を開催（Keiju Innovation Hub）
2019.11.25	写真展「車椅子目線で巡る金沢の旅」開催
2019.12.1	「けいじゅ一本杉見学会」開催（けいじゅ一本杉）
2019.12.19	がん患者サロン Smile～すみれ～イベント「緩和ケアとは？パートⅢ」開催（恵寿総合病院）
2019.12.12	ケアマネ交流会開催（恵寿総合病院）
2019.12.25	「HOSPITAL VISIT in 恵寿総合病院」を開催（恵寿総合病院　看護部）
2019.12.25	ジェノプラン 遺伝子検査キットの販売を開始
2019.12.26	けいじゅヘルスケアシステム大忘年会
2020.1.6	けいじゅヘルスケアシステム新年互礼会開催
2020.1.14	QR コード決済を導入
2020.1.20	カルテコ 新サービスを開始
2020.3.3	健康経営優良法人～ホワイト 500～に認定

2019.5.8

看護の日イベント

「プチナース・ふれあい看護体験」を開催





2019.7.19

「脳活アイス」の販売を開始

2019.7.22

「防火訓練」を実施





2019.11.16

「羽咋高校 医志未来塾セミナー」を開催

徳充会トピックス（社会貢献）

日付	内容
2019.5.15	石川県精育園　買い物支援バス　運行開始（毎月第 3 水曜日の午前中に運行）
2019.6.5	もみの木苑　田鶴浜カフェ　送迎車運行開始（毎月第 1、第 2、第 3 水曜日の午前中に運行）
2019.7.14	徳充会　七尾港まつり「市民総踊り」に参加
2019.9.17	青山彩光苑障がい者週間委員会　七尾市立能登島小学校　福祉教育（車椅子体験、風船バレーボール交流）
2019.9.19	エレガンテなぎの浦　七尾市立小丸山小学校との交流会
2019.9.24	青山彩光苑障がい者週間委員会　七尾市立朝日小学校　福祉教育（車椅子体験、風船バレーボール交流）
2019.10.2	青山彩光苑　障がい者向け移動支援サービス　運行開始（毎月第 1 水曜日の午前中に運行）
2019.10.2	石川県精育園　買い物支援バス　運行日変更（毎月第 3 水曜日から第 1 水曜日の午前中に変更）
2019.10.21	青山彩光苑障がい者週間委員会　七尾市立山王小学校　福祉教育（車椅子体験、風船バレーボール交流）
2019.10.30	青山彩光苑障がい者週間委員会　七尾市立朝日小学校　福祉教育（車椅子体験、風船バレーボール交流）
2019.11.18	徳充会　穴水町立穴水中学校　福祉教育（穴水町社会福祉協議会企画に参加）
2019.11.28	青山彩光苑障がい者週間委員会　七尾市立石崎小学校　福祉教育（車椅子体験、風船バレーボール交流）



2019.7.14

七尾湊まつり　市民総踊り



2019.9.19

エレガンテなぎの浦

七尾市小丸山小学校との交流会



2019.10.30

青山彩光苑

朝日小学校　車椅子体験



2019.11.28

青山彩光苑

石崎小学校　風船バレーボール交流



2020
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

2020 年 3 月 2 日　健康経営優良法人ホワイト 500 に認定

けいじゅヘルスケアシステム
2019 業績集

2020 年（令和 2 年）6 月 1 日発行
発行人　社会医療法人財団 董仙会 理事長
　　社会福祉法人　　徳充会 理事長
　　神野 正博
編　集　社会医療法人財団 董仙会 企画部 企画課

社会医療法人財団董仙会
恵寿総合病院
Keiju Medical Center

〒926-8605 石川県七尾市富岡町 94 番地
TEL:0767-52-3211 FAX:0767-52-3218
厚生労働省臨床研修指定病院、日本医療機能評価
救急告示病院、DPC 対象病院　ホームページ http://www.keiju.co.jp
メール　info@keiju.co.jp

GOOD DESIGN AWARD 2017
BEST 100
日本サービス大賞
NIHON SERVICE AWARD
総務大臣賞

Keiju Healthcare System